

An aerial photograph of a city, likely in Japan, completely covered in a thick layer of snow. The buildings are densely packed, and the snow has accumulated on the roofs and streets, creating a monochromatic white landscape. The perspective is from a high angle, looking down on the city.

56豪雪の記録

—昭和55年12月～昭和56年3月—

福 井 県

進まぬ復旧作業に焦り

県内の交通網

自衛隊 福井入り

18年ぶりに

国

防衛省は、自衛隊を福井県に派遣し、復旧作業に協力させることになった。これは、自衛隊が被災地の復旧作業に協力する初めてのケースである。

建物倒壊相次ぐ

嶺北各地に大雪被害

学

豪雪長期化に備え

知事が「克服宣言」

県民ぐるみの協力訴え

本県 モーレス寒波襲来



一日中0度以下

北陸自動車道 全面通行止め

大雪警報

大雪警報は、1月10日午後1時30分から11日午前1時30分まで、北陸自動車道全線に発令された。この期間中は、大雪による交通障害が予想されるため、全面通行止めとなる。



大野市二条通りの積雪



⇕ 村民総出による国鉄越美北線の除雪作業(和泉村)





1月13日県警のボートを利用しての大蓮寺川の雪づまり解除作業(勝山市)



↑今庄町今庄地係の積雪(56.1.14)



⇒宮崎村消防団による雪崩防止作業(56.1.18)

は じ め に

昭和55年12月末から降り始めた、いわゆる56豪雪は県下各地に大きなツメ跡を残し、その被害は38豪雪にせまる甚大なものとなった。

県では、雪害対策本部、豪雪対策本部を設置して全力でその対応にあたったのをはじめ、降りつづく雪に対して県民総ぐるみの戦いがつづいたが、尊い人命も奪われ、多大の被害を発生させる結果となった。

この記録は、これらの惨禍を詳細につづることにより、広くその実態を報告し、ひいては防災行政の一助たらんと編集したものである。各行政機関をはじめ、防災関係機関の今後の雪害対策推進に役立つならば幸いである。

最後に、この記録を作成するにあたり、御協力をいただいた各機関に対し、厚く御礼申しあげると同時に、本災害に於て犠牲となられた方々のご冥福を心からお祈りしてやまない。

昭 和 5 6 年 9 月

福井県知事 中 川 平 太 夫

目 次

<p>はじめに</p> <p>第1章 気象の状況..... 1</p> <p>1. 気象概況..... 1</p> <p>2. 降雪..... 1</p> <p>3. 積雪..... 1</p> <p>4. 積雪の全層密度..... 2</p> <p>5. 今回の豪雪の特徴..... 2</p> <p>6. 天気図..... 3</p> <p>7. 気象観測表..... 8</p> <p> (1)福井地方気象台..... 8</p> <p> (2)敦賀測候所..... 12</p> <p>8. 日降水量表..... 16</p> <p>9. 積雪・降雪表..... 18</p> <p> (1)積雪の深さ..... 18</p> <p> (2)降雪の深さ..... 20</p> <p>10. 積雪分布図..... 22</p> <p>11. 積雪の経過図..... 22</p> <p>12. 積雪の深さの月別および寒候期別の最大値と起日の順位表..... 23</p> <p>13. 昭和56年3月14日～3月15日にかけての融雪による主要河川の水位表..... 24</p> <p>14. 気象観測所配置図..... 25</p> <p>第2章 被害の状況..... 27</p> <p>1. 人および家屋の被害..... 28</p> <p> (1)人的被害..... 28</p> <p> (2)家屋の被害..... 30</p> <p>2. 農林水産関係被害..... 37</p> <p> (1)農業関係被害..... 38</p> <p> (2)林業関係被害..... 48</p> <p> (3)水産業関係被害..... 56</p> <p>3. 公共土木施設関係被害..... 57</p> <p> (1)道路の被害..... 58</p>	<p> (2)河川の被害..... 64</p> <p> (3)港湾の被害..... 66</p> <p> (4)空港の被害..... 66</p> <p> (5)砂防の被害..... 66</p> <p> (6)街路・公園関係の被害..... 68</p> <p> (7)除排雪費..... 71</p> <p>4. 商工業関係被害..... 71</p> <p> (1)繊維工業の被害..... 72</p> <p> (2)一般工業の被害..... 73</p> <p> (3)鉱業の被害..... 74</p> <p> (4)商業の被害..... 74</p> <p> (5)運輸・倉庫業の被害..... 75</p> <p> (6)観光・サービス業の被害..... 75</p> <p>5. 教育関係の被害..... 76</p> <p> (1)小学校の被害..... 78</p> <p> (2)中学校の被害..... 79</p> <p> (3)高等学校の被害..... 80</p> <p> (4)休校数..... 81</p> <p> (5)文化財の被害..... 83</p> <p>6. 交通機関関係被害..... 84</p> <p> (1)国鉄の被害..... 85</p> <p> (2)私鉄の被害..... 91</p> <p>7. 通信施設関係被害..... 104</p> <p> (1)有線の被害..... 104</p> <p> (2)無線の被害..... 104</p> <p>8. 電力関係被害..... 106</p> <p> (1)北陸電力(株)福井支店の被害..... 107</p> <p> (2)関西電力(株)小浜営業所の被害..... 109</p> <p> (3)県営発電所の被害..... 110</p> <p>9. 環境衛生施設関係被害..... 110</p> <p> (1)医療施設の被害..... 110</p> <p> (2)上水道施設の被害..... 111</p> <p> (3)清掃施設の被害..... 111</p> <p>10. 社会福祉施設関係被害..... 111</p>
---	---

11. 交通安全施設関係被害	111	3. 道路公団福井管理事務所の活動	177
12. 市町村の除排雪費	113	(1)通行規制状況	177
第3章 応急活動並びに復旧対策	115	(2)作業稼動状況	177
1. 雪害対策活動概要	115	(3)特別借上げ機械調書	177
(1)本部の設置・会議等	115	4. 電々公社福井電気通信部の活動	179
(2)除雪活動	116	(1)雪害復旧状況	179
(3)緊急物資輸送	118	(2)電気通信サービスの状況	180
(4)モーターカーによる物資輸送	121	5. 国鉄(金沢鉄道管理局管内)の活動	181
(5)災害救助法の発動と解除	121	(1)除排雪作業の状況	181
(6)激甚災害の指定	122	(2)除雪列車運行状況(福井県関係)	183
2. 自衛隊災害派遣	122	(3)越美北線線路復旧状況	187
(1)各地域への出動状況	123	6. 近畿地建福井工事事務所の活動	187
(2)自衛隊出動状況	124	(1)56豪雪における対策	187
(3)撤収後の緊急災害時における即時出動態制	130	7. 北陸電力(株)福井支店の活動	191
3. 豪雪対策本部の措置	130	8. 関西電力(株)小浜営業所の活動	192
(1)総務部	130	9. 京福電気鉄道(株)福井支社の活動	192
(2)出納部	132	(1)除雪人員	192
(3)生活環境部	133	(2)除雪列車運行状況調	194
(4)厚生部	135	10. 福井鉄道(株)の活動	195
(5)商工労働部	136	(1)鉄道関係	195
(6)農林水産部	138	(2)自動車関係	197
(7)土木部	147	資 料	201
(8)企業部	161	資料(1) 国鉄・私鉄運行状況一覧	201
(9)教育部	161	資料(2) 北陸自動車道交通状況一覧	202
(10)公安警備部	163	資料(3) 県・市町村本部設置一覧	203
4. 調査団等来県状況	168	資料(4) 市町村別除雪状況一覧	204
第4章 各機関の活動概要	171	資料(5) 市町村別孤立集落一覧	205
1. 県議会の活動	171	資料(6) 市町村別雪崩発生箇所一覧	208
2. 福井地方気象台の活動	172	資料(7) ゴミ・し尿処理の停滞例一覧	211
		資料(8) 救急活動の阻害例一覧	213
		資料(9) 雪おろしの状況例一覧	215
		資料(10) 消防職団員の出動状況一覧	216
		資料(11) 38豪雪の被害状況一覧	217

第1章 気象の状況

第1章 気象の状況

1. 気象概況

今冬は12月半ばから積雪に覆われた所が多く、低温、多雪に経過し、特に12月下旬から1月中旬にかけて記録的な大雪となった。

その後天候はほぼ順調に経過したが、2月下旬後半に一時激しい吹雪と異常低温があり、一時的に降雪も強かった。

3月は初め低温傾向であったが、中旬と下旬中頃にそれぞれ雨と南風による気温の上昇により、融雪の激しい時期があった。

2. 降 雪

12月下旬から1月中旬にかけて、極東域上空の偏西風の流れは、日本付近へ持続的に強い寒気が流れこむ型であった。この中でも特に(1)12月27～30日、(2)1月3～7日、(3)1月10～15日頃は、北陸地方へ寒気の落ちこみが強く、本県ではこれらの期間ドカ降りので極端に強い降雪であった。

第1波の12月末は嶺北地方の平野部から奥越方面が最も強く、雷を伴い、湿りけの多い雪が強く降り、日量60～70cm勝山市では100cmにも達した。

第2波の1月初めも嶺北の平野部から山沿いが特に強く、日量70～80cmで、福井市では5日の降雪量が73cmで福井地方気象台の明治30年の観測開始以来最も多量であった。

第3波の1月10日過ぎは嶺南地方東部を中心に強く降り、日量40～50cmの日が続いた。

3. 積 雪

12月末から年内としては大正6年以来の記録的な深い積雪となり、福井平野で100cmを越し山沿いでは200～300cmに達した。

今冬で積雪が最も深くなったのは1月15日頃の所が多かったが、海岸地方で40～50cm、平野部で200cm、山沿いで300cm近くになり、勝山市北谷では450cmにも達した。

このような深い積雪は昭和38年豪雪以来の記録であるが、敦賀市では昭和38年より約40cmも多く、敦賀測候所が明治31年に観測を開始して以来最も深い記録であった。

3月に入ってから融雪は順調で上旬中頃には海岸地方や嶺南西部で、また中旬半ばには嶺南東部で融消し、下旬に入って嶺北の平野部でも雪は無くなった。しかし奥越方面では月末にまだ50cm程度の積雪が残った。

4. 積雪の全層密度

福井地方気象台

観測年月日	密度(g/cm ³)	積雪の深さ(cm)	観測年月日	密度(g/cm ³)	積雪の深さ(cm)
55. 12. 29午前	0.20	104	56. 1. 23午前	0.39	175
56. 1. 6 "	0.24	163	56. 2. 6 "	0.44	137
56. 1. 9 "	0.35	137	56. 2. 13 "	0.46	124
56. 1. 11 "	0.31	145	56. 2. 26 "	0.36	121
56. 1. 15 "	0.30	196	"		

敦賀測候所

観測年月日	密度(g/cm ³)	積雪の深さ(cm)	観測年月日	密度(g/cm ³)	積雪の深さ(cm)
55. 12. 27午前	0.14	42	56. 1. 20午前	0.34	172
55. 12. 30 "	0.20	51	56. 1. 27 "	0.42	138
55. 12. 31 "	0.28	60	56. 2. 3 "	0.44	125
56. 1. 6 "	0.28	111	56. 2. 10 "	0.46	111
56. 1. 11 "	0.30	106	56. 2. 17 "	0.44	75
56. 1. 12 "	0.30	126	56. 2. 24 "	0.45	54
56. 1. 13 "	0.28	157	56. 2. 26 "	0.33	80
56. 1. 14 "	0.27	179	56. 3. 3 "	0.34	62
56. 1. 15 "	0.28	196			

5. 今回の豪雪の特徴

- (1) 年末から1月中頃までの短い期間に記録的な大雪が3回にわたって降った。
- (2) 大雪の発現が早い時期であった。

12月に福井市で積雪が100cmを越す大雪は大正6年12月30日に166cmを記録したが、今回はそれ以来のものであった。

- (3) 初期の降雪に湿りけの多い傾向が目だった。

福井県は北陸多雪地帯の南限であり、降雪は通常湿性である。今回は時期的にも発現が早く、その傾向が特に目立った。

- (4) 年末から年始に雷の発生が非常に多かった。

福井市では12月27、28の両日雷が終日断続的に発生し、これらの雷雲が集中的なドカ雪を降らせたものと考えられる。

- (5) 各地でこれまでの観測記録を更新する豪雪であった。

日降雪量の深さ

福井市 73cm (1月5日) 明治30年以降で第1位

勝山市 100cm (12月28日) 大正2年以降で第1位
積雪の深さ

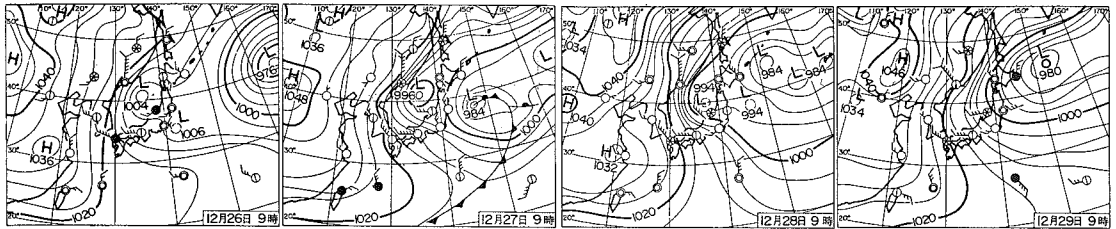
敦賀市 196cm (1月15日) 明治31年以降で第1位

(6) 2月下旬の遅い時期に大規模な強い寒気の南下があり、激しい吹雪と異常な低温となったが、このようなことは珍しい現象であった。

福井市で2月中に終日気温が0℃以下であったのは、昭和52年に2回、昭和22年と同42年にそれぞれ1回あった。これらの発現はいずれも2月上旬または中旬であり、今回の2月26日は昭和21年以降の統計では最も遅い時期であった。

6. 天 気 図

12 月



26日(金)寒気団南下始める

東日本にかかる谷まもなく東へぬけるが、日本海中部にまたL発生・寒気ジワジワと南下・分布は冬型、降水は北陸～福島中心で多い所30～50mm。三宅島初雪、室戸岬初水。

27日(土)鹿児島初雪

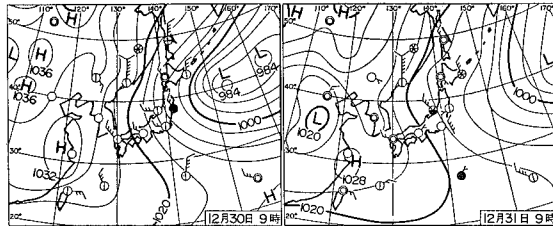
寒気中心のひとつ、夜は能登沖上空へ。21時輪島-41.7°今冬min。東北南部～北陸中心の降雪続き、只見の積雪120cm。降雪地域を除いては、min、maxとも平年よりやや高目。

28日(日)里雪型

輪島上空、夜まで-40°。北陸、長野など降水50～100mm、福井92mm。新潟管内の特・急行62本運休など連休列車初日からつまずく。東京-0.5°、富士山-30.2°いずれも今冬min。

29日(月)雪禍拡大

福井積雪1mを越す。寒気次第によわっているが、北陸など50mm前後、列車混乱山陰まで広がる。中部・北陸で停電、ナダレ(民家)、山道難続出。種子島沖で貨物船沈没6人不明。



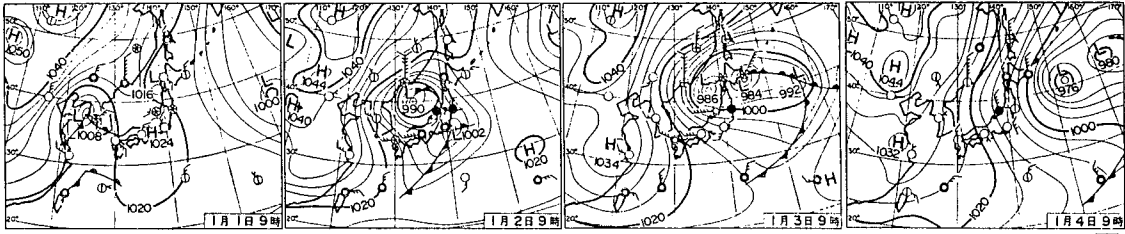
30日(火)冬型持続

寒気はやや衰えているが冬型気圧配置はしっかりしており、東北南部～山陰の雪衰えず。国鉄混乱ヤマを越し、福井駅の「白鳥」34時間ぶりに動く。東・北日本、気温上向く。

31日(水)冬型ゆるむ

気圧傾度ゆるむ。北日本海側、雷模様から次第に①の所も。このところHの南への張り出し強く、沖縄は28日以来晴天続き。日東へ移動、大陸L、夜は山東半島に。

1 月



1日(木)雪一服の元日

移動Hに掩われて穏かな元旦。関東以西冷込強く、日中も気温は低目。長野①たが-0.5°の真冬日。午後は北陸以北の雪は止んだが、L日本海に入り、九州から●降り出す。

2日(金)正月寒波攻勢始る

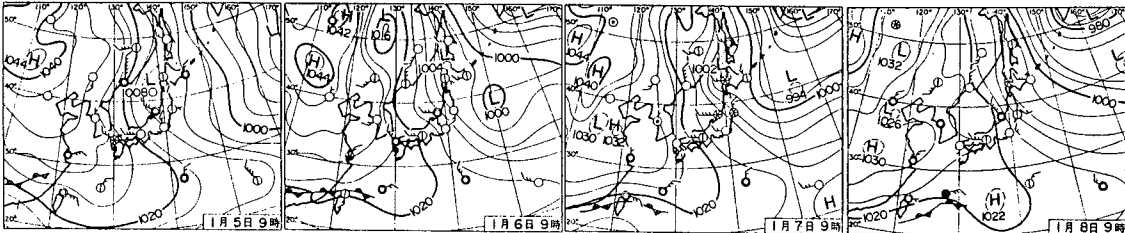
東海道沖にL発生、二つ玉で日本通過。南のL登は関東の東へ。日本海上空に寒気南下、北陸夜広範に雷雪。夕刻野島崎沖で貨物船消息絶つ。北海道雷没車内で4人排ガス死。

3日(土)冬型強まる

初め道東中心の雪。日本海L午後には衰弱して冬型となり、北陸中心の雪。いずれも50cm前後。大糸線ストップで4000人かん詰て一夜。30日来の長岡の地滞り3日までに全壊28棟。

4日(日)東京も冬日

-0.6°(-1.6)、今年から更新の平年値。東京の日minに氷点下なし。天気図冬型続きで、帰京列車の混乱も続く。高山積雪115cmで最深積雪記録更新。夜雪の地域や、狭まる。



5日(月)「小寒」

日本海北部を小L通過したが、寒気強く冬型ほとんどの雪続。①の所も冷気強い寒の入り、東京0.0°(-1.0)。8.4(-1.5)日だまにアツスマイル取。

6日(火) 南房でも雪

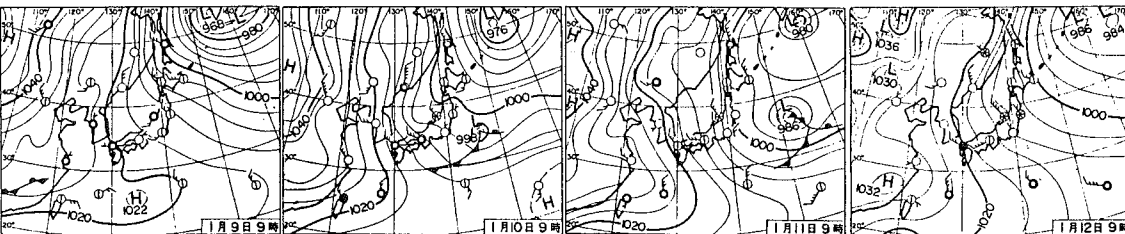
館山雪1cm。寒気強く吹出しによる雲相横溝から発生房総をかすめる。降雪、福井73cm、国鉄混乱拡がり特急行運休90本。東京min-0.7°(-1.6)、max7.2°(-2.6)午後都内小雪の所も、

7日(水)大雪崩民家襲う

0時過、新潟県守門村で4戸7棟が直撃受け8人圧死。北陸以北ではまだ局地的な大雪が続いているが、冬型は西からゆるみ始め、夜は山陰も①、沖縄はF北上で夜全般に●。

8日(木)高山積雪128cm

山形113cm、いずれも史上1位。関ヶ原115cm(国鉄)。冬型西から更に弱まり夜北陸も久しぶりの晴天。沖縄●続き、南部で40mm前後。東京max9.9°(+0.3)今月初めて平年上回る。



9日(金)大雪小休止

大陸Hの一部移動Hとなって南方海上東進。上層-30°C線N40°まで北上、日本海側夜は東北まで①の所多くなる。松本9時7.7°で細水観測(0740-0930)、政府豪雪対策本部発足。

10日(土)寒気団再び南下

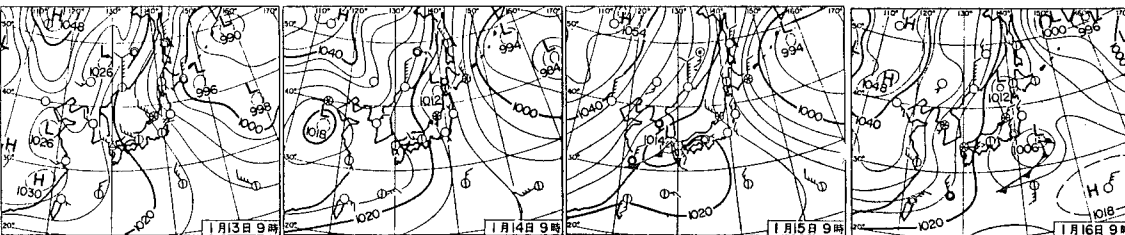
谷東へぬけて冬型強まる。九州西-南部未明より吹出しの●。日本海側広く雪空に戻る。夜上層-30°線本州南岸まで、国鉄ほぼ正常に戻ったところで本年第2波の寒気攻勢開始。

11日(日)トキ2羽捕獲

輪船上層9時-39.5°(今月のmin)北陸中心に午前中で50cm前後の雪。しかし寒気中心の動き速く、午後は小降りの所多くなる。石垣島に黄砂。北関東に異常低温注意報。

12日(月)寒波攻勢盛ん

夜、-42°の寒気中心津軽海峡上空に。北陸-東北南部、北海道で雪50cm前後。北海道午後には①の所多くなる。H南への張出し強く、沖縄①れる。エベレスト植村隊員1人転落死。



13日(火)寒波ゆるまず

上層気温更なる下。降雪地域、量も昨日と同様。高田2日間の降雪1m。青森積雪今冬初めて1mを超え高山160cmは史上3位。東京max6.3°は日中の気温として1月中の最低。

14日(水)東京-2.2℃

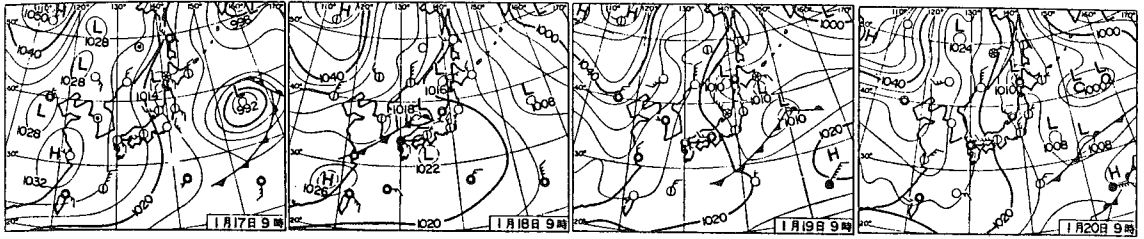
-2°を割ったのは4年ぶり。富士山-30.4°で今冬最低。河口湖8年ぶりに結氷。日本海にL、季節風弱まって降雪量や、少なくなったが、国鉄混乱最悪で特急行運休200本超す。

15日(木)成人の日

L、対馬から南東進。前面に寒気入り発達せず。富士山の昇温も平年のminまで。●は九州で10mmの程度。日本海側は冬型分布続く。福井の積雪196cmで観測史上2位の記録。

16日(金)東京薄化粧

今冬2度目の雪だが積雪0。東京は2日2.0今日1.5mmがこの月の全雨量。三宅島雄山初冠雪。オホーツク沿岸流水接近。日本海側の雪は顕著傾向だが、国鉄の混乱続く。

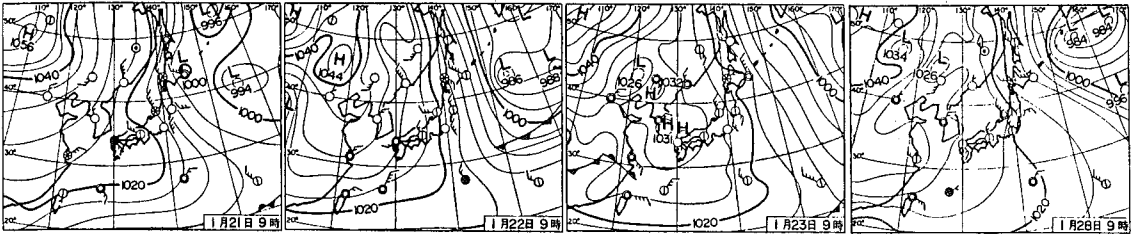


17日(土)衣服静電気で引火
乾燥の続く都内で、エレベーター内で塗装中の2人焼死、シンナーに引火とはぼ断定。冬型弱まり、雪は北陸～東北南部の多い所で10～20cmの程度。湯島白梅はこぼぶ。

18日(日)老人ホームに雪崩
0040頃新潟県湯之谷村で、民家1戸も巻き込み死者6人けが7人。日本海に谷入り、富士山9時の気温は17日-24°18日-20°。谷通過したが太平洋側は多少☉った程度。

19日(月)仙台・盛岡震度4
弱い気圧の谷の通過頻繁。関東以西の太平洋側は早朝いったん☉たが、西日本から☉り、夕刻は関東まで。夜再び☉上る。雪は北陸～北日本の多い所で20～30cm。国鉄運休100本。

20日(火)「大寒」
昨日東北横断の上層-30°線、今日関東東南部まで、冬型による雪30cm前後。日中の気温は全国的に2°前後低かったが気圧傾度比較的ゆるく、厳寒の感じなし。東京min2.5(+2.3)

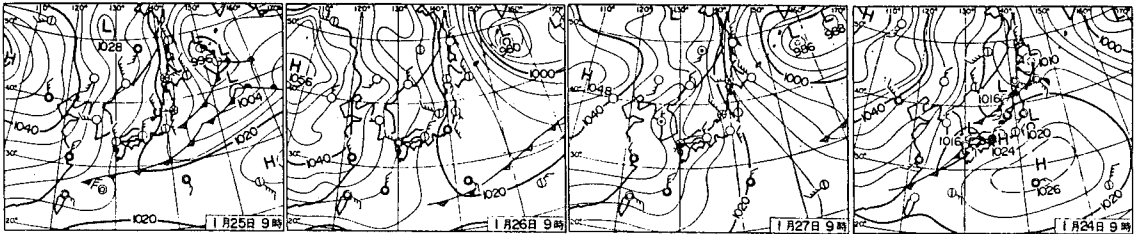


21日(水)冬型持続
上空の谷短周期で通過。これに伴い雪降ったり止んだりしながら新潟中心に50cm前後の所。午後、華南からFのびて九州☉ったが、夜霧散。佐渡でトキ更に2羽捕獲。

22日(木)最後のトキも捕獲
全5羽を捕獲、人工増殖に取り組む。H張出し強の寒気も南下して今月最後のピーク。しかし規模小さく、積雪は減少傾向。1920頃、大島近海で貨物船同志衝突、乗組員は無事。

23日(金)道南震度5～4
H移動性となり、北海道を除いて雪も次第に止む。釜、楊子江付近にL発生したが動き遅く、九州も夜半まで☉東京☉続きで1.8(+1.6)10.3(+0.8)。9時富士山北西の風-23°

24日(土)東京●なし
6時に南西風となった富士山、9時-12°迄上がったが西風に戻って持続。対馬Lに代って南岸L発生して東進。北日本も別のL通過したが降水は九州30mm前後、その他10～20mm程度。

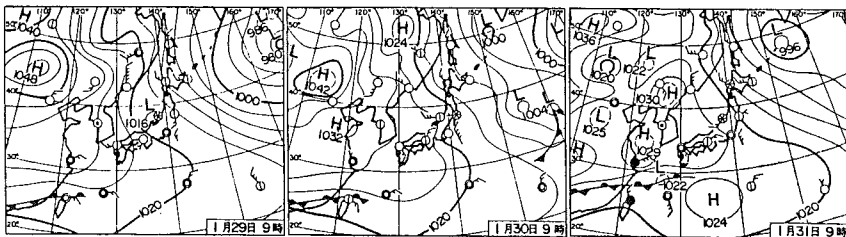


25日(日)紋別雄武流水接岸
谷、東海上で深まり冬型気圧配置に。しかし本州上空の気温平年より高い状態続き、雪は多い所で10～20cm。関東以西暖か、新潟県新井市で地滑り、民家2棟半壊。

26日(月)冬型だが
弱い谷通って一時的に北高型。関東まず☉り、昼には西日本まで☉る。夜回復。底冷えのあと夜は吹出して寒さ一入。銚子初雪。山形県で雪覆いつぶれて奥羽本線不通。

27日(火)雪除屋根崩れ死者
千曲川護岸工事現場で4人死。小規模ながら寒気も入って冬型持続。雪10～20cmというところだが、伊豆南端の石廊崎で初雪。中央公害対策審議会。湖沼環境保全の立法を答申。

28日(水)宇都宮・水戸震度4
北海道寒気根強く雪40～50cmの所。札幌積雪99cmは14年ぶり。午後、日本海を小L東進、寒気弱く北陸以西☉。多摩で山火事、38,000㎡焼く。国鉄雪の損害すでに124億円とか。

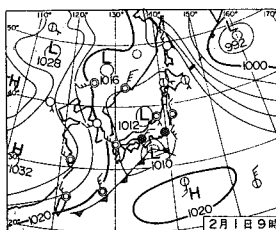


29日(木)伊豆海底火山爆發
冬型強弱を繰り返しているが、このところ北陸3県は大雷期を脱し、強雪域は信越～東北南部に移っている。今日も北陸は午後から☉、気温は低く、金沢-2.0(-1.8)4.4(-1.3)

30日(金)格納庫屋根落ちる
札幌で、セスナ機など5機大破、ガソリンもれて爆發の危険。札幌積雪102cm今冬最深。北日本中心の冬型。台湾付近のF、ゆっくり北上して、午後は沖繩本島の北まで。

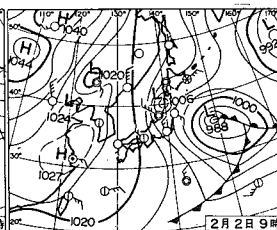
31日(土)冬型くずれる
Fさらに北上して、九州は未明から☉。社からの●10mm前後。●、●の区域ゆっくり東進だが関東は終日☉。火事、ガス爆發などしきり、華津で雪、雪崩で水道管折れ断水。

2 月



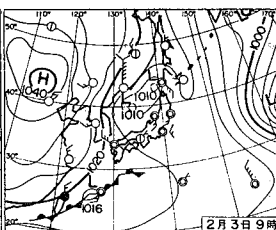
1日(日)アルジェリアM5.4

31日から強震5回のあとに、日本海と本州の南海上をLが平行して進み中部、北日本雪、他は●。沖縄から北海道まで10mm前後。八丈島の小島でツリ客孤立、翌朝へ救出。



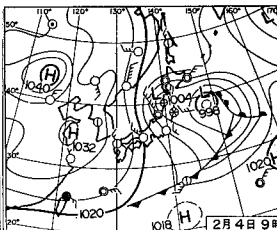
2日(月)弱い冬型

L、東海上で発達、吹出し型となるが、谷、寒気とも動き速い。新潟、福島など30-50cmの雪もあったが、午後、北日本の小L消滅、夜は再び日本海低圧となる。東京○、9.1°



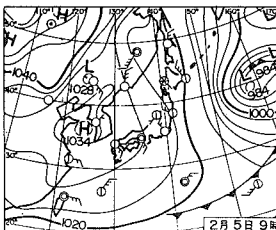
3日(火)「節分」

日本海にL、本州南海上にも別のFがありそう。全国的に曇多く、min max高低まちまちだが1-2℃の中で、午後、北日本の小L消滅、夜は再び日本海低圧となる。東京○、9.1°



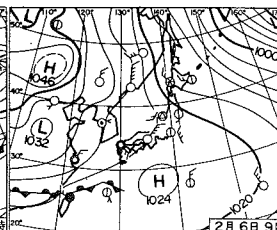
4日(水)「立春」

2日と同じような型となったが、今日の方が寒気強く、信越~東北南部の雪30cm前後。雪まつり開幕の札幌は好天で、-3.5(+5.2)2.4(+3.1)。沖縄終日ぐずつき、その他は○~○。



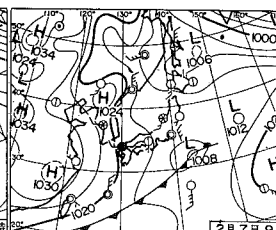
5日(木)寒気ゆるむ

冬型だが寒気ゆるみ、雪も今日入って勢い弱まる。日本海側も所所○。南西諸島も終日○、東京max 10.1(+0.6) 11日ぶりに平年を上まわる。夜、華南にF描かれる。



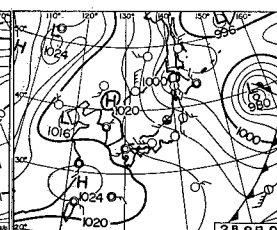
6日(金)北日本冬型

移動H南海上通過。F北上したが、谷速度はやく、夜は再び大陸Hはり出す。●は南西諸島~九州南部で20mm前後、中部以西○ったが夜○。第22次南極越冬観測開始。



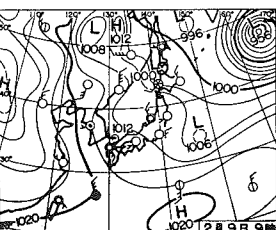
7日(土)2月遅れ相川初霜

弱い吹出しで九州西部●だが微量。寒気中心、樺太北部にあり、本州上空は-3°線が本州南岸まで下った程度。日本海は所々で●や雪だが、降水10mm前後、東京雪あられも0.0mm。



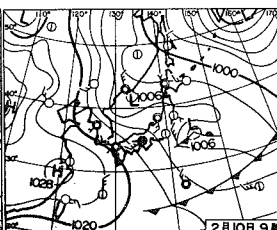
8日(日)都内で緋寒桜開花

非常に短い周期で北日本は冬型弱一や、強の繰返し。今日は吹出しやや強まり北陸以北の日本海側夜まで雪。降水量、新潟30-50、他10mm前後、太平洋側は暗天続き。



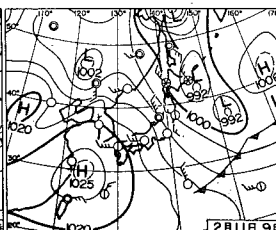
9日(月)九州に黄砂

弱い谷通過で北日本の吹出し弱まる。通過後の午後から夕刻にかけ、九州北部、西部に黄砂。バイカル湖上空-42°の寒気中心、夜は中国東北区の上空まで南下。



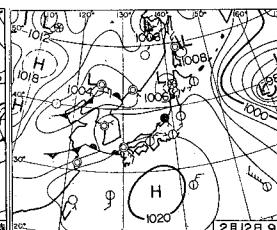
10日(火)木曾御岳安全宣言

噴火予知連絡会が、-42°の寒気中心、夜は日本海北部上空へ。寒冷L、夜北日本通過。太平洋側も雪、北陸所所雷雪も、降水は10mm前後。Hのはり出し南に偏り季節の進みかみえる。



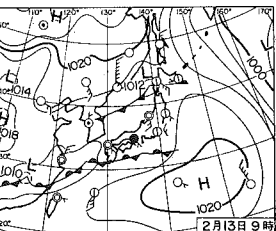
11日(水)名神33台玉突き

関ヶ原で雪と凍結スリップのため、死4人負傷16人。東北道でも地吹雪などで14台衝突。北海道上空の寒気次第に衰弱。寒冷渦内でオホーツクL西進。東シナ海H東南東進。



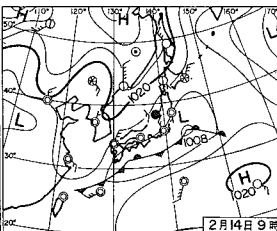
12日(木)南高北低

F帯が、ひとつは日本海中部、ひとつは九州付近を走っている。降水は九州や東北の一部で20mm前後、南高北低でmax+2-3°の所多かったが、F二段構えで極端な昇温なしの模様。



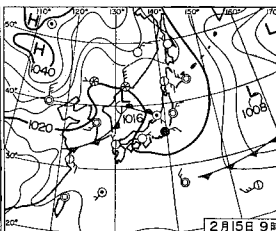
13日(金)九州豪雨

北日本、上空の昇温著しく、東北々部、北海道min,maxとも+5°前後。九州、暖湿流入って●40-50mmから90mm前後の所も。鹿児島37mm,max 20.6(+7.3)。東京夜まで○。



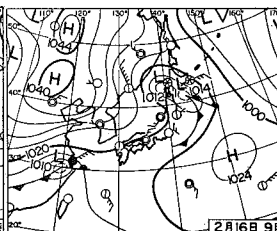
14日(土)イタリア直下M4.4

沿海州から日南下してFひとつにまとまる。総体として南下したかたち。●は朝のうちだけで小降り。北日本から晴天拡がり夜九州まで。全国的に暖かな1日。東京14.3℃。



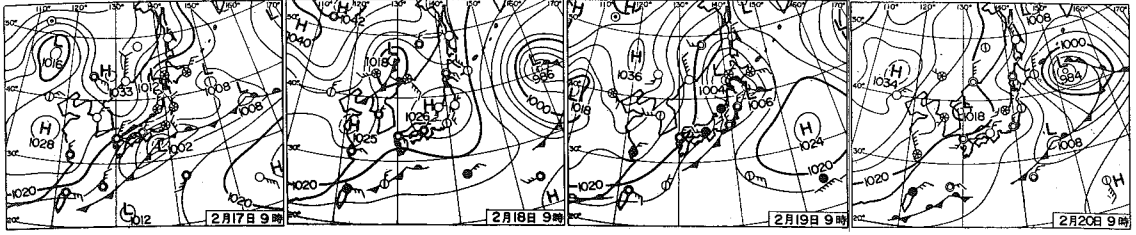
15日(日)横手かまくら

再び南高北低。L後面の寒気なく、発達せず。北海道雪になったが微量。東京午前小雨夜○。西日本高湿目立ち鳥取16.8(+8.9)大阪17.6(+7.8)岐阜県下国道41号線に雪崩、死1人。



16日(月)西日本再び強雨

北海道L通過で降水5-10mm、Hのはり出して関東付近○たが、大陸東岸のL接近で九州午後降り出す。南西諸島~九州30-50、所により70mm前後。雨域、夜半には関東まで。

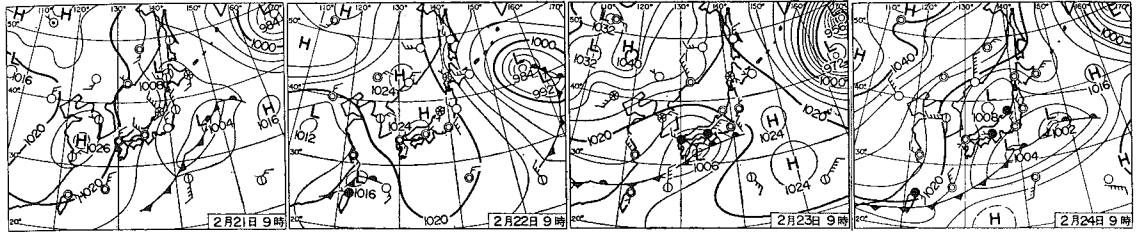


17日(火)東京初積雪 2cm
八王子5cm。国鉄ポイント故障スリップなど陸空混乱。南岸L通過で四国50~70中国~関東30mm前後、三宅島88。水不足富士山頂に新雪。日本海山口沖でタンカー転覆不明8。

18日(水)日本海L発達せず
H小型で、気圧の谷の通過頻繁。日本海と南海上のF帯、南下しながら東進。九州南部の●。朝のうちに上がったが、日本海Lの通過で夜は全国的に所々小雨。東京日中寒く7.6℃。

19日(木)引きの冬型
L、東海上でや、発達、引きの冬型。-42°の寒気中心、沿海州から樺太南部へ。新潟~東北南部で30cm前後の雪。気圧系の動き相変わらず速く、夜は大陸東岸に次の気圧の谷。「雨水」

20日(金)曇冷
午後、九州の南にもL発生。よわい谷の通過で北陸以北所々雪、その他所々●。降水は一部で10~20mmの程度だが、日中気温上らず平年比-3°前後。水戸、梅まつり始まる。

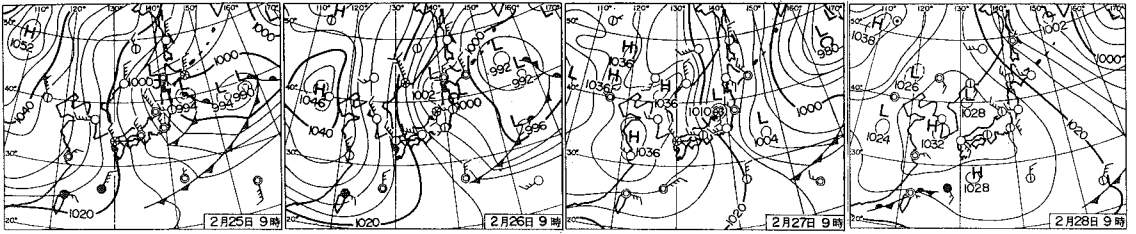


21日(土)出水のツル北帰行
例年より10日遅く第1陣。冬型は弱い。本州上空の気温は10日ぶりに平年をわり雪30cm前後の所も。午後は北陸以西も①。太陽観測衛星「アストロA」打上げ愛称「ひのとり」

22日(日)寒冬再び
吹き出しによる雪、北海道を除いて午後は次第に止む。関東上等で肌寒いが、二分咲きの倍楽園に17万人。東シナ海のL、や、北上して東進、夜半には九州一円に●。

23日(月)東京みぞれ
上層の気温は上り始めているが、昨日今日と天気くずれ気味で、九州の一部や沖縄を除いて、月末寒波に連なる寒の戻り。L、午後は東海道沖に進み、関東~近畿●、北日本は雪。

24日(火)ギリシャM6.6
列島中広い谷の中にあり●や雪の所が多いが降水は多い所で10mm前後、西日本の太平洋側は午後①だが日本海に小Lあり、関東以北の回復遅れる。大陸上空に今冬最強-52°の寒気。



25日(水)月末寒波
中国東北区上空で-48°。まだ北日本中心だが、押しの冬型強く、北陸~東北の雪30cm前後。太平洋側も雪の所、東京日中いっぱい小雪模様。上空-30°線、半月ぶり本州南岸まで。

26日(木)東京連続4日雪日
いずれも小雪だが(積雪0)。日本海上空に-48°。北陸の雪20~30cm。種子島屋久島4年ぶりの雪。輪島上空9時-45.1°も4年ぶりの低温。シケの松前町沖でソ連船沈没死不明35人。

27日(金)富士山-38.0℃
0520、史上最低記録。寒気本州上空でや、衰えたが降雪は昨日と同程度。八丈島2cm、2月として4年ぶりの積雪。東京-3.5°(-5.8)北西風瞬間20.7m/s。首都高快速道路凍結で混乱。

28日(土)冷込み続く
寒気、冬型ともに衰えたが、小L日本海に入り、北陸以北は夜まで雪。寒さ続き、東京-1.3°(-3.6)6.9°(-4.0)沖縄も寒さ4日め。冷えかへるもののひとつに夜の鼻 加藤敏樹

7. 気象観測表

(1) 福井地方気象台

1980年12月

要素 日	気温 0.1℃			湿度 1%		降水量 0.1mm		風 0.1m/s			日平均雲量 0.1	日照時間 (シヨルゲン) 0.1h	全日日射量 cal/cm	降雪の深さ cm	日最深積雪 cm	天気概況			
	平	最	最	平	最	日	一	平均	最	最						日	夜		
	均	高	低	均	小	量	時間	風速	大間	瞬間						間	間	間	
	均	高	低	均	小	0-24	最大	風速	風向	風速						06h ~ 18h	18h ~ 06h		
1	103	161	61	71	43	15	15	17	44	S	65	37	71	207	—	—	晴一時曇	快 晴	
2	122	187	29	73	36	45	30	47	107	SSE	176	67	50	173	—	—	晴のち曇	雨一時曇 風強く曇のち雨雷 伴う	
3	118	141	82	72	43	05	05	24	109	S	182	87	10	102	—	—	曇一時雨一時晴	雨一時曇混る	
4	50	138	25	81	44	225	65	56	112	W	237	93	09	112	0	—	—	雨一時雪混り一時雷 伴う	雨一時曇混る
5	45	65	26	89	77	170	35	20	44	SE	71	100	—	63	0	—	—	雨一時曇	雨一時曇
6	67	108	41	80	50	80	35	22	45	SE	63	87	39	190	—	—	雨のち晴	雨	
7	65	89	55	91	78	190	40	21	43	ESE	68	100	02	65	—	—	雨一時曇	雨	
8	57	84	38	88	76	270	50	28	78	NW	155	100	10	88	0	—	—	雨	雨一時雷伴う
9	60	97	29	79	43	190	45	29	70	WSW	114	97	31	168	0	—	—	曇一時晴	雨時々あられ混り 一時雷伴う
10	50	77	37	86	70	80	20	22	51	WSW	93	90	22	101	0	—	—	曇時々雨一時晴	曇一時雨のち晴
上旬	74	115	42	81		1270		29				86	244	127	0				
11	80	134	09	66	33	—	—	33	64	S	96	10	87	256	—	—	快 晴	晴のち曇	
12	81	130	12	74	53	280	60	36	71	W	137	100	—	15	0	—	—	雨	風強くみぞれのち 雪
13	10	46	00	85	54	280	35	64	105	WSW	255	100	10	86	23	23	23	雪一時雷伴う	風強く雪雷伴う
14	22	48	06	87	61	390	55	51	109	SW	193	100	03	67	7	26	26	雪、雷伴う	雪、みぞれ、雷伴う
15	30	51	13	83	60	210	40	33	86	WSW	175	100	09	104	2	17	17	雪、みぞれ、一時雷	雨はじめ雪混る
16	29	56	11	89	77	120	35	17	40	SE	60	100	10	129	0	14	14	雨一時曇	雨一時曇
17	31	69	10	88	71	20	10	15	38	SSE	48	83	10	156	—	12	12	曇朝方霧	曇時々晴
18	48	91	19	92	54	75	30	22	51	WSW	80	90	39	141	0	9	9	曇時々雨一時晴	曇時々雨
19	35	68	04	80	59	30	15	25	61	N	108	80	30	160	0	2	2	曇一時雨のち一時晴	晴のち曇一時雪
20	24	58	04	87	64	245	50	32	94	SSW	177	100	—	23	3	3	3	雨のち雪一時雷伴う	曇時々雪
中旬	39	75	09	83		1650		33				86	198	114	35				
21	10	28	05	94	73	150	30	14	71	NNW	117	100	07	113	6	8	8	曇時々雪	曇時々雪
22	16	45	00	92	72	25	20	15	33	SSW	48	87	29	151	1	9	9	曇一時雪のち晴	晴一時霧
23	19	58	-17	86	57	155	35	19	14	SE	83	97	13	58	0	5	5	曇のち雨	みぞれのち雪
24	36	78	05	89	62	385	60	41	122	N	253	100	01	40	4	7	7	みぞれのち雨一時雷	風強く雨一時曇
25	55	87	35	80	54	30	25	28	92	N	206	87	06	133	—	0	0	曇はじめ一時雨	雨一時曇
26	33	60	07	89	51	305	40	28	99	WSW	180	100	—	41	1	1	1	雨又は雪一時雷	雪一時雷
27	13	34	00	82	62	410	40	48	104	WSW	180	100	05	57	26	26	26	風強く雪時々雷	風強く大雪時々雷
28	04	21	-03	87	65	915	100	56	103	WSW	185	100	—	30	49	71	71	大雪時々雷	大雪時々雷
29	02	14	-10	93	88	750	75	31	78	SW	137	100	—	50	60	122	122	大雪一時雷	雪一時曇一時雷
30	11	23	00	93	88	195	35	18	45	SSW	60	87	06	24	10	120	120	雪、みぞれ、一時雷	曇時々雪一時晴
31	11	22	06	94	89	115	20	15	39	SW	68	93	06	65	2	112	112	曇時々雪一時晴	雪のち一時晴
下旬	19	43	03	89		3435		28				96	73	69	159				
月	43	76	17	85		6355		30				89	515	102	194				
平年	56	97	23	83		3371		25				83	707						

1981年1月

要素 日	気温 0.1℃			湿度 1%		降水量 0.1mm		風 0.1m/s			日平均雲量 0.1	日(シヨルゲン)照時間 0.1h	全日射量 MJ/cm ²	降雪の深さ cm	日最深積雪 cm	天気概況		
	平	最	最	平	最	日量 h 0-24	一時間 最大	平均 風速	最10分 風速	大間 風向						最瞬間 風速	昼間	夜間
	均	高	低	均	小							06h ~ 18h	18h ~ 06h					
1	25	64	-08	84	56	05	00	22	89	SSE	126	57	41	80	0	101	曇一時雪のち晴 風強く雨のち曇のち雪 雪時々雷伴う	晴のち曇のち雨 風強く雪一時雷伴う
2	36	68	05	73	40	95	30	53	102	WSW	181	100	19	62	3	86	曇一時雪のち晴 風強く雨のち曇のち雪 雪時々雷伴う	晴のち曇のち雨 風強く雪一時雷伴う
3	16	36	07	86	64	405	65	51	101	SW	187	100	03	23	17	92	曇一時雪のち晴 風強く雨のち曇のち雪 雪時々雷伴う	晴のち曇のち雨 風強く雪一時雷伴う
4	20	45	05	87	44	150	40	31	60	SW	144	90	13	47	3	85	曇一時雪のち晴 風強く雨のち曇のち雪 雪時々雷伴う	晴のち曇のち雨 風強く雪一時雷伴う
5	05	22	00	95	78	725	65	23	75	WNW	150	100	00	07	58	126	曇一時雪のち晴 風強く雨のち曇のち雪 雪時々雷伴う	晴のち曇のち雨 風強く雪一時雷伴う
6	09	24	-02	93	72	420	50	21	84	NW	166	100	03	×	51	163	曇一時雪のち晴 風強く雨のち曇のち雪 雪時々雷伴う	晴のち曇のち雨 風強く雪一時雷伴う
7	13	25	01	90	77	250	30	27	69	NNW	140	93	-	×	9	160	曇一時雪のち晴 風強く雨のち曇のち雪 雪時々雷伴う	晴のち曇のち雨 風強く雪一時雷伴う
8	12	25	00	92	78	45	10	19	38	WSW	58	100	10	67	2	141	曇一時雪のち晴 風強く雨のち曇のち雪 雪時々雷伴う	晴のち曇のち雨 風強く雪一時雷伴う
9	28	50	07	93	74	120	20	19	52	SSW	72	100	05	37	0	137	曇一時雪のち晴 風強く雨のち曇のち雪 雪時々雷伴う	晴のち曇のち雨 風強く雪一時雷伴う
10	23	52	07	82	58	260	35	37	108	WSW	212	100	06	38	1	115	曇一時雪のち晴 風強く雨のち曇のち雪 雪時々雷伴う	晴のち曇のち雨 風強く雪一時雷伴う
上旬	19	41	02	88		2475		30				94	100	45	144			
11	05	25	-01	92	67	525	80	25	82	NNW	180	100	01	19	53	157	曇一時雪のち晴 風強く雨のち曇のち雪 雪時々雷伴う	晴のち曇のち雨 風強く雪一時雷伴う
12	13	40	-03	84	55	265	45	37	94	WSW	190	97	20	61	15	159	曇一時雪のち晴 風強く雨のち曇のち雪 雪時々雷伴う	晴のち曇のち雨 風強く雪一時雷伴う
13	-03	20	-12	95	75	425	45	17	47	N	87	100	00	37	42	184	曇一時雪のち晴 風強く雨のち曇のち雪 雪時々雷伴う	晴のち曇のち雨 風強く雪一時雷伴う
14	04	20	-13	91	55	225	30	22	58	N	119	97	11	63	23	192	曇一時雪のち晴 風強く雨のち曇のち雪 雪時々雷伴う	晴のち曇のち雨 風強く雪一時雷伴う
15	08	40	-19	91	67	80	25	11	38	WSW	54	90	25	83	12	196	曇一時雪のち晴 風強く雨のち曇のち雪 雪時々雷伴う	晴のち曇のち雨 風強く雪一時雷伴う
16	-03	23	-23	86	63	265	55	21	65	N	132	100	-	39	19	191	曇一時雪のち晴 風強く雨のち曇のち雪 雪時々雷伴う	晴のち曇のち雨 風強く雪一時雷伴う
17	-03	17	-25	92	83	85	25	16	31	S	45	90	08	69	9	194	曇一時雪のち晴 風強く雨のち曇のち雪 雪時々雷伴う	晴のち曇のち雨 風強く雪一時雷伴う
18	03	41	-45	84	64	85	25	23	40	SSW	55	100	15	73	1	185	曇一時雪のち晴 風強く雨のち曇のち雪 雪時々雷伴う	晴のち曇のち雨 風強く雪一時雷伴う
19	17	25	05	92	75	105	15	22	50	N	85	100	-	48	1	178	曇一時雪のち晴 風強く雨のち曇のち雪 雪時々雷伴う	晴のち曇のち雨 風強く雪一時雷伴う
20	08	39	-02	87	60	50	25	14	45	WNW	64	90	29	87	6	175	曇一時雪のち晴 風強く雨のち曇のち雪 雪時々雷伴う	晴のち曇のち雨 風強く雪一時雷伴う
中旬	05	29	-14	89		2110		21				96	109	58	181			
21	09	34	-10	85	59	75	25	28	71	N	151	93	29	88	13	184	曇一時雪のち晴 風強く雨のち曇のち雪 雪時々雷伴う	晴のち曇のち雨 風強く雪一時雷伴う
22	-03	18	-27	81	57	45	05	24	68	NNE	130	90	29	86	2	171	曇一時雪のち晴 風強く雨のち曇のち雪 雪時々雷伴う	晴のち曇のち雨 風強く雪一時雷伴う
23	08	46	-17	84	56	45	25	14	34	S	48	57	57	115	7	175	曇一時雪のち晴 風強く雨のち曇のち雪 雪時々雷伴う	晴のち曇のち雨 風強く雪一時雷伴う
24	25	44	-12	81	64	80	10	25	52	SE	88	100	-	40	0	166	曇一時雪のち晴 風強く雨のち曇のち雪 雪時々雷伴う	晴のち曇のち雨 風強く雪一時雷伴う
25	25	54	07	75	57	05	05	38	68	N	117	100	15	87	0	157	曇一時雪のち晴 風強く雨のち曇のち雪 雪時々雷伴う	晴のち曇のち雨 風強く雪一時雷伴う
26	00	10	-19	86	71	35	05	24	56	N	100	100	00	69	2	154	曇一時雪のち晴 風強く雨のち曇のち雪 雪時々雷伴う	晴のち曇のち雨 風強く雪一時雷伴う
27	00	23	-27	86	62	60	10	14	45	N	77	73	37	106	7	155	曇一時雪のち晴 風強く雨のち曇のち雪 雪時々雷伴う	晴のち曇のち雨 風強く雪一時雷伴う
28	-01	35	-35	75	50	10	05	15	33	SSW	54	57	44	101	3	155	曇一時雪のち晴 風強く雨のち曇のち雪 雪時々雷伴う	晴のち曇のち雨 風強く雪一時雷伴う
29	03	40	-34	85	68	80	25	24	55	S	86	100	06	50	1	150	曇一時雪のち晴 風強く雨のち曇のち雪 雪時々雷伴う	晴のち曇のち雨 風強く雪一時雷伴う
30	11	41	-32	73	42	00	10	20	51	N	72	33	87	133	1	149	曇一時雪のち晴 風強く雨のち曇のち雪 雪時々雷伴う	晴のち曇のち雨 風強く雪一時雷伴う
31	03	71	-49	69	41	-	-	17	36	SSW	45	60	85	131	36	147	曇一時雪のち晴 風強く雨のち曇のち雪 雪時々雷伴う	晴のち曇のち雨 風強く雪一時雷伴う
下旬	07	38	-23	80		435		22				78	389	91	361			
月	10	36	-12	85		5020		24				89	598	67				
平年	25	60	-03	82		3249						86	690					

1981年2月

要素 日	気温 0.1℃			湿度 1%		降水量 0.1mm		風 0.1m/s				日平均雲量 0.1	日(ジョルゲン) 照時間 0.1h	全日射量 MJ/cm ²	降雪の深さ cm	日最深積雪 cm	天気概況				
	平	最	最	平	最	日 量 h	一 時 間 最 大	平均 風 速	大間		最 瞬 間 風 速						日 間	降 雪 の 深 さ	日 最 深 積 雪	昼	夜
	均	高	低	均	小				風 速	風 向										06h ~ 18h	18h ~ 06h
1	21	54	-05	76	51	80	15	24	87	W	173	100	-	17	0	145	雨一時雪	曇一時雨のち時々雪			
2	26	48	01	65	45	00	00	32	76	NW	173	100	49	108	0	142	曇時々雪一時晴	曇			
3	17	57	-12	79	51	75	15	27	60	NW	134	100	25	54	1	140	曇のち雨一時雪	曇時々雪			
4	11	37	-12	64	46	10	05	36	71	WNW	146	90	26	84	0	139	曇時々雪一時晴	曇時々雪一時晴			
5	06	45	-36	80	57	15	05	16	46	NW	75	87	38	95	0	139	曇時々雪一時晴	曇一時雪			
6	21	61	-11	75	41	00	00	12	33	NW	42	63	84	131	0	137	晴	晴			
7	12	58	-34	87	56	15	15	13	49	S	64	97	34	104	0	135	曇時々晴のち一時雨	曇のちみぞれのち雪			
8	22	49	08	90	64	60	10	17	48	NNE	80	100	13	72	0	131	曇時々雨一時みぞれ	曇時々雪			
9	23	59	07	92	58	95	25	16	45	SSW	73	100	15	61	0	130	曇のち雨	雨			
10	23	45	07	84	54	145	45	28	66	WSW	182	97	06	40	2	129	曇時々みぞれ又雪	雪			
上旬	18	51	-09	79		495		22				93	290	77	3						
11	21	47	06	80	52	55	10	28	78	WNW	161	100	14	72	5	132	曇時々雪一時晴	曇一時雪のち晴			
12	35	87	-14	74	51	-	-	24	39	SSE	51	77	68	140	0	130	曇時々晴	曇一時晴			
13	46	80	19	74	63	60	20	22	43	S	52	100	-	30	-	124	曇のち雨	雨			
14	47	98	12	89	74	55	30	16	39	NW	74	67	27	82	-	121	曇一時雨のち一時晴	晴のち霧			
15	55	143	-04	80	47	-	-	22	45	SSE	55	47	77	146	-	116	晴一時曇朝方霧	曇一時晴			
16	51	90	28	82	72	15	15	27	61	NNW	110	100	36	93	-	110	曇一時雨一時晴	雨のち雪			
17	12	33	-18	75	56	200	65	67	111	N	215	53	34	108	4	108	風強く曇一時雪のち晴	晴			
18	26	96	-50	73	51	15	10	28	60	SE	94	73	76	125	-	104	晴	曇のち雨			
19	36	63	14	79	53	45	10	27	57	N	117	100	02	44	0	98	曇時々雨朝方一時霧	曇一時晴			
20	12	31	12	67	47	00	00	16	41	WSW	56	100	21	67	0	95	曇一時晴	曇時々雪			
中旬	34	77	-02	77		445		28				101	82	355	91	9					
21	17	44	-15	74	45	25	10	25	65	N	201	80	40	108	1	95	曇時々雪のち晴	晴のち時々曇			
22	18	59	-20	68	53	00	00	09	44	SW	58	60	28	93	0	94	曇一時晴一時雪	晴のち曇			
23	21	38	-02	88	71	140	30	15	54	NW	106	100	-	30	-	94	雨一時曇	曇			
24	38	73	15	81	48	35	15	24	88	WSW	182	100	15	86	0	92	曇時々雨一時晴	曇時々雪一時雨混る			
25	-10	30	-30	81	46	190	40	24	67	N	121	100	-	42	21	109	雪	雪			
26	-33	-06	-49	79	40	145	20	60	124	WSW	224	100	09	76	22	121	風強く雪一時雷	雪			
27	-08	28	-49	74	40	65	10	47	107	NW	202	90	40	120	7	123	風強く雪一時雷のち晴	曇のち雪			
28	-01	30	-43	73	46	10	05	17	45	S	90	40	88	170	4	119	晴一時雪	晴のち曇のち雪			
下旬	05	37	-24	77		610		28				84	220	91	55						
月	20	56	-11	78		1550		26				86	865	86	67						
平年	29	68	-04	80		2032						83	900	80							

1981年 3月

要素 日	気温 0.1℃			湿度 1%		降水量 0.1mm		風 0.1m/s				日平均雲量 0.1	日照時間 (シヨルダシ) 0.1h	全天日射量 0.1MJ/m ²	降雪の深さ cm	日最深積雪 cm	天 気 概 況			
	平	最	最	平	最	日	一	平均	大		最						日	夜		
	均	高	低	均	小	量	時間	風	10	間	瞬								間	間
						h	最大	速	分	風	間									
					0-24			速	風	大	速	大	速							
1	17	45	-18	75	65	00	00	21	56	N	97	100	12	88	0	109	雲のち曇	曇のち一時晴		
2	25	57	-14	61	50	-	-	36	61	N	108	23	104	186	-	106	晴	晴		
3	21	86	-58	73	38	40	15	13	33	SSW	45	90	58	120	-	100	晴のち曇	雨		
4	42	86	15	83	59	30	10	13	32	SSW	46	67	20	88	-	95	雨のち曇一時晴	曇時々晴のち一時雨		
5	34	82	05	77	39	10	05	18	57	NNW	121	67	35	111	-	92	曇一時晴一時雨	曇一時晴一時雨		
6	28	76	-06	79	49	40	20	26	76	W	140	93	26	81	0	89	曇時々雨か雪	みぞれのち雪		
7	42	92	-12	69	31	00	05	28	71	SSE	116	43	98	181	0	88	晴朝方一時霧	晴のち雨		
8	37	74	04	75	55	40	15	22	51	NNW	82	83	66	145	-	84	うす曇朝方一時雨	曇一時晴		
9	32	64	13	89	62	95	25	18	76	WSW	140	100	-	23	-	75	雨一時曇	雨のち雪		
10	21	56	09	83	62	95	40	28	88	WSW	170	93	05	77	0	73	雪一時曇	曇時々晴一時雪		
上旬	30	72	-06	76		350		22				76	424	110	0					
11	27	71	-08	57	31	-	-	24	57	NNE	80	00	107	207	0	73	快 晴	快晴		
12	56	145	-21	53	19	-	-	28	61	SSW	86	00	112	208	-	69	快 晴	晴のち曇		
13	78	129	20	64	49	05	05	24	47	SSW	70	100	-	74	-	63	曇一時雨	曇のち雨		
14	08	158	50	85	63	255	120	27	48	S	73	100	06	64	-	57	曇時々雨	雨		
15	66	111	30	72	50		120	39	79	WSW	215	100	01	44	0	46	雨一時あられ一時曇	雨のち雪一時曇		
16	44	70	17	63	40	05	05	22	64	W	127	93	45	131	0	42	曇一時雪のち時々晴	曇一時雨のち晴		
17	44	96	-06	67	40	-	-	15	33	NNW	50	40	84	174	-	40	晴一時曇	晴		
18	59	131	-09	64	31	-	-	17	39	SSW	59	00	107	211	-	32	快 晴	快 晴		
19	94	183	19	54	26	-	-	25	43	SSW	63	67	91	190	-	25	晴のち曇	曇のち一時雨		
20	01	177	49	65	42	00	00	22	41	SSE	60	53	94	188	-	18	晴	曇		
中旬	68	127	14	64		435		24				55	647	149	0					
21	63	105	40	81	61	35	15	14	33	S	54	100	-	43	-	4	曇のち雨	雨のち曇		
22	75	128	42	84	64	30	25	19	42	N	70	90	21	95	-	-	曇一時晴	曇時々雨		
23	70	109	26	70	44	15	05	31	68	N	110	60	81	171	-	-	曇のち晴	晴のち一時霧		
24	89	155	-08	69	47	00	00	20	67	SSE	115	87	61	154	-	-	晴のち曇朝方一時霧	曇のち雨		
25	144	183	106	69	54	125	25	54	100	SSE	177	100	-	33	-	-	風強く雨一時曇	雨のち曇		
26	83	128	40	72	41	40	15	38	109	W	229	97	43	129	0	-	風強く曇時々雨	雨一時あられ		
27	60	93	26	63	41	10	05	29	63	N	108	60	71	164	0	-	曇のち晴	晴のち曇		
28	54	113	06	67	42	-	-	17	42	N	73	43	92	178	-	-	曇のち晴	晴のちうす曇		
29	76	147	10	68	31	-	-	31	64	N	101	93	89	189	-	-	うす曇	うす曇		
30	73	118	35	62	46	-	-	28	49	WNW	89	67	36	152	-	-	曇一時晴	晴のち曇		
31	48	81	27	81	69	05	05	13	40	SE	64	67	13	49	-	-	曇一時雨のち晴	晴のち曇一時霧		
下旬	76	124	32	71		260		27				79	507	123	0					
月	58	108	14	71		1045		25				70	1578	127	0					
平年	61	110	19	74		1538							1458	119						

(2)敦賀測候所

1980年12月

要素 日	気温 0.1℃			湿度 1%		降水量 0.1mm		風 0.1m/s			日平均雲量 0.1	日照時間 (ジョルダ) 0.1h	降雪の深さ cm	日最深積雪 cm	天 気 概 況			
	平 均	最 高	最 低	平 均	最 小	日 量 h 0-24	一 時 間 最 大	平 均 風 速	最 大 10分 間						最 瞬 間 風 速	日 間 最 大	昼 間 06h ~ 18h	夜 間 18h ~ 06h
									風 速	風 向								
1	108	162	62	73	47	—	—	22	53	N	89	37	53	—	—	晴一時曇	快 晴	
2	133	167	39	69	50	25	15	44	97	SSE	207	67	54	—	—	晴のち曇	雨一時曇	
3	118	146	89	74	63	20	10	28	70	SSE	130	83	—	—	—	曇時々雨	曇一時晴のち雨あら	
4	65	122	34	60	35	80	50	37	72	W	148	47	31	0	—	曇一時雨とあられ のち時々晴	れ混る 晴時々曇	
5	68	113	37	64	46	00	00	17	40	NW	75	97	22	—	—	曇時々雨一時晴	曇時々雨	
6	70	114	22	68	48	00	00	20	39	SSE	74	70	73	—	—	曇のち晴	曇のち雨一時あられ 混る	
7	68	89	55	93	69	285	55	10	46	N	83	100	04	0	—	雨	雨のち曇一時あられ 混り雷を伴う	
8	60	83	39	91	76	470	80	19	56	NW	140	100	04	0	—	大雨一時あられ混る	雨のち曇一時あられ 混り雷を伴う	
9	68	92	39	75	52	15	10	26	61	W	135	100	07	0	—	曇時々晴 雨一時あられ混り雷 を伴う	雨一時あられ混る 曇のち晴	
10	54	89	31	85	61	165	90	21	63	W	151	100	07	0	—			
上旬	81	118	45	75		1060		24				80	255	0				
11	88	119	31	60	37	—	—	42	62	SSE	120	23	87	—	—	快 晴	晴のち曇	
12	80	119	15	71	55	270	70	39	78	WNW	165	87	02	—	—	雨一時曇	晴一時雨、雪	
13	30	59	-01	53	37	00	00	39	69	W	169	93	35	0	0	曇時々雪のち晴	曇のち雪一時雷を伴う	
14	36	75	-01	58	36	90	40	35	78	W	174	77	34	0	0	曇時々雪一時晴	みぞれ時々あられ混 り雷を伴う	
15	44	69	13	78	53	305	90	47	104	NNW	214	100	13	3	3	みぞれ時々あられ混 り雷を伴う	雨のち曇	
16	43	55	29	93	86	60	20	11	27	ESE	55	100	04	0	0	雨一時あられ混る	雨一時曇	
17	59	82	45	93	73	60	30	13	38	SW	74	100	07	—	—	雨一時曇	曇一時雨のち晴	
18	68	88	45	83	60	250	90	26	64	W	126	93	38	—	—	晴のち曇時々雨	雨あられ混り一時曇	
19	49	78	11	79	60	40	25	28	65	NNW	134	73	07	0	—	曇一時雨のち晴	曇一時晴	
20	40	61	19	81	54	80	20	44	79	W	198	100	09	0	—	雨時々あられ・み ぞれ混る	みぞれのち時々あら れ混り一時雷を伴う	
中旬	54	81	21	75		1155		32				85	236	3				
21	29	60	02	86	60	230	35	30	75	NNW	151	97	35	1	1	みぞれ時々あられ混 り一時晴	みぞれ一時あられ混る	
22	32	69	05	85	60	90	30	09	22	NNW	43	70	45	1	1	みぞれのち晴	晴一時曇	
23	32	64	08	79	49	195	35	24	71	SSE	134	100	02	0	—	曇のち雨	雨のちみぞれ	
24	47	83	05	92	74	595	105	45	121	NNW	247	100	—	1	1	雨一時みぞれ雷を 伴う	雨	
25	67	92	33	77	60	25	10	35	102	NNW	216	83	19	—	—	曇時々雨一時晴	曇一時雨のち晴	
26	43	100	00	81	44	415	130	31	75	WNW	167	80	26	6	6	曇時々雨あられ混り 一時晴	大 雪	
27	12	30	-07	73	47	205	75	37	69	WNW	152	97	05	38	42	曇時々雪	雪一時曇	
28	06	32	-18	68	45	30	05	47	80	W	211	100	25	3	37	雪一時曇	曇一時雪	
29	-02	19	-21	77	48	275	65	22	52	W	124	100	—	26	50	大雪	雪雷を伴う	
30	08	35	02	93	76	330	115	09	52	NNW	105	100	—	25	59	大雪雷を伴う	大 雪	
31	08	24	01	96	90	555	50	06	49	NW	135	100	—	16	63	大雪雷を伴う	大 雪	
下旬	26	55	01	82		3545		27				93	157	117				
月	53	84	21	78		5760		28				86	648	120				
平年	67	102	34	75		3356		35				81	802					

1981年1月

要素 日	気温 0.1℃			湿度 1%		降水量 0.1mm		風 0.1m/s				日平均雲量 0.1	日照時間 0.1h	降雪の深さ cm	日最深積雪 cm	天気概況		
	平	最	最	平	最	日	一	平均	最	大	最					昼	夜	
	均	高	低	均	小	量	時間	風速	風向	瞬間	間					間	間	間
						h	最大	速	分	間	風					大	06h ~ 18h	18h ~ 06h
1	33	59	03	77	55	60	25	27	83	SSE	180	97	47	3	58	雨のち晴	曇のち雨	
2	46	67	20	57	37	15	10	37	83	SSE	166	80	66	-	50	晴一時雨	曇のち雪	
3	13	28	-04	71	49	160	45	44	77	W	187	100	-	5	48	雪	大雪、あられ、雷を伴う	
4	14	47	-03	84	57	690	120	26	50	WSW	114	100	04	29	74	雪	大雪	
5	08	30	-08	79	62	300	80	33	80	NW	196	100	19	17	79	大雪	大雪、雷を伴う	
6	11	35	-11	83	66	510	100	31	78	W	185	100	04	43	111	雪、雷を伴う	雪	
7	23	45	09	86	58	185	45	58	94	NNW	193	100	17	4	103	雪時々あられまじる	雪みぞれ一時曇時々あられまじる	
8	39	60	15	71	47	15	10	28	71	NNW	129	97	19	0	93	みぞれ時々曇	曇	
9	38	70	14	73	53	00	00	10	29	SSE	53	97	23	-	84	曇一時晴	曇時々雨	
10	30	63	04	70	49	20	05	36	80	W	178	97	24	1	78	曇時々雪一時雨	雪、雷を伴う	
上旬	26	50	04	75		1955		33				97	223	102				
11	00	15	-15	90	66	770	130	28	78	W	161	100	-	58	125	大雪一時雷を伴う	雪	
12	03	28	-13	87	87	315	40	29	74	NW	157	100	02	30	138	雪	大雪一時雷を伴う	
13	-02	09	-11	96	83	760	80	23	63	WSW	152	100	-	57	173	大雪	大雪、あられまじり雷を伴う	
14	10	27	-01	84	58	425	65	31	69	NW	132	90	08	38	189	雪一時曇あられ伴う	大雪	
15	07	25	-02	90	74	255	60	10	42	SSE	81	100	25	21	196	曇時々雪一時晴	曇時々晴一時雪	
16	06	22	-23	89	67	135	25	24	72	NNW	147	100	-	7	185	雪	雪、あられ	
17	05	28	-29	90	68	200	35	24	66	N	129	97	08	12	187	雪、あられ	雪のち晴	
18	10	34	-55	81	62	-	-	22	52	SE	95	93	31	1	185	晴のち曇	曇のち雨	
19	16	40	-10	89	72	75	45	15	60	NNW	108	100	-	0	174	雨、みぞれ	雪一時曇	
20	09	31	-04	91	67	145	30	09	43	NNW	75	100	10	5	172	雪一時曇	雪	
中旬	06	26	-16	89		3080		22				98	84	229				
21	11	27	00	90	71	225	35	31	84	N	163	100	05	12	176	雪時々あられみぞれ	雪	
22	04	21	-13	73	64	60	15	43	72	N	200	93	21	8	176	雪一時曇	雪時々曇	
23	27	46	-04	70	52	10	05	23	50	NNW	94	63	22	2	172	曇一時雪	曇一時晴	
24	28	43	18	87	68	120	20	24	56	SSE	127	100	-	0	165	雨一時みぞれ	雨のち曇	
25	38	55	19	71	53	10	05	47	93	NNW	159	100	02	-	152	曇	曇のち雪	
26	12	22	04	71	59	00	00	51	70	N	127	100	12	0	142	雪	曇のち雪	
27	13	38	-08	81	51	90	20	42	66	N	126	93	41	5	143	雪時々晴	雪一時曇	
28	08	32	-21	71	53	15	05	33	71	N	127	60	32	3	144	雪のち曇	晴のち曇	
29	23	55	-21	73	50	50	15	23	62	NNW	142	97	25	0	140	雪一時晴のちみぞれ	曇時々雪	
30	21	46	-22	63	41	00	05	35	67	N	118	60	82	0	139	晴一時曇	晴	
31	20	75	-41	68	44	-	-	09	26	SSE	43	73	85	-	133	晴一時曇	晴のち曇一時みぞれ	
下旬	19	42	-08	74		580		33				85	327	30				
月	17	39	-07	79		5615		29				93	634	361				
平年	40	71	10	75		3212		32				86	780					

1981年 2月

要素 日	気温 0.1℃			湿度 1%		降水量 0.1mm		風 0.1m/s				日平均雲量 0.1	日照時間(シヨルゲン) 0.1h	降雪の深さ cm	日最深積雪 cm	天 気 概 況	
	平 均	最 高	最 低	平 均	最 小	日 量 h 0-24	一 時間最大	平均 風速	最 大		最 瞬 間 風 大 速					昼 間 06h ~ 18h	夜 間 18h ~ 06h
									10 分	大 間							
1	34	57	19	79	53	95	50	34	89	WNW	198	100	-	0	130	みぞれのち雨	雨一時みぞれのち曇
2	28	50	01	64	43	00	00	47	89	N	172	87	36	0	127	曇時々雪一時晴	曇
3	30	60	01	67	52	20	15	31	77	NNW	160	100	31	0	123	曇一時雨	雨のちみぞれのち雪
4	14	37	-06	68	46	60	10	50	92	NNW	163	87	30	4	123	雪一時晴	雪時々曇
5	15	39	-11	82	64	00	00	13	45	NNW	112	100	09	1	123	曇時々雪	曇一時晴
6	26	67	-08	72	43	00	00	12	33	N	54	77	66	0	121	晴一時曇	晴
7	13	34	-31	86	68	180	85	12	47	NW	103	90	06	0	119	晴のちみぞれ	みぞれのち雪一時曇
8	37	55	09	75	63	125	90	18	41	NW	85	100	07	1	118	雪のち雨一時みぞれ	雨一時みぞれ
9	35	63	15	85	60	180	35	14	37	N	70	97	29	0	114	曇時々雨	雨一時あられまじる
10	32	58	06	76	49	125	40	24	60	NW	147	87	07	0	111	雨時々曇一時みぞれ	雪一時雨雷を伴う
上旬	26	52	00	75		785		26				93	221	6			
11	23	45	-01	75	61	115	25	38	76	NW	172	90	15	3	110	雪、雷を伴う	晴一時みぞれ、あられ
12	44	75	-15	65	45	-	-	24	49	SSE	92	90	68	-	108	晴のち曇	曇
13	68	87	36	61	45	55	25	27	51	SSE	103	100	-	-	105	曇時々雨	雨
14	59	111	09	88	68	55	20	17	50	NNW	91	67	23	-	97	曇一時雨	快晴
15	74	134	-02	75	53	-	-	26	69	SSE	113	63	65	-	94	晴のち曇	曇
16	64	109	39	85	72	20	15	25	58	NNW	99	97	24	-	85	曇一時晴	曇のち雨、みぞれ
17	20	40	-08	75	57	215	55	58	102	NNW	188	93	10	1	75	みぞれのち曇	晴一時曇
18	40	89	-34	72	48	00	00	33	82	S	150	80	60	-	72	晴時々曇	曇のち雨
19	46	77	21	77	53	60	20	44	82	NNW	140	100	06	-	67	雨時々曇	曇
20	22	38	07	59	47	00	00	20	64	N	113	100	24	0	61	曇	曇時々みぞれ
中旬	46	81	05	73		520		31				88	295	4			
21	34	52	05	63	47	25	15	35	64	N	123	90	37	0	60	曇時々みぞれ	晴時々曇
22	30	65	-07	73	52	00	00	10	46	SSE	94	97	42	0	58	曇一時雪	曇時々晴
23	49	61	29	78	40	210	50	22	61	SSE	121	73	-	-	55	雨	晴のち曇
24	44	72	16	80	58	45	20	25	75	WNW	163	100	08	0	54	曇時々雨	みぞれのち雪
25	-01	29	-29	86	49	355	60	35	87	W	173	100	16	33	79	雪	大雪
26	-37	-08	-60	81	52	190	55	58	86	W	215	100	08	23	88	雪	雪
27	-08	20	-46	69	44	55	15	51	96	NW	205	100	18	3	85	雪一時雷を伴う	雪
28	-02	27	-31	82	58	45	15	10	34	SSE	53	40	96	10	86	晴一時雪	晴のち曇
下旬	14	40	-15	77		925		31				88	225	69			
月	30	59	-03	75		2230		29				89	741	79			
平年	42	76	10	74		2163		32				84	935				

1981年 3月

要素 日	気温 0.1℃			湿度 1%		降水量 0.1mm		風 0.1m/s			日平均雲量 0.1	日照時間 (ソ ロ ゲ ン) 0.1h	降雪の深さ cm	日最深積雪 cm	天 気 概 況				
	平 均	最 高	最 低	平 均	最 小	日 量 0-24	一 時 間 最 大	平 均 風 速	大 間						最 瞬 間 風 大 速	昼 間	夜 間		
									最 10 分 風 速	風 向								06h ~ 18h	18h ~ 06h
1	20	38	-08	80	62	00	00	19	54	N	90	100	-	0	75	雪のち曇一時雨	曇のち晴		
2	27	65	-16	62	47	-	-	27	47	N	83	10	97	-	70	晴	快晴		
3	34	89	-40	74	45	50	20	19	63	SSE	128	67	37	-	62	晴のち曇一時雨	雨		
4	48	85	15	91	75	40	15	06	26	N	42	73	02	-	56	雨のち曇	晴のち雨		
5	45	91	08	82	52	60	35	20	59	NNW	110	80	38	-	52	雨一時晴	曇時々晴一時雨		
6	36	67	00	74	54	20	15	21	66	NW	140	70	12	0	49	晴のち曇時々雨	雨のち雪一時晴		
7	46	84	-05	69	38	25	20	31	75	SSE	150	43	102	1	48	晴	晴のち曇		
8	54	85	18	73	53	-	-	19	37	NNW	73	80	63	-	42	晴時々曇	晴のち曇		
9	63	81	26	87	51	70	20	17	63	W	128	100	05	-	34	雨のち曇	雨時々曇		
10	29	58	11	81	57	75	15	42	69	N	126	100	09	0	29	みぞれ	雪のち晴		
上旬	40	74	01	77		340		22				72	365	1					
11	37	74	-01	55	32	00	00	32	59	N	105	00	108	0	28	快晴	快晴		
12	79	134	01	46	33	-	-	25	56	SE	105	00	109	-	23	快晴	晴のち曇		
13	114	136	52	57	48	05	05	30	53	S	107	100	-	-	16	曇一時雨	雨一時曇		
14	129	148	103	83	73	85	35	40	78	S	152	100	18	-	4	雨時々曇 雨一時曇	雨時々曇一時 あられまじる		
15	70	130	34	79	51	180	55	39	86	WNW	186	100	02	0	-				
16	55	77	20	63	43	15	10	44	71	N	145	70	45	-	-	曇時々晴一時雨	曇のち晴		
17	65	102	22	60	34	-	-	18	45	N	73	47	98	-	-	晴	晴		
18	75	122	10	68	47	-	-	16	47	N	69	00	111	-	-	快晴	快晴		
19	135	186	78	43	38	-	-	25	53	SE	114	100	85	-	-	晴のち曇	曇のち雨		
20	113	165	68	73	45	00	00	17	42	NNW	64	67	95	-	-	晴	曇		
中旬	87	127	39	63		785		29				58	671	0					
21	89	133	61	87	56	115	60	11	51	SSE	99	100	-	-	-	曇のち雨	雨一時曇		
22	90	120	67	86	67	65	60	17	40	NW	75	100	07	-	-	曇	曇のち雨		
23	82	114	49	75	47	15	10	31	64	NNW	106	43	63	-	-	曇一時雨のち晴	快晴		
24	99	156	13	68	49	00	00	28	66	SSE	127	93	70	-	-	晴のち曇	曇のち雨		
25	144	167	114	85	77	115	35	56	108	SSE	240	100	-	-	-	雨	雨のち曇		
26	88	153	45	70	46	55	30	36	71	NW	163	83	14	0	-	曇時々雨	雨一時あられまじる		
27	60	89	40	71	44	100	35	44	76	NNW	164	70	73	0	-	雨のち晴	晴のち曇		
28	56	98	19	66	46	-	-	16	42	N	62	83	88	-	-	晴一時曇	晴		
29	77	126	12	69	40	-	-	24	62	NNW	93	87	75	-	-	晴のち曇	曇時々晴		
30	72	104	33	69	54	-	-	26	47	NNW	87	67	36	-	-	曇	晴のち曇		
31	54	82	28	87	77	65	25	08	25	SSE	41	70	-	-	-	雨時々曇	晴のち曇		
下旬	83	122	44	76		530		27				81	426	0					
月	70	108	28	72		1155		26				71	1462	1					
平年	70	111	31	70		1706		32				76	1514						

8. 日降水量表 (mm)

1980年12月

1981年1月

観測所 日	1980年12月										観測所 日	1981年1月											
	三 国	越 廼	福 井	美 山	勝 山	大 野	今 庄	敦 賀	美 浜	川 上		小 浜	三 国	越 廼	福 井	美 山	勝 山	大 野	今 庄	敦 賀	美 浜	川 上	小 浜
1	2		1	1	1						1		3	1	21	13	1	2	5	1			
2	2	4	5	4	3	3	6	3	1	1	2	9	13	13	44	10	9	1	2		1	1	
3	1	3		3	2	4	2	2	1		3	6	17	40	35	68	70	26	12	3			
4	18	13	23	20	27	37	20	8	3	2	4	1	5	14	30	20	24	28	62	32	4	8	
5	9	13	17	11	15	16	10				5	27	42	72	67	54	55	61	30	6			
6	29	9	8	2	3	2	3				6	16	27	35	×	×	×	×	59	26			
7	18	15	19	11	11	9	20	28	10	2	7	3	8	20	×	×	×	×	16	22	6	21	
8	23	21	27	24	19	24	71	47	11	2	8	5	4	4	×	×	×	×	1	1	1	1	
9	26	14	19	18	20	26	32	2			9	4	4	12	×	×	×	×					
10	1	6	7	8	15	14	34	16	2		10	5	14	26	×	×	×	×	2				
上旬計	129	98	126	102	116	135	198	106	28	7	11	76	137	237	×	×	×	×	189	91	12	31	
11			1		1		1				11	16	20	52	×	×	×	×	41	60	25	10	17
12	18	18	28	33	30	37	42	27	18	12	12	6	4	21	×	×	×	×	33	17	4	4	
13	6	29	28	22	37	26	4				13	7	12	44	×	×	×	×	19	67	70	6	13
14	8	34	39	50	64	64	16	8	5	1	14	3	7	17	×	×	×	×	81	×	5	9	
15	10	9	21	38	16	26	19	25	30	9	15	5	4	7	×	×	×	×	22	×	2	2	
16	12	10	12	13	7	8	17	7			16	3	8	22	×	×	×	×	12	×	22	20	
17	3	5	2	1	1	3	17	6	21	2	17	3	6	7	×	×	×	×	33	×	1	9	
18	6	4	7	5	13	11	24	25	2	1	18	8	5	7	×	×	×	×					
19	10		3	2	9	1	1	4	6	18	19	5	9	8	×	12	10	28	14	×	12	12	
20	10	13	25	26	26	27	26	8	4	23	20	14	9	5	×	3	2	4	34	×	6	15	
中旬計	83	122	166	190	204	203	167	110	86	66	61	70	84	190	×	×	×	×	356	×	68	101	
21	13	12	15	12	6	6	14	20	13	1	21	6	9	5	×	9	5	20	45	26	14	13	
22	10	5	2	2	2	1	3	7	7	2	22	4	4	3	×	7	5	×	10	2	10	8	
23	19	34	16	10	9	12	21	19	17	10	23	3	1	3	×	3	3	×	1	2		2	
24	29	26	38	52	64	55	92	60	46	10	24	5	7	8	×	12	16	15	14	10	10	10	
25	6	4	4	4	4	4	2	2	12	8	25	5	4	1	1	1	1	1			25	9	
26	17	17	30	28	37	30	29	18	9	1	26	2	4	2	1	1			1	5	38	19	
27	9	24	41	43	58	62	43	42	5	1	27	1	4	5	×	3	2	3	7	4	5	3	
28	11	46	92	66	75	115	10	2			28	1	1			1					1		
29	23	×	75	29	12	74	55	27	10	1	29	4	1	8	×	17	20	8	5	5		5	
30	12	×	16	28	26	30	26	79	78	5	30				×	2	2	1	1	1	7	2	
31	13	20	9	25	19	4	21	53	36	1	31												
下旬計	162	188	338	299	312	393	316	329	233	40	112	31	35	35	×	56	54	48	85	55	110	71	
月計	374	408	630	591	632	731	681	545	347	113	184	177	256	462	×	×	×	×	630	258	190	203	

1981年2月

1981年3月

観測所 日	1981年2月											観測所 日	1981年3月										
	三 国	越 廻	福 井	美 山	勝 山	大 野	今 庄	敦 賀	美 浜	川 上	小 浜		三 国	越 廻	福 井	美 山	勝 山	大 野	今 庄	敦 賀	美 浜	川 上	小 浜
1	3	7	8	×	14	13	10	10	6	5	5	1	1			1	2	1				1	1
2	1	1			3	3	2		1	2		2											
3	3	1	7	3	11	12	6	1	5	5	3	3	4	5	4	3	1	3	3	5	6	11	8
4	1	2	1	1	13	7	6	6	5	3	4	4	2	6	4	3	3	2	6	4	6	1	3
5	2	2	1		1				2	1	4	5	1		1	4	2	4	4	6	4	7	9
6												6	11	1	4		3	2					
7	2	3	2				16	17	13	5	2	7	3			1							
8	5	5	4	5	11	10	25	11				8		3	4	3	2	3					
9	5	2	10	11	10	13	22	16	11	2	8	9	9	6	9	8	12	11	6	7	5	7	5
10	3	4	14	9	21	14	23	12	7	1	2	10	7	7	10	5	4	4	5	7	3	19	8
上旬計	25	27	47	29	84	72	110	73	50	24	28	上旬計	38	28	36	26	29	31	25	34	30	46	34
11	5	4	4	11	15	16	22	10	11	10	10	11					1	1					
12						1						12											
13	7	6	6	7	7	4	6	5	5	4	5	13		1						1		3	1
14	2	4	5	4	3	5	6	6	3	3	3	14	6	22	26	19	24	25	12	8	2	12	3
15			1								1	15	5	6	17	20	27	44	28	18	8	15	9
16	1	2	1	2	3	3	3	2	2	9	3	16		1		2	2	4					
17	9	21	20	19	16	21	11	21	15	48	26	17								2			
18		2	2	1								18											
19	2	5	4	7	8	9	7	6	6	4	5	19											
20	1	2			2	1						20							1				1
中旬計	27	46	43	51	54	60	55	50	42	78	53	中旬計	11	30	43	41	53	74	42	29	10	31	13
21	1	2	3	2	4	3	2	3	2	1		21		3	4	4	1	4	9	12	10	20	16
22												22		1	3	6	10	12	7	6	6	9	7
23	9	15	14	12	16	15	15	21	22	26	18	23	1	1	1	1	1	2	1	1			
24	2	2	3	2	4	6	5	4	3	4	2	24										1	
25	16	17	19	17	14	23	19	29	15	5	8	25	7	13	13	15	14	23	10	12	1	3	2
26	6	6	19	24	×	40	×	16	3	3	5	26		3	4	8	5	17	9	5	1	1	
27	1	5	8	18	×	22	×	4	7	6	7	27	1	1	1	3	2	4	5	10	4	2	5
28	1	1		6	1			3	2			28											
29												29											
30												30											
31												31			1	1	4	5	7	5	4		7
下旬計	36	48	66	81	×	109	×	80	54	45	40	下旬計	9	22	26	38	34	66	46	53	27	40	37
月計	88	121	156	161	177	241	206	203	146	147	121	月計	58	80	105	105	116	171	113	116	67	117	84

9. 積雪・降雪表

(1)積雪の深さ(9時) cm

1980年12月

1981年1月

観測所 日	1980年12月													1981年1月													
	三 国	越 廼	福 井	美 山	勝 山	大 野	今 庄	敦 賀	美 浜	川 上	小 浜	北 谷	春 江	観測所 日	三 国	越 廼	福 井	美 山	勝 山	大 野	今 庄	敦 賀	美 浜	川 上	小 浜	北 谷	春 江
1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	1	31	16	101	155	170	162	111	58	31	-	15	265	48
2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	2	22	7	85	130	155	148	93	50	24	-	11	240	37
3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	3	15	16	92	145	175	165	86	46	20	9	8	260	45
4	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0	4	12	12	85	132	182	177	101	72	37	12	16	270	42
5	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	5	28	30	110	172	230	209	125	78	40	7	0	305	63
6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	6	40	12	163	245	245	224	183	111	65	5	0	350	95
7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	7	45	7	160	260	230	228	189	103	60	13	1	360	90
8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	8	37	0	141	250	230	227	193	93	51	6	10	360	84
9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	9	33	0	137	220	210	206	177	84	46	0	7	330	74
10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	10	24	0	114	173	190	206	162	78	42	-	5	315	60
11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	11	40	2	145	198	230	225	172	106	54	0	0	360	84
12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	12	38	3	154	210	240	235	203	128	66	25	27	400	91
13	3	-	5	8	12	1	-	-	-	-	-	26	7	13	43	4	172	225	240	248	213	157	105	42	33	425	90
14	0	-	26	36	45	34	2	0	-	-	-	82	20	14	48	10	192	250	265	255	227	181	126	51	47	450	102
15	-	-	17	33	43	39	1	3	4	5	-	105	19	15	51	10	196	230	270	258	231	196	133	45	41	430	114
16	-	-	14	28	32	28	0	0	0	0	-	105	16	16	45	7	187	210	250	244	215	184	125	40	39	400	103
17	-	-	12	24	25	23	-	-	-	-	-	100	12	17	46	9	194	235	265	247	223	187	120	40	38	395	107
18	-	-	9	18	21	21	-	-	-	-	-	87	10	18	44	0	185	215	260	237	216	185	115	33	36	380	104
19	-	-	2	14	15	19	-	-	-	-	-	78	2	19	42	-	178	210	260	244	213	174	108	28	34	400	98
20	-	-	0	12	14	18	1	-	-	-	-	69	0	20	45	-	175	200	250	232	208	172	104	33	36	370	96
21	2	-	7	28	26	24	9	1	0	3	-	100	7	21	54	7	184	210	245	228	209	176	115	33	44	350	116
22	4	-	9	28	30	22	5	1	1	0	1	105	8	22	51	7	170	210	250	228	217	176	109	46	46	370	101
23	2	-	5	23	25	23	1	0	0	-	0	90	2	23	56	5	175	205	240	225	213	172	105	41	48	365	107
24	0	-	7	30	40	35	17	1	0	-	-	115	4	24	50	2	166	200	227	217	203	165	100	35	44	340	97
25	-	-	0	21	41	31	10	0	-	-	-	118	0	25	50	0	157	195	220	213	191	152	89	30	36	325	87
26	-	-	-	19	28	28	7	-	-	-	-	98	-	26	47	-	154	190	215	205	184	142	91	37	39	315	89
27	1	0	7	35	55	57	60	42	19	-	-	137	6	27	43	1	155	195	220	203	181	143	96	50	48	325	92
28	4	3	39	76	105	107	73	37	15	-	-	190	18	28	41	2	155	197	215	201	182	144	92	50	45	320	92
29	22	12	104	155	200	184	88	31	8	-	-	280	40	29	40	0	150	195	210	203	178	140	89	47	42	310	89
30	29	33	120	200	250	204	125	51	20	6	10	310	65	30	38	-	149	195	235	219	180	139	86	47	39	335	89
31	31	25	116	170	170	178	116	63	36	0	21	300	56	31	36	-	147	193	215	210	177	133	85	41	36	325	85

1981年 2月

1981年 3月

観測所 日	1981年 2月														観測所 日	1981年 3月													
	三 国	越 廻	福 井	美 山	勝 山	大 野	今 庄	敦 賀	美 浜	川 上	小 浜	北 谷	春 江	三 国		越 廻	福 井	美 山	勝 山	大 野	今 庄	敦 賀	美 浜	川 上	小 浜	北 谷	春 江		
1	36	-	145	190	215	207	175	130	82	40	37	317	84	1	25	29	109	171	210	206	180	75	44	10	4	345	16		
2	34	-	142	190	215	206	173	127	78	37	34	325	84	2	22	21	106	164	205	199	176	70	38	8	3	330	15		
3	33	-	140	188	210	204	173	123	76	35	30	320	79	3	5	14	100	158	200	191	169	62	29	2	0	310	7		
4	30	1	139	185	220	211	178	121	82	44	33	345	74	4	0	4	95	154	192	181	163	56	24	0	-	290	3		
5	26	0	139	184	225	205	181	123	82	42	33	356	74	5	-	0	92	149	188	179	160	52	20	-	-	280	3		
6	24	-	137	183	215	203	174	121	78	37	33	330	74	6	-	-	89	144	183	180	157	49	17	-	-	283	3		
7	22	-	135	182	208	200	171	119	75	33	31	320	70	7	-	-	88	142	180	179	155	48	15	-	-	279	1		
8	18	-	131	184	210	203	175	118	72	32	27	320	69	8	-	-	84	138	180	175	152	42	10	-	-	278	0		
9	15	-	130	185	205	204	182	114	69	25	24	325	65	9	-	-	75	134	170	170	147	34	6	0	-	265	-		
10	13	-	129	180	210	202	180	111	66	23	20	315	63	10	2	-	73	131	170	168	144	29	3	0	-	267	1		
11	13	-	132	183	230	217	201	110	65	33	25	370	69	11	0	-	73	131	168	166	145	28	0	-	-	267	0		
12	11	-	130	183	220	209	193	108	63	31	24	365	64	12	-	-	69	127	165	163	143	23	-	-	-	265	-		
13	9	-	124	180	210	202	185	105	60	24	16	340	55	13	-	-	63	121	158	157	137	16	-	-	-	255	-		
14	4	-	121	175	210	200	180	97	54	20	11	325	48	14	-	-	57	112	155	150	129	4	-	-	-	250	-		
15	0	-	116	173	208	195	176	94	51	18	6	315	43	15	-	-	46	96	150	139	118	0	-	-	-	236	-		
16	-	-	110	165	200	186	167	85	44	10	0	305	34	16	-	-	42	93	150	137	113	-	-	-	-	260	-		
17	1	1	108	168	195	192	175	75	39	15	-	310	34	17	-	-	40	89	140	135	111	-	-	-	-	253	-		
18	0	0	104	163	190	187	166	72	36	14	-	300	30	18	-	-	32	84	130	127	106	-	-	-	-	250	-		
19	-	-	198	155	185	182	161	67	30	10	-	288	24	19	-	-	25	74	125	126	100	-	-	-	-	248	-		
20	-	-	95	152	183	180	157	61	27	6	-	283	21	20	-	-	18	65	116	120	92	-	-	-	-	245	-		
21	-	-	95	151	180	184	159	60	25	5	-	280	20	21	-	-	4	60	110	116	85	-	-	-	-	240	-		
22	-	-	94	145	180	179	157	58	23	0	-	272	17	22	-	-	0	54	105	112	80	-	-	-	-	235	-		
23	-	-	94	143	175	177	155	55	20	0	-	270	16	23	-	-	-	49	100	108	74	-	-	-	-	230	-		
24	-	-	92	140	173	175	152	54	16	0	-	268	15	24	-	-	-	45	85	103	67	-	-	-	-	220	-		
25	0	3	97	154	180	180	159	62	31	7	2	276	16	25	-	-	-	32	65	93	51	-	-	-	-	205	-		
26	32	32	121	182	210	209	187	81	45	3	5	305	34	26	-	-	-	21	53	87	42	-	-	-	-	200	-		
27	33	38	123	188	235	223	192	85	53	21	6	365	27	27	-	-	-	21	50	84	40	-	-	-	-	201	-		
28	24	39	119	183	222	214	186	86	58	18	11	355	25	28	-	-	-	20	45	78	34	-	-	-	-	195	-		
														29	-	-	-	18	42	75	30	-	-	-	-	190	-		
														30	-	-	-	16	40	70	22	-	-	-	-	187	-		
														31	-	-	-	14	35	67	18	-	-	-	-	185	-		

(2)降雪の深さ(当日9時~翌日9時) cm

1980年12月

1981年1月

観測所 日	1980年12月										観測所 日	1981年1月									
	三 国	越 廼	福 井	美 山	勝 山	敦 賀	美 浜	川 上	北 谷	春 江		三 国	越 廼	福 井	美 山	勝 山	敦 賀	美 浜	川 上	北 谷	春 江
1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	0	0	-	-	-	0	-
2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0	16	17	25	34	1	0	9	51	12
3	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	5	17	30	28	18	4	43	1
4	-	-	0	-	-	-	-	-	22	-	4	16	30	30	40	55	12	12	1	60	22
5	-	0	-	-	-	-	-	-	1	-	5	18	7	73	82	65	48	29	1	70	40
6	-	-	-	-	-	0	-	-	0	-	6	12	0	14	52	25	6	7	10	42	9
7	-	-	0	0	0	-	0	-	1	-	7	0	0	4	19	20	3	1	1	30	3
8	0	-	0	0	0	0	0	0	7	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
9	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	9	0	0	0	1	7	0	0	0	23	0
10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	20	2	31	45	45	31	13	1	80	25
上旬	0	3	0	0	0	0	0	0	41	0	上旬	71	55	174	281	281	129	80	27	400	112
11	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	11	4	1	27	29	40	40	20	25	84	16
12	0	0	5	8	12	0	-	-	21	7	12	5	1	30	38	30	48	49	28	60	15
13	3	0	24	35	38	0	0	0	61	18	13	5	6	39	46	35	48	41	23	60	20
14	0	0	3	13	15	3	4	5	43	2	14	9	2	19	23	32	38	22	8	25	20
15	0	0	0	4	5	0	0	0	11	0	15	0	1	7	14	1	3	6	10	2	5
16	0	-	-	0	-	0	0	-	2	0	16	1	2	20	30	20	10	6	11	30	7
17	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	17	1	0	1	1	3	7	3	0	5	1
18	0	-	0	0	0	0	-	-	4	0	18	0	0	2	3	20	0	0	0	30	1
19	0	-	0	0	0	-	-	-	3	0	19	4	0	0	1	0	1	3	7	0	0
20	2	0	8	19	14	1	0	3	35	7	20	17	7	19	14	10	12	18	5	16	22
中旬	5	0	40	79	84	4	4	8	180	34	中旬	46	20	164	199	191	207	168	117	312	107
21	4	-	2	6	6	1	1	0	11	3	21	1	3	1	6	20	9	3	20	44	1
22	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	22	5	0	8	16	13	4	2	5	25	8
23	0	-	4	10	18	1	0	0	35	3	23	-	-	0	0	0	0	0	-	0	-
24	0	-	0	0	6	0	-	-	10	0	24	0	-	0	-	0	0	0	-	0	-
25	0	-	-	0	0	-	-	-	7	-	25	1	-	2	1	0	0	2	12	2	2
26	1	0	8	14	27	44	19	1	55	6	26	2	1	5	8	5	3	6	17	13	4
27	4	3	34	54	59	3	1	0	70	14	27	1	1	5	10	5	5	0	4	8	5
28	18	10	67	80	100	1	0	0	110	25	28	0	0	1	2	3	0	0	0	2	2
29	7	33	35	65	64	35	15	6	70	30	29	0	0	1	4	25	0	0	6	29	2
30	6	4	3	8	10	28	22	0	10	4	30	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
31	5	2	1	2	0	6	2	0	1	1	31	-	-	0	-	0	0	-	1	0	-
下旬	45	52	154	239	290	119	60	7	379	86	下旬	10	5	23	47	71	21	13	65	123	24
計	50	55	194	318	374	123	64	15	600	110	月	127	80	361	527	543	357	261	209	835	243

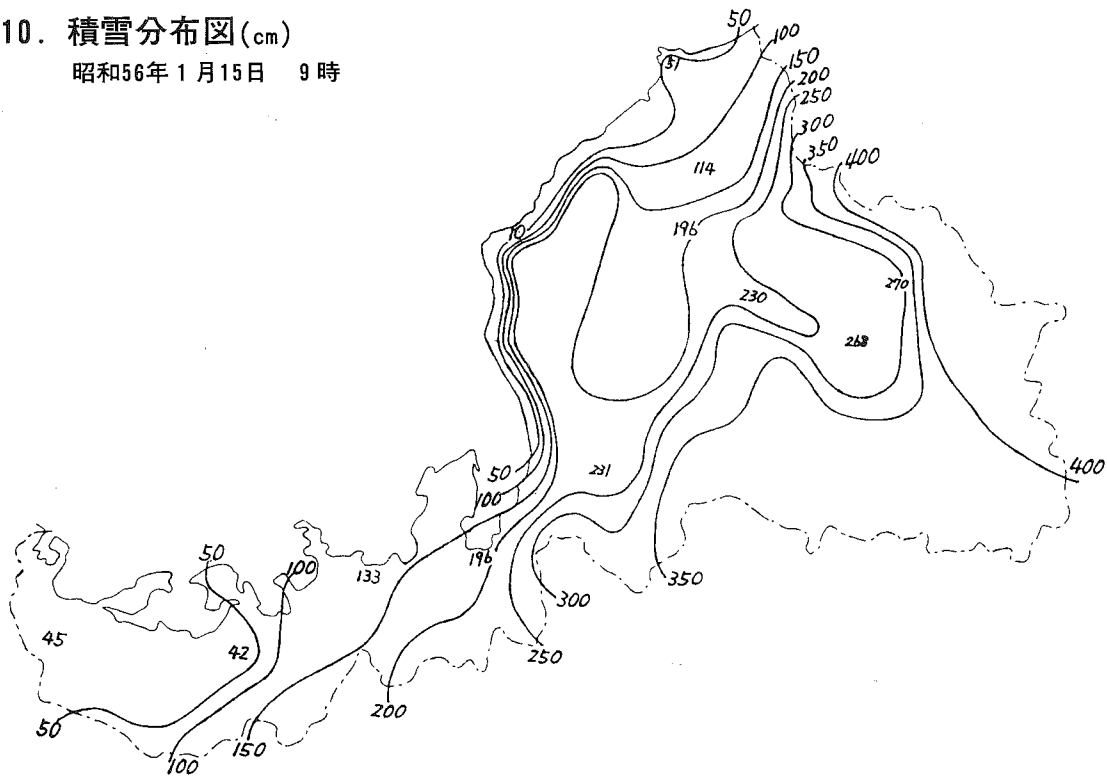
1981年2月

1981年3月

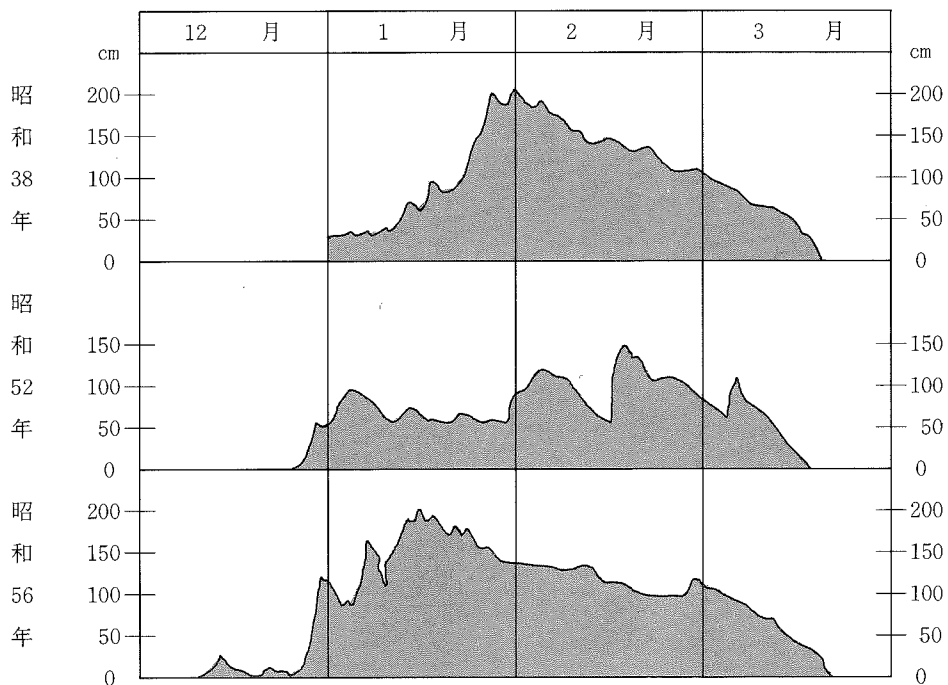
観測所 日	三	越	福	美	勝	敦	美	川	北	春	観測所 日	三	越	福	美	勝	敦	美	川	北	春
	国	廻	井	山	山	賀	浜	上	谷	江		国	廻	井	山	山	賀	浜	上	谷	江
1	0	0	0	2	5	0	0	0	20	0	1	0	—	0	—	—	—	0	0	—	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	1	1	1	3	15	2	6	10	35	0	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	0	0	0	0	5	3	1	3	16	0	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	5	0	0	0	—	1	—	—	—	8	2
6	0	—	—	0	0	—	0	—	0	—	6	0	—	0	—	—	1	1	—	3	0
7	0	0	0	3	5	1	1	0	8	0	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	0	0	0	2	2	0	0	0	16	0	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	0	0	1	0	6	0	0	—	10	1	9	2	0	0	0	0	0	0	0	7	1
10	3	0	6	9	25	2	4	11	55	7	10	0	—	0	0	2	0	0	0	5	0
上旬	5	1	8	19	64	8	12	24	160	8	上旬	2	0	0	0	3	1	1	0	23	3
11	0	—	0	0	1	1	0	3	8	0	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15	0	—	0	0	7	0	—	0	29	0
16	1	1	4	8	8	1	1	6	13	3	16	—	—	0	0	—	—	0	—	0	0
17	0	—	—	—	—	0	—	0	0	—	17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18	—	—	—	—	0	—	—	—	0	0	18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
19	—	—	—	—	0	—	—	0	0	—	19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20	—	—	1	3	5	0	0	0	12	2	20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中旬	1	1	5	11	14	2	1	9	33	5	中旬	0	—	0	0	7	0	0	0	29	0
21	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0	21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22	—	—	0	0	0	—	—	—	0	0	22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
23	—	—	—	0	0	—	—	—	0	—	23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
24	0	3	6	15	10	10	17	7	15	3	24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
25	32	32	28	35	38	31	24	1	40	27	25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26	2	6	16	24	35	17	9	21	68	1	26	0	—	0	0	0	0	—	—	7	—
27	2	2	4	11	15	11	9	4	15	3	27	0	—	0	0	0	—	—	—	—	—
28	2	0	0	0	7	0	0	0	5	1	28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
下旬	38	43	54	85	105	69	59	33	143	35	下旬	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
月	44	45	67	115	183	79	72	66	336	48	月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
											31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
											下旬	0	—	0	0	0	0	—	—	7	—
											月	2	0	0	0	10	1	1	—	59	3

10. 積雪分布図(cm)

昭和56年1月15日 9時



11. 積雪の経過図(福井)



12. 積雪の深さの月別および寒候期別の最大値と起日の順位表

	順位	月		11		12		1		2		3		4		寒 候 期							
		年	日	cm	年	日	cm	年	日	cm	年	日	cm	年	日	cm	年	日					
福 井 統計開始 1897(明30)年	1	10	27	166	1917	30	213	1963	31	209	1927	12	136	1927	1	23	1934	1	213	1963	1, 31		
	2	8	1970	30	122	1980	29	196	1981	15	199	1963	3	123	1934	17	6	1909	7	209	1927	2, 12	
	3	7	1950	15	87	1938	31	191	1940	27	174	1940	1	113	1945	1	1	1965	11	196	1981	1, 15	
	4	4	1948	29	85	1897	24	170	1918	9	161	1945	10	109	1981	1	1	1955	4	191	1940	1, 27	
	5	2	1976	31	77	1967	30	162	1934	26	156	1918	1	109	1936	2	1	1931	7	170	1918	1, 9	
大 野 統計開始 1909(明42)年	1	27	1976	30	273	1917	31	306	1918	9	297	1927	13	212	1934	18	115	1934	1	306	1918	1, 9	
	2	27	1951	30	211	1980	29	287	1963	31	288	1963	4	206	1981	1	100	1936	1	297	1927	2, 13	
	3	21	1909	14	136	1933	24	264	1936	26	236	1936	7	197	1936	9	67	1981	1	288	1963	2, 4	
	4	15	1960	29	132	1967	30	262	1981	15	224	1981	27	186	1963	1	65	1963	1	264	1936	1, 26	
	5	13	1970	30	109	1956	26	260	1940	30	220	1940	1	160	1958	1	24	1917	1	262	1981	1, 15	
勝 山 統計開始 1913(大2)年	1	18	1937	27	250	1980	30	325	1963	31	300	1963	4	242	1934	17	140	1934	1	325	1963	1, 31	
	2	16	1924	10	247	1917	29	270	1981	15	280	1927	12	218	1936	10	93	1936	1	280	1927	2, 12	
	3	15	1973	19	155	1967	30	257	1918	9	244	1918	1	200	1963	1	55	1963	1	270	1981	1, 15	
	4	15	1960	29	146	1956	26	249	1934	27	235	1981	27	182	1927	1	46	1917	1	257	1918	1, 9	
	5	10	1970	30	131	1933	24	233	1940	27	221	1934	5	174	1918	2	30	1981	1	249	1934	1, 27	
今 庄 統計開始 1909(明42)年	1	9	1921	9	258	1917	30	335	1918	8	440	1947	22	318	1936	2	142	1934	1	440	1947	2, 22	
	2	8	1971	30	165	1947	23	306	1963	31	315	1963	1	270	1947	1	95	1963	1	335	1918	1, 8	
	3	7	1979	14	132	1956	26	289	1936	31	297	1936	2	239	1934	6	85	1936	1	318	1936	3, 2	
	4	7	1970	30	130	1976	31	289	1934	27	297	1927	13	230	1963	1	70	1913	1	315	1963	2, 1	
	5	7	1950	15	125	1988	30	252	1940	30	261	1968	12	221	1918	2	16	1981	1	297	1927	2, 13	
敦 賀 統計開始 1898(明31)年	1	20	1970	3	90	1976	29	196	1981	15	154	1963	1	94	1936	2	9	1907	1	196	1981	1, 15	
	2	3	1950	16	88	1938	30	147	1917	11	138	1977	17	75	1981	1	2	1958	1	154	1963	2, 1	
	3	2	1942	28	86	1976	29	143	1963	31	138	1947	21	74	1977	6	0			147	1917	1, 11	
	4	2	1938	13	74	1917	30	134	1936	23	133	1977	18	72	1945	1				138	1977	2, 17	
	5	1	1976	29	69	1937	28	129	1927	28	130	1981	1	68	1947	1				138	1947	2, 21	
美 浜 統計開始 1909(明42)年	1	24	1970	30	75	1976	30	143	1945	29	186	1945	6	140	1945	1	5	1931	8	186	1945	2, 6	
	2	12	1950	16	73	1938	27	143	1917	31	157	1917	3	115	1936	1	2	1958	1	157	1917	2, 3	
	3	4	1976	30	45	1956	24	133	1981	15	133	1936	13	88	1934	6	0			133	1981	1, 15	
	4	4	1971	30	45	1945	20	133	1934	27	126	1977	5	85	1932	1				133	1936	2, 13	
	5	3	1948	29	45	1923	31	129	1933	28	121	1947	22	79	1933	13				133	1934	1, 27	
北 谷 統計開始 1967(昭42)年	1																			450	1981	1, 14	
	2																				370	1974	2, 14
	3																				363	1968	2, 12
	4																				335	1980	2, 7
	5																					312	1977

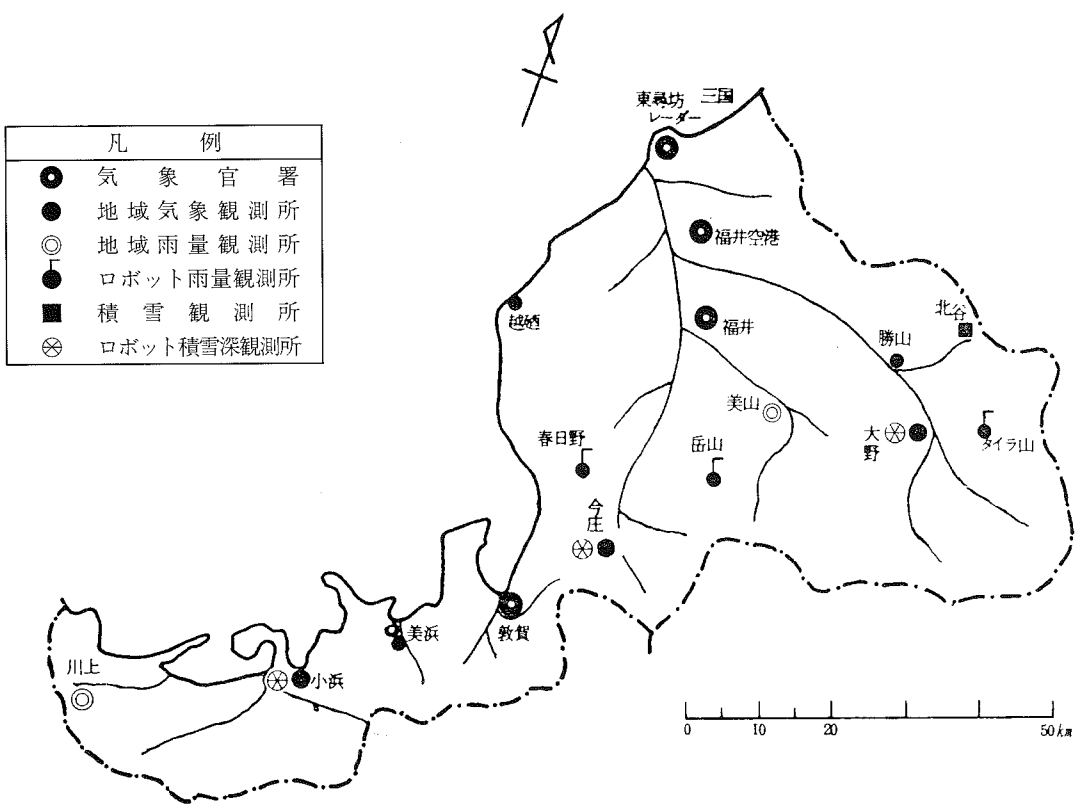
注 福井, 敦賀は9.15. 21時についての最大値

今庄, 大野は1時から24時の毎正時についての最大値

13. 昭和56年3月14日～3月15日にかけての融雪による主要河川の水位表
(単位 m)

日 項目	3 月 14 日						3 月 15 日								
	建設省		福 井 県				建設省				福 井 県				
河川名	九頭竜川	日野川	足羽川	荒川	江端川	狐川	九頭竜川	日野川	〃	〃	足羽川	足羽川	荒川	江端川	狐川
観測所名	中角	久喜津	幸橋	ポンプ場	〃	〃	中角	久喜津	深谷	三尾野	天神橋	幸橋	ポンプ場	〃	〃
自記・普通 テレメータ	電話応答	テレメータ	有線・テレ				電話応答	テレメータ	〃	〃	〃	有線・テレ			
通水 報位	5.00	5.50	7.00	7.00	4.00		5.00	5.50	4.00	3.50	4.00	7.00	7.00	4.00	
警水 戒位	7.50	7.70	8.00	8.90 8.35 8.50	6.00		7.50	7.70	6.00	5.50	5.00	8.00	8.90 8.35 8.50	6.00	
洪水 位	10.00	10.00	10.00		8.00		10.00	10.00	8.75	7.00	6.70	10.00		8.00	
零点 高	10.00	0.00	2.95				10.00	0.00	0.00	4.60	20.44	2.95			
0時							3.01	5.14					6.60		3.90
1							3.11	5.30	3.65	3.01	1.26	7.36	6.64	6.15	4.00
2							3.22	5.55	3.82	3.25		7.40	6.74	6.35	4.00
3							3.39	5.78	3.95	3.50	1.39	7.50	6.80	6.70	3.80
4							3.51	5.99	4.16	3.69		7.60	6.90	7.00	3.65
5							3.65	6.17	4.31	3.81	1.52	7.70	7.13	7.10	3.65
6							3.82	6.29	4.44	3.85	1.54	7.70	7.14	7.25	3.40
7							3.90	6.36	4.52	3.86	1.54	7.84	7.19	7.30	3.30
8							4.00	6.40	4.60	3.84	1.51	7.94		7.32	3.00
9							4.05	6.41	4.62	3.81	1.49	8.00	7.24	7.30	2.70
10							4.05	6.39	4.61	3.75	1.42	8.00	7.20	7.28	2.75
11							4.03	6.34	4.59	3.68	1.36	7.94	7.12	7.10	3.00
12							3.99	6.29	4.59	3.58	1.36	7.90		6.90	3.00
13							3.98	6.20	4.54	3.51	1.33	7.82		6.80	3.00
14							3.99	6.14	4.46	3.45	1.26	7.78		6.55	3.00
15							4.00	6.06	4.41	3.37	1.23	7.72		6.55	3.00
16							3.96	5.98	4.33	3.28	1.19	7.68		6.60	3.20
17						3.10	3.90	5.87	4.30			7.52		6.65	3.40
18	2.53	4.64	7.25	6.54		3.20		5.76	4.27	3.11		7.40	6.64	6.60	3.50
19						3.50		5.67	4.13	3.02		7.22	6.50	6.50	3.50
20		4.84	7.43	6.58	4.62	3.60		5.61	4.02	2.95		7.10		6.40	3.50
21		4.92	7.36	6.59		3.70	3.55	5.50	3.96	2.83		7.00			3.70
22	2.89	4.98	7.36	6.60		3.75			3.86						3.70
23	2.99	5.05	7.36	6.60	4.85	3.80									3.70

14. 気象観測所配置図



第2章 被害の状況

第2章 被害の状況

昭和55年末から降り始めた雪は、猛威をふるい、その被害は、昭和38年のいわゆる38豪雪にせまるものとなった。県では、昭和55年12月29日雪害対策本部を設け、さらに、年明けの昭和56年1月6日には、豪雪対策本部と改め、その対応に当たったが各種の被害は毎日増加の一途をたどり、莫大なものとなり、県民の精神的、物質的な打撃は、測り知れないものであった。15名の尊い生命が奪われ負傷者は、134名にのぼり、商工業関係における794億円をはじめ、被害総害は、実に合計1283億円の達する大被害を被ったのである。以下この章では、被害の詳細をあきらかにしていきたい。

死	者(人)	15
重傷	者(人)	55
軽傷	者(人)	79

被害額調(総括)

(単位 千円)

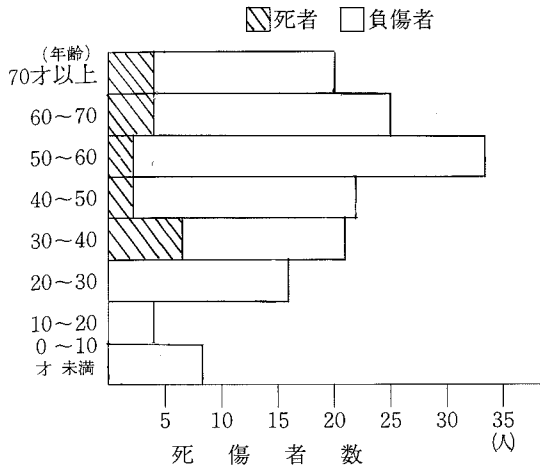
被害項目	被害額(除排雪費を含む)
家屋の被害	3,831,448
農林水産関係被害	23,270,726
公共土木施設関係被害	13,390,875
商工業関係被害	79,412,693
文化・教育関係被害	452,175
交通機関関係被害	1,709,830
通信施設関係被害	397,000
電力関係被害	1,385,646
環境衛生施設関係被害	7,617
社会福祉施設関係被害	42,471
交通安全施設関係被害	77,226
市町村除排雪費	4,332,936
計	128,310,643

1. 人および家屋の被害

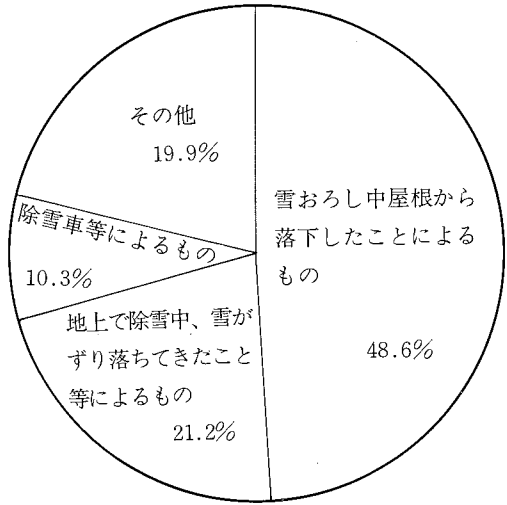
(1) 人的被害

区分 市町村	死 者 (人)	重 傷 者 (人)	軽 傷 者 (人)	計
福 井 市	6	15	26	47
敦 賀 市	1	6	8	15
武 生 市	1	1		2
小 浜 市		1		1
大 野 市	2	11	10	23
勝 山 市	1	1	6	8
鯖 江 市	3	4	13	20
美 山 町			3	3
松 岡 町		3	1	4
永 平 寺 町				
上 志 比 村				
和 泉 村		2		2
三 国 町				
芦 原 町				
金 津 町				
丸 岡 町		2		2
春 江 町				
坂 井 町				
今 立 町				
池 田 町		2	3	5
南 条 町				
今 庄 町		5	2	7
河 野 村				
朝 日 町			4	4
宮 崎 村				
越 前 町				
越 廼 村				
織 田 町		2	2	4
清 水 町				
三 方 町	1		1	2
美 浜 町				
上 中 町				
名 田 庄 村				
高 浜 町				
大 飯 町				
県 計	15	55	79	149

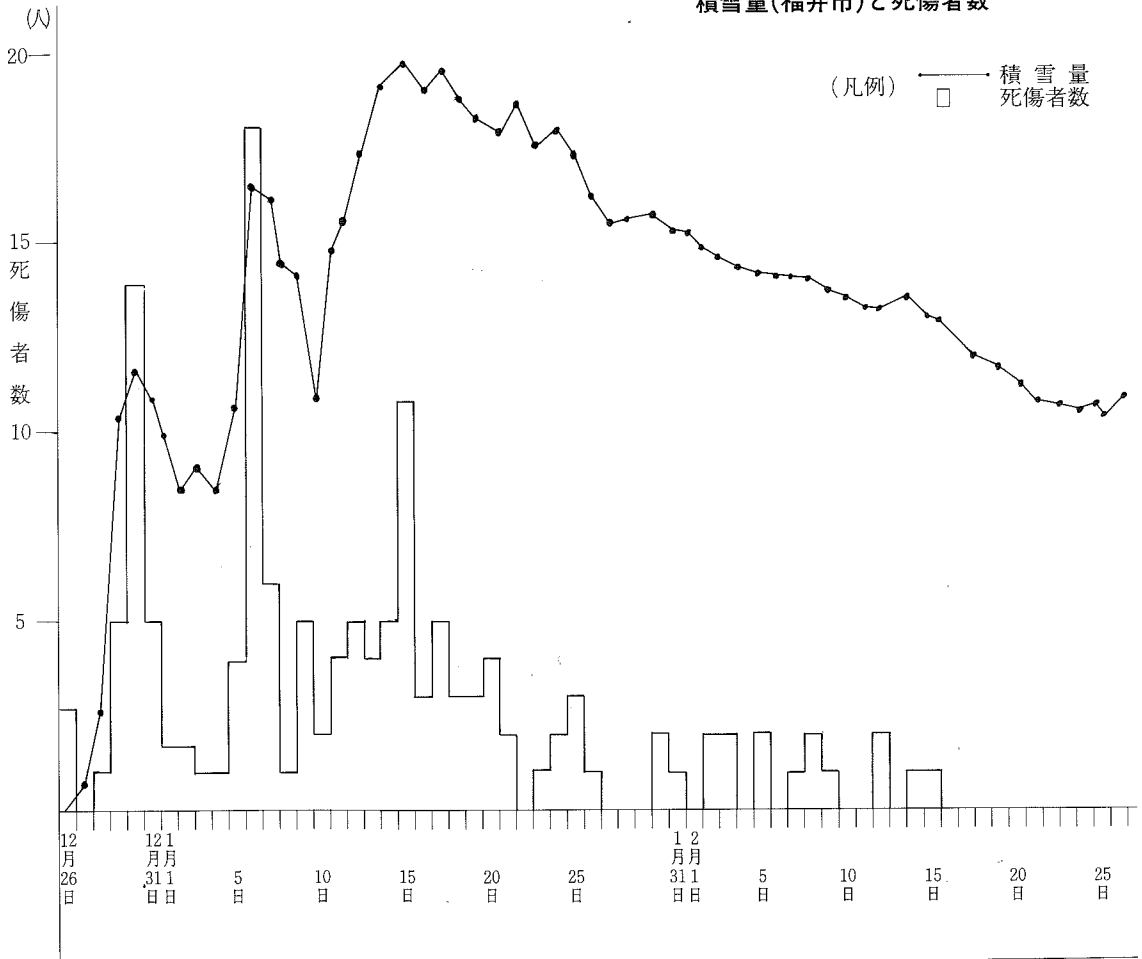
年齢別死傷者数



原因別死傷者



積雪量(福井市)と死傷者数



(2)家屋の被害

(イ)住家の被害

区分 市町村	全 壊				半 壊			
	棟 数	世帯数	人員	被害額(千円)	棟 数	世帯数	人員	被害額(千円)
福 井 市	1	1	1	522	4	4	9	2,054
敦 賀 市	2	2	7	14,000	1	1	3	3,000
武 生 市					2	4	9	31,200
小 浜 市								
大 野 市	19	19	60	71,677	4	4	13	10,279
勝 山 市	8	8	32	72,660	5	5	20	40,685
鯖 江 市	2	2	3	11,000	10	10	41	25,000
美 山 町					1	1	1	500
松 岡 町								
永 平 寺 町								
上 志 比 村								
和 泉 村					1	1	3	2,500
三 国 町								
芦 原 町								
金 津 町								
丸 岡 町	1	1	3	1,332	2	2	6	1,886
春 江 町								
坂 井 町								
今 立 町	1	1	1	500	4	4	13	8,700
池 田 町					1	1	3	1,000
南 条 町								
今 庄 町								
河 野 村								
朝 日 町					3	3	10	35,000
宮 崎 村								
越 前 町								
越 廼 村								
織 田 町								
清 水 町	3	3	9	4,000	1	1	3	1,500
三 方 町					1	1	4	500
美 浜 町								
上 中 町								
名 田 庄 村								
高 浜 町								
大 飯 町								
県 計	37	37	116	175,691	40	42	138	163,804

市町村	一部損壊				床上浸水			
	棟数	世帯数	人員	被害額(千円)	棟数	世帯数	人員	被害額(千円)
福井市	23	35	128	11,315				
敦賀市	60	49	165	27,712				
武生市	60	51	205	79,050	1	1	2	700
小浜市								
大野市	1,313	1,313	5,515	137,865	20	20	78	720
勝山市	164	164	656	120,926	51	51	204	9,180
鯖江市	431	423	1,774	112,300				
美山町	1	1	3	150				
松岡町	1	1	4	700				
永平寺町	6	4	18	12,000				
上志比村	46	46	213	4,180				
和泉村	9	9	37	4,850				
三国町								
芦原町								
金津町	1	1	4	500				
丸岡町	56	56	232	16,134				
春江町	46	46	161	15,500				
坂井町								
今立町	254	254	1,116	4,000				
池田町	68	68	251	12,680				
南条町								
今庄町	3	3	9	2,600				
河野村	1	1	2	1,000				
朝日町	51	51	164	15,300				
宮崎村	60	45	270	7,282				
越前町	4	4	6	800				
越廼村	4	4	5	5,200				
織田町	46	46	152	11,050				
清水町	14	14	58	1,400				
三方町	15	15	56	2,085				
美浜町	6	6	21	4,030				
上中町	4	4	16	1,520				
名田庄村	1	1	1	2,000				
高浜町	2	2	4	1,000				
大飯町								
県計	2,750	2,717	11,246	615,129	72	72	284	10,600

区分 市町村	床 下 浸 水				合 計			
	棟数	世帯数	人員	被害額(千円)	棟 数	世帯数	人 員	被害額(千円)
福 井 市	27	27	105	680	55	67	243	14,571
敦 賀 市	23	23	81	465	86	75	256	45,177
武 生 市	130	84	287	13,000	193	140	503	123,950
小 浜 市								
大 野 市	379	379	1,478	160	1,735	1,735	7,144	220,701
勝 山 市	174	174	696	5,220	402	402	1,608	248,671
鯖 江 市	7	7	27	170	450	442	1,845	148,470
美 山 町					2	2	4	650
松 岡 町					1	1	4	700
永 平 寺 町	60	60	225	500	66	64	243	12,500
上 志 比 村	10	10	42	310	56	56	255	4,490
和 泉 村					10	10	40	7,350
三 国 町								
芦 原 町								
金 津 町					1	1	4	500
丸 岡 町					59	59	241	19,352
春 江 町					46	46	161	15,500
坂 井 町								
今 立 町	21	21	70	1,050	280	280	1,200	14,250
池 田 町					69	69	254	13,680
南 条 町	11	11	47	280	11	11	47	280
今 庄 町	9	9	34	450	12	12	43	3,050
河 野 村					1	1	2	1,000
朝 日 町					54	54	174	50,300
宮 崎 村	1	1	3	20	61	46	273	7,302
越 前 町					4	4	6	800
越 廼 村					4	4	5	5,200
織 田 町					46	46	152	11,050
清 水 町					18	18	70	6,900
三 方 町					16	16	60	2,585
美 浜 町					6	6	21	4,030
上 中 町	8	7	30	200	12	11	46	1,720
名 田 庄 村					1	1	1	2,000
高 浜 町					2	2	4	1,000
大 飯 町								
県 計	860	813	3,125	22,505	3,759	3,681	14,909	987,729

(ロ)非住家の被害

市町村	区分	全		半	
		棟数	被害額(千円)	棟数	被害額(千円)
福井市		42	75,623	10	55,113
敦賀市		26	327,350	11	173,600
武生市		17	35,700	2	33,000
小浜市		1	1,200	3	500
大野市		18	34,745	4	17,681
勝山市		35	164,480	11	65,030
鯖江市		79	328,910	39	261,230
美山町		10	27,449	1	13,000
松岡町		2	4,500	10	47,850
永平寺町		8	43,500	2	9,000
上志比村		12	24,650	3	2,100
和泉村		2	13,000	1	1,300
三国町					
芦原町		1	580		
金津町		1	300		
丸岡町		16	21,319	5	3,773
春江町		2	15,600	2	7,000
坂井町		1	100		
今立町		17	9,390	7	9,500
池田町		18	9,200		
南条町		1	868		
今庄町		3	76,500		
河野村					
朝日町		6	4,800	4	1,600
宮崎村		3	10,300		
越前町		2	800		
越廼村					
織田町		5	9,300	6	8,130
清水町		7	1,700		
三方町		8	8,144	4	1,650
美浜町		3	4,200		
上中町		1	2,000		
名田庄村					
高浜町				1	1,000
大飯町					
県計		347	1,256,208	126	712,057

区 分 市町村	一 部 損 壊		床 上 浸 水	
	棟 数	被害額(千円)	棟 数	被害額(千円)
福 井 市	48	78,914		
敦 賀 市	119	152,161		
武 生 市	29	42,140		
小 浜 市	6	3,300		
大 野 市	765	118,855		
勝 山 市	153	110,716	9	1,620
鯖 江 市	384	159,040		
美 山 町	29	23,681		
松 岡 町	2	746		
永 平 寺 町	26	39,000		
上 志 比 村	91	7,799	1	10,000
和 泉 村	20	9,896		
三 国 町				
芦 原 町				
金 津 町				
丸 岡 町	48	6,700		
春 江 町	33	16,130		
坂 井 町				
今 立 町	198	9,605		
池 田 町	44	5,800		
南 条 町	1	9,700		
今 庄 町	3	1,500		
河 野 村				
朝 日 町	39	4,720		
宮 崎 村	87	47,211		
越 前 町	1	300		
越 廼 村				
織 田 町	10	4,160		
清 水 町	15	1,200		
三 方 町	13	1,670		
美 浜 町	11	4,500		
上 中 町	11	1,840		
名 田 庄 村	2	1,200		
高 浜 町				
大 飯 町				
県 計	2,188	862,484	10	11,620

市町村	区分	床 下 浸 水		合 計	
		棟 数	被害額(千円)	棟 数	被害額(千円)
福 井 市		1		101	209,650
敦 賀 市				156	653,111
武 生 市				48	110,840
小 浜 市				10	5,000
大 野 市				787	171,281
勝 山 市		25	750	233	342,596
鯖 江 市				502	749,180
美 山 町				40	64,130
松 岡 町				14	53,096
永 平 寺 町		15	300	51	91,800
上 志 比 村		8	300	115	44,849
和 泉 村				23	24,196
三 国 町					
芦 原 町				1	580
金 津 町				1	300
丸 岡 町				69	31,792
春 江 町		2		39	38,730
坂 井 町				1	100
今 立 町				222	28,495
池 田 町				62	15,000
南 条 町				2	10,568
今 庄 町				6	78,000
河 野 村					
朝 日 町				49	11,120
宮 崎 村				90	57,511
越 前 町				3	1,100
越 廼 村					
織 田 町				21	21,590
清 水 町				22	2,900
三 方 町				25	11,464
美 浜 町				14	8,700
上 中 町		8		20	3,840
名 田 庄 村				2	1,200
高 浜 町				1	1,000
大 飯 町					
県 計		59	1,350	2,730	2,843,719



雪の重みで陥没した武生市文化センター中ホール



家屋の倒壊（勝山市）

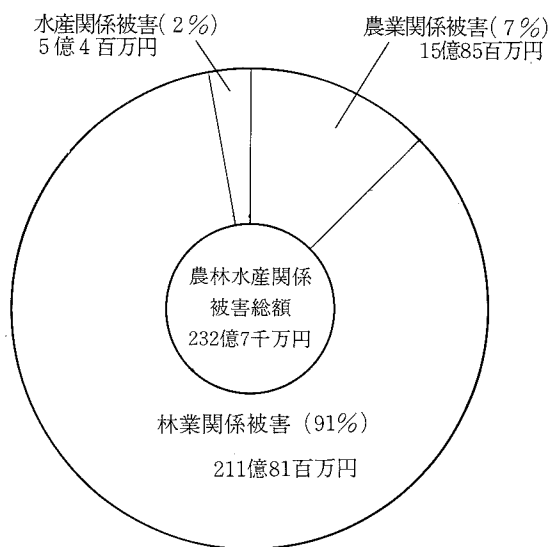
2. 農林水産関係被害

56豪雪は、1日の降雪量73cmと記録的なものとなり、しかも、比重が通常の2倍という条件も重なり、農林水産関係の被害も林木の折損、倒木及び農業施設の倒壊等、従来にみられなかった被害形態が発生した。このため、農林水産業の被害は昭和38年を凌ぐ大規模なものとなり、被害総額も232億7千5百万円となった。

農業関係の内、農産関係では、園芸施設の倒壊による施設被害と樹木の折損及び融雪時期の遅れから麦等農作物被害により被害額12億8千6百万円で6%を占め、畜産関係では、畜舎等施設の倒壊及び牛乳の搬出不能による廃棄、飼料作物の減収等により被害額1億1千8百万円と0.5%を占める結果となった。又、耕地関係の被害も橋梁を中心として、1億8千6百万円と全体の0.8%を占める結果となり、農業関係全体では、被害額15億9千万円となり、農林水産被害の7%を占めた。

次に林業関係では、杉等の折損、倒木被害により211億8千百万円と91%を占める大きな被害となった。又、水産関係では養殖魚の凍死、天候不良による出漁不能による損失被害のため5億4百万円と2%を占めた。

種別	項目	棟数・面積等	被害額	備考		
農 業 関 係	農 産 関 係	園芸施設	565棟 119千㎡	612百万円	内 訳 パイプハウス 498棟 83千㎡ 167百万円 H鋼ハウス 54 〃 27 〃 266 〃 ガラス温室 13 〃 9 〃 179 〃	
		その他の施設	12棟 13千㎡ 果樹棚 3.5ha	102百万円		内 訳 農業倉庫 14棟 1,388千㎡ 41百万円 有線放送 5ヶ所 44 〃 果樹棚 3 〃 7.2ha 17 〃
		作物等	作物 1918ha	571百万円		
	畜 産 関 係	畜産施設	56棟 6.6千㎡	.95百万円	畜舎・堆肥舎・飼料タンク等	
		牛乳・飼料作	牛乳 56ト	19百万円	内 訳 牛乳(廃棄) 56ト 6百万円 飼料作 132ha 13 〃	
		その他	飼料作 132ha			
	農 業 関 係	耕 地 関 係	農道等	6ヶ所	186百万円	内 訳 和泉村下山吊り橋落下等 155百万円 水路 11 〃 農地 20 〃
			農業計		1585百万円	
	農 業	林	木	66556ha	21,015百万円	杉等の折損・倒木(折損22941ha16820百万円、倒木43615ha4195百万円)
		林産施設	36棟 2千㎡	101 〃	製材工場・倉庫・しいたけフレーム等	
林地		9ヶ所 2ha	65 〃	新生崩壊2.15ha		
水 産 業	林業計		21,181百万円			
	施 設 被 害	施設被害	1棟 0.2千㎡	15百万円	敦賀市漁協荷さばき所ヒサキ全壊	
		養殖魚の死		132 〃	日向湖タイ・ハマチ等死	
		漁獲減		357 〃		
水産業計		504百万円				
農林水産関係総計			23,270百万円			



農林水産関係被害額内訳

(1)農業関係被害

農産関係では、野菜および花き栽培のための近代化施設および水稻等育苗施設として設置したパイプハウス 498棟、H鋼ハウス54棟、ガラス温室13棟の 565棟が全壊するなど施設園芸農家にとって大きな打撃を受け被害額も 6 億12百万円となった。

さらに農業倉庫、有線放送架線および果樹棚等農業関連施設の全壊、半壊による被害額 1 億 2 百万円となり施設被害の多発した事が特徴である。

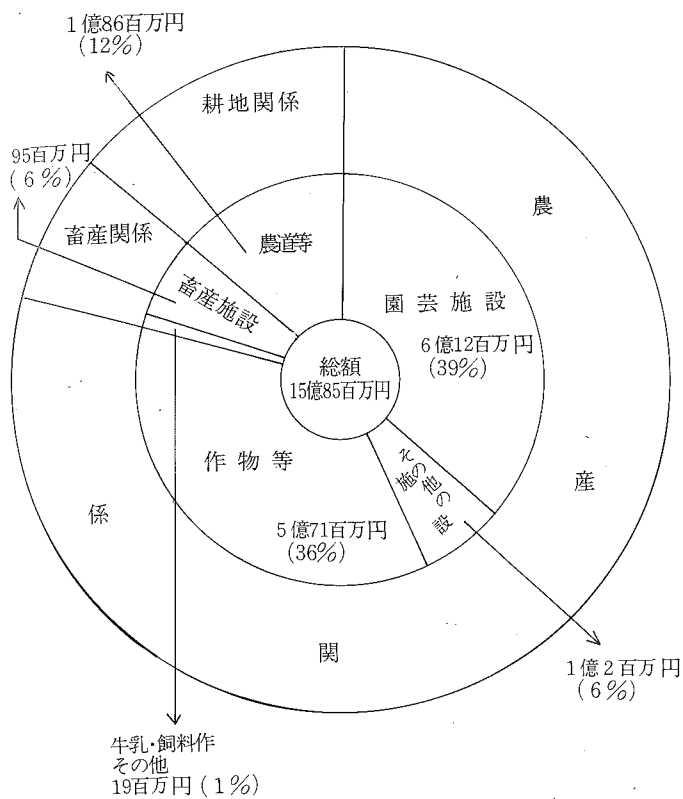
農作物被害としては、倒壊施設内に栽培されている野菜および花きの減収および積雪期間が福井市で85日、大野市で 120日と長期にわたった関係で麦の雪腐れ病による減収被害額 4 億30百万円、うめ、ぶどう、みかん等果樹関係の樹体損失による減収被害額 1 億42百万円となり、雪害としては大きな規模となった。

次に畜産関係では、畜舎等施設の全壊および半壊は63棟におよび、とくに構造的に比較的弱い鶏舎が23棟と62%を占め施設被害で80百万円、さらに鶏舎の倒壊による成鶏1,000羽ひな800羽肉鶏 240羽のへい死被害のほか停電による給温不能のための子豚凍死やブロイラー舎の換気不良による発育停滞等間接被害が多発した。

また、生活道路を優先した除雪体制のため、集落から離れた畜産団地の交通途絶により毎日生産される牛乳、鶏卵の出荷が不能になり、とくに貯蔵不能となった牛乳56トンを廃棄処分したため、被害額は6百万円となった。さらに、飼料作物の雪腐れ病等による被害が県下全域に発生し、作付面積の30%にあたる 132 haに達し収穫不能による再作付面積が38haにおよぶなど飼料作物被害として13百万円と大きな打撃を受けた。

さらに、耕地関係被害では、異常なる積雪により、山間地では4mを越す大雪のため、通常の維持管理範囲を越えたため、農道橋(木橋)の崩壊3件が発生し、また大規模な雪崩により農道、水路等の吊橋と折損木の流出に伴う農地が被災したため、その被害額は1億86百万円にいたった。

市町村別農業被害額調(総括)



農業関係被害額内訳

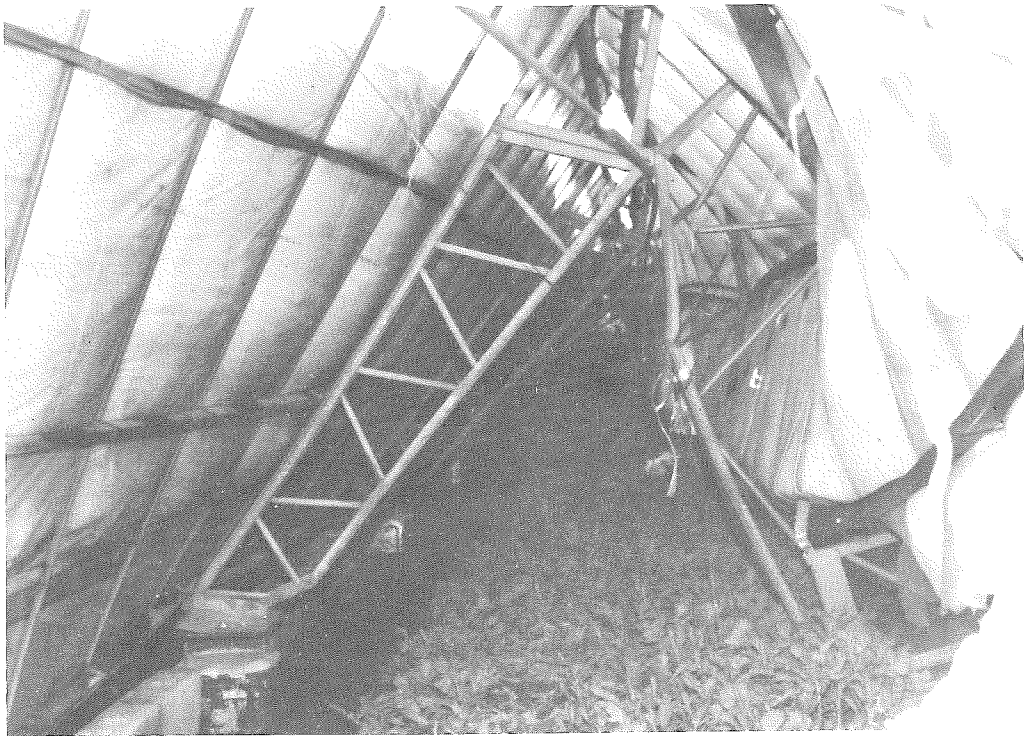
市町村名	被害金額 (千円)
福井市	355,842
美山町	17,421
松岡町	2,228
永平寺町	12,046
上志比村	5,066
三国町	19,275
芦原町	26,442
金津町	22,080
丸岡町	27,102
春江町	10,214
坂井町	38,071
大野市	118,107
勝山市	292,378
和泉村	130,000
朝日町	81,913
宮崎村	17,665
越前町	5,397
越廼村	10,817
織田町	1,333
清水町	14,792
武生市	81,309
鯖江市	108,737
今立町	13,361
池田町	8,050
南条町	4,619
今庄町	4,895
河野村	11,070
敦賀市	21,896
三方町	105,685
美浜町	14,463
小浜市	
上中町	2,852
名田庄村	
高浜町	220
大飯町	
県計	1,585,346

イ)農産関係

(a)園芸施設

(単位 千円)

普及所名	市町村名	パイプハウス			鉄骨ハウス			ガラス温室			計		
		棟数	面積㎡	被害額	棟数	面積㎡	被害額	棟数	面積㎡	被害額	棟数	面積㎡	被害額
高志	福井市	104	23,632	47,504	43	21,903	219,030				147	45,535	266,534
	美山町	24	1,728	3,456							24	1,728	3,456
	松岡町												
	永平寺町												
	上志比村												
坂井	三国町							ガラス破損	213枚	426	ガラス破損	213枚	426
	芦原町												
	金津町												
	丸岡町	8	2,568	5,136	2	1,130	11,300				10	3,698	16,436
	春江町												
奥越	坂井町	1	20	40							1	20	40
	大野市	149	13,740	27,560				1	300	6,000	150	14,040	33,560
	勝山市	104	15,316	30,636	1	420	4,200	11	8,203	164,060	116	23,939	198,892
丹生	和泉村												
	朝日町	24	12,360	24,720	6	3,020	30,200	ガラス破損	300枚	600	ガラス破損 ³⁰ 300枚	15,380 300枚	54,920 600
	宮崎村							"	300枚	600	ガラス破損	300枚	600
	越前町												
	越廼村							ガラス破損	710	1,420	ガラス破損	710	1,420
南越	織田町												
	清水町												
	武生市	25	4,110	8,220	2	135	1,350	ガラス破損 ¹ 175	1,250枚	3,500	ガラス破損 ²⁸ 1,250枚	4,420 2,500	13,070 2,500
	鯖江市	38	7,764	15,934							38	7,764	15,934
	今立町	6	488	976							6	488	976
	池田町												
	南条町	2	150	300							2	150	300
二州	今庄町	4	324	648							4	324	648
	河野村												
	敦賀市	6	325	650							6	325	650
若狭	三方町												
	美浜町	3	450	900							3	450	900
	小浜市												
	上中町												
	名田庄村												
県計	高浜町												
	大飯町												
県計		498	82,975	166,676	54	26,608	266,080	13棟 ガラス破損	8,678㎡ 2,773枚	179,106	565棟 ガラス破損	118,261 2,773枚	611,862



鉄骨ハウスの倒壊（福井市大瀬町）



ハウス施設（宮崎村）

(b)その他の施設

(単位千円)

普及所名	市町村名	その他の施設			
		名称	棟数	面積 ^{m²}	被害額
高志	福井市	農業倉庫他	6	620	20,100
	美山町				
	松岡町				
	永平寺町	農業倉庫	1	250	7,350
	上志比村				
坂井	三国町	果樹棚	1	0.2ha	600
	芦原町				
	金津町				
	丸岡町				
	春江町 坂井町				
奥越	大野市	農業倉庫・有線	4	187	10,234
	勝山市	有線	1		20,237
	和泉村				
丹生	朝日町	果樹棚	1	1.4ha	4,000
	宮崎村	有線	1		3,932
	越前町				
	越廼村				
	織田町				
南越	清水町				
	武生市	有線	2	18	7,865
	鯖江市	有線	1		6,878
	今立町	農舎他	2	76	2,280
	池田町	"	2	205	6,150
	南条町				
二州	今庄町				
	河野村				
	敦賀市				
若狭	三方町	果樹棚	1	5.6ha	12,000
	美浜町				
	小浜市				
	上中町				
	名田庄村				
大飯町	高浜町				
	大飯町				
県計		農業倉庫等・果樹棚	14棟・3カ所	1.356m ² ・7.2ha	101,626

(c) 作物

(単位 千円)

普及所名	市町村名	野菜			果樹			花き			麦		合計
		種別	面積(ha)	被害額	種別	面積(ha)	被害額	種別	面積(数量)	被害額	面積(ha)	被害額	
高志	福井市	ホウレンソウ	0.8	6,400	くり	25.0	4,500	菊他	0.3	3,000	198.9	35,972	49,872
	美山町										2.6	815	815
	松岡町										15.0	2,228	2,228
	永平寺町				くり	5.0	900				20.0	3,796	4,696
	上志比村										23.0	5,066	5,066
坂井	三国町										70.4	17,748	17,748
	芦原町										116.9	26,039	26,039
	金津町										76.6	21,852	21,852
	丸岡町	春採大根	0.1	1,000							34.0	7,211	8,211
	春江町										45.0	10,214	10,214
奥越	坂井町										169.3	37,367	37,367
	大野市	イチゴ	7.7	11,042				菊他	0.1	1,000	118.3	25,768	37,810
	勝山市	ホウレンソウ イチゴ	0.2 10.0	1,600 30,200							45.2	7,603	39,403
丹生	和泉村												
	朝日町				くり ぶどう	23.2 14.0	4,176 9,380				23.0	6,815	20,371
	宮崎村				なし	1.5	954				3.5	1,097	2,051
	越前町				みかん	17.0	2,397	すいせん	150千本	3,000			5,397
	越廼村				#	17.0	2,397	#他	350#	7,000			9,397
	織田町										5.1	1,220	1,220
南越	清水町				くり ぶどう	14.0 2.0	2,520 1,340				40.7	10,664	14,524
	武生市	春菊	0.1	800	くり	23.2	8,516				142.3	37,351	46,667
	鯖江市	ホウレンソウ	0.4	3,200	もも	1.0	1,350				274.0	70,885	75,435
	今立町				もも	2.5	3,000				30.0	6,105	9,105
	池田町				くり	3.0	1,500						1,500
	南条町										18.0	3,499	3,499
	今庄町				柿	4.4	2,277				6.0	891	3,168
二州	河野村				梅	6.8	5,070	すいせん	300千本	6,000			11,070
	敦賀市				みかん	11.0	1,591				16.7	3,074	4,665
	三方町				うめ	160.0	85,625				17.2	3,000	88,625
	美浜町				うめ他	4.1	2,860				42.4	7,518	10,378
若狭	小浜市												
	上中町				ぶどう他	2.7	940				6.1	1,912	2,852
	名田庄村												
	高浜町				みかん	0.7	220						220
大	大飯町												
	県計		19.3	54,242		338.1	141,513		0.4ha 800千本	20,000	1560.2	355,710	571,465

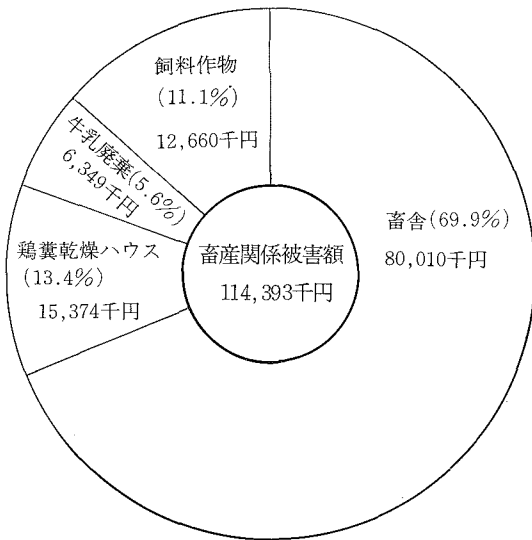
(ロ)畜産関係

(a)畜産施設

(単位 千円)

(単位 千円)

畜産施設		生乳廃棄	飼料作物	合計
畜舎	鶏糞乾燥ハウス			
80,010	15,374	6,349	12,660	114,393



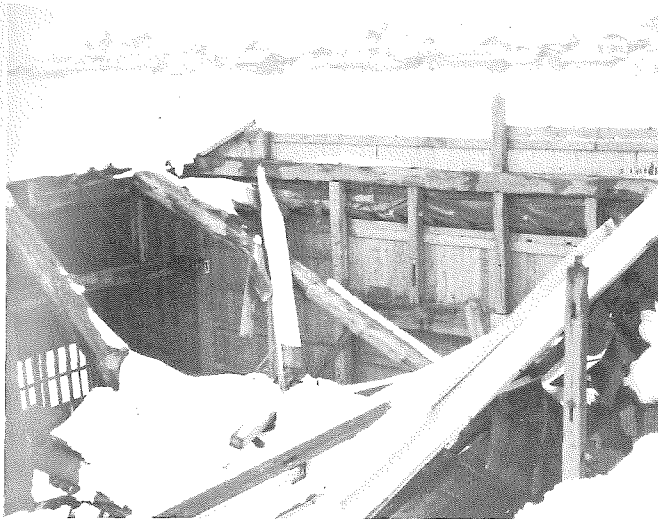
畜産関係被害額内訳

普及所名	市町村名	畜産施設			
		名称	棟数	面積(m ²)	被害額
高志	福井市	牛舎他	13	1,551	14,540
	美山町	鶏糞施設	4	642	13,150
	松岡町	飼料庫	—	—	—
	永平寺町				
	上志比村				
坂井	三国町				
	芦原町				
	金津町				
	丸岡町	牛舎	1	324	2,000
	春江町				
奥越	坂井町	プロイラ舎	2	119	644
	大野市	鶏舎	6	867	10,420
	勝山市	牛舎	2	370	11,030
丹生	和泉村				
	朝日町				
	宮崎村	牛舎他	7	1,011	10,610
	越前町				
	越廼村				
南越	織田町				
	清水町				
	武生市	飼料タンク	—	—	
	鯖江市	鶏舎	11	896	10,490
	今立町	豚舎	1	59	1,000
	池田町	肉牛舎	1	40	400
	南条町	プロイラ舎	1	89	800
二州	今庄町	プロイラ舎	1	99	1,000
	河野村				
	敦賀市	堆肥舎他	4	291	14,500
若狭	三方町	めん羊舎	2	262	4,800
	美浜町				
	小浜市				
	上中町				
	名田庄村				
大飯町	高浜町				
	大飯町				
県計			56棟	6,620	95,384

(b)牛乳廃棄・飼料作物

(単位棟)

全壊	半壊	パイプハウス倒壊	合計
21	16	19	56



畜舎の倒壊



牛乳の廃棄

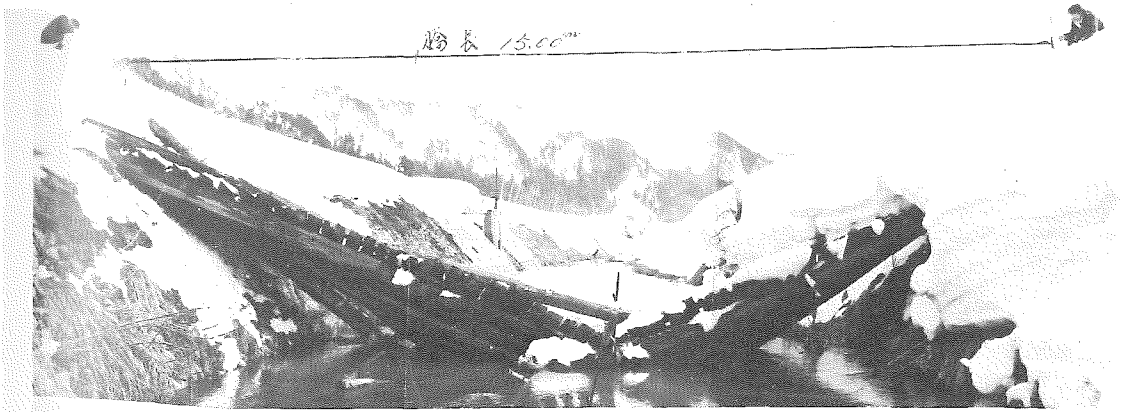
(単位千円)

普及所名	市町村名	牛乳廃棄		飼料作物	
		量(t)	被害額	面積ha	被害額
高志	福井市	11.8	1,333	15.0	1,463
	美山町				
	松岡町				
	永平寺町				
	上志比村				
坂井	三国町			7.7	501
	芦原町			6.2	403
	金津町			3.5	228
	丸岡町			3.4	455
	春江町				
奥越	坂井町			0.3	20
	大野市	15.0	1,695	45.0	4,388
	勝山市	18.3	2,068	6.1	748
丹生	和泉村				
	朝日町	0.2	22		
	宮崎村	3.6	407	0.4	65
	越前町				
	越廼村				
南越	織田町	1.0	113		
	清水町	1.8	203	0.4	65
	武生市	3.2	361	5.5	846
	鯖江市				
	今立町				
二州	池田町				
	南条町			0.3	20
	今庄町	0.7	79		
若狭	河野村				
	敦賀市	0.6	68	0.2	13
	三方町			4.0	260
	美浜町			34.0	3,185
	小浜市				
若狭	上中町				
	名田庄村				
	高浜町				
若狭	大飯町				
	大飯町				
県計		56.2	6,349	132.0	12,660

㊦耕地関係

	農 地	水 路	橋 梁	合 計
被害額 (千円)	20,000	11,000	155,000	186,000

市町村名	農 地			農 業 用 施 設		
	ヶ 所	面 積(畧)	被害額(千円)	ヶ 所	面 積	被害額(千円)
福 井 市				2		2,000
敦 賀 市				1		2,000
武 生 市				1		10,000
小 浜 市						
大 野 市	3	1.0	20,000			
勝 山 市				1		20,000
鯖 江 市						
美 山 町						
松 岡 町						
永 平 寺 町						
上 志 比 村						
和 泉 村				3		130,000
三 国 町						
芦 原 町						
金 津 町						
丸 岡 町						
春 江 町						
坂 井 町						
今 立 町						
池 田 町						
南 条 町						
今 庄 町						
河 野 村						
朝 日 町				1		2,000
宮 崎 村						
越 前 町						
越 廼 村						
織 田 町						
清 水 町						
三 方 町						
美 浜 町						
上 中 町						
名 田 庄 村						
高 浜 町						
大 飯 町						
県 計	3	1.0	20,000	9		166,000



		事 項
地 係		勝山市鹿谷町志田
工 種		農道橋
規 模		木造 巾2.0m 長15.0m
被 害 状 況		積雪により橋桁落下通行不能



		事 項
地 係		武生市西尾
工 種		農道橋（文室川）
規 模		木造 巾2.0m(1.5m) 長18.0m
被 害 状 況		積雪により橋桁落下通行不能

(2) 林業関係被害

森林被害は大別して雪圧（沈降圧、匍行圧）による倒木被害と冠雪による折損木被害があり、今冬においては、倒木で43.615ha折損では22.941ha、合計66.556haの被害を被った。これは人工造林面積109.700ha（昭和55年2月12日現在）の61%にあたり特に被害額は冠雪による折損木被害が甚大であった。

なだれ被害は嶺北各地で小なだれが頻発し、1月13日大野市上黒谷部落から100m離れた黒谷山で表層なだれが起り、上黒谷地区住民に避難命令が出された。

被害の実態は次の通りである。

(イ) 被害を受けた区域

倒 伏 県下全域

折 損 木 海拔100～300m以内の地域で平均最深積雪が70～110cmの福井市、美山町、鯖江市、武生市、今立町、朝日町、清水町、金津町、池田町のいわゆる越前山地を中心に集中している。

林産施設 奥越地域を中心としている。

(ロ) 森林被害の実態

今冬の特徴である冠雪による折損木被害についてみれば、次のことが推察される。

林 相

15～30年生……除間伐の手遅れにより林分に幹折れが多く、その折れた位置は3.7～6.0mに集中し、枝下高にあたる。

30年生以上……梢頭折れが多く、過密林分は偏樹冠木に多い。

樹 形

樹冠の偏倚したもの及び形状比の大きいもの。

過去の冠雪害や雪圧害で幹曲りをしたもの。

上下の植栽間隔が狭い林分。

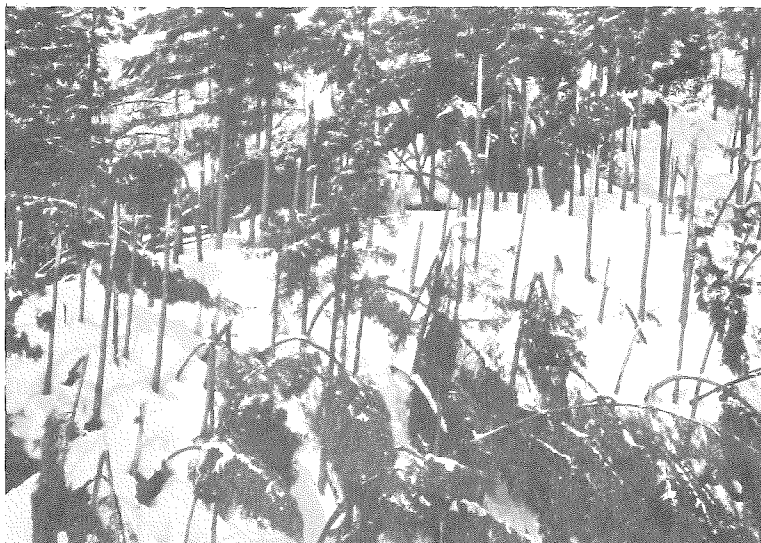
樹幹に比し枝張りの大きい木。

福井市西大味
25年生





勝山市坂東島 20年生



清水町大森 10年生



美浜町新庄
ヒノキ 7年生



美山町高田
23年生

被災前(S・53・11)



被災後(S・56・1)

市町村別被害額

市町村名	林 木		林 産 施 設		林 地		被害額計 千円
	ha	千円	棟	千円	カ所	千円	
福 井 市	5,616	1,439,575	5	4,425			1,444,000
敦 賀 市	1,245	142,236					142,236
武 生 市	3,961	1,680,367		1,159			1,681,526
小 浜 市	773	39,582					39,582
大 野 市	7,928	1,385,046	27	59,157			1,444,203
勝 山 市	6,159	1,337,577	12	10,850			1,348,427
鯖 江 市	1,637	1,489,865	1	200			1,490,065
市 計	27,319	7,514,248	45	75,791			7,590,039
美 山 町	6,417	3,275,709		1,500			3,277,209
松 岡 町	407	346,959					346,959
永 平 寺 町	1,310	778,826					778,826
上 志 比 村	421	168,484					168,484
和 泉 村	4,305	554,626					554,626
三 国 町	206	1,465					1,465
芦 原 町	145	884					884
金 津 町	1,919	584,401					584,401
丸 岡 町	2,659	595,628		530			596,158
春 江 町							
坂 井 町							
今 立 町	1,670	1,994,129	2	6,000	1	1,000	2,001,129
池 田 町	4,963	1,538,301	1	6,850	3	5,100	1,550,251
南 条 町	1,282	211,153			1	9,000	220,153
今 庄 町	2,134	224,176		8,400	3	29,780	262,356
河 野 村	795	152,803			1	20,000	172,803
朝 日 町	1,252	709,644		2,000			711,644
宮 崎 村	1,020	306,262					306,262
越 前 町	1,282	655,878					655,878
越 廼 村	553	120,771					120,771
織 田 町	1,973	651,679					651,679
清 水 町	1,068	384,521					384,521
三 方 町	443	27,728					27,728
美 浜 町	458	55,326					55,326
上 中 町	740	61,236					61,236
名 田 庄 村	1,099	68,074					68,074
高 浜 町	413	21,598					21,598
大 飯 町	303	10,920					10,920
町 村 計	39,237	13,501,181	3	25,280	9	64,880	13,591,341
県 計	66,556	21,015,429	48	101,071	9	64,880	21,181,380

折 損 木 被 害 内 訳

(面積ha 被害額 千円)

区分	1 令 級		2 令 級		3 令 級		4 令 級		5 令 級		6 令 級		7 令 級 以上		計	
	面積	被害額	面積	被害額	面積	被害額	面積	被害額	面積	被害額	面積	被害額	面積	被害額	面積	被害額
高志 林業 事務所	福井市		(50) 4	5,236	(158) 49	80,703	(321) 107	220,955	(557) 150	374,550	(268) 60	21,220	(1,432) 51	534,527	(2,786) 421	1,237,191
	美山町		(93) 33	43,197	(353) 144	237,168	(622) 217	448,105	(841) 281	701,657	(545) 155	548,235	(1,224) 160	1,077,760	(3,678) 990	3,056,122
	松岡町						(27) 13	26,845	(35) 13	32,461	(40) 14	49,518	(175) 34	219,627	(277) 74	328,451
	永浜町		(49) 12	15,708	(88) 31	51,057	(190) 64	132,160	(73) 30	74,910	(115) 38	134,406	(229) 64	316,224	(744) 239	724,465
	上志村		(6) 4	5,236	(17) 8	13,176	(28) 13	26,845	(41) 18	44,946	(18) 3	10,611	(101) 10	49,410	(211) 56	150,224
	計		(198) 53	69,377	(616) 232	382,104	(1188) 414	854,910	(1,547) 492	1,228,524	(966) 270	763,990	(3,161) 319	2,197,548	(7,696) 1,780	5,496,453
坂井 林業 事務所	三国町															
	芦原町															
	金津町				(7) 2	3,650	(49) 15	35,461	(148) 25	71,785	(182) 24	81,453	(750) 67	325,525	(1,136) 133	517,874
	丸岡町				(8) 3	5,650	(79) 14	35,067	(202) 32	92,384	(178) 24	85,242	(419) 41	214,711	(886) 114	433,054
計				(15) 5	9,300	(128) 29	70,528	(350) 57	164,169	(360) 48	166,695	(1,169) 108	540,236	(2,022) 247	950,928	
大野 林業 事務所	勝山市				(557) 172	139,995	(475) 151	167,265	(912) 282	349,580	(216) 67	116,721	(89) 29	107,776	(2,249) 705	881,337
	大野市				(893) 120	197,640	(738) 102	210,630	(380) 52	129,844	(222) 30	106,110			(2,233) 304	644,224
	和泉村				(12) 1	1,647	(30) 6	12,390	(59) 9	22,473	(8) 3	10,611			(108) 19	47,121
	計				(1462) 293	339,282	(1,243) 259	390,285	(1,351) 343	501,897	(446) 100	233,442	(89) 29	107,776	(4,591) 1,024	1,572,682
南 越 林 業 事 務 所	式生市		(180) 82	112,914	(245) 99	163,053	(366) 161	332,465	(471) 163	407,011	(321) 84	297,108	(388) 109	215,384	(1,981) 698	1,527,935
	鯖江市				(58) 25	41,175	(87) 27	55,755	(102) 46	114,862	(169) 70	247,590	(485) 197	973,377	(901) 365	1,432,759
	今立町				(74) 51	86,751	(223) 136	280,840	(195) 111	277,167	(127) 60	212,220	(360) 119	1,060,290	(979) 477	1,917,268
	池田町		(147) 56	77,112	(170) 68	111,996	(490) 184	379,960	(373) 138	344,586	(172) 55	194,535	(77) 23	113,643	(1,429) 524	1,221,832
	南条町						(66) 19	39,235	(25) 7	17,407	(12) 3	10,611			(103) 29	67,253
	今庄町						(34) 7	14,455	(35) 5	12,485					(68) 12	26,940
	河野村				(30) 5	8,235	(70) 17	35,105	(50) 11	27,467	(10) 7	24,759	(10) 2	7,074	(170) 42	102,640
	計		(337) 138	190,026	(577) 248	411,210	(1336) 351	1,137,815	(1,251) 481	1,200,985	(811) 279	936,823	(1,320) 450	2,369,788	(5,632) 2,147	6,296,627
	丹朝日町				(82) 52	85,644	(119) 82	169,330	(163) 54	134,838	(102) 23	81,351	(191) 37	182,817	(657) 248	653,980
	生宮崎村				(79) 41	67,527	(43) 28	57,820	(37) 12	29,964	(26) 8	28,296	(68) 13	72,310	(253) 102	255,917
林 業 事 務 所	越前町				(173) 110	181,170	(168) 101	208,565	(58) 11	27,467	(32) 11	38,907	(78) 24	131,149	(509) 257	587,258
	越廼村				(32) 9	14,823	(26) 7	14,455	(74) 12	29,964	(6) 2	7,074	(8) 3	14,823	(146) 33	81,139
	織田町				(232) 145	238,865	(120) 56	115,640	(78) 14	34,958	(65) 13	45,981	(107) 15	74,115	(602) 243	509,509
	清水町				(98) 48	79,656	(71) 36	74,340	(70) 21	52,437	(73) 12	42,444	(121) 20	73,584	(433) 137	321,861
計				(696) 405	667,035	(547) 310	640,150	(480) 124	309,628	(304) 69	244,053	(573) 112	548,798	(2,600) 1,020	2,409,664	
若 狭 事 務 所	敦賀市				(100) 9	19,800	(100) 10	24,000	(50) 5	13,000					(250) 24	56,800
	小浜市															
	三方町															
	美浜町						(100) 10	24,000	(50) 5	13,000					(150) 15	37,000
	上中町															
	計				(100) 9	19,800	(200) 20	48,000	(100) 10	26,000					(400) 39	93,800
総 計			(535) 191	259,403	(3,466) 1,192	1,828,731	(4,642) 1,583	3,141,688	(5,079) 1,507	3,431,203	(2,907) 766	2,395,003	(6,312) 1,018	5,764,126	(22,941) 6,257	16,820,150

面積 { () は区域面積 }
裸 は実面積 }

倒 伏 木 被 害 内 訳

(面積ha 被害額 千円)

市町村名	1 令 級		2 令 級		3 令 級 以 上		計		
	面 積	被 害 額	面 積	被 害 額	面 積	被 害 額	面 積	被 害 額	
高志林業事務所	福井市	(1,080) 884	63,040	(800) 383	60,604	(950) 329	78,740	(2,830) 1,596	202,384
	美山町	(902) 842	53,888	(780) 651	90,489	(1,057) 391	75,210	(2,739) 1,884	219,587
	松岡町	(36) 36	2,304	(30) 30	4,170	(64) 59	12,034	(130) 125	18,508
	永平寺町	(155) 125	8,000	(115) 95	13,205	(296) 178	33,156	(566) 398	54,361
	上志比村	(97) 81	5,184	(50) 42	5,838	(63) 41	7,238	(210) 164	18,260
	計	(2,270) 1,968	132,416	(1,775) 1,201	174,306	(2,430) 998	206,378	(6,475) 4,167	513,100
坂井林業事務所	三国町	(13) 1	56	(28) 2	244	(165) 7	1,165	(206) 10	1,465
	芦原町	(11) 1	56	(10) 1	122	(124) 4	706	(145) 6	884
	金津町	(212) 176	9,856	(219) 170	20,740	(352) 203	35,931	(783) 549	66,527
	丸岡町	(523) 397	22,232	(486) 364	44,408	(764) 542	95,934	(1,773) 1,303	162,574
	計	(759) 575	32,200	(743) 537	65,514	(1,405) 756	133,736	(2,907) 1,868	231,450
大野林業事務所	勝山市	(1,200) 888	61,272	(1,290) 1,138	171,838	(1,420) 842	223,130	(3,910) 2,868	456,240
	大野市	(1,587) 1,545	106,605	(1,519) 1,422	214,722	(2,589) 1,583	419,495	(5,695) 4,550	740,822
	和泉村	(1,434) 1,407	97,085	(1,375) 1,035	156,285	(1,387) 959	254,135	(4,196) 3,401	507,505
	計	(4,221) 3,840	264,962	(4,184) 3,595	542,845	(5,396) 3,384	896,760	(13,801) 10,819	1,704,567
南越林業事務所	武生市	(1,099) 1,062	59,472	(429) 300	36,600	(452) 292	56,360	(1,980) 1,654	152,432
	鯖江市	(198) 168	9,408	(338) 226	27,572	(200) 100	20,126	(736) 494	57,106
	今立町	(152) 152	9,272	(192) 173	23,009	(347) 253	44,580	(691) 578	76,861
	池田町	(1,262) 1,262	70,672	(909) 909	110,898	(1,363) 719	134,899	(3,534) 2,890	316,469
	南条町	(245) 245	13,720	(291) 291	35,502	(643) 486	94,678	(1,179) 1,022	143,900
	今庄町	(863) 863	48,328	(537) 537	65,514	(665) 433	83,394	(2,065) 1,833	197,236
	河野村	(255) 255	14,280	(250) 180	21,960	(170) 91	13,923	(625) 526	50,163
	計	(4,094) 4,007	225,152	(2,896) 2,616	321,055	(3,840) 2,374	447,960	(10,810) 8,997	994,167
丹生林業事務所	朝日町	(233) 230	16,100	(254) 210	30,660	(108) 42	8,904	(595) 482	55,664
	宮崎村	(325) 260	18,211	(348) 202	29,492	(78) 12	2,642	(767) 474	50,345
	越前町	(285) 255	17,850	(356) 289	42,194	(132) 39	8,576	(773) 583	68,620
	越廼村	(155) 142	9,940	(150) 122	17,812	(102) 53	11,880	(407) 317	39,632
	織田町	(490) 446	31,220	(791) 681	99,426	(90) 52	11,524	(1,371) 1,179	142,170
	清水町	(280) 280	19,600	(305) 266	38,836	(50) 19	4,224	(635) 565	62,660
	計	(1,768) 1,613	112,921	(2,204) 1,770	258,420	(560) 217	47,750	(4,548) 3,600	419,091
若狭事務所	敦賀市	(125) 113	8,588	(571) 395	56,090	(299) 107	20,758	(995) 615	85,436
	小浜市	(170) 94	7,144	(344) 141	20,022	(259) 64	12,416	(773) 299	39,582
	三方町	(60) 43	3,268	(276) 134	19,028	(107) 28	5,432	(443) 205	27,728
	美浜町	(60) 36	2,736	(158) 77	10,934	(90) 24	4,656	(308) 137	18,326
	上中町	(74) 65	4,940	(376) 253	35,926	(290) 105	20,370	(740) 423	61,236
	名田庄村	(228) 134	10,184	(617) 338	47,996	(254) 51	9,894	(1,099) 523	68,074
	高浜町	(34) 16	1,216	(141) 52	7,384	(238) 67	12,998	(413) 135	21,598
大飯町	(100) 40	3,040	(111) 35	4,970	(92) 15	2,910	(303) 90	10,920	
計	(851) 541	41,116	(2,594) 1,425	202,350	(1,629) 461	89,434	(5,074) 2,427	332,900	
総計	(13,943) 12,544	808,767	(14,396) 11,144	1,564,490	(15,260) 8,190	1,822,018	(43,615) 31,878	4,195,275	

面積 { () は区域面積 }
{ 裸 } は実面積

林産施設被害内訳

区分 市町村	木材倉庫		木材加工施設		木材加工施設 (機械)		特殊林産物 倉庫		しいたけ 施設		しいたけ 木		特殊林産物 加工施設(建物)		特殊林産物 加工施設(機械)		被害額 合計
	数量	被害額	数量 棟	被害額	数量 (台)	被害額	数量 棟	被害額	数量 (㎡)	被害額	数量 (体)	被害額	数量 棟	被害額	数量 (台)	被害額	
高志 林業事務所	福井市	4	2,000	1	1,000				604	1,425							4,425
	美山町								287	1,500							1,500
	松岡町																
	永平寺町																
	上志比村																
計	4	2,000	1	1,000				891	2,925								5,925
坂井 林業事務所	三国町																
	芦原町																
	金津町								200	530							530
	丸岡町								200	530							530
計																	
大野 林業事務所	勝山市	3	3,580	9	3,570	4	1,700		250	2,000							10,850
	大野市	6	13,250	11	34,850	8	2,300	1	667	1,386	3,812		9	4,278			59,157
	和泉村																
	計	9	16,830	20	38,420	12	4,000	1	667	1,636	5,812		9	4,278			70,007
南越 林業事務所	武生市								405	729					1	430	1,159
	鯖江市			1	200												200
	今立町												2	6,000			6,000
	池田町			1	5,850	3	1,000										6,850
	南条町																
	今庄町											28,000	8,400				8,400
	河野村																
計			2	6,050	3	1,000		405	729	28,000	8,400	2	6,000	1	430	22,609	
丹生 林業事務所	朝日町								120	2,000							2,000
	宮崎村																
	越前町																
	越廼村																
	織田町																
	清水町																
	計								120	2,000							2,000
若狭 林業事務所	敦賀市																
	小浜市																
	三方町																
	美浜町																
	上中町																
	名田庄村																
	高浜町																
大飯町																	
計																	
総計	13	18,830	23	45,470	15	5,000	1	667	3,252	11,996	28,000	8,400	11	10,278	1	430	101,071

(二)なだれ発生による林業被害状況

事務所	区分	被害			摘要
		箇所	面積ha	被害額(千円)	
高志林業事務所	美山町	3	2.00	26,000	大野市上下黒谷地区は避難
	上志比村	1	1.00	6,000	
	計	4	3.00	32,000	
大野林業事務所	勝山市	2	3.00	32,000	
	大野市	5	6.80	84,000	
	和泉村	5	4.00	52,000	
	計	12	13.80	168,000	
南越林業事務所	鯖江市	1	0.10	1,430	
	今立町	1	0.10	1,000	
	池田町	4	2.20	67,000	
	南条町	1	0.30	22,000	
	今庄町	3	1.00	25,000	
	河野村	1	0.40	26,000	
	計	11	4.10	142,430	
合	計	27	20.90	342,430	



大野市下黒谷(礼段谷)

(3)水産業関係被害

急激な積雪により、共同利用施設（荷さばき所）の倒壊、漁船の沈没さらに池中養殖のアマゴ、ニジマスおよびその卵の圧死の一次的な被害のほか、二次的な被害として養殖ハマチ等が凍死し1億32百万円の被害を生じ、また長期間のシケによる出漁不能のため大幅な魚獲減による損失額が3億57百万円におよぶ等大きな打撃を受けた。

(単位 千円)

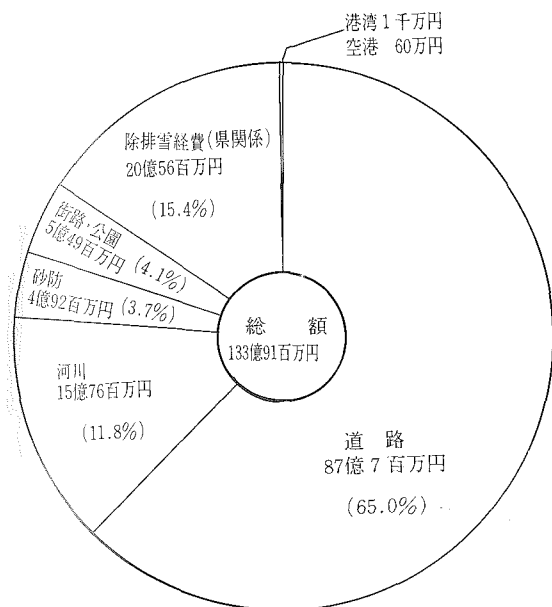
市町村名	漁 船 被 害 額	養 殖 施 設 被 害 額	共 同 利 用 施 設 被 害 額	非 共 同 利 用 施 設 被 害 額	そ の 他	計
三 国 町					92,000	92,000
丸 岡 町		100			1,180	1,280
福 井 市					7,000	7,000
越 前 町					140,000	140,000
勝 山 市					4,000	4,000
大 野 市		5,350			8,100	13,350
池 田 町					540	540
敦 賀 市			10,800		24,000	34,800
美 浜 町	500			2,000	117,000	119,500
上 中 町		60			470	530
小 浜 市					57,000	57,000
高 浜 町					34,000	34,000
計	500	5,510	10,800	2,000	485,190	504,000

3. 公共土木施設関係被害

公共土木施設の被害は県下で 133億91百万円の多額にのぼり過去最高の被害となった。

とりわけ、最も被害の多かったのは、道路被害であり、過去に被害のみられなかったスノーセットやガードレールにまで被害が及んだ。

また長期間にわたった融雪出水のため、河川、護岸等にも多大の被害を与える結果となった。



公共土木施設関係被害額内訳

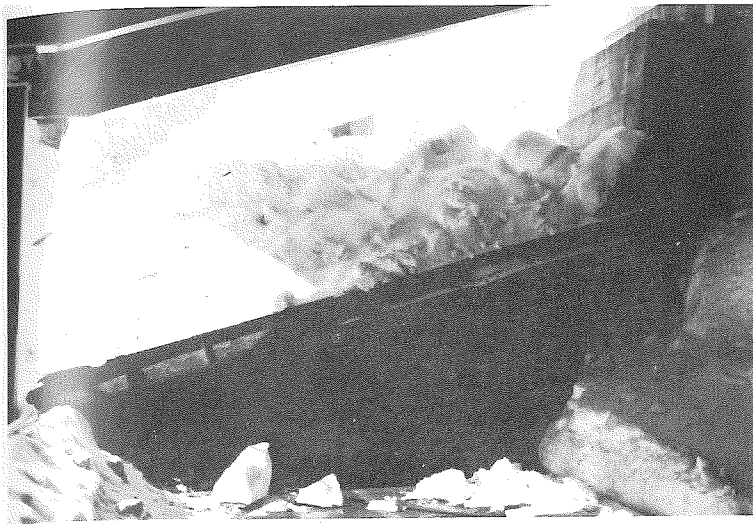
項目	被害額(千円)
道路	
県管理道路	7,450,612
市町村管理道路	798,385
北陸自動車道	368,000
国道(8,27,161号線)	90,000
小計	8,706,997
河川	
県管理河川	1,380,171
市町村管理河川	195,594
小計	1,575,765
港湾	10,255
空港	600
砂防	
砂防施設	255,859
急傾斜地(かけくずれ)	236,350
小計	492,209
街路・公園	549,407
除排雪経費(県関係)	2,055,642
合計	13,390,875

(1)道路の被害

(イ)県管理道路

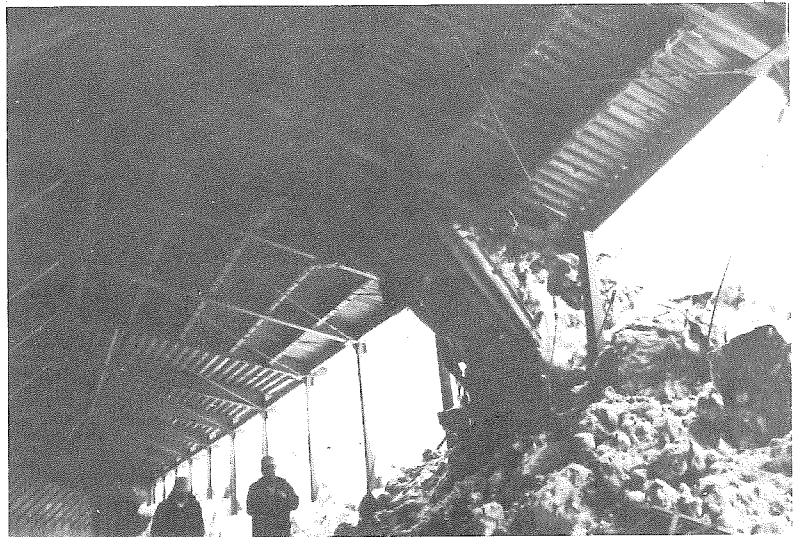
県管理道路208路線、2,002.8km（国道8路線330.2km、主要地方道28路線523.8km、一般地方道172路線1,148.8km）の被害総額は74億円を超え、公共土木施設被害全体の65%を占める結果となった。

被害内容	箇所	延長	被害額(千円)
交通安全施設			
防護柵		62,224 m	756,228
標識	524		20,553
反射鏡	329		22,347
視線誘導標	1,355		16,530
区画線		1,405 km	257,309
歩道補修		10.2 km	101,280
歩道橋	5		32,014
道路照明	106		43,917
舗装補修		109.0 km	1,346,000
橋梁補修	80		185,000
落石防護柵	16		84,100
スノーシェード	4		752,454
道路決壊	402		3,659,315
法面保護修繕	39		153,965
消雪工修繕	4		19,600
合計			7,450,612



国道 158号線における積雪、
なだれによるスノーシェード
の崩壊

国道 158号線における落石に
よるスノーシェードの崩壊



国道 158号線における交通安
全施設の崩壊

(ロ)市町村管理道路

市町村管理道路の被害は、総額7億98百万円に致った。

	箇 所	金 額
福 井 市	23	43,912
敦 賀 市	16	15,262
武 生 市	22	139,063
小 浜 市	3	67,400
大 野 市	14	22,008
勝 山 市	18	72,863
鯖 江 市	17	3,833
美 山 町	22	51,463
松 岡 町	2	930
永 平 寺 町	4	1,831
上 志 比 村		
和 泉 村	13	75,251
三 国 町		
芦 原 町	1	1,546
金 津 町	6	7,695
丸 岡 町		
春 江 町		
坂 井 町		
今 立 町	4	886
池 田 町	31	92,400
南 条 町	2	1,199
今 庄 町	19	22,681
河 野 村	2	10,936
朝 日 町	16	35,925
宮 崎 村	8	40,225
越 前 町		
越 廼 村	4	36,673
織 田 町	9	12,740
清 水 町	5	7,373
三 方 町		
美 浜 町		
上 中 町	5	4,251
名 田 庄 村		
高 浜 町	4	30,039
大 飯 町		
県 計	270	798,385

イ北陸自動車道

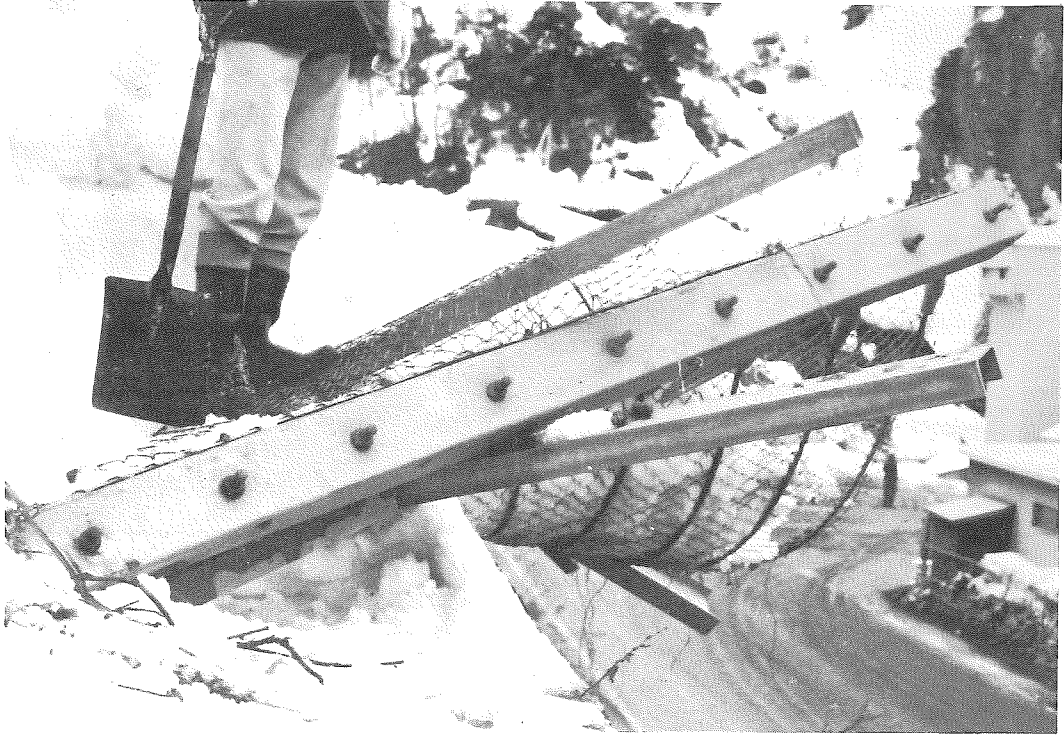
日本道路公団福井管理事務所が管理する北陸自動車道の被害は、立入防止柵の被害額 2 億 5 千万円をはじめとして被害総額 3 億 68 百万円に達した。

項 目	数 量	金 額(千円)	備 考
ガードレール・ガードケーブル	12,900.0m	40,000	
視 線 誘 導 標	199,905m	36,000	デリネーター919基
眩 光 防 止 板	427板	10,000	
樹 木	1,600本	14,000	
立 入 防 止 柵	30,300m	250,000	
排 水 溝	840m	14,000	
非 常 電 話	4 基	1,000	
飛 雪 防 止 網	16枚	3,000	
合 計		368,000	

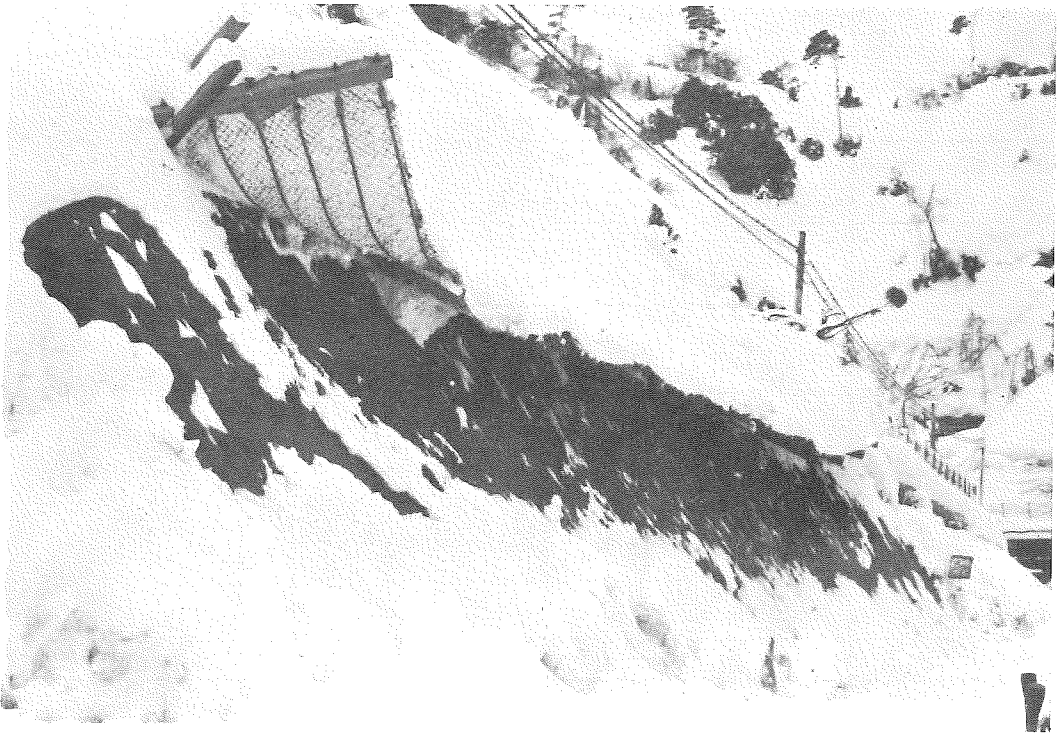
ロ 国 道

近畿地方建設局福井工事事務所が管理する国道 8 号線、27号線、161号線の被害は、ガードレール関係の4,600万円をはじめとして、総額9,000万円に達した。

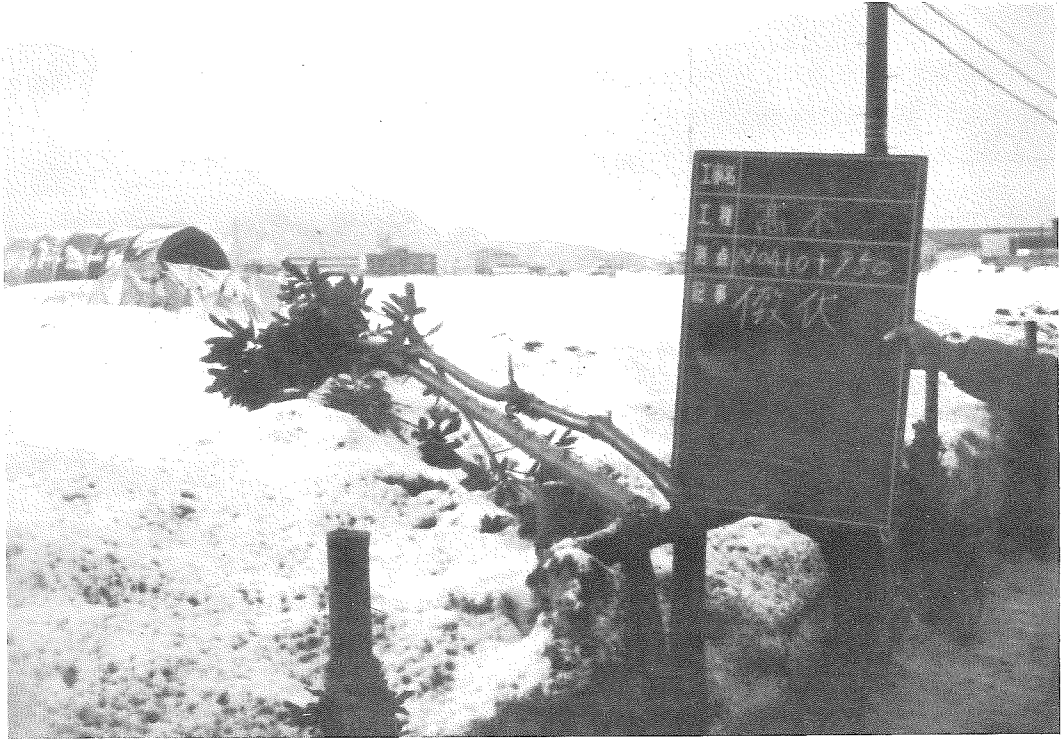
項 目	数 量	金 額(千円)
ガードレール関係 取 替 ・ 整 正	6,950m	46,000
標 識 関 係 取 替	40基	3,000
法 面 崩 土 処 理	5ヶ所	2,000
路 肩 緑石ブロック、路肩コンクリート	560m	3,000
視線誘導標 デリネーター	2,800本	11,000
街路樹 植 樹	1,600本	11,000
そ の 他 スノーシェード仮設	12m	} 12,500
落石防止柵	43m	
基石修理	7 基	
合 計		90,000



崩壊した端末支柱



雪崩により倒れた落石防止柵



街路樹の被害



ガードレールの破損

(2)河川の被害

今冬の豪雪は、長期間にわたる融雪出水をもたらし護岸等に多大の被害を与え、県が管理する河川185のうち、46河川122ヶ所、13億8千万円に達した。

また、市町村管理の河川においても被害ヶ所29ヶ所、被害額2億円の被害を出した。

(イ)県管理河川

土木事務所名	河川名	箇所数	被害額(千円)	土木事務所名	河川名	箇所数	被害額(千円)	土木事務所名	河川名	箇所数	被害額(千円)				
福井	荒川	1	2,100	(計)	五味川	1	8,746	今立	足羽川	2	22,579				
	永平寺川	8	44,237		七瀬川	5	52,011		水海川	6	93,025				
	南河内川	1	574		磯部川	2	13,823		魚見川	2	20,960				
	河内川	3	26,304		二級河川 観音川	2	10,093		鞍谷川	1	2,284				
	未更毛川	1	3,029		8河川	25	285,073		水間川	2	7,714				
	志津川	3	29,019		大野	赤根川	1		53,114	(計)	5河川	13	146,562		
	滝波川	2	10,228			木瓜川	1		8,058	朝日	天王川	4	13,839		
	朝六川	12	368,051			清滝川	1		11,678		織田川	1	2,060		
	高橋川	2	7,988			九頭竜川	1		8,264		二級河川 大味川	1	4,645		
	足羽川	3	66,104			(計)	4河川		4		81,114	(計)	3河川	6	20,544
	一乗谷川	2	8,330			勝山	畝見川		1		4,524	総計	122	1,380,171	
	大谷川	1	5,457			(計)	1河川		1		4,524		46河川		(県管理河川185川)
	三万谷川	3	10,259			鯖江	鞍谷川		2		37,968				
	芦見川	3	14,043			(計)	河和田川		6		24,397				
	羽生川	2	17,412				2河川		8		62,365				
	計石川	2	16,167				武生		日野川		4		64,461		
	野津又川	3	16,453				(計)		天王川		1		734		
(計)	17河川	645,755	吉野瀬川	5				52,429							
三国	竹田川	5	89,966	取谷川				1	2,477						
	兵庫川	6	99,123	金粕川				1	5,363						
	熊坂川	1	4,498	田倉川				1	8,770						
	権世川	3	6,813	6河川				13	134,234						

(口)市町村管理河川

市町村名	河川名	箇所数	被害額(千円)
福井市	大味川	2	18,772
〃	高尾川	4	63,362
武生市	大虫川	1	3,433
〃	国成川	1	7,122
〃	小野川	1	1,172
〃	下別所川	1	2,545
〃	沖田川	3	4,615
〃	上吉野瀬川	1	2,989
大野市	尾永見川	1	187
美山町	ヒルガ谷川	1	5,785
金津町	権世川	1	832
今立町	寺山川	1	1,752
池田町	角間川	1	13,297
〃	ずり谷川	1	10,902
〃	杉ノ谷川	1	4,054
宮崎村	長谷川	1	929
〃	鷹野川	1	2,625
〃	檉津川	1	29,498
〃	国成川	1	2,879
〃	江波川	1	1,131
高浜町	山根川	2	14,725
〃	白井川	1	2,989
総計	22河川	29	195,594

(3) 港湾の被害

敦賀港で上屋横に併設した荷役機械連絡ベルトコンベアーが上屋の屋根雪落下により、一部損壊しまた同上屋の屋根の一部が損壊するという被害が生じた。

被害程度	被害額(千円)
荷役機械(ベルトコンベアー)損壊(損壊延長18m)	9,158
上屋屋根損壊	947
港湾事務所車庫シャッター損壊	150
合計	10,255

(4) 空港の被害

今回の豪雪は空港施設にも被害をおよぼし、福井空港で雪の重みにより場周柵が下に引張られたため、柵のコーナー近辺の支柱が内側に倒れた。また進入角指示灯等に雪が吹き込み絶縁性が悪化し、電球等が切れるという被害が生じた。

被害状況	被害額(千円)
場周柵(周囲柵)の損壊	500
電気照明関係器機の損壊	100
合計	600

(5) 砂防の被害

融雪の時期をむかえ、3月14～15日及び3月24～25日の気温上昇による融雪出水のため、砂防指定地内の河川が氾濫して既設の砂防施設に大きな被害を与えた。また、県下各地に、がけ崩れ災害が発生し、人家に直接被害を与えた区域は22ヶ所におよび、人家全壊1戸、一部破損15戸に致った。このため、砂防施設および、急傾斜地を合わせた被害額は総額4億9,000万円の多額にのぼった。

(イ) 砂防施設被害

区分 土木事務所	被害内容	被害額(千円)
福井	鹿俣川他9ヶ所(護岸欠壊10ヶ所)	34,867
大野	大門川1ヶ所(同上1ヶ所)	2,853
鯖江	西袋川他1ヶ所(落差工流失2ヶ所)	31,215
武生	吉野瀬川他5ヶ所(護岸欠壊6ヶ所)	25,103
今立	清水谷川他15ヶ所(同上16ヶ所)	90,280
朝日	坪谷川他17ヶ所(同上18ヶ所)	55,549
小浜	飯盛川他8ヶ所(同上9ヶ所)	15,992
計	62ヶ所	255,859

※被害額は復旧事業費とする。ただし、人家等被害については含まず。

(四)急傾斜地（がけ崩れ）被害

No	土木事務所	区域名	災害発生日時	地 係	崩 壊 状 況			被 害 状 況			区域状況		被害額 (千円)	復旧費(56年度)			備 考	
					高さ (m)	幅 (m)	土砂 量(t)	負傷者 (名)	人家半 壊以上	人家一 部破損	その他	指定		総点検 危険度	緊急々傾	急傾		市町村
1	敦賀	長兵谷	1月1日7:00	美浜町長兵谷	8	10	20			1		済	A-9	15,900	15,900			
2	"	橋坂山	" 6日9:00	" 日向	5	10	10				公民館破損	未	A-9	4,000			4,000	
3	朝日	梅浦第一	" 7日 "	越前町梅浦	45	35	50			1	小屋・半壊	済	A-12	12,300	12,300			
4	"	米ノ第2	3月21日5:30	" 米ノ	30	15	25			1		"	A-11	16,200	16,200			
5	"	三箇山	1月15日15:00	清水町三ヶ山	15	50	80			2		未	A-10	13,500	13,500			
6	"	天谷	2月2日23:00	朝日町天谷	30	60	150			1	旅館半壊1	済	A-12	15,000				
7	福井	大森	1月13日15:00	清水町大森	7	20	90			1		未	A-12	10,000	10,000			
8	"	花堂	2月11日16:00	福井市花堂	20	12	57			2		"	A-11	12,500	12,500			
9	"	足羽1丁目	3月15日9:00	" 足羽1丁目	10	3	2			1		"	A-10	2,000				
10	"	山奥第5	3月21日22:00	" 山奥	10	25	40			1		"	A-12	11,200	11,200			
11	"	四ッ合	2月19日23:00	清水町四ッ合	5	7	5			1		"	なし	500				
12	"	笏谷	3月26日19:00	福井市笏谷	15	100	30					"	A-10	150				
13	"	足羽3丁目	" "	" 足羽3丁目	10	15	10					"	A-13	100				
14	勝山	暮見	2月15日17:00	勝山市暮見	60	15	260		全壊1			"	A-13	15,800	15,800			
15	大野	城町	2月12日20:00	大野市城町	25	30	300					"	なし	7,600				
16	武生	南瀬	2月18日14:00	河野村南瀬	6	20	60			1		済	A-11	17,500	17,500			
17	三国	中元2	3月20日21:00	三国町	15	10	5					"	A-9	7,000				
18	"	栄町	"	"	15	10	5					未	"	10,000				
19	"	新保	"	"	13	10	3					"	A-12	20,000				
20	"	安島	"	"	15	10	5					済	A-15	10,000				
21	今立	小山	3月26日11:00	今立町	18	20	50			1		未	A-14	21,600	21,600			
22	鯖江	別司	4月30日15:00	鯖江市別司						1		"	A-16	13,500	13,500			
		計		22ヶ所			257		全壊1	15	3			236,350	160,000		4,000	

※被害額は復旧事業費とする。ただし、人家等被害については含まず。

(6)街路・公園関係の被害

56豪雪の雪質は、水分の含有が異常に多い特異な雪質で、これが一時に降るといった状況であった。このため、街路樹、公園の樹木、防護柵等に折損等の多くの被害が出た。

(単位：千円)

施設名	県 分		市 町 村 分		合 計		被害状況
	ヶ 所	被害額	ヶ 所	被害額	ヶ 所	被害額	
街 路 関 係		10,200		41,100		51,300	
交通安全施設							
街 路 樹		8,120	500本	11,224		19,344	折 損
側溝(L型を含む)		2,080	616m	16,860		18,940	損 壊
平板ブロック			2,120m ²	10,600	2,120m ²	10,600	〃
植 樹 帯			130m	416	130m	416	〃
舗 装			200m ²	2,000	200m ²	2,000	〃
公 園 関 係		27,180		470,927		498,107	
樹 木	2,370本	24,100	9,380本	115,000	11,750本	139,100	折 損
施設(遊具・フェンス等)		3,080		355,927		359,007	損 壊
合 計		37,380		512,027		549,407	

土木事務所・市町村別被害額内訳

(単位：千円)

県 分				
土木事務所	街路事業	公園事業	計	備 考
福 井	(1,000) 6,920	(7,200) 9,100	(8,200) 16,020	福井縦貫線(植樹柵)街路樹 福井都市緑化植物園
勝 山	(1,200) 1,200		(1,200) 1,200	街路樹
朝 日	(1,000) 1,000	18,080	(1,000) 19,080	清水織田線(L型側溝) 越前陶芸公園
敦 賀	(1,080) 1,080		(1,080) 1,080	岡山松陵線(L型側溝)
計	(4,280) 10,200	(7,200) 27,180	(11,480) 37,380	
市町村分				
福 井 市		165,471	165,471	
武 生 市	(14,000) 14,000	(360) 41,766	(14,360) 55,766	
鯖 江 市	(15,900) 15,900	33,870	(15,900) 49,770	
大 野 市	(5,200) 5,200	3,701	(5,200) 8,901	
勝 山 市		59,540	59,540	
敦 賀 市	(6,000) 6,000	146,819	(6,000) 152,819	
春 江 町		1,878	1,878	
坂 井 町		940	940	
丸 岡 町		1,782	1,782	
今 立 町		10,160	10,160	
朝 日 町		5,000	5,000	
計	(41,100) 41,100	(360) 470,927	(41,460) 512,027	
合 計	(45,380) 51,300	(7,560) 498,107	(52,940) 549,407	

() 内は55年度施行分に係る被害額

都市公園被害状況調

(単位：千円)

市町村名	箇所数	施設費	樹木費	合計	備考欄
福井	116	135,471	30,000	165,471	フェンス、パーゴラ、遊具 高木 400 下木 2,000
武生	16	29,266	12,500	41,766	フェンス、水銀灯、パーゴラ # 300 # 1,000
鯖江	9	7,870	26,000	33,870	フェンス # 300 # 2,000
大野	6	2,201	1,500	3,701	遊具、パーゴラ、フェンス # 300
勝山	14	27,540	32,000	59,540	遊具、フェンス # 400 # 2,000
敦賀	10	143,819	3,000	146,819	金ヶ崎公園の園路崩壊 # 100
春江	5	1,178	700	1,878	フェンス # 30 # 50
坂井	3	440	500	940	# # 20 # 50
丸岡	5	1,182	600	1,782	# # 20 # 50
今立	5	6,960	3,200	10,160	遊具、パーゴラ、フェンス # 100 # 30
朝日	1	—	5,000	5,000	# 130 # 100
計	190	355,927	115,000	470,927	
福井県	福井都市 緑化植物園	—	9,100	9,100	# 370 # 1,000
	越前陶芸公園	3,080	15,000	18,080	高木 200 下木800 藤柵 1基、建仁寺垣L=62.0m 四目垣L=212.0m
計	2	3,080	24,100	27,180	
合計	192	359,007	139,100	498,107	高木 2,370 下木 9,380

(7)除排雪経費

除排雪経費は、県関係のみで、20億円の多額にのぼった。

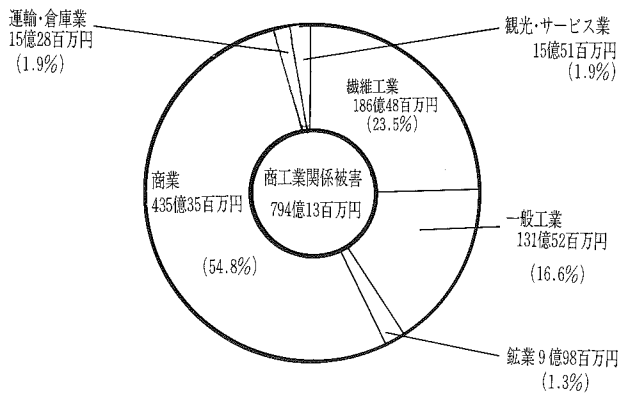
道路種別	除雪延長(km)	事業費(千円)
一般国道	320.4	331,500
主要地方道	505.2	606,900
一般地方道	1,039.2	951,600
公共計	(1,864.8)	(1,890,000)
県単独費	41.7	165,642
合計	1,906.5	2,055,642

4. 商工業関係被害

本県商工業界の豪雪による被害額は794億円を超え、本県の経済活動は一時的に停滞した。

特に今回の豪雪により操業率の低下による損失滞質による損失・除雪費などの間接被害が約 750 億円に達したのが、大きな特徴といえ、今後の企業あるいは商店街の消融雪装置の設置・拡充、雪に備えた都市交通体系の整備等に多くの教訓を残した。

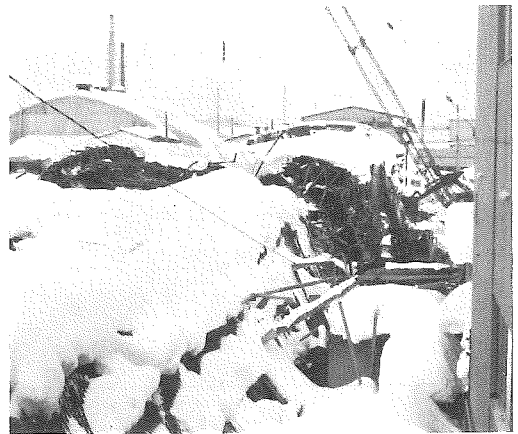
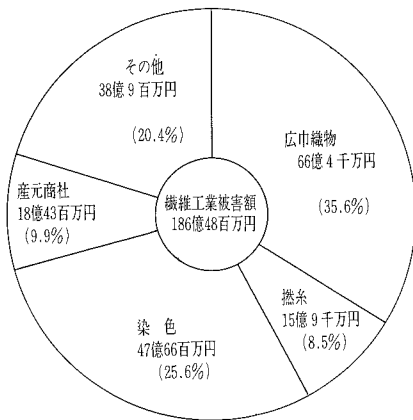
区分	直接被害額(千円)	間接被害額(千円)	計(千円)
繊維工業	3,554,930	15,093,309	18,648,239
一般工業	484,937	12,667,154	13,152,091
鉱業	100,300	897,336	997,636
商業	272,040	43,263,370	43,535,410
運輸・倉庫業	25,500	1,502,517	1,528,017
観光・サービス業	106,300	1,445,000	1,551,300
合計	4,544,007	74,868,686	79,412,693



商工業関係被害額内訳

(1) 繊維工業の被害

本県の基幹産業である繊維工業は今回の豪雪により大きなダメージをうけ、その被害額は 186億 5 千万円に達した。特に操業率の低下による損失は約 100億円となった。これは、本県繊維産業の生産構造が原料の購入から製品に至る工程を 1つの企業が行っているのではなく、準備（撚糸・サイジング等）製織、編、加工（染色等）の各工程が細かく専門化されているために物流の連係が保てない企業が多く、特に市街地に立地する小規模企業ほど市街地道路（幹線以外）の除雪が進行しないため製品の搬入・搬出ができない状況が続いたことが大きな原因となった。また積雪による従業員の通勤難等もあり、福井・鯖江地域では一時操業率は20～30%にまで落ちた。一方比較的雪の少ない地域でも流通機能の麻痺により工程間の連係が保てないため被害は県下全域に及んだ。



繊維工業被害額内訳

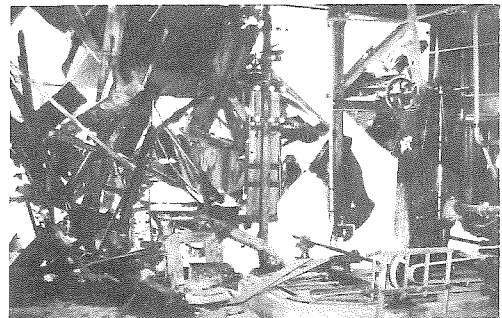
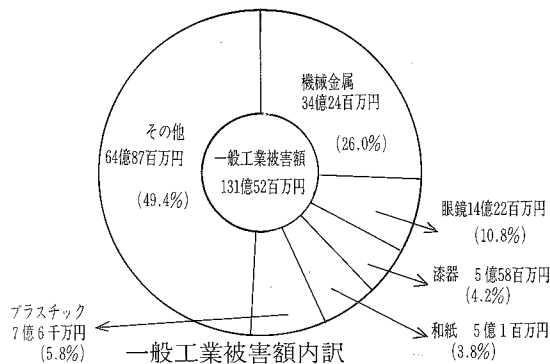
積雪のため倒壊した繊維工場（鯖江市）

(単位：千円)

被害額 業種	直接被害				間接被害				合計
	建物	機械・設備	商品・原料	小計	操業率低下による損失	滞貸による損失	除雪費 その他	小計	
広巾織物	605件 31,615㎡ 1,810,000	織機 204台 209,000	38,000	2,057,000	2,576,956		2,005,655	4,582,611	6,639,611
撚糸	126件 5,300㎡ 328,000	撚糸機 2台 8,000		336,000	641,752		612,595	1,254,347	1,590,347
染色	29件 7,537㎡ 250,420		62,530	31,280	344,230	4,385,200	36,700	4,421,900	4,766,130
産元商社						1,787,500	55,250	1,842,750	1,842,750
その他	320件 13,983㎡ 810,700	レース機 1台 5,500	1,500	817,700	2,311,101		680,600	2,991,701	3,809,401
計	1,092件 58,435㎡ 3,199,120	285,030	70,780	3,554,930	9,915,009	1,787,500	3,390,800	15,093,309	18,648,239

(2)一般工業の被害

中小零細企業が多い本県の一般工業の被害額は、131億5千万円に達し、うち間接被害が126億7千万円と全体の95%を占めた。これは、県内の一般工業の多くが家内工業的であるため家庭内除雪のため企業活動ができなかったこと、また比較的従業員数の多い企業であっても通勤難等により欠勤するものが比較的多かったこと、また物流についても幹線以外の道路の除雪が遅れたため原材料の入手ができない状態が続いたなどといった原因により操業率が低下し、さらに滞貨による損失も大きくなった。これを業種別にみると、機械金属工業は市街地を中心に工場があり原材料の搬入・製品の搬出ができないため部品等製造部門と組み立て部門との業者間での流通がスムーズにいかず操業率の低下・滞貨による損失が大きくなった。また河和田地区を中心とする越前漆器、今立町を中心とする越前和紙については、積雪量も多く幹線道路の中員も狭いため通行の確保もできず、原材料の入手難、製品の滞貨がめだつた。また窯業・木工関係では原材料が雪下に埋もれ操業に支障をきたした企業も多く燃料の確保ができず操業を休止した企業もあった。



積雪のため倒壊した和紙工場(今庄町)

(単位:千円)

業種	直接被害				間接被害				合計
	建物	機械・設備	商品・原材料	小計	操業率低下による損失	滞貨による損失	除雪費その他	小計	
機械金属	4件 500㎡ 41,000	20,000		61,000	2,677,914	670,000	15,000	3,362,914	3,423,914
眼鏡	5件 1,122㎡ 100,000			100,000	1,171,871		150,000	1,321,871	1,421,871
漆器					344,162	214,000		558,162	558,162
和紙	45件 717㎡ 39,800	80,000		119,800	352,480	28,000	1,200	381,680	501,480
プラスチック	15件 2,600㎡ 29,520	成型機 1台 300		29,820	671,525	41,200	17,460	730,185	760,005
その他	37件 6,230㎡ 144,517	荷作機 他10台 17,700	12,100	174,317	6,113,232	118,000	81,110	6,312,342	6,486,659
計	106件 11,169㎡ 354,837	118,000	12,100	484,937	11,331,184	1,071,200	264,770	12,667,154	13,152,091

(3) 鉱業の被害

原石・鉱石の採取のほとんどを露天掘りで行っている鉱業関係の被害額は約10億円となり、その9割を間接被害が占めた。例年の冬期操業ではあらかじめ確保していた原石を用いて砕石・選鉱等を行ってきたが、今季は異常な降雪量により原石・鉱石の採取を休止した期間が長びいたこと、またプラント選鉱場が雪に埋もれ工場の操業が停止したことなどにより損失は大きくなった。一方坑内掘りで行っている中竜鉱山は4メートルを越す豪雪で社宅等の除雪に手をとられ、操業率は大幅に低下し一時は完全に停止した。また国道158号線が通行不能となり和泉村が孤立し製品の出荷が不能となったため滞貨による損失も大きくなった。鉱業は地元との協調が大切なため地元の除雪についても積極的に取り組みその分操業率の低下ともなった。

(単位：千円)

業種	直接被害				間接被害				合計
	建物	機械・設備	商品・原材料	小計	操業率低下による損失	滞貨による損失	除雪費その他	小計	
鉱業	2件 100㎡ 3,000	ベルトコンベア 5本 1,000		4,000	249,229	144,000	27,000	420,229	424,229
採石・砂利	9件 125㎡ 6,300	ベルトコンベア 60本 90,000		96,300	425,107		52,000	477,107	573,407
計	11件 225㎡ 9,300	91,000		100,300	674,336	144,000	79,000	897,336	997,636

(4) 商業の被害

商工業関係で最大の被害を出した商業の被害額は、435億4千万円に達し、そのほとんどを売上減少による間接被害が占めた。これは突然の大量の降雪により道路の除雪が進行しないため交通網がその機能を失った結果、卸売業においては製品の出荷難、受注の減少にみまわれ、また小売・飲食業においては客足が遠のいたことによるもので、特に年間を通じて最大のかき入れ時である年末・年始の売上減少が大きく響いた。これを製品別にみると自動車や電気製品など買回品で6～8割落ち込んだほか、衣服関係で4割の減少を記録した。また操業率をみると平年に比べ卸売業で65%、小売業で58%にまで落ち込んだ。

(単位：千円)

業種	直接被害				間接被害				合計
	建物	機械・設備	商品・原材料	小計	操業率低下による損失	滞貨による損失	除雪費その他	小計	
卸売業	3件 449㎡ 70,500		50,000	120,500	27,978,810		20,000	28,998,870	28,119,370
小売業	25件 2,522㎡ 137,540		12,300	149,840	12,266,880		182,000	12,448,880	12,598,720
飲食業	2件 87㎡ 1,700			1,700	2,815,620			2,815,620	2,817,320
計	30件 3,058㎡ 209,740		62,300	272,040	43,061,370		202,000	43,263,370	43,535,410

(5) 運輸・倉庫業の被害

運輸・倉庫業の被害額は15億3千万円となったが、そのほとんどを間接被害が占めた。特に運輸業は雪害を最も直接に受けた業種といえ、この業種の操業率の低下が本県の経済活動に大きな影響を与えた。一方保管業としての倉庫業の操業率には大きな影響はなかったものの、建物保全のための除雪には莫大な労力と費用を要した。

(単位：千円)

業種	被害額				直接被害				間接被害				合計
	建物	機械・設備	商品・原材料	小計	操業率低下による損失	滞貨による損失	除雪費その他	小計					
貨物・一般旅客	1件 182㎡ 5,500			5,500	678,244		356,155	1,034,399	1,039,899				
私鉄					250,000		110,000	360,000	360,000				
倉庫業	1件 330㎡ 20,000			20,000	16,918		91,200	108,118	128,118				
計	2件 512㎡ 25,500			25,500	945,162		557,355	1,502,517	1,528,017				

(6) 観光・サービス業の被害

観光・サービス業の被害額は15億5千万円となった。うち奥越地方を中心とした建物の倒壊による直接被害が1億1千万円に達した外は、その大部分を旅館・民宿等キャンセルによる売上げ減を中心とする間接被害が占めた。特に本県の冬場の観光の中心である芦原温泉を中心として越前ガニの料理を目的として宿泊させる越前海岸一帯の各宿泊地において交通機関の混乱による予約キャンセルが相次ぎ、また奥越地方を中心とするスキー民宿においても、越美北線の運休および国道158号線の不通で和泉村では予約がすべてキャンセルされるなど大幅な売上げ減となった。今回の56豪雪は“冬の福井の豪雪”の印象を全国的に植えつけ本県の冬の観光に大きなダメージを与えたものと考えられ、このイメージ回復には数年を要するものと考えられる。

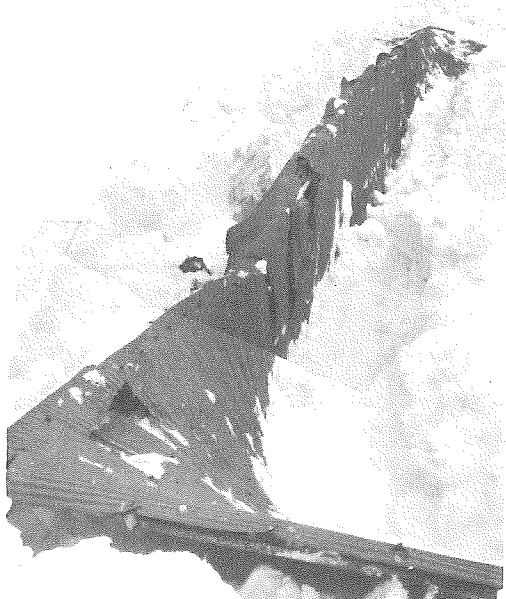
(単位：千円)

業種	被害額				直接被害				間接被害				合計
	建物	機械・設備	商品・原材料	小計	操業率低下による損失	滞貨による損失	除雪費その他	小計					
一般旅館	3件 1,220㎡ 42,300			42,300	846,000		5,000	851,000	893,300				
スキー民宿	1件 180㎡ 10,000			10,000	529,000		18,000	547,000	557,000				
その他	6件 516㎡ 54,000			54,000	47,000			47,000	101,000				
計	10件 1,916㎡ 106,300			106,300	1,422,000		23,000	1,445,000	1,551,300				

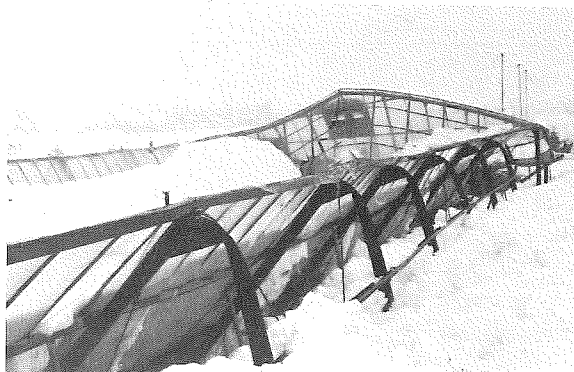
5. 教育関係の被害

今冬の豪雪は、雪質が重く、これによる建物の軒破損及び工作物であるフェンス並びに受水槽の破損が多く例年のない復旧補修費を要した。

	被害数	被害額(千円)
文教施設		
小学校	68校	63,826
中学校	24 "	35,344
高等学校	14 "	30,452
特殊学校	1 "	355
幼稚園	5園	1,839
その他(県立短大)	1校	54,000
小計	113	185,816
社会教育施設		
文化施設	1棟	108,000
文化財	9 "	132,724
その他	8 "	4,687
小計	18 "	245,411
除排雪経費		20,948
合計		452,175

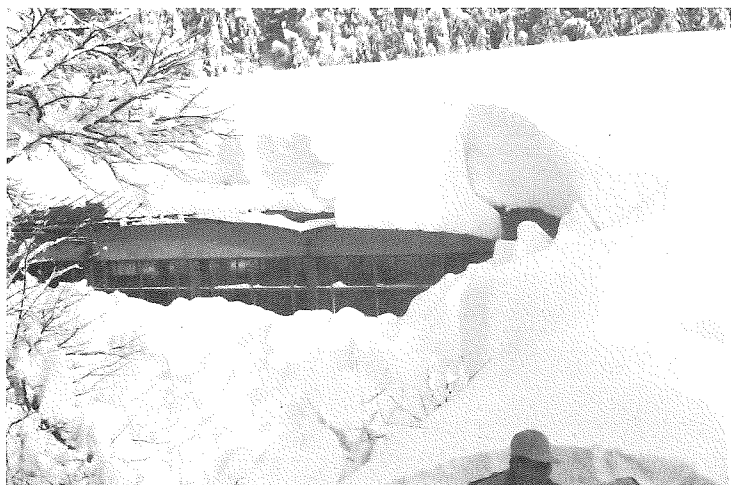


自転車置場の倒壊
(武生高校池田分校)



ビニールハウスの倒壊
(福井農林高校)

雪に埋れた小学校
(美山町羽生小学校)



(1)小学校の被害

	被害 校数	建 物			計	工 作 物 被 害 額	土 地 被 害 額	総 計	備 考 (被害の状況)
		要 新 築	要 補 修	大破以下					
		全 壊	半 壊						
福 井 市	8	26㎡ 1,252千円		4,745千円	5,997千円	1,030千円	7,027千円	渡り廊下破損、校舎軒破損、フェンス破損	
敦 賀 市	19			11,554	11,554	730	12,284	屋根瓦破損、軒破損	
武 生 市									
小 浜 市									
大 野 市	14			1,276	1,276	850	2,126	校舎軒破損、受水槽・フェンス破損	
勝 山 市	10			1,300	1,300		1,300	校舎軒破損	
鯖 江 市	9			23,056	23,056		23,056	屋体屋根破損、高架水槽陥没	
市 計	60	26㎡ 1,252		41,931	43,183	2,610	45,793		
美 山 町	6	20㎡ 2,000		5,672	7,672	5,824	13,496	渡り廊下破損、受水槽破損	
松 岡 町									
永 平 寺 町	1					437	437	フェンス破損	
上 志 比 村									
和 泉 村									
三 国 町									
芦 原 町									
金 津 町									
丸 岡 町									
春 江 町									
坂 井 町									
今 立 町	1			4,100	4,100		4,100	校舎屋根破損、窓枠・ガラス破損	
池 田 町									
南 条 町									
今 庄 町									
河 野 村									
朝 日 町									
宮 崎 村									
越 前 町									
越 廼 村									
織 田 町									
清 水 町									
三 方 町									
美 浜 町									
上 中 町									
名 田 庄 村									
高 浜 町									
大 飯 町									
町 村 計	8	20㎡ 2,000		9,772	11,772	6,261	18,033		
県 計	68	46㎡ 3,252		51,703	54,955	8,871	63,826		

(2)中学校の被害

	被害 校数	建 物			工 作 物 被 害 額	土 地 被 害 額	総 計	備 考 (被害の状況)
		要 新 築		要 補 修 大破以下				
		全 壊	半 壊					
福 井 市	2			168千円	168千円	2,535千円	2,703千円	窓ガラス破損、フェンス破損
敦 賀 市	7			3,234	3,234	5,690	8,924	受水槽破損
武 生 市	3			5,600	5,600		5,600	校舎屋根・軒・ガラス破損
小 浜 市								
大 野 市	4			1,555	1,555	2,970	4,525	校舎屋根破損、エキスパンジョイント破損、自転車置場破損
勝 山 市	2			365	365		365	窓ガラス破損
鯖 江 市	3			1,580	1,580		1,580	校舎軒破損
市 計	21			12,502	12,502	11,195	23,697	
美 山 町	1			6,676	6,676	421	7,097	校舎軒破損
松 岡 町								
永 平 寺 町								
上 志 比 村	1					1,300	1,300	自転車置場破損
和 泉 村								
三 国 町								
芦 原 町								
金 津 町								
丸 岡 町								
春 江 町								
坂 井 町								
今 立 町	1			300	300	2,950	3,250	自転車置場破損
池 田 町								
南 条 町								
今 庄 町								
河 野 村								
朝 日 町								
官 鷗 村								
越 前 町								
越 廼 村								
織 田 町								
清 水 町								
三 方 町								
美 浜 町								
上 中 町								
名 田 庄 村								
高 浜 町								
大 飯 町								
町 村 計	3			6,976	6,976	4,671	11,647	
県 計	24			19,478	19,478	15,866	35,344	

(3)高等学校の被害

	被害 校数	建 物			計	工 作 物 被 害 額	土 地 被 害 額	総 計	備 考 (被害の状況)
		要 新 築		要 補 修					
		全 壊	半 壊	大破以下					
福 井 市	5			7,489千円	7,489千円	7,695千円		15,184千円	温室ガラス破損、自転車置場破損
敦 賀 市	2			840	840	377		1,217	屋根瓦破損、浄化槽破損
武 生 市	1					3,075		3,075	自転車置場破損
小 浜 市									
大 野 市	2			3,075	3,075	5,021		8,096	校舎の軒破損、自転車置場破損
勝 山 市	1			1,029	1,029			1,029	屋体の軒・建具・ガラス破損
鯖 江 市									
市 計	11			12,433	12,433	16,168		28,601	
美 山 町									
松 岡 町									
永 平 寺 町									
上 志 比 村									
和 泉 村									
三 国 町									
芦 原 町									
金 津 町									
丸 岡 町									
春 江 町	1			534	534			534	窓ガラス破損
坂 井 町									
今 立 町									
池 田 町	1					1,009		1,009	自転車置場破損
南 条 町									
今 庄 町									
河 野 村									
朝 日 町	1			308	308			308	校舎の軒破損
宮 崎 村									
越 前 町									
越 廼 村									
織 田 町									
清 水 町									
三 方 町									
美 浜 町									
上 中 町									
名 田 庄 村									
高 浜 町									
大 飯 町									
町 村 計	3			842	242	1,009		1,851	
県 計	14			13,275	13,275	17,177		30,452	

(4)休校数

(イ)小学校

都 市 別	学校数	1 / 8(休)	9(金)	10(土)	12(月)	13(火)	14(水)	16(金)	17(土)	19(月)	21(水)
福 井 市	43	37	39	39	39	38	38	0	0		
足 羽 郡	6	6	6	6	6	5	5	2	2	4	1
吉 田 郡	7	7	7	7	7	7	7	0	0		
大 野 市	13	13	13	13	11	13	13	0	3		
大 野 郡	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
勝 山 市	10	10	10	10	10	10	10	10	10		
坂 井 郡	28	0	0	0	0	0	0	0	0		
鯖 江 市	11	8	7	3	1	11	11	0	0		
丹 生 郡	15	3	0	0	1	4	4	0	0		
武 生 市	13	0	0	0	0	0	13	0	0		
今 立 郡	6	6	2	2	2	6	6	0	0		
南 条 郡	6	5	5	5	1	0	3	0	1		
敦 賀 市	18	2	1	0	0	2	18	18	18		
小 浜 市	17	0	0	0	0	0	2	0	0		
遠 敷 郡	6	0	0	0	0	0	2	0	0		
三 方 郡	13	0	0	0	0	1	7	2	1		
大 飯 郡	10	0	0	0	2	0	4	0	0		
計	224	99	92	87	82	99	145	34	37	4	1
%		44.2	41.1	38.8	36.6	44.2	64.7	15.2	16.5	1.8	0.4

□中学校

郡 市 別	学校数	1/8(木)	9(金)	10(土)	12(月)	13(火)	14(水)	16(金)	17(土)
福 井 市	19	16	16	2	15	15	15	0	0
足 羽 郡	1	1	1	1	1	1	1	1	1
吉 田 郡	3	3	3	3	3	3	3	0	0
大 野 市	4	4	4	4	4	4	2	0	0
大 野 郡	2	2	2	2	2	0	0	0	0
勝 山 市	3	3	3	3	3	3	3	0	0
坂 井 郡	6	0	0	0	0	0	0	0	0
鯖 江 市	3	1	0	1	0	3	3	0	0
丹 生 郡	7	0	0	0	1	0	0	0	0
武 生 市	6	0	0	0	0	0	6	0	0
今 立 郡	2	1	1	1	1	1	1	0	0
南 条 郡	3	1	1	0	0	0	0	0	0
敦 賀 市	7	0	0	0	0	0	7	7	7
小 浜 市	2	0	0	0	0	0	1	0	0
遠 敷 郡	2	0	0	0	0	0	1	0	0
三 方 郡	2	0	0	0	0	0	2	0	0
大 飯 郡	4	0	0	0	1	0	1	0	0
計	76	32	31	17	31	30	46	8	8
%		42.1	40.8	22.4	40.9	39.5	60.5	10.5	10.5

△県立学校

	学校数	8(木)	9(金)	10(土)	12(月)	13(火)	14(水)	16(金)	17(土)
高 等 学 校	32	2	3	4	2	3	12	8	9
特殊教育学校	11	7	7	7	2	3	4	3	4
計	43	9	10	11	4	6	16	11	13
%		20.9	23.3	25.6	9.3	13.9	37.2	25.6	30.2

但し、分校も1校とする。

(5)文化財の被害

(イ)建造物

(a)国指定 旧谷口家住宅 (武生市余川町 管理 武生市)

(被害の概要) かや葺屋根が小破損した。(かや落箇所約15ヵ所、屋根棟の傾斜)

(補修の状況) さし茅をするとともに棟の傾斜を直した。

(補修費用) 300千万

(b)国指定 旧橋本家住宅 (大野市宝慶寺 管理 大野市)

(被害の概要) かや葺屋根が大破損した。(かや落ち全面、指丸太10本破損、とくに東側大平・北側小平の破損(52㎡)が著しい。)

(補修の状況) 国、県の補助を受けて屋根の葺かえ、破損指丸太の取替え等応急修理を行う。

(補修費用) 865千円

(c)県指定 西福寺阿弥陀堂 (敦賀市原 管理 西福寺)

(被害の概要) 阿弥陀堂向拝の瓦屋根大破損し、タルキが折損した。

(補修の状況) 国、県の補助を受けて改修する。

(補修費用) 5,969千円

(ロ)美術工芸品

国指定 木造阿弥陀如来坐像ほか3軀の収蔵庫 (丹生郡朝日町天王 管理 八坂神社)

(被害の概要) 収蔵庫周辺の杉が折れ、収蔵庫の屋根を小破損した。

(補修の状況) 折損木をとりのぞき、屋根を修理した。

(補修費用) 290千円

(ハ)史跡

国指定 金ヶ崎城跡 (敦賀市泉 管理 敦賀市)

(被害の概要) 遊歩道の土砂崩れ (A幅員 2 m×長さ40 m 約1,600㎡
B // 3 m× // 25 m 約 500㎡)

(補修の状況) 公園につき都市公園計画課で補修する。

(補修費用) 125,000千円

(ニ)天然記念物

(a)国指定 本願清水イトヨ棲息地 (大野市 管理 大野市)

(被害の概要) 送水管(全長623mのうち50m)川底から浮上、説明板の屋根破損、加温装置の破損。

(補修の状況) 送水管の川底固定等応急修理を行った。

(補修費用) 200千円

(b)県指定 白山神社のカツラ (大野市下打波 管理 白山神社)

(被害の概要) 支幹が積雪のため折損

(補修の状況) 折れた支幹を折除のうえ養生

(補修費用) 50千円

(c)県指定 水間神社のケヤキ (今立郡今立町室谷 管理 水間神社)

(被害の概要) 支幹が積雪のため折損

(補修の状況) 折れた支幹を折除のうえ養生

(補修費用) 50千円

(d)県指定 三ッ峯神社のイチョウ (鯖江市上戸ノ口町 管理 三ッ峯神社)

(被害の概要) 目通り約1.6mのところで折れ倒れる。

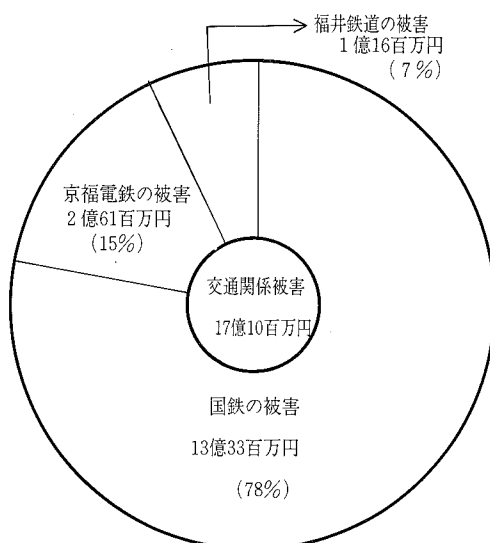
(補修の状況等) 養生不可能のため県指定解除

6. 交通機関関係被害

56豪雪は、国鉄をはじめとして、私鉄をも含む県内各交通機関に多大な損害を与え、その被害総額は、17億1,000万円に到った。列車の運休は相次ぎ、県民の足に重大な影響を与えることとなり、特に長期間にわたる国鉄越美北線の全面運休は和泉村を完全孤立の状態においこみ村民の足を完全に奪う形となった。このような公共交通機関のマヒ状態は車社会を背景とした自家用車の氾濫とあい合せ、都市交通機能の雪に対する無防備性が露見した。

(単位：千円)

	鉄 軌 道	自 動 車	計
国 鉄 の 被 害	1,323,173	9,700	1,332,873
私 鉄 の 被 害			
{ 京福電気鉄道	142,923	118,337	261,260
{ 福 井 鉄 道	58,128	57,569	115,697
合 計	1,524,224	185,606	1,709,830



交通機関関係被害額内訳

(1)国鉄の被害

昭和55年12月27日夜半から降り始めた雪は、特に28日夜半から29日早朝にかけて降雪が100cmを越え、さらに、雪質の湿度が高かったため、電気列車のパンタグラフ降下及び転てつ器の転換不能が多発した。そして、29日早朝には北陸本線全般にわたり運転不能となった。

年始は、やや小康状態が続いたが5日には再び大寒気団が停滞し雪は降り続き38豪雪以上の積雪を記録し、とくに今庄～福井駅間は完全に雪に埋まり、運転不能となった。

その後、10日夜半から第3波の大寒気団が南下し、17日夜半まで停滞したため、県下全域にわたり豪雪となり、とくに敦賀地区においては、38豪雪を上まわった降雪のため、雪による列車脱線事故や、敦賀第2機関区検修車庫の倒壊、各駅ホーム屋根雪が強度の限界に達するなど障害が続出した。

さらに2月25日には、北陸地方に今冬最大の寒気団が襲来し、27日まで停滞した。このため、2月26日には気温が低下し猛吹雪も伴ってポイント転換も思うにまかせず今庄、敦賀間の列車衝突事故も加わり、北陸線のダイヤは混乱した。

一方、支線区においては、越美北線が長期間にわたり全面不通となるなど、地域住民の足に重大な影響を与えた。

(イ)被害額

区 分	被 害 額 (千円)
鉄 道	1,323,173
自 動 車	9,700
合 計	1,332,873

(a) 鉄 道

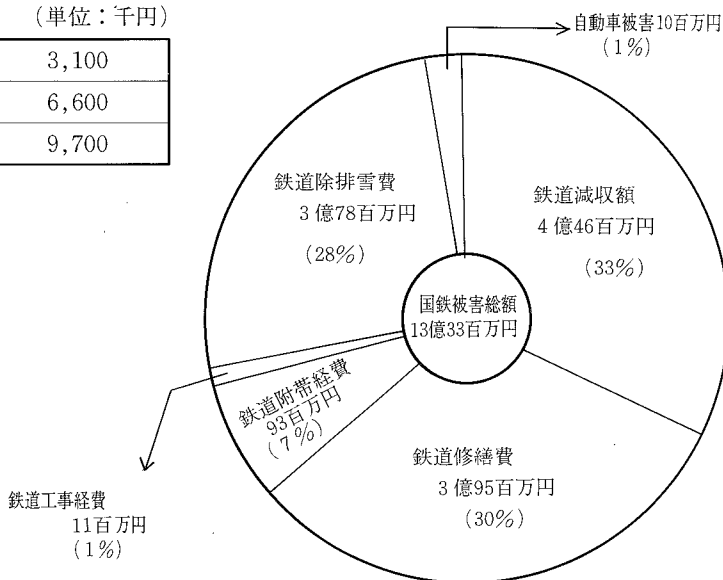
(単位：千円)

区分	線路名	北 陸 本 線	越 美 北 線	小 浜 線	計
減 収 額					
旅 客		289,700	19,910	39,970	349,580
貨 物		93,000	1,000	2,300	96,300
修 繕 費					
車 両		27,682			27,682
施 設	軌 道	7,933			7,933
	線工・停工	15,000	10,408	1,031	26,439
	建 物	281,533			281,533
	機 械	33,555			33,555
電 気	電 力	3,094			3,094
	信 号	2,485	3,758		6,243
	通 信		7,966	605	8,571
附 帯 経 費					
超 勤		72,905	3,447	4,095	80,447
旅 費		3,355	926	37	4,318
そ の 他		6,513	1,137	309	7,959
工 事 経 費		11,087			11,087
除 廃 雪 費		342,058	20,988	15,386	378,432
合 計		1,189,900	69,540	63,733	1,323,173

(b) 自動車

(単位：千円)

減 収 額	3,100
建物損壊等	6,600
合 計	9,700



国鉄被害額内訳

(ロ)運行状況調

列車・電車 路線名 年月日	国 鉄		
	北 陸 本 線 243本	越 美 北 線 18 本	小 浜 線 急 行 6 本 ローカル 24本
55. 12. 28(日)	通 常	福井↔美山運行 午前 美山 2本	通 常
29(月)	福井↔敦賀不通	全 線 不 通	急 5本 ローカル24本
30(火)	通 常	〃	通 常
31(水)	〃	〃	急 5本 ローカル24本
56. 1. 1(木)	〃	〃	通 常
2(金)	〃	〃	〃
3(土)	〃	福井↔越前東郷運行 12本	〃
4(日)	〃	〃 12本	〃
5(月)	〃	全 線 不 通	〃
6(火)	福井↔敦賀不通	〃	急 4本 ローカル1本
7(水)	〃	〃	急 5〃 ローカル5〃
8(木)	通 常	〃	通 常
9(金)	〃	〃	〃
10(土)	〃	福井↔美山運行 午前 東郷 4本 午後 美山 8本	〃
11(日)	〃	〃 午前 東郷 2本 午後 美山 4本	急 5本 ローカル21本
12(月)	〃	〃 12本	〃 3〃 〃 19〃
13(火)	〃	福井↔越前東郷運行 8本	〃 2〃 〃 5〃
14(水)	} 特急・急行は すべて運休	全 線 不 通	〃 0〃 〃 1〃
15(木)		〃	全 線 不 通
16(金)		〃	〃
17(土)	急行すべて運休	〃	急 0本 ローカル3本
18(日)	通 常	〃	〃 0〃 〃 10〃
19(月)	〃	〃	〃 0〃 〃 12〃
20(火)	} 急行はすべて 運休	〃	〃 0〃 〃 12〃
21(水)		福井↔越前東郷運行 8本	〃 0〃 〃 12〃
22(木)		〃 8〃	〃 0〃 〃 13〃
23(金)	〃 8〃	〃 0〃 〃 16〃	
24(土)	〃 8〃	〃 0〃 〃 18〃	
25(日)	〃 8〃	〃 0〃 〃 18〃	
26(月)	〃 8〃	〃 0〃 〃 18〃	
27(火)	通 常	〃 8〃	〃 4〃 〃 24〃
28(水)	〃	〃 8〃	〃 6〃 〃 23〃
29(木)	〃	〃 8〃	〃 6〃 〃 23〃
30(金)	〃	〃 8〃	〃 6〃 〃 23〃
31(土)	〃	〃 8〃	通 常
56. 2. 1(日)	〃	福井↔越前大野 14〃	〃
2(月)	〃	〃	〃
3(火)	〃	〃	〃
4(水)	〃	〃	〃
5(木)	〃	〃	〃
6(金)	〃	〃	〃
7(土)	〃	福井↔九頭竜湖通常 18本	〃
8(日)	〃	〃	〃
9(月)	〃	〃	〃
10(火)	〃	〃	〃

運休状況調

年月日	国 鉄									国 鉄 バ ス		
	北 陸 本 線				越 美 北 線	小 浜 線				坂 井	大 野	敦 賀
	特 82本	急 40本	ローカル	121本	18 本	急 6本	ローカル	24本	1路線	3路線	4路線	
S55. 12. 28(日)	6	4	6	6	15	0	0	0	0	0	0	
29(月)	76	28	62	62	18	1	0	0	0	3	1	
30(火)	48	19	30	30	18	0	0	0	0	3	1	
31(水)	6	7	5	5	18	1	1	1	0	3	1	
56. 1. 1(木)	0	0	1	1	15	0	0	0	0	3	1	
2(金)	0	0	1	1	18	0	0	0	0	3	0	
3(土)	0	0	3	3	17	0	0	0	0	3	0	
4(日)	2	4	1	1	14	0	0	0	0	2	0	
5(月)	16	16	25	25	18	0	0	0	0	2	0	
6(火)	13	18	61	61	18	2	23	23	0	2	0	
7(水)	12	7	63	63	18	1	19	19	0	2	0	
8(木)	41	22	61	61	18	0	0	0	0	2	0	
9(金)	24	22	5	5	18	0	0	0	0	2	0	
10(土)	15	4	5	5	13	0	0	0	0	2	0	
11(日)	70	43	102	102	6	1	3	3	0	2	0	
12(月)	66	41	102	102	6	3	5	5	0	2	0	
13(火)	77	31	66	66	12	4	19	19	0	1	0	
14(水)	82	40	65	65	18	6	23	23	0	1	4	
15(木)	82	40	64	64	18	6	24	24	0	2	4	
16(金)	82	39	61	61	18	6	24	24	0	1	1	
17(土)	60	38	49	49	18	6	21	21	0	1	1	
18(日)	58	32	32	32	18	6	14	14	0	1	1	
19(月)	54	34	29	29	18	6	12	12	0	1	0	
20(火)	60	38	31	31	18	6	12	12	0	1	0	
21(水)	60	38	18	18	10	6	12	12	0	1	0	
22(木)	52	38	12	12	10	6	11	11	0	1	0	
23(金)	60	38	5	5	10	6	8	8	7	1	0	
24(土)	56	38	4	4	10	6	6	6	0	0	0	
25(日)	54	38	4	4	10	6	6	6	0	0	0	
26(月)	54	38	4	4	10	6	6	6	0	0	0	
27(火)	10	9	0	0	10	4	0	0	0	0	0	
28(水)	18	22	0	0	10	6	1	1	0	0	0	
29(木)	11	11	1	1	10	6	1	1	0	0	0	
30(金)	8	3	1	1	10	6	1	1	0	0	0	
31(土)	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	
56. 2. 1(日)	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	
2(月)	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	
3(火)	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	
4(水)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
5(木)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
6(金)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
7(土)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
8(日)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
9(月)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10(火)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(二)金沢鉄道管理局管内列車運休率調

年度別	項目	客貨別		計
		旅 客	貨 物	
51	設 定 本 数	61,710本	29,260本	90,970本
	運 休 本 数	5,235 "	5,646 "	7,881 "
	運 休 率	4 %	19%	9 %
52	設 定 本 数	(61,075) 61,710本	29,260本	90,970本
	計 画 運 休 本 数	635 "	—	635 "
	運 休 本 数	329 "	1,068 "	1,397 "
	運 休 率	(1%) 1 %	4 %	2 %
53	設 定 本 数	(63,491) 64,047本	27,750本	91,797本
	計 画 運 休 本 数	556 "	—	556 "
	運 休 本 数	0	0	0
	運 休 率	—	—	—
54	設 定 本 数	(62,992) 63,470本	27,500本	90,970本
	計 画 運 休 本 数	478 "	—	478 "
	運 休 本 数	522 "	3,324 "	3,846 "
	運 休 率	(1%) 1 %	12%	4 %
55	設 定 本 数	(64,322) 64,570本	24,310本	88,880本
	計 画 運 休 本 数	248 "	—	248 "
	運 休 本 数	7,778 "	5,355 "	13,133 "
	運 休 率	(12%) 12%	22%	15%

(注1) ()内数は計画運休を除く。

(注2) 調査期間は12月1日から3月20日まで。

(参考) 昭和37年度の運休状況(38豪雪時)

年度	項目	客貨別		計
		旅 客	貨 物	
37	設 定 本 数	27,456本	10,880本	38,336本
	運 休 本 数	7,229 "	3,049 "	10,278 "
	運 休 率	26%	28%	27%

水金沢鉄道管理局管内踏切事故発生状況調

降雪に関連した踏切事故の発生件数は次のとおり

項目 年度別	発生件数 (A)	降雪に関連した発生件数					発生件数 との割合(B/A)	%
		12月	1月	2月	3月	計(B)		
51	26	4	7	10	1	22	85	
52	17	0	0	5	0	5	29	
53	6	2	0	0	0	2	33	
54	10	0	2	2	0	4	40	
55	17	2	9	2	0	13	76	

踏切事故、踏切支障発生状況(対前年同月比較表)

種別 月別	踏切支障			踏切事故			死傷者数	
	55	54	増減	55	54	増減	55	54
12	15	7	8	5	1	4	傷1	0
1	24	21	3	9	6	3	0	死2
2	15	17	△2	3	3	0	死1	死2
3	1	0	1	0	0	0	0	0
計	55	45	10	17	10	7	死1 傷1	死4

県別発生状況

種別 県別	踏切支障			踏切事故			死傷者数	
	55	54	増減	55	54	増減	55	54
滋賀	4	1	3	0	0	0	0	0
福井	10	15	△5	7	2	5	死1	死2
石川	18	11	7	5	4	1	傷1	死1
富山	23	17	6	5	4	1	0	死1
新潟	0	1	△1	0	0	0	0	0
計	55	45	10	17	10	7	死1 傷1	死4

(2)私鉄の被害

(イ)京福電気鉄道株

今回の豪雪は、鉄道、自動車両部門にわたって大きな被害をおよぼした。まず、鉄道部門においては、昭程55年12月29日より42日間にわたり越前本線、永平寺線を中心に全面または一部運休となり、ようやく2月9日をもって全面開通となった。また、自動車部門でも2月上旬にいたるまで全面または一部運休となり、両部門合わせて150,771千円の減収を余儀なくされた。

他方、支出面においても、除雪費用がかさみ、鉄道で52,712千円、自動車で20,210千円、計72,922千円に達した。その他、建物の損傷、さく垣境界杭・遮断機の破損、諸標識、無線塔の倒壊、バスボデー損傷、バス停時刻表等の復旧費の支出37,567千円が重なり、支出合計110,489千円の損害をうけた。

以上のとおり、減収分と合せて、鉄道、自動車両部門で被害総額261,260千円の多きにいたった。

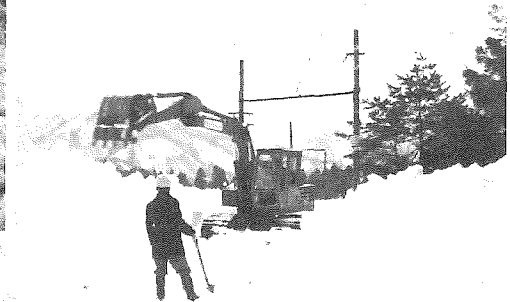
(単位：千円)

項目	被 害 区 分			自 動 車 (バス)	合 計
	鉄 道	三 国・芦 原 線	永 平 寺 線		
減 収 額	46,268	17,367	3,420	83,716	150,771
修 繕 費	13,235	8,860	1,061	14,411	37,567
車 両 設 施	2,396	1,569	161	3,211	7,332
電 気 費	7,129	4,536	560	11,200	23,425
附 帯 経 費	3,715	2,755	340		6,810
超 勤 費	16,881	6,317	599	13,410	37,207
旅 費	10,149	6,002	569	10,560	27,280
その他	6,732	315	30	2,850	9,927
除 排 雪 費	21,293	2,927	4,695	6,800	35,715
合 計	97,677	35,471	9,775	118,337	261,260



越前竹原～小舟渡間の除雪→

←福井口駅構内
清川踏切にて
(S.55.12.31)



列車運行状況調

越前本線（福井～勝山間27.8軒）

日	曜日	運転区間	福井～福井口間 1.5km				福井口～東古市間 9.4km				東古市～勝山間 16.9km				(本線)列車走行軒		不通区間と軒程 その他
			所定数	運転数	運休数	運転率	所定数	運転数	運休数	運転率	所定数	運転数	運休数	運転率	実走行軒 km	走行率 %	
12/28	日	福井～勝山	本123	本45	本78	36.6%	本65	本14	本51	21.5%	本52	本12	本40	23.1%	418.0		
29	月	福井～福井口	132	11	121	8.3	67	0	67	0	52	0	52	0	0	0	福井口～勝山26.3km
30	火	-	132	0	132	0	67	0	67	0	52	0	52	0	0	0	福井～ 27.8km
31	水	-	132	0	132	0	67	0	67	0	52	0	52	0	0	0	〃～ 〃
1/1	木	福井～福井口	123	17	106	13.8	65	2	63	0	52	0	52	0	0	0	福井口～勝山26.3km
2	金	福井～松岡	132	36	96	27.3	67	6	61	9.0	52	0	52	0	50.4	3	松岡～ 19.4km
3	土	福井～松岡	132	60	72	45.5	67	30	37	44.8	52	0	52	0	297.1	17	〃～ 〃
4	日	福井～東古市	123	61	62	49.6	65	30	35	46.2	52	0	52	0	384.4	23	東古市～ 16.9km
5	月	福井～東古市	132	37	95	28.0	67	7	60	10.4	52	0	52	0	161.9	9	〃～ 〃
6	火	-	132	0	132	0	67	0	67	0	52	0	52	0	0	0	福井～ 27.8km
7	水	-	132	0	132	0	67	0	67	0	52	0	52	0	0	0	〃～ 〃
8	木	-	132	0	132	0	67	0	67	0	52	0	52	0	0	0	〃～ 〃
9	金	-	132	0	132	0	67	0	67	0	52	0	52	0	0	0	〃～ 〃
10	土	福井～福井口	132	28	104	21.2	67	0	67	0	52	0	52	0	0	0	福井口～ 26.3km
11	日	福井～東古市	123	16	107	13.0	65	2	63	3.1	52	0	52	0	21.8	1	東古市～ 16.9km
12	月	福井～東古市	132	51	81	38.6	67	22	45	32.8	52	0	52	0	268.3	16	〃～ 〃
13	火	福井～東古市	132	54	78	40.9	67	24	43	35.8	52	0	52	0	319.0	19	福井口～ 26.3km
14	水	福井～福井口	132	8	124	6.1	67	0	67	0	52	0	52	0	0	0	松岡～ 19.4km
15	木	福井～松岡	123	33	90	26.8	65	4	61	6.2	52	0	52	0	77.1	5	〃～ 〃
16	金	福井～松岡	132	51	81	38.6	67	26	41	38.8	52	0	52	0	258.9	15	〃～ 〃
17	土	福井～松岡	132	54	78	40.9	67	30	37	44.8	52	0	52	0	321.0	19	〃～ 〃
18	日	福井～松岡	123	58	65	47.2	65	30	35	46.2	52	0	52	0	294.0	17	〃～ 〃
19	月	福井～松岡	132	58	74	43.9	67	30	37	44.8	52	0	52	0	297.0	17	〃～ 〃
20	火	福井～山王	132	59	73	44.7	67	29	38	43.3	52	5	47	1.0	338.5	20	山王～ 10.6km
21	水	福井～山王	132	60	72	45.5	67	30	37	44.8	52	30	22	57.7	561.0	33	〃～ 〃
22	木	福井～山王	132	60	72	45.5	67	30	37	44.8	52	30	22	57.7	516.0	30	〃～ 〃
23	金	福井～山王	132	60	72	45.5	67	30	37	44.8	52	30	22	57.7	516.0	30	〃～ 〃
24	土	福井～山王	132	60	72	45.5	67	30	37	44.8	52	30	22	57.7	516.0	30	〃～ 〃
25	日	福井～山王	123	60	63	48.8	65	28	37	43.1	52	30	22	57.7	516.0	30	〃～ 〃
26	月	福井～山王	132	72	60	54.5	67	32	35	47.8	52	30	22	57.7	516.0	30	山王～勝山10.6km
27	火	福井～山王	132	95	37	72.0	67	30	37	44.8	52	30	22	57.7	516.0	30	〃～ 〃
28	水	福井～山王	132	97	35	73.5	67	32	35	47.8	52	31	21	60.0	541.6	21	〃～ 〃
29	木	福井～越前竹原	132	128	4	97.0	67	61	6	91.0	52	44	8	84.6	1,141.4	67	越前竹原～勝山8.5km
30	金	福井～越前竹原	132	128	4	97.0	67	61	6	91.0	52	44	8	84.6	1,141.4	67	〃～ 〃
31	土	福井～越前竹原	132	128	4	97.0	67	61	6	91.0	52	44	8	84.6	1,141.4	67	〃～ 〃
2/1	日	福井～越前竹原	123	119	4	96.7	65	59	6	90.8	52	44	8	84.6	1,012.7	60	〃～ 〃
2	月	福井～越前竹原	132	128	4	97.0	67	61	6	91.0	52	44	8	84.6	1,034.5	60	〃～ 〃
3	火	福井～発坂	132	128	4	97.0	67	61	6	91.0	52	45	7	86.5	1,250.9	73	発坂～勝山3.3km
4	水	福井～発坂	132	128	4	97.0	67	61	6	91.0	52	45	7	86.5	1,266.5	74	〃～ 〃
5	木	福井～勝山	132	131	1	99.2	67	66	1	98.5	52	51	1	98.0	1,689.6	99	
6	金	福井～勝山	132	132	0	100.0	67	67	0	100.0	52	52	0	100.0	1,716.0	100	
7	土	福井～勝山	132	131	1	99.2	67	66	1	98.5	52	52	0	100.0	1,705.1	99	
8	日	福井～勝山	123	123	0	100.0	65	65	0	100.0	52	52	0	100.0	1,685.2	100	
9	月	福井～勝山	132	132	0	100.0	67	67	0	100.0	52	52	0	100.0	1,716.0	100	
		合計	5,727	2,837	2,890	49.5	2,930	1,284	1,646	43.8	2,288	827	1,461	36.1			

三国芦原線（福井口～三国港間252軒）

月 日	曜 日	運 転 区 間	福井口～三国港間 25.2km				列 車 走 行 料		不通区間と料程	その他
			所定数	運転数	運休数	運転率	実走行料	走行率		
12/28	日	福井～三国港	本 58	本 31	本 27	53.4 %	787.0 ^{km}	54 %		
29	月	〃	66	11	55	16.7	258.0	16		
30	火	西福井～三国港	66	24	42	36.4	538.0	34	福井～西福井 4.3km	
31	水	福井口～三国港	66	30	36	45.5	731.0	46	福井～福井口 1.5km	
1 / 1	木	福井～三国港	58	30	28	51.7	756.0	52		
2	金	〃	66	30	36	45.5	756.0	48		
3	土	〃	66	30	36	45.5	756.0	48		
4	日	〃	58	21	37	36.2	781.2	53		
5	月	〃	66	30	36	45.5	781.2	53		
6	火	福井口～三国港	66	13	53	19.7	291.2	18	福井～福井口 1.5km	
7	水	西福井～三国港	66	15	51	22.7	358.4	23	福井～西福井 4.3km	
8	木	〃	66	16	50	24.2	358.4	23	〃 〃	
9	金	福井口～三国港	66	17	49	25.8	403.2	25	福井～福井口 1.5km	
10	土	福井～三国港	66	33	33	50.0	821.6	52		
11	日	〃	58	14	44	24.1	352.8	24		
12	月	〃	66	29	37	43.9	730.8	46		
13	火	〃	66	30	36	45.5	756.0	48		
14	水	〃	66	27	39	40.9	649.6	41		
15	木	〃	58	29	29	50.0	730.8	50		
16	金	〃	66	28	38	42.4	680.4	43		
17	土	〃	66	26	40	39.4	624.4	39		
18	日	〃	58	28	30	48.3	705.6	48		
19	月	〃	66	28	38	42.4	706.0	45		
20	火	〃	66	30	36	45.5	756.0	48		
21	水	〃	66	30	36	45.5	756.0	48		
22	木	〃	66	30	36	45.5	756.0	48		
23	金	〃	66	30	36	45.5	756.0	48		
24	土	〃	66	30	36	45.5	756.0	48		
25	日	〃	58	30	28	51.7	756.0	52		
26	月	〃	66	42	24	63.6	1,017.8	64		
27	火	〃	66	64	2	97.0	1,572.2	99		
28	水	〃	66	64	2	97.0	1,572.2	99		
29	木	〃	66	64	2	97.0	1,572.2	99		
30	金	〃	66	64	2	97.0	1,572.2	99		
31	土	〃	66	64	2	97.0	1,572.2	99		
2 / 1	日	〃	58	58	0	100.0	1,461.6	100		
2	月	〃	66	64	2	97.0	1,582.0	100		
3	火	〃	66	64	2	97.0	1,582.0	100		
4	水	〃	66	64	2	97.0	1,582.0	100		
5	木	〃	66	66	0	100.0	1,582.0	100		
6	金	〃	66	66	0	100.0	1,582.0	100		
7	土	〃	66	66	0	100.0	1,582.0	100		
8	日	〃	58	58	0	100.0	1,461.6	100		
9	月	〃	66	66	0	100.0	1,582.0	100		
		合 計	2,832	1,684	1,148	59.5				

永平寺線（東古市～永平寺間6.2km）

月 日	曜 日	運 転 区 間	東古市～永平寺間 6.2km				列 車 走 行 料		不通区間と料程	その他
			所定数	運転数	運休数	運転率	実走行料	走行率		
12/28	日	東古市～市野々	30	4	26	13.3	18	9	市野々～永平寺 2.1km	
29	月	—	30	0	30	0	0	0	東古市～永平寺 6.2km	
30	火	—	30	0	30	0	0	0	〃	
31	水	—	30	0	30	0	0	0	〃	
1/1	木	—	30	0	30	0	0	0	〃	
2	金	—	30	0	30	0	0	0	〃	
3	土	—	30	0	30	0	0	0	〃	
4	日	—	30	0	30	0	0	0	〃	
5	月	—	30	0	30	0	0	0	〃	
6	火	—	30	0	30	0	0	0	〃	
7	水	—	30	0	30	0	0	0	〃	
8	木	—	30	0	30	0	0	0	〃	
9	金	—	30	0	30	0	0	0	〃	
10	土	—	30	0	30	0	0	0	〃	
11	日	—	30	0	30	0	0	0	〃	
12	月	—	30	0	30	0	0	0	〃	
13	火	—	30	0	30	0	0	0	〃	
14	水	—	30	0	30	0	0	0	〃	
15	木	—	30	0	30	0	0	0	〃	
16	金	—	30	0	30	0	0	0	〃	
17	土	—	30	0	30	0	0	0	〃	
18	日	—	30	0	30	0	0	0	〃	
19	月	—	30	0	30	0	0	0	〃	
20	火	—	30	0	30	0	0	0	〃	
21	水	—	30	0	30	0	0	0	〃	
22	木	—	30	0	30	0	0	0	〃	
23	金	—	30	0	30	0	0	0	〃	
24	土	—	30	0	30	0	0	0	〃	
25	日	—	30	0	30	0	0	0	〃	
26	月	—	30	0	30	0	0	0	〃	
27	火	—	30	0	30	0	0	0	〃	
28	水	—	30	0	30	0	0	0	〃	
29	木	—	30	0	30	0	0	0	〃	
30	金	—	30	0	30	0	0	0	〃	
31	土	—	30	0	30	0	0	0	〃	
2/1	日	—	30	0	30	0	0	0	〃	
2	月	—	30	0	30	0	0	0	〃	
3	火	—	30	0	30	0	0	0	〃	
4	水	—	30	0	30	0	0	0	〃	
5	木	—	30	0	30	0	0	0	〃	
6	金	—	30	0	30	0	0	0	〃	
7	土	—	30	0	30	0	0	0	〃	
8	日	—	30	0	30	0	0	0	〃	
9	月	東古市～永平寺	30	11	19	36.7			〃	
		合 計	1,320	15	1,305	0.01			〃	

自動車(バス)運行状況調

内訳 月日	バス路線確保状況			運行状況(回数調)			運行上における特記事項
	郊外	市内	運行率	郊外	市内	運行率	
12. 29	10 60線	0 15線	13.3%	188本	0本	10.0%	坂井の一部を除き全休
30	12 60	3 15	20.0	265	14	14.9	福井～丸岡、市内幾久花堂
31	16 60	6 15	29.3	315	61	20.0	
1. 1	23 60	6 15	38.7	355	74	25.5	大野線1時間運転
2	25 60	6 15	41.3	588	124	42.3	福井～勝山代行開始
3	27 60	7 15	45.3	591	129	42.8	
4	27 60	7 15	45.3	611	151	45.3	
5	28 60	9 15	49.3	756	168	49.3	代行ダイヤ増便
6	13 60	0 15	17.3	324	0	17.3	降雪甚だしくダイヤ乱る
7	15 60	3 15	24.0	408	42	24.0	
8	25 60	9 15	41.3	440	63	26.8	
9	27 60	9 15	48.0	457	122	30.9	道路渋滞甚だし
10	27 60	10 15	49.3	576	190	40.8	
11	28 60	12 15	53.3	573	228	47.6	不法駐車のため 市内の運行が乱れる
12	28.5 60	11.5 15	53.3	582	209	42.2	
13	32 60	12 15	58.7	595	218	43.3	市対策本部へ路線除雪依頼
14	30 60	9 15	52.0	598	151	39.9	各ダイヤ難行する
15	31 60	8 15	52.0	599	174	46.0	
16	31 60	10 15	54.7	669	175	45.0	
17	30 60	10 15	53.3	630	207	44.6	
18	30 60	10 15	53.3	608	207	48.5	
19	30 60	13 15	57.3	638	233	46.4	各線計画ダイヤほぼ順調
20	32 60	13 15	60.0	640	236	46.7	
21	36 60	13 15	65.3	727	236	51.3	
22	42 60	13 15	73.3	832	490	70.5	代行バス勝山～山王に切換え
23	43 60	13 15	74.7	822	483	69.5	復旧便順調
24	47 60	13 15	80.0	876	493	73.0	
25	49 60	13 15	82.7	831	497	79.0	
26	50 60	15 15	86.7	997	545	82.2	市内全線運行
27	51 60	15 15	88.0	1,008	537	82.4	
28	54 60	15 15	92.0	1,058	551	85.8	代行バス竹原～勝山
29	54 60	15 15	92.0	1,065	545	85.8	
30	54 60	15 15	92.0	1,072	550	86.5	
31	55 60	15 15	93.3	1,084	555	87.4	
2. 1	55 60	15 15	93.3	1,019	511	(日祭運休除く) 81.6	
2	55 60	15 15	93.3	1,096	554	88.0	
3	56 60	15 15	94.5	1,103	554	88.3	
4	58 60	15 15	97.3	1,122	614	92.5	
5	58 60	15 15	97.3	1,176	615	95.5	
6	59 60	15 15	98.7	1,190	615	96.2	
7	59 60	15 15	98.7	1,192	615	96.3	
8	59 60	15 15	98.7	1,099	572	(日祭運休除く) 89.1	
9	59 60	15 15	98.7	1,247	615	99.3	なだれ通行止以外の各路線は、 全線運行となる
10	59 60	15 15	98.7				

(ロ)福井鉄道(株)関係

年末年始の多客期をひかえて輸送に万全を期していたが、年末の27日より降り始めた雪は止むことを知らず、特に、南越線においては列車の完全運休が続き、旅客の減少による収入減は多額におよんだ。

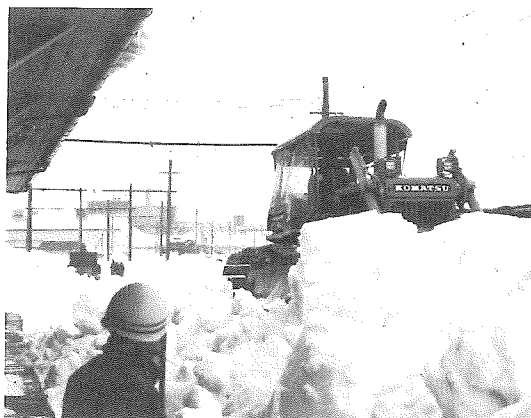
それに加えて、直接的な被害も相次ぎ、建物では福井新、浅水、西鯖江駅のホーム上屋の梁の折損や各駅所の屋根端口のタルキ折損が随所でおこった。また、電車線支持物の曲折損や年末の沿線倒木により、電車線及び送電線が路上に倒伏し切断曲損した。その他踏切遮断機が降雪や道路除雪による雪で埋没し、作動不能となり焼損したり、軌道敷では、降雪、除排雪によって、軌道線や敷石の乱浮上やアスファルトの破損等を引きおこした。

さらに、約1ヶ月間にわたる休む間もない除排雪作業は、除雪作業機械の導入、ロータリー除雪車の酷使による修繕等により相当額の経費の増大をみた。

バス路線に関しても、道路の拡幅が充分出来なかった為、行違いが殆んど不可能で、例をあげれば国鉄武生口より福井駅前まで片道4時間以上を要したような状態で路線バスとしての運行は事実上不可能に近い状況であった。また、圧雪の上への乗り上げなどによりボデーの損傷が甚しく、多額の修理費を要した。

被害額調

項目	被害区分		自動車	計				
	鉄	軌			道			
	福	武	線	南	越	線		
減収額	28,095			4,813			50,900	83,808
修繕費	10,334			382			3,794	14,510
車両	3,747			380			3,794	7,921
施設	6,292			2				6,294
電気	295							295
附帯経費	1,087			19				1,106
超勤	1,087			19				1,106
旅費								
その他								
除排雪費	11,105			2,293			2,875	16,273
合計	50,621			7,507			57,569	115,697



南越線五分市駅構内をブルドーザーにて除雪



神明駅構内の積雪を夜間作業により雪捨列車に積み込み排雪。
(S56. 1. 30)

列車運行状況調

種別 月日別	福 武		線 (運行本数 1日 103本)
	運休本数	運行率	
55. 12. 28	55本	39%	9時より全急行列車運休。10時より軌道線運休 武生新～福井新聞運転。18時より全列車運休
29	103	4	全列車運休
30	103	0	〃
31	72	12	武生新～神明間運転。全急行列車運休
56. 1. 1	43	23	〃
2	43	23	〃
3	41	35	武生新～福井新聞運転。13時より
4	45	48	〃
5	64	32	武生新～福井新聞運転 〃
6	103	0	全列車運休
7	45	31	武生新～神明間運転 〃～木田四ッ辻間運転 16時より
8	45	49	〃
9	45	49	〃
10	45	49	〃
11	89	12	全列車運休 (9時より)
12	65	15	武生新～神明間運転 (11時より)
13	95	3	神明～福井新聞運転。9時より全列車運休
14	96	3	神明～福井新聞運転 (18時より)
15	51	44	神明～木田四ッ辻間運転
16	47	47	〃
17	47	47	〃
18	47	47	〃
19	49	46	武生新～木田四ッ辻間運転
20	47	45	武生新～ 〃
21	47	51	〃
22	47	51	〃～市役所前間運転
23	47	51	〃～福井駅前間運転
24	45	54	〃
25	45	57	武生新～田原町間運転 (全区間運転)
26	45	60	〃
27	45	60	武生新～田原町間運転
28	45	60	〃
29	19	81	ラッシュ時急行列車運転開始 武生新～田原町間運転
30	19	81	〃
31	0	100	全列車運転
計	1,889		

註 1. 運行率は走行料比である

2. 運休本数はほゞ全区間の運休本数である

種別 月日別	南 越 線 (運行本数 1日32本)		
	運休本数	運行率	摘 要
55. 12. 28	20本	36%	社武生～栗田部間運転 (11時より)
29	32	0	全列車運休
30	32	0	"
31	32	0	"
56. 1. 1	32	0	"
2	32	0	"
3	11	30	社武生～栗田部間運転 (17時より)
4	4	84	" 運転
5	18	42	" (11時より)
6	32	0	全列車運休
7	32	0	"
8	32	0	"
9	32	0	"
10	24	18	社武生～五分市間運転 (17時より)
11	26	18	" 運転
12	32	0	全列車運休
13	32	0	"
14	32	0	"
15	32	0	"
16	32	0	"
17	32	0	"
18	32	0	"
19	32	0	"
20	32	0	"
21	32	0	"
22	32	0	"
23	32	0	"
24	32	0	"
25	32	0	"
26	26	14	社武生～五分市間運転 (18時より)
27	0	75	" 運転
28	0	81	社武生～栗田部間 (17時より) 全区間運転
29	0	100	全列車運転 (社武生～栗田部間)
30	0	100	"
31	0	100	"
計	865		

註 1. 運行率は運行軒比である

2. 運休本数はほぼ全区間の運休本数である

自動車（バス）運行状況

路線	年月日	55				56					
		12/28	29	30	31	1/1	2	3	4	5	6
武 生	→										
越 前 海 岸											
福 浦											
福 武	→				神 明 ~ 福 井	太 田 新 保 ~ 福 井	→	武 生 口 ~ 福 井	→	→	
麻 生 津	→							田 原 町 ~ 下 荒 井	→	→	
河 和 田	西 鯖 江 ~ 寺 中							西 鯖 江 ~ 戸 / 口	→	→	
片 上	→										
水 間	→										
野 田	→										
白 山	→										
河野越前海岸	→					太 田 新 保 ~ 桜 橋 ~ 梅 浦	武 生 口 ~ 桜 橋 ~ 梅 浦	→	越 前 岬	→	→
池 田	武 生 五 分 市 ~ 魚 見										
坂 口、白 山	武 生 ~ 葛 蒲 谷										
今 庄	武 生 ~ 大 門						今 庄 ~ 宇 津 尾	→	→	→	
湯 尾	→						今 庄 ~ 小 倉 谷	→	→	→	
吉 野											
啜											
南 越	→							武 生 ~ 戸 / 口	→	→	
鯖 浦	→						神 明 ~ 小 泉 ~ 西 田 中	→	→	小 泉 川 去	→

年月日 路線	56									
	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
武 生						武生～八田～ かれい	→	→	→	→
越 前 海 岸										
福 浦			田原町～織田	→	田原町～織田		田原町～織田	神明～かれい	田原町～ かれい	→
福 武	武生口～神明	→	→	→	武生口～神明	武生口～ 田原町	武生～神 明 福 井	武生口～神明	→	→
麻 生 津		田原町～ ベル前	→	→	田原町～ ベル前	田原町～ベル 前 田原町～杉ノ木	田原町～ ベル前	→	→	→
河 和 田										
片 上										
水 間										
野 田										
白 山										
河野越前海岸	武生口～桜橋 ～越前岬	→	→	→	武生～桜橋～ 越前岬	→	→	→	→	→
池 田										
坂 口、白 山										
今 庄	今庄～宇津尾	→	→	→	今庄～宇津尾	→	→	→	→	→
湯 尾	今庄～小倉谷	→	→	→	今庄～小倉谷	→	→	→	→	→
吉 野										
畷										
南 越			武生～岡本新	武生戸ノ口	武生～戸ノ口	→	→	→	→	→
鯖 浦		神明～小泉～ 西田中	神明～小徑～ 織田	→	神 明～織 田	→	→	→	→	→

年月日 路線	56									
	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
武生	→	→	→	→	→	→	→	→	武生～八田～ かれい	→
越前海岸										
福浦	→	→	→	→	→	→	→	→	田原町～ かれい	→
福武	→	→	→	武生口～福井	→	→	→	→	武生～福井	→
麻生津	→	～ペル 田原町 ～下荒井	→	→	→	→	→	→	田原町～下荒 井～杉ノ木台	→
河和田					西鯖江～ 戸ノ口	→	→	→	西鯖江～戸ノ 口～寺中	→
片上										朝・夕 西鯖江～大野
水間										
野田								朝・夕 西鯖 江～石生谷	朝・夕 西鯖江～石生谷	朝・夕 ～石生谷 西鯖江～織田
白山										
河野越前海岸	→	→	→	→	→	→	→	→	武生～桜橋～ 越前岬	→
池田								武生～清水谷 ～魚見	武生～清水谷 ～魚見	→
坂口、白山								武生～広瀬～ 葛蒲谷	武生～広瀬～ 葛蒲谷	なだれ通行止
今庄	→	→	→	→	→	→	→	→	今庄～宇津尾	武生～今庄～ 宇津尾
湯尾	→	→	→	→	→	→	→	→	今庄～小倉谷	武生～今庄～ 小倉谷
吉野										
暇										
南越	→	→	→	→	→	→	→	→	武生～戸ノ口	→
鯖浦	→	→	→	→	→	→	→	→	神明～織田	→
臨時、代行			武生～北村～ 五分市	→	→	→	→	→	武生～北村～ 五分市	→

年月日 路線	56									
	27	28	29	30	31	2 / 1	2	3	4	5
武生	→	→	→	→	武生 ~かれい ~越前岬	→	→	→	→	→
越前海岸			武生~安島~ かれい	→	→	→	→	→	→	→
福浦	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
福武	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
麻生津	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
河和田	→	→	→	→	→	④ 迄	→	→	→	→
片上	→	→	→	平常	→	→	→	→	→	→
水間							西鯖江~柳~ 横住	→	→	→
野田	→	→	→	→	平常	→	→	→	→	→
白山	武生~安養寺 ~菖蒲谷	→	→	→	→	→	→	→	→	→
河野越前海岸	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
池田	武生~清水谷 魚見・武生~ 五分市~入谷	→	→	→	→	→	→	→	→	→
坂口、白山	武生⇄進分	→	→	→	→	→	→	→	→	→
今庄	→	→	→	→	平常	→	→	→	→	→
湯尾	→	→	→	→	〃	→	→	→	→	→
吉野										
巖					平常	→	→	→	→	→
南越	→	→	→	→	〃	→	→	→	→	→
鯖浦	→	→	→	→	〃	→	→	→	→	→
臨時代行	(南越電車 運行)									

路線	年月日							
	56	6	7	8	9	10	11	12
武生	→	→						
越前海岸	→	→	→	→	→	→	→	→
福浦	→	→	→	→	→	吉江經由 →	→	→
福武	→	→	→	→	→	→	→	→
麻生津	→	→	→ 下荒井 杉の木台	→	→	→	→ 角原 平常	→
河和田	→	→	→ 沢	→	→	→	→	→
片上	→	→	→	→	→	→	→	→
水間	→	→	→	→	→	→	→	→
野田	→	→	→	→	→	→	→	→
白山	→	→	→ 武生~安養寺 ~土山	→ ~安養寺~土山 武生 ~小野	→	→	→	→
河野越前海岸	→	→	→	→	→	→	→	→
池田	→	→	→ 武生~入谷 武生~清水谷 ~魚見	→	→	→	→	→
坂口、白山	→	→	→ 武生~追分	→	→	→	→	→
今庄	→	→	→	→	→	→	→	→
湯尾	→	→	→	→	→	→	→	→
吉野	→	→	→	→	→	→	→	→
畷	→	→	→	→	→	→	→	→
南越	→	→	→	→	→	→	→	→
鯖浦	→	→	→	→	→	→	→	→
臨時代行								

7. 通信施設関係被害

通信施設の被害額は、有線施設については、3億7,800万円、無線施設については1,900万円、総額3億9,700万円に達した。

区 分	被 害 額 (千円)
有 線 施 設 (電々公社)	378,000
無 線 施 設	19,000
計	397,000

(1) 有線の被害 (電々公社)

日本電信電話公社福井電気通信部の電気通信施設の被害は、被害総額3億7,000万円を超える大規模なものとなった。とくに、比重が高いという雪質のために、ケーブルの損傷や電柱の折損及び加入者引込線の損傷等が被害の大部分を占め、今冬被害の大きな特徴となっている。

また、ダイヤル通話サービスにおける故障件数は屋根の雪降し等による引込線の断線事故などにより、9,941件の故障の申告があったが、交通途絶地域や全面的な交通麻痺期間を除いては、ほとんど2日以内で修理し、回復した。なお、1加入当りの故障発生率は設備の改善等によって、38豪雪時に比べ約 $\frac{1}{5}$ となっており、故障の大部分は福井、鯖江、武生の3地区で占められた。

部門別	被 害 内 容	局別 単位	福 井	大 野	勝 山	丸 岡	三 国	武 生	鯖 江	敦 賀	小 浜	計
線 路	電柱の折損・傾斜	本	288	677	198	13	38	426	152	324	0	2,116
	ケーブル等の損傷	km	14.2	23.8	10	2.6	0	24.3	15.9	15.5	0	106.3
宅 内	引込線の損傷	件	2,177	612	319	181	43	953	4,187	275	171	8,918
	保安器の損傷	個	533	121	115	4	4	142	1,045	42	15	2,021
合 計 被 害 額		百万円	119	40	32	16	4	65	53	47	2	378

(2) 無線の被害

今回の豪雪は、県内各機関の無線施設にも大きな被害を与え、その総額は1,900万円に達した。

(イ) 近畿地方建設局福井工事々務所

被 害 の 状 況	被害額 (千円)
1. 越知中継所の発動発電機燃料輸送 送電線障害に伴う商用電源断により自家発電による供給電源の確保のため約10日間の稼働により、燃料不足となり、空輸による燃料補給を行う。	732
2. 福井～渕上多重回線の不通 伝送路のフェーシング発生により回線マージン不足となったため、代替通信路の確保。	300
合 計	1032

□近畿地方建設局九頭竜川ダム統合管理事務所

項 目	被 害 状 況 (概要)
真名川支所 空中線切損修繕	同軸ケーブルの切断、パンザー3本及鉄塔折損
剣ヶ岳反射板復旧工事	冠雪による支持柱切断
九頭竜送受信所 制御ケーブル破損復旧	冠雪により制御ケーブルの断線
無線局(三面) 空中線障害復旧	" 同軸ケーブル断線
無線局(熊河) 空中線障害復旧	冠雪による空中線破損
無線局(温見) 太陽電池障害復旧	" 太陽電池架台取替
無線局(西勝原) 空中線系障害復旧	" 空中線系破損
無線局(水無) 空中線障害復旧	" "
	被害額 16,000千円

◇福井地方気象台

被 害 の 内 容	被 害 額 (千円)
無線FAX受信用空中線(短波用) 着雪による電線切断	70

□日本赤十字社福井県支部

被 害 の 内 容	被 害 額 (千円)
アンテナ支柱及び同引張線の破損	15

◇消防関係

被 害 の 内 容	被害額 (千円)
設置場所 福井市国見元町22字吉平山6~1 国見岳無人無線中継所 無線局名 しょうぼうくにみ(基地局1, 固定局1) ①無線機本体 当該設置場所は約4mの積雪で無線局舎(軒高2.6m)は埋雪し、通気穴が完全に塞がったため局舎内に設備してある無線機本体の内外部に水滴が付着する程湿気を帯びたので各機器の機能は、誤動作等でマヒし通信不能となった。(積雪多量のため現地出向出来ず1月10日~2月12日まで通信不能となった。)	100
②建造物 無線局舎周囲に建造した外柵(川鉄ネットフェンス高さ1.8m総延長24m)が雪圧で湾曲かつ押し潰され補修困難の損害を受けた。	300
計	400

(イ)福井放送株

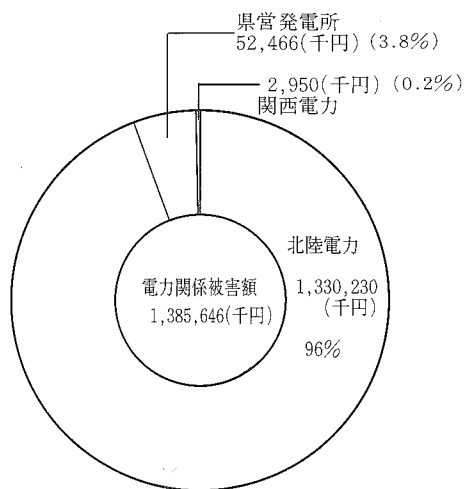
無線局名	無線設備の被害状況	被害額(千円)
大野テレビ中継局	受信空中線並びに支柱、支線等の屈曲	100
敦賀	〃	200
勝山	〃	600
下宇坂	〃	500
		計 1,400

(ロ)福井テレビジョン放送株

無線局名	無線設備の被害状況	被害額(千円)
勝山中継局	局舎(シボレックス)屋根破損	600
大野中継局	アンテナケーブル用ラダー破損	150
		計 750

8. 電力関係被害

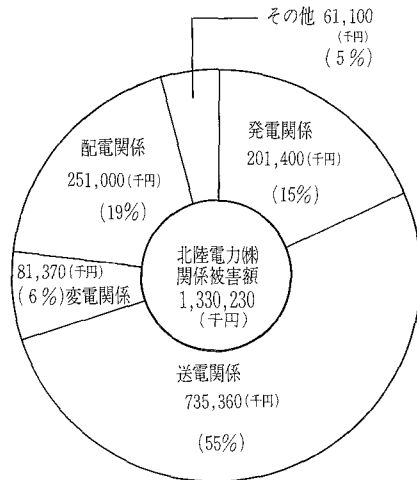
電力関係の被害として特徴的なことは、ベタ雪による異常着雪と大量の倒木、折損による送電線、配電線の断線や電柱の倒壊、折損などの被害が広範囲かつ集中的に発生したということである。このようなことは、いまだかつて経験したことのない現象であり、今回の56豪雪の大きな特徴としてあげることができる。これら電力施設の被害の他に停電による発電障害も多発し、電力関係被害としては北陸電力、関西電力、県営発電所あわせて、13億86百万円の大きな被害を出すにいたった。



電力関係被害の内訳

(1)北陸電力福井支店の被害

今回の年末年始にかけての湿ったドカ雪は、今まで経験したことがない異常着雪と未曾有の樹木の折損と倒壊をもたらし、北陸電力の電力設備も電柱折損、高低圧線の断線など雪害としては、かつてない甚大な被害を受け、被害総額13億3,000万円の多額に達した。その他、停電による発電支障電力量は1,743,100KWh、停電延戸数63,420世帯であった。



北陸電力被害額内訳

部門別	被害項目	被害数	被害額(千円)
発電関係	土木設備等の雪害(巡視路 500m 安全柵 2,900m 他)	1 式	} 201,400
	屋外機器等の雪害(開閉器 4 台他)	1 式	
	建物、水路線、安全柵等の雪害 (建物10カ所 安全柵12カ所 水路線 7 線路 他)	1 式	
	機器除雪	1 式	
送電関係	電線等の雪害(通信線含む)(14線路他)	1 式	} 735,360
	支持物等の雪害(157基他)	1 式	
	土留、盛土、周囲柵等の雪害(土留、盛土60カ所他)	1 式	
	鉄塔下部除雪	1 式	
変電関係	屋外機器雪害(開閉器 3 台他)	1 式	} 81,370
	建物、植樹、安全柵等の雪害	1 式	
	機器除雪	1 式	
配電関係	支持物折損、倒壊、傾斜	1,231本	} 251,000
	高低圧線断線	1,377条	
	引込線断線	2,105 回線	
	変圧器その他機器損傷	66台	
その他	業務用建物除雪他	1 式	61,100
合計			1,330,230

停止電力量 発電支障電力量 1,743,100 KWh

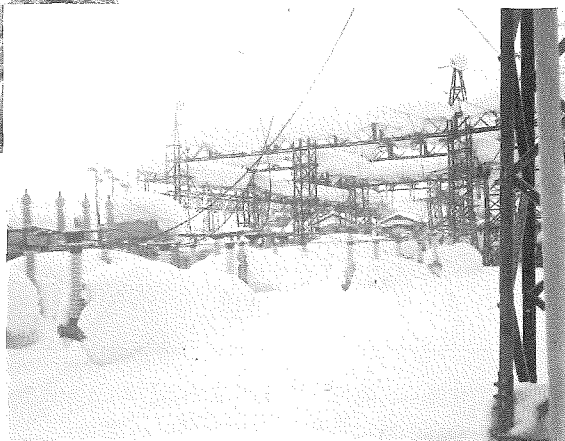
停電延戸数 63,420世帯



着雪によるCP折損
(S.55.12.30 今立町国中地区)



小和清水発電所
水槽内流木堆積 (S.56.1.8)



友江変電所の構内機器冠雪
(S.56.1.18)

(2) 関西電力㈱小浜営業所の被害

関西電力㈱小浜営業所管内は、三方郡が敦賀に準ずる雪量となったほかは、特に例年を上回るものではなかったが、被害内容としては、高圧線で2件、変圧器以下不点3件、引込線関係38件であり、特に比重の高いベタ雪という雪質のため、被害につながる事となった。また雪雷は、例年になく頻発し、山頂無線中継所等へ重大な被害をもたらしたのが若狭地方の特徴である。

高圧配電線事故 2件

	アレスター・リード断線	PE22 ^{mm} 1条断線(着雪 外径20cm 比重0.315)
場 所	美浜町丹生(美浜町S/S 丹生D/L)	小浜市次吉(小浜S/S 雲西D/L)
発 生 日 時	S55. 12. 31(火) 4時09分	S55. 12. 31(火) 4時27分
復 旧 日 時	S55. 12. 31(火) 7時25分(復旧時間3時間16分)	S55. 12. 31(火) 7時00分(復旧時間 2時間33分)
支 障 戸 数	107戸	512戸
気 象 状 況	現地積雪30cm 気温(最高2.4℃ 最低 0.1℃) 風速(10分間最大風速4.9% 瞬間最大風速13.5%)	現地積雪45cm 気温(最高 3.4℃ 最低 0.1℃) 風速(10分間最大風速 4.0%)
原 因	数日来的強風によりアレスター・リードが端子際で折損しその後の冠雪で押えられ腕金に接触したもの	電線着雪による重みのため電線スリーブ際にて断線したものの
備 考	S55. 12. 26(金) 10分間最大風速 7.5m/S 瞬間最大風速 16.7%	
(風速状況)	S55. 12. 27(土) " 6.9%	" 15.2%
(敦賀測候所)	S55. 12. 28(日) " 8.0%	" 21.1%

変圧器以下不点事故 3件

発 生 月 日	場 所	事 故 内 容	事 故 原 因
55. 12. 30(火)	美浜町 早瀬	1 P 20KVA 変圧器ヒューズ切れ	雷害による
" (火)	美浜町 丹生	1 P 5KVA 変圧器ヒューズ切れ	"
56. 1. 13(水)	小浜市久須夜	1 P 10+10KVA(変V結線)変圧器ヒューズ切れ電力計焼損	"

引込線関係事故 38件(引込線断線)

原 因 別	屋根等の落雪	電線着雪	樹木倒壊	除雪(雪おろし)	そ の 他	合 計
件 数	25	2	3	2	6	38

被害金額 約295万円

(3) 県営発電所の被害

今回の豪雪は、県営の発電所にも、多大な損害を与え、その被害額は 5,200万円にも達した。

発電所名	被害状況		被害額(千円)
中島発電所	電気工作物	しゃ断器破損	5,000
		断路器 //	9,000
		配電線関係(支柱、鉄塔倒壊、断線)	3,800
		変圧器破損	702
	構築物	土積場石積崩壊	8,400
		発電所搬入路崩壊	4,250
		鉄管路斜面崩壊	3,400
	その他	2,867	
真名電川所	構築物	鉄管路昇降用手摺	1,000
		// 防雪柵	1,960
		その他	900
滝波第一発電所	電気工作物	配電線関係(支柱倒壊、架線断線)	4,857
	構築物	鉄管路斜面崩壊	1,600
		構内フェンス崩壊	1,000
		その他	3,730
合 計			52,466

9. 環境衛生施設関係被害

環境衛生施設関係の被害は医療施設の 2,763千円をはじめとして、上水道施設 2,000千円、清掃施設 2,854千円と合わせて総額 7,617千円に達した。

区 分	被害額(千円)
医 療 施 設	2,763
上 水 道 施 設	2,000
清 掃 施 設	2,854
計	7,617

(1) 医療施設の被害

医療施設の被害としては、福井市で、病院の屋上防護柵の倒壊が2棟発生し 2,563千円の被害を出したのをはじめ、鯖江市で病院のブロック屏が倒壊し 200千円の被害が発生し、医療施設全体としては 2,763千円の被害額となった。

(2) 上水道施設の被害

上水道施設の被害は少なく、わずかに和泉村で送水管が雪崩のため流出し、2,000千円の被害を出したのみにとどまった。

(3) 清掃施設の被害

清掃施設の被害としては、敦賀市で6カ所にわたり、配線や配管等施設に2,454千円の被害を出した他、和泉村においても、4カ所において400千円の被害を出し、清掃施設全体で2,854千円の被害を生じた。

10. 社会福祉施設関係被害

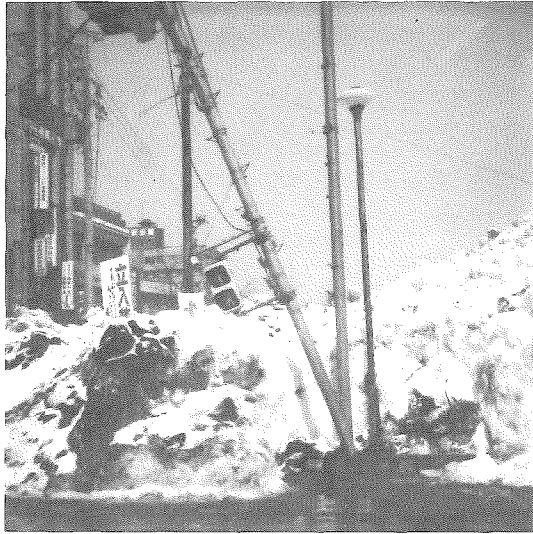
社会福祉施設の被害額は直接被害、間接被害(除雪経費)合わせて4,200万円の多額に達した。その内訳は下記の通りである。

被害状況(直接被害)			
区分	施設等の被害内容		被害額(千円)
老人福祉施設	屋根等の一部破損	3カ所	1,200
身障福祉施設	"	2カ所	1,200
心身児童福祉施設	"	2カ所	3,300
病院等施設	県立病院1	精神病院1 保健所7	2,763
計			8,463
除雪経費(間接被害)			
老人福祉施設	軽費老人ホーム1 養護老人ホーム14	養護老人ホーム5 老人保養ホーム4 特別	9,900
生活保護施設	授産施設1	救護施設1	705
身体障害者施設	5カ所		4,658
精神薄弱者施設	6カ所		3,374
児童福祉施設	4カ所		1,582
病院等施設	県立病院1	精神病院1 保健所7 衛研1	13,789
計			34,008
合計			42,471

11. 交通安全施設関係被害

例年降積雪による交通安全施設の被害は発生していたが、56豪雪による安全施設の被害は総額7,000万円をうわまわり、38豪雪時より安全施設標識等が整備されたとはいえ、比較にならない甚大な被害を被った。

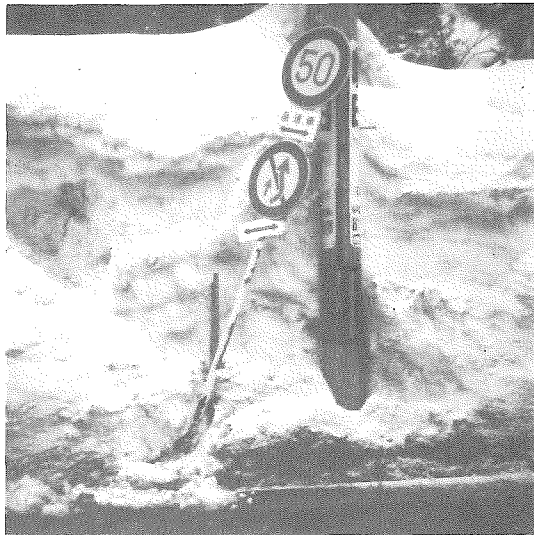
種 別	箇所(本)数	被 害 の 内 容	被害額(千円)
交通信号機	427箇所	制御機、信号灯器の破損・方向不良、信号柱の損壊、ケーブルの断線等	7,785
大 型 標 識	144種	支柱の折損および方向不良、標板の破損等	2,884
路 側 標 識	6,153本	支柱および標板の破損・支柱の折損、標板の破損等	66,557
合 計			77,226



圧雪により路床が高くなり、通行車がケーブルを引っかけて傾倒した信号機



圧雪により路床が高くなり、通行車により引っかけられた大型標識板



3.7mの標識が雪に埋まり除雪作業に伴ない折損被害が続出



積雪に埋れた標識

12. 市町村の除排雪費

市 町 村 名	除 排 雪 費(円)
福 井 市	1,522,670,363
敦 賀 市	177,927,616
武 生 市	608,700,000
小 浜 市	3,300,000
大 野 市	359,006,000
勝 山 市	259,077,000
鯖 江 市	495,593,361
美 山 町	72,644,000
松 岡 町	88,399,000
永 平 寺 町	25,000,000
上 志 比 村	33,133,000
和 泉 村	55,996,000
三 国 町	8,773,000
芦 原 町	9,207,774
金 津 町	18,318,000
丸 岡 町	61,352,145
春 江 町	52,650,000
坂 井 町	25,069,000
今 立 町	73,018,000
池 田 町	45,678,000
南 条 町	22,135,944
今 庄 町	23,959,000
河 野 村	5,303,000
朝 日 町	31,000,000
宮 崎 村	52,092,000
越 前 町	5,972,000
越 廼 村	2,060,170
織 田 町	45,074,000
清 水 町	62,834,000
三 方 町	18,639,770
美 浜 町	19,862,000
上 中 町	34,086,000
名 田 庄 村	10,239,000
高 浜 町	2,415,000
大 飯 町	1,752,000
県 計	4,332,936,143

第3章 応急活動並びに復旧対策

第3章 応急活動並びに復旧対策

1. 雪害対策活動概要

(1) 本部の設置・会議等

55年年の瀬から降り始めた雪は、56年1月中旬にかけて記録的な大雪をもたらした。このため県内の交通機関は、国鉄をはじめとして、マヒ状態に陥り、県民生活に重大な影響を与えた。特に、和泉村においては、完全な孤立状態となり、生活必需物資の急激な欠乏をきたすなど県・市町村・諸機関・住民の必死の努力にもかかわらずその被害は言語に絶するものとなった。

県は、かかる非常事態に対処するため、12月29日12時30分には、雪害対策本部を設置し、1月6日には、これを豪雪対策本部と改め、関係各機関を総動員して、その対策に懸命に取り組んだ。以下55年末から56年2月初めにかけての56豪雪に対する活動組織とその状況について経過を追ってまとめる。

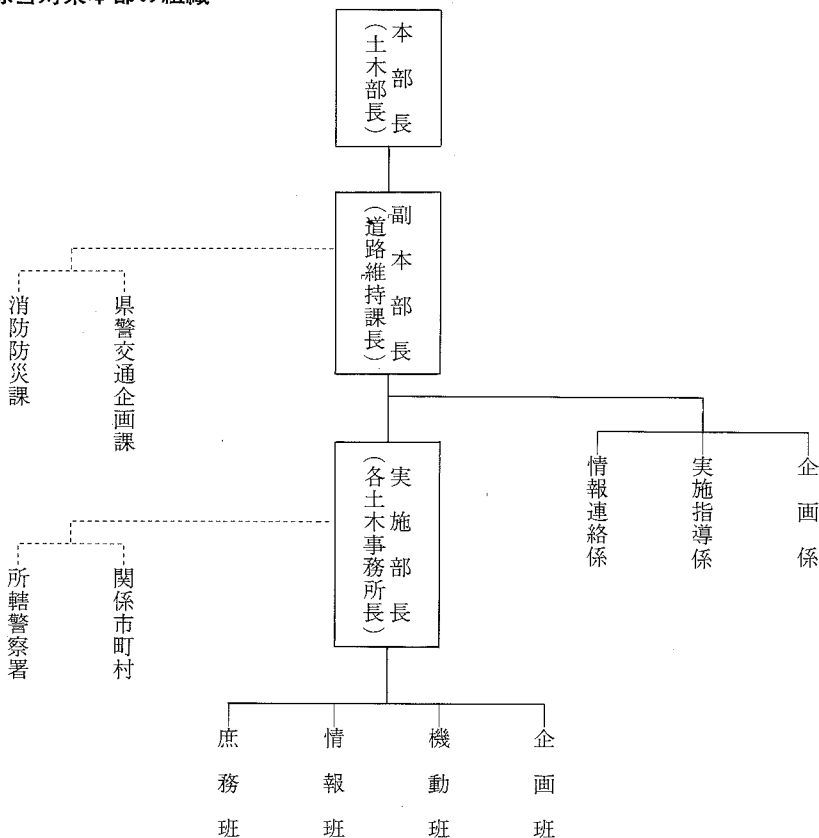
55年11月5日	福井県除雪対策本部（本部長 土木部長）を設置
12月5日	奥越地方に初雪、除雪車初出動
12月13～14日	県下全般に降雪、13日午前3時から除雪車出動、以後除雪本部、各土木事務所とも24時間待機体制に入る
12月27日	年末寒波襲来、除雪本部警械体制に入る。除雪車フル出動、路上駐車に難渋、以後の除雪作業に大きな障害となる。消防防災課警戒体制に入る。
12月28日	大野市、勝山市積雪1mを越える。
12月29日	福井市の積雪1mを超える。12月の積雪としては大正6年以来の記録、県雪害対策本部（本部長知事）を設置。消防防災課24時間警戒待機体制に入る。
12月30日	大野市、勝山市の積雪2mを超える。第1回雪害対策本部会議。
12月31日	孤立地区六市町村 1,475戸を数える。
56年1月1日	雪害本部、除雪本部とも元旦返上の24時間体制。
1月6日	再び寒波、敦賀市の積雪1mを越える。第2回雪害対策本部会議。対策本部の名称を豪雪対策本部に改称すると共に、第2配備体制に切り替える。第3回豪雪対策本部会議。
1月7日	陸上自衛隊に対し、災害派遣を要請。第4回豪雪対策本部会議。
1月8日	航空自衛隊小松救難隊のへり和泉村へ生鮮食品など生活緊急物資を空輸。3mを越える雪の中心死の除雪で、和泉村まで1車線確保（13日再び埋まる）
1月9日	豪雪対策について県議会常任委員会開催。政府「昭和56年豪雪対策本部」を設置。即日、政府調査団来県。

- 1月12日 第3寒波襲来。山沿い路線で雪崩相次ぎ交通止めの措置しきり。第5回豪雪対策本部会議。
- 1月14日 大野市上黒谷・下黒谷地区において雪崩の危険のため災害救助法を適用（20日解除）自衛隊の出動人員4,395名に達し、最高を数える。
- 1月16日 豪雪対策について県議会全員協議会開催。
- 1月19日 第6回豪雪対策本部会議。知事「県民総ぐるみの豪雪克服」を宣言。和泉村へ越美北線を利用してモーターカーによる物資輸送開始（25日まで）
- 1月20日 自衛隊災害派遣部隊、警戒緊急連絡要員約200名を残し撤収。
- 2月7日 越美北線全線開通。
- 2月10日 豪雪対策本部の名称を雪害対策本部に改称。第1配備体制に切り替える。自衛隊災害派遣部隊全員撤収。
- 3月23日 17時雪害対策本部廃止。

(2)除雪活動

県では、昭和55年11月5日に福井県除雪対策本部を設置して以来、懸命の除排雪努力を続けたが、ここでは、除雪対策本部を主体とした除雪活動状況についてまとめる。

(イ)福井県除雪対策本部の組織



(ロ) 除雪計画路線表

区分 種別	路線名	第1種	第2種	第3種	計	春除雪 区間	合計
		区間	区間	区間			
一 国 般 道	157号 158号 162号 303号 305号 365号 364号	252.5	20.0	25.7	298.2	32.8	331.0
主 要 地 方 道	福井加賀線 以下 28線	271.5	76.9	115.5	463.9	42.0	505.9
一 般 道	三国金津線 以下 171線	212.6	415.5	362.5	990.6	79.0	1,069.6
計	206路線	736.6	512.4	503.7	1,752.7	153.8	1,906.5

(ハ) 昭和55年度雪寒建設機械配備計画表

事務所	機種 ロータ リー車	除雪トラック			除雪グレーダ			除雪ドーザ			スノーローダ			ロータ リー 装置等	計
		t級 5.5	t級 7.0	小計	m級 3.1	m級 3.7	小計	装軌式	装軌式	小計	装軌式	装軌式	小計		
福井土木事務所	2	1	6	7		5	5	1		1	2		2	1	18
三国土木事務所		2	4	6		3	3	1		1	1	1	1	1	12
大野土木事務所	3	1	4	5		2	2	3	2	5					15
勝山土木事務所	2		4	4		1	1	2		2					9
鯖江土木事務所			2	2		2	2	2		2				1	7
武生土木事務所			4	4		2	2	3		3	1		1	1	11
今立土木事務所			3	3	1		1	2		2	2		2	1	9
朝日土木事務所			3	3		2	2				1		1	1	7
敦賀土木事務所	1	1	3	4	1	1	2	1							8
小浜土木事務所		2	3	5	1	1	2				1		1	1	9
合 計	8	7	36	43	3	19	22	15	2	17	8		8	7	105

(二) 除雪機械保有およびオペレーター人員状況

土木事務所 区分		福井	三国	大野	勝山	鯖江	武生	今立	朝日	敦賀	小浜	合計
除雪機械 保有台数	55年	18 台	11	15	9	6	10	8	6	8	8	99
オペレーター 人員数	55年	18 人	12	13	9	7	11	8	8	10	13	109

(六) 道路除雪の状況

項目 道路種別	道路延長 (A) km	自動車交通 可能延長 (B) km	除雪実施 延長 (C) km	除雪率	
				$\frac{(C)}{(A)} \times 100\%$	$\frac{(C)}{(B)} \times 100\%$
一般国道	330.2	320.4	320.4	97	100
主要地方道	523.8	507.6	505.2	96	99
一般地方道	1,148.8	1,111.2	1,039.2	90	93
合計	2,002.8	1,939.2	1,864.9	93	96

(七) 除雪人員動員数

土木事務所 区分		福井	三国	大野	勝山	鯖江	武生	今立	朝日	敦賀	小浜	合計
職員動員延数		1,776	855	1,306	1,138	715	1,101	810	590	610	481	9,382
借上動員延数		6,468	752	2,665	1,116	1,183	1,873	1,304	1,176	896	432	17,865
合計		8,244	1,607	3,971	2,254	1,898	2,974	2,114	1,766	1,506	913	27,247

(3) 緊急物資輸送

38豪雪以来の大雪となった和泉村では、生命線ともいえる国道と越美北線が寸断され、完全な孤立状態となった。

このため生鮮食料品などが底をつき村民生活も深刻となり、豪雪対策本部では、空路で緊急物資を送りこむことを決定し、1月8日航空自衛隊のヘリコプター2機による救難物資の輸送が行われた。

(1)和泉村孤立状況

和泉村（戸数、487、人口1549）は、全村にわたり、次の期間完全孤立した。

12月28日～1月1日

1月3日

1月5日～1月9日

1月12日～1月18日



ヘリコプターによる緊急物資の空輸
(和泉村)

□和泉村緊急物資調達一覧

<角野地区>

<中竜地区>

調達先	品名	数量	単価	金額	調達先	品名	数量	単価	金額
卸売団地	サバカン	5箱 (48ヶ入)	3,120	15,600	卸売団地	サバカン	5箱 (48ヶ入)	3,120	15,600
	牛カン	1箱 (48ヶ入)	16,128	16,128		イカカン	5箱 (48ヶ入)	6,480	32,400
	イワシカン	5箱 (48ヶ入)	4,128	20,640		サンマカン	5箱 (50ヶ入)	4,000	20,000
	サケカン	2箱 (48ヶ入)	12,672	25,344		クジラカン	5箱 (48ヶ入)	8,784	43,920
	イカカン	2箱 (48ヶ入)	6,480	12,960		乾燥ウドン	20箱 (40ヶ入)	2,720	54,400
	牛 肉	150袋 (200g入)	440	66,000		スキムミルク	48ヶ (250g入)	267	12,816
	ワカ鳥	50袋 (200g入)	220	11,000		メリケン粉	10箱 (2kg入)	1,720	17,200
	ブタ肉	50袋 (200g入)	240	12,000		味 噌	20箱 (10kg入)	2,950	59,000
	卵	10箱 (150ヶ入)	3,700	37,000		油 揚	600枚	90	54,000
	問屋 センター	ローソク30号	58ヶ (2本入)	168		21,504	カシワ	600袋 (500g入)	350
20号		50ヶ (3本入)	ブタ肉		300袋 (500g入)		600	180,000	
10号		20ヶ (6本入)	牛 肉		300袋 (200g入)		440	132,000	
スコップ		40本	1,380	55,200	ローソク30号	46ヶ	168	17,304	
乾電池単1		25箱 (10ヶ入)	670	16,750	20号	40ヶ			
池単2		25箱 (10ヶ入)	470	11,750	10号	17ヶ			
豆炭アンカ		10ヶ	{ 950 800	{ 5,700 3,200	問屋 センター	乾電池単1	20箱 (20ヶ入)	1,880	37,600
中央卸売 市場	白 菜	5箱 (15kg入)	1,200	6,000	ス	懐中電灯	20本	385	7,700
	ジャガイモ	5箱 (10kg入)	1,100	5,500	ス	スコップ	24本	1,380	33,120
	キャベツ	5箱 (15kg入)	2,000	10,000	中央卸売 市場	玉ねぎ	25箱 (20kg入)	3,000	75,000
	福井燃料	豆 炭	50袋 (12kg入)	950	47,500	ピーマン	5箱 (60ヶ入)	3,300	16,500
その他	トラック借上	2t 1台 (上屋敷工業)		20,000	白 菜	60箱	1,200	72,000	
					冷凍イカ	23箱	3,200	73,600	
					赤 魚	8箱	11,000	88,000	
総 計				1,671,936円					

(4)モーターカーによる物資輸送

豪雪のため、道路と鉄道が途絶していた和泉村に対し、1月19日、国鉄越美北線のトンネルを通過してモーターカーが引くトロッコ列車による物資輸送が行われた。起点となったのは、大野市の勝原駅近くで、白谷・荒島・下山の3つのトンネルを通過して、魚や野菜、果物などの他滞っていた郵便物なども輸送され、この輸送は1月25日まで行われた。



(5)災害救助法の発動と解除

昭和56年1月14日(14時45分)

大野市上黒谷、下黒谷区において雪崩の危険性が生じたため、大野市では地元区長、警察署、消防署等関係者と協議し、災害対策基本法第60条の規定により大野市長が、危険地域の住民に対し避難の指示を行った。

対象地区名・人口数

地 区 名	戸 数	住 民 数
上 黒 谷	25	120
下 黒 谷	20	95
計	45	215

同日(17時30分)

大野市は、福井県に対し災害救助法適用の要請を行った。

同日(18時00分)

要請を受けた県では、災害救助法施行令第1条第1項第4号の規定により、厚生省と協議し、災害救助法の適用を発動した。

昭和56年1月20日(20時00分)

県、大野市、地元区長、および各関係者と協議した結果、避難の指示および災害救助法の適用を解除した。

(6)激甚災害の指定

56豪雪により大きな被害を出した本県などの雪害に対し、激甚災害の指定がなされた。

政府は、4月17日に56豪雪を激甚災害に指定する旨の政令を公布し、また、従来補助の対象外に置かれていた折損木被害をも補助していくという内容の政令の改正もあわせて行った。

2. 自衛隊災害派遣

56豪雪に際し、知事は自衛隊に対し、大野市・勝山市など豪雪地域市町村の除雪に出動を要請した。派遣された陸上自衛隊第十師団の隊員約4,500人は、国鉄などの交通機関や、市町村道の除排雪にあたった。以下はその概要である。

(1)各地域への出動状況

出動地域	派遣要請月日	部隊到着日	作業開始日	撤収月日	作業内容
国鉄南福井駅	(1次) 1月7日 (2次) 1月10日	1月7日	1月8日(一部1月7日)	1月14日	駅構内の除排雪
京福電鉄	1月9日	1月9日	1月9日	1月16日	線路、駅構内の除排雪 (轟～勝山)
福井鉄道	"	"	"	"	駅構内等の除排雪 (福井新～花堂)
国鉄越美北線	1月10日	1月11日	1月12日	"	越前大野駅構内の除排雪、倒木処理 (越前富田～下唯野)
福井市	(1次) 1月7日 (2次) 1月16日	1月7日	1月8日	1月20日	市街地主要幹線市道環状西線他9線(延長 30.88km)の除排雪
大野市	"	"	"	1月21日	" 春日線他23路線(延長 18.81km) "
勝山市	"	"	"	"	" 西環状線他20路線(延長 16.02km) "
武生市	(1次) 1月9日 (2次) 1月16日	1月9日	1月9日	1月20日	" 16号線他19路線(延長 11.33km) "
松岡町	"	"	"	1月18日	" 町道志比界1号線他6路線(延長5.90km) "
鯖江市	"	"	"	1月20日	" 市道駅前1号線他28路線(延長 19.08km) "
敦賀市	1月16日	1月16日	1月16日	1月21日	" 134号線他7路線(延長8.95km) "
師団司令部 兵站後方支援部隊	1月7日	1月7日	1月7日	"	



自衛隊員による除排雪作業(大野市)



京福山王駅構内を除雪する自衛隊員
(56. 1. 10)



自衛隊員による排雪作業

(2) 自衛隊出動状況

年月日	出動地域	出動部隊名	出動人員(人)	車 輛 (台)	除雪機械(台)	作 業 内 容			
56年 1/7 現 在	国鉄福井駅	金沢第14普通科連隊	522	18	8	○駅構内(基幹ヤード)の除排雪			
	福 井 市	鯖江第 322施設隊				430	58	4	○市街地の主要幹線市道の除排雪
		金沢第 302施設隊							
	大 野 市	久居第33普通科連隊	142	23	3	○市街地の主要幹線市道の除排雪			
	勝 山 市	今津第10戦車大隊	29	24					
師団司令部 兵站後方支援部隊			1,192	123	15				
合 計									
56年 1/8 現 在	国鉄福井南駅	金沢第14普通連隊	1,255	117	33	○駅構内(基幹ヤード)の除排雪			
	京 福 電 鉄	鯖江第 302施設隊				424	57	5	○市街地の主要幹線市道の除排雪
		金沢第 302施設隊							
	福 井 市	豊川第 6 施設群	148	26	8	○市街地の主要幹線市道の除排雪			
	大 野 市	豊川第10特科連隊	258	100	5	○市街地の主要幹線市道の除排雪			
	勝 山 市	春日井第10施設大隊	101			○市街地の主要幹線町道の除排雪			
	武 生 市	久居第33普通科連隊	155	39					
	松 岡 町	今津第10戦車大隊他							
	師団司令部 兵站後方支援部隊	豊川第10特科連隊							
合 計		2,341	339	51					
56年 1/9 現 在	福 井 市	金沢第14普通科連隊	568	111	64	○市街地の主要幹線市道の除排雪 (福井市)			
	福井市	金沢第 302施設隊				○駅構内(基幹ヤード)の除排雪 (国鉄福井南駅)			
	国鉄福井南駅	鯖江第 322施設隊				○線路上及び駅構内の除排雪 轟～勝山間(京福)			
	京福電鉄	豊川第 6 施設群							
		豊川第10特科連隊他	229						
		春日井10施設大隊他							
		小 計	1,229						
	大 野 市	久居第33普通科連隊他	484	57	12	○市街地主要幹線市道の除排雪			
	勝 山 市	今津第10戦車大隊他	192	22	18	○市街地主要幹線市道の除排雪			
	武 生 市	豊川第10特科連隊	285	43	9	○市街地主要幹線市道の除排雪			
	松 岡 町	"	101	16		○市街地主要幹線町道の除排雪			
	鯖 江 市	守山第35普通科連隊	635	50	18	○市街地主要幹線市道の除排雪			
師 団 司 令 部		192	16						
兵 站 後 方 支 援 部 隊 ほか		653	58						
合 計		3,771	373	121					

年月日	出 動 地 域	出 動 部 隊 名	出 動 人 員 (人)	車 輛 (台)	除 雪 機 械 (台)	作 業 内 容		
56年 1/10 現 在	福 井 市	金沢第14普通科連隊	602	}	}	○市街地の主要幹線市道の除排雪 (福井市)		
	福 井 市	金沢第 302施設隊						
	国鉄福井南駅	豊川第 6 施設隊	207	}	111	44	○駅構内(基幹ヤード)の除排雪 (国鉄福井南駅)	
	京 福 電 鉄	豊川第10特科連隊						
	福 井 鉄 道	春日井第10施設大隊他	299	}	}	○線路上及び駅構内の除排雪 轟～勝山間(京福)		
		春日井第10偵察隊他	299					
		小 計	1,372					
	大 野 市	久居第33普通科連隊他	665	60	11	○市街地の主要幹線市道の除排雪		
	勝 山 市	今津第10戦車大隊他	237	22	13	○市街地の主要幹線市道の除排雪		
	武 生 市	豊川第10特科連隊他	349	43	6	○市街地の主要幹線市道の除排雪		
	松 岡 町	豊川第10特科連隊	130	16		○市街地の主要幹線町道の除排雪		
	鯖 江 市	守山第35普通科連隊	570	}	53	18	○市街地の主要幹線市道の除排雪	
		鯖江第 322施設隊他	74					
	師 団 司 令 部 兵 站 後 方 支 援 部 隊		202	}	72		○市街地の主要幹線市道の除排雪	
		673						
	合 計	4,276	377	92	(この外にドーザークレーダー等 92台計 184台)			
1/11 現 在	福 井 市	金沢第14普通科連隊	662	}	}	}	○市街地主要幹線市道の除排雪 (福井市)	
		金沢第 302施設隊						
	福 井 市 国鉄福井南駅	豊川第 6 施設群	207	}	111	}	55	
		豊川第10特科連隊	264					
	京 福 電 鉄 福 井 鉄 道	春日井第10施設大隊	180	}	}	}		
		春日井第10偵察隊他	119					
	国鉄越美北線							
		小 計	1,432	111	55			
	大 野 市	久居第33普通科連隊他	666	57	14	○市街地主要幹線市道の除排雪		
	勝 山 市	今津第10戦車大隊他	237	22	15	○市街地主要幹線市道の除排雪		
	武 生 市	豊川第10特科連隊他	349	43	7	○市街地主要幹線市道の除排雪		
	松 岡 町	"	130	16		○市街地主要幹線町道の除排雪		
	師 団 司 令 部 兵 站 後 方 支 援 部 隊		202	}	129			
			681					
	合 計	4,380	431	115	※除雪機械はこの外にドーザー、グ レーダー、レッカーを搬入			
56年 1/12 現 在	国鉄南福井駅	金沢第14普通科連隊	624	}	}	}	○駅構内(基幹ヤード)除排雪	
	京 福 電 鉄	豊川第10特科連隊	295					
	福 井 鉄 道	春日井第10施設大隊	30					
	国鉄越美北線	春日井第10施設大隊他	235					
	福 井 市	豊川第 6 施設群	307					
			115	57	○線路上及び駅構内の除排雪 轟～勝山間			
					○駅構内等の除排雪、福井新～武生新聞			
					○越前大野駅構内の除排雪及び倒木処理 (越前富田～下唯野間)			
				14	○市街地主要幹線市道の除排雪			

年月日	出 動 地 域	出 動 部 隊 名	出 動 人 員 (人)	車 輛 (台)	除 雪 機 械 (台)	作 業 内 容		
56年 1/12 現 在	大 野 市	久居第33普通科連隊他	666	57	15	○市街地主要幹線市道の除排雪		
	勝 山 市	今津第10戦車大隊他	237	22	15	○市街地主要幹線市道の除排雪		
	武 生 市	豊川第10特科連隊他	372	46	7	○市街地主要幹線市道の除排雪		
	松 岡 町	"	131	17		○市街地主要幹線町道の除排雪		
	鯖 江 市	守山第35普通科連隊他	683	53	24	○市街地主要幹線市道の除排雪		
	師 団 司 令 部 兵 站 後 方 支 援 部 隊		202 593	}	129			
	合 計		4,375			439	117	※除雪機械はこの外にドーザー、グレーダー、レッカー等を搬入
56年 1/13 現 在	国鉄南福井駅	金沢第14普通科連隊	684	}	113	}	38	○駅構内(基幹ヤード)の除排雪
	京 福 電 鉄	豊川第10特科連隊	294					○線路上及び駅構内の除排雪 霧～勝山間
	福 井 鉄 道	春日井第10偵察隊	30					○駅構内等の除排雪 福井新～武生新聞
	国鉄越美北線	春日井第10施設大隊他	235					○越前大野駅構内の除排雪及び倒木処理 (越前富田～下唯野間)
	福 井 市	豊川第6施設群	234					○市街地主要幹線市道の除排雪
	大 野 市	久居第33普通科連隊他	660	83	28	○市街地主要幹線市道の除排雪		
	勝 山 市	今津第10戦車大隊他	237	21	22	○市街地主要幹線市道の除排雪		
	武 生 市	豊川第10特科連隊他	372	56	7	○市街地主要幹線市道の除排雪		
	松 岡 町	"	131	19		○市街地主要幹線町道の除排雪		
	鯖 江 市	守山第35普通科連隊他	683	59	24	○市街地主要幹線市道の除排雪		
	師 団 司 令 部 兵 站 後 方 支 援 部 隊		209 601	}	89			
	合 計		4,370			440	119	※除雪機械はこの外にドーザー、グレーダー、レッカ等を搬入
	56年 1/14 現 在	国鉄南福井駅	金沢第14普通科連隊	664	}	113	}	38
京 福 電 鉄		豊川第10特科連隊	294	○線路上及び駅構内の除排雪 霧～勝山間				
福 井 鉄 道		春日井第10偵察隊	30	○駅構内等の除排雪 福井新～武生新聞				
国鉄越美北線		春日井第10施設大隊他	233	○越前大野駅構内の除排雪及び倒木処理 (越前富田～下唯野間)				
福 井 市		豊川第6施設群他	272	○市街地主要幹線市道の除排雪				
大 野 市		久居第33普通科連隊他	666	83	28	○市街地主要幹線市道の除排雪		
勝 山 市		今津第10戦車大隊他	237	21	22	○市街地主要幹線市道の除排雪		
武 生 市		豊川第10特科連隊他	372	56	7	○市街地主要幹線市道の除排雪		
松 岡 町		"	131	19		○市街地主要幹線町道の除排雪		
鯖 江 市		守山第35普通科連隊他	683	59	24	○市街地主要幹線市道の除排雪		
師 団 司 令 部 兵 站 後 方 支 援 部 隊			206 608	}	96			
合 計			4,396			447	119	※除雪機械はこの外にドーザー、グレーダー、レッカー等を搬入

年月日	出 動 地 域	出 動 部 隊 名	出 動 人 員 (人)	車 輛 (台)	除 雪 機 械 (台)	作 業 内 容		
56年 1/15 現 在	国鉄南福井駅	金沢第14普通科連隊	0	67	31	○駅構内の除排雪		
	京福電鉄	豊川第10特科連隊	294			○線路上及び駅構内の除排雪 雪 霧～勝山間		
	福井鉄道	春日井第10偵察隊	30			○駅構内等の除排雪 福井新～武生新聞		
	国鉄越美北線	春日井第10施設大隊他	233			○越前大野駅構内の除排雪及び倒木処 理(越前富田～下唯野間)		
	福 井 市	豊川第6施設群	234			○市街地主要幹線市道の除排雪		
	大 野 市	久居第33普通科連隊他	666			83	28	○市街地主要幹線市道の除排雪
	勝 山 市	今津第10戦車大隊他	237			21	22	○市外地主要幹線市道の除排雪
	武 生 市	豊川第10特科連隊他	372			56	7	○市外地主要幹線市道の除排雪
	松 岡 町	〃	130			19	—	○市外地主要幹線町道の除排雪
	鯖 江 市	守山第35普通科連隊他	683			59	24	○市街地主要幹線市道の除排雪
	師 団 司 令 部 兵 站 後 方 支 援 部 隊		201 613			96		
	合 計		3,693				401	112
	56年 1/16 現 在	国鉄南福井駅	金沢第14普通科連隊			0	67	31
京福電鉄		豊川第10特科連隊	0	○線路上及び駅構内の除排雪 山王～勝山間				
福井鉄道		春日井第10偵察隊	0	○駅構内内の 福井新～花堂間				
国鉄越美北線		春日井第10施設大隊他	0	○越前大野駅構内の除排雪及び倒木処 理(越前富田～下唯野間)				
福 井 市		豊川第6施設群他	224	○市街地主要幹線市道の除排雪				
大 野 市		久居第33普通科連隊他	666	66	16	○市街地主要幹線市道の除排雪		
勝 山 市		今津第10戦車大隊他	213	21	22	○市街地主要幹線市道の除排雪		
武 生 市		豊川第10特科連隊他	372	56	7	○市街地主要幹線市道の除排雪		
松 岡 町		豊川第10特科連隊	129	19		○市街地主要幹線市道の除排雪		
鯖 江 市		鯖江第322地区施設隊	69	11	7	○市街地主要幹線市道の除排雪		
敦 賀 市		春日井第10施設大隊他	273	26	31			
師 団 司 令 部 兵 站 後 方 支 援 部 隊			809	95				
合 計			2,755		361	114		
56年 1/17 現 在	国鉄南福井駅	(金沢第14普通科連隊)	—	—	—	(○駅構内(基幹ヤード)の除排雪)		
	京福電鉄	(豊川第10特科連隊)	—	—	—	(○線路上及び駅構内の除排雪 雪 霧～勝山間)		
	福井鉄道	(春日井第10偵察隊)	—	—	—	(○駅構内等の除排雪 福井新～武生新聞)		
	国鉄越美北線	(春日井第10施設大隊他)	—	—	—	(○越前大野駅構内の除排雪及び倒木 処理 越前富田～下唯野間)		
	福 井 市	豊川第6施設群	224	22	31	○市街地主要幹線市道の除排雪		
	大 野 市	久居第33普通科連隊他	622	63	16	○市街地主要幹線市道の除排雪		
	勝 山 市	今津第10戦車大隊他	197	19	13	○市街地主要幹線市道の除排雪		
	武 生 市	豊川第10特科連隊他	339	52	7	○市街地主要幹線市道の除排雪		

年月日	出 動 地 域	出 動 部 隊 名	出 動 人 員 (人)	車 輛 (台)	除 雪 機 械 (台)	作 業 内 容
56年 1/17 現 在	松 岡 町	豊川第10特科連隊他	125	19		○市街地主要幹線町道の除排雪
	鯖 江 市	鯖江第322地区施設隊	42	5	2	○市街地主要幹線市道の除排雪
	敦 賀 市	春日井第10施設大隊他	279	26	32	○市街地主要幹線市道の除排雪
	師 団 司 令 部 兵 站 後 方 支 援 部 隊		401	108		
	合 計		2,229	314	101	※除雪機械はこの外にドーザー、ブレード、レッカー等を投入
56年 1/18 現 在	国鉄南福井駅	(金沢第14普通科連隊)	—	—	—	(○駅構内(基幹ヤード)の除排雪)
	京 福 電 鉄	(豊川第10特科連隊)	—	—	—	(○線路上及び駅構内の除排雪 轟～勝山間)
	福 井 鉄 道	(春日井第10偵察隊)	—	—	—	(○駅構内等の除排雪 福井新～武生新間)
	国鉄越美北線	(春日井第10施設大隊他)	—	—	—	(○越前大野駅構内の除排雪及び倒木処理 越前富田～下唯野間)
	福 井 市	豊川第6施設群	223	21	31	○市街地主要幹線市道の除排雪
	大 野 市	久居第33普通科連隊他	626	65	16	○市街地主要幹線市道の除排雪
	勝 山 市	今津第10戦車大隊他	197	19	13	○市街地主要幹線市道の除排雪
	武 生 市	豊川第10特科連隊他	345	49	7	○市街地主要幹線市道の除排雪
	松 岡 町	豊川第10特科連隊	125	15		○市街地主要幹線町道の除排雪
	鯖 江 市	守山第35普通科連隊他	42	5	5	○市街地主要幹線市道の除排雪
	敦 賀 市	春日井第10施設大隊他	280	28	33	○市街地主要幹線市道の除排雪
	師 団 司 令 部 兵 站 後 方 支 援 部 隊		344	77		
	合 計		2,182	279	105	※除雪機械は、この外にドーザー、ブレード、レッカー等を投入
56年 1/19 現 在	国鉄南福井駅	(金沢第14普通科連隊)	—	—	—	(○駅構内(基幹ヤード)の除排雪)
	京 福 電 鉄	(豊川第10特科連隊)	—	—	—	(○線路上及び駅構内の除排雪 轟～勝山間)
	福 井 鉄 道	(春日井第10偵察隊)	—	—	—	(○線路上及び駅構内等の除排雪 福井新～花堂間)
	国鉄越美北線	(春日井第10施設大隊他)	—	—	—	(○越前大野駅構内の除排雪及び倒木処理 越前富田～下唯野間)
	福 井 市	豊川第16施設群	221	21	31	○市街地主要幹線市道の除排雪
	大 野 市	久居第33普通科連隊他	627	63	16	○市街地主要幹線市道の除排雪
	勝 山 市	今津第10戦車大隊他	193	19	13	○市街地主要幹線市道の除排雪
	武 生 市	豊川第10特科連隊他	345	47	7	○市街地主要幹線市道の除排雪
	松 岡 町	豊川第10特科連隊	0	0		○市街地主要幹線町道の除排雪
	鯖 江 市	鯖江第322地区施設隊	46	5	5	○市街地主要幹線市道の除排雪
	敦 賀 市	春日井第10施設大隊他	279	26	33	○市街地主要幹線市道の除排雪
	師 団 司 令 部 兵 站 後 方 支 援 部 隊		373	79		※除雪機械はこの外にドーザー、ブレード、レッカー等投入
	合 計		2,084	260	105	

年月日	出 動 地 域	出 動 部 隊 名	出 動 人 員 (人)	車 輛 (台)	除 雪 機 械 (台)	作 業 内 容
56年 1/20	国鉄南福井駅	(金沢第14普通科連隊)	—	—	—	(○ 駅構内(基幹ヤード)の除排雪)
	京 福 電 鉄	(豊川第10特科連隊)	—	—	—	(○ 線路上及び駅構内の除排雪 轟～勝山間)
	福 井 鉄 道	(春日井第10偵察隊)	—	—	—	(○ 駅構内等の除排雪、 福井新～花堂間)
	国鉄越美北線	(春日井第10施設大隊他)	—	—	—	(○ 越前大野駅構内の除排雪及び倒木 処理 越前富田～下唯野間)
現 在	福 井 市	豊川第16施設群	221	21	31	○市街地主要幹線市道の除排雪
	大 野 市	久居第33普通科連隊他	627	63	16	○市街地主要幹線市道の除排雪
	勝 山 市	今津第10戦車大隊他	194	19	13	○市街地主要幹線市道の除排雪
	武 生 市	豊川第10特科連隊他	343	47	7	○市街地主要幹線市道の除排雪
	松 岡 町	豊川第10特科連隊	—	—	—	○市街地主要幹線町道の除排雪
	鯖 江 市	鯖江第322地区施設隊	46	5	5	○市街地主要幹線市道の除排雪
	敦 賀 市	春日井第10施設大隊他	278	26	33	○市街地主要幹線市道の除排雪
	師 団 司 令 部 兵 站 後 方 支 援 部 隊		419	91		
	合 計		2,128	272	105	※除雪機械はこの外にドーザ、グレー ダ、レッカー等を搬入

(3)撤収後の緊急災害時における即時出動体制

56豪雪のため、1月7日以来数次にわたって派遣された自衛隊の撤収後も、県民の豪雪に対する不安を解消するため、緊急災害時における自衛隊の即時出動体制を次のとおりとした。

(イ)即時出動体制期間

撤収後から2月10日まで

(ロ)師団師司令部

第10師団と県豪雪対策本部との連絡調整のため「第10師団連絡幹部室」を設置し、要員5名が駐在する。

(ハ)緊急時における出動体制

金沢第14普通科連隊のうち200人が、1月20日から大野市南六呂師に積雪訓練を兼ねて滞在するとともに、同連隊(400人)鯖江第322地区施設隊(70人)今津第10戦車大隊(160人)がそれぞれの駐とん地において、緊急災害時に即時出動できるよう待機する。

(ニ)ヘリコプター

小松基地で待機(2機)する。

(ホ)その他

2月11日以降については、上記3部隊がそれぞれの駐とん地において待機し対応する。

3. 豪雪対策本部の措置

(1)総務部

(イ)県税の減免

(a)期限の延長

交通の途絶・被災の状況等を勘案して「知事の地域指定の告示」の発動によりその地域内の納税者に対し県税の申告・申請・納付等の期限を延長した。(つまり、1月1日から2月27日までに期限の到来するものについて2月28日まで延長した)

(b)その他の指置

指定地域外の納税者等についても、個別の申請に基づいて県税(県)事務所長の認定による期限の延長を行うこととした。その他、豪雪災害による徴収猶予、減免の措置を納税者の申請に基づき、被害の状況に応じた適切な対応を図るよう各県税(県)事務所へ通知した。

(ロ)市町村に対する豪雪対策費の緊急融資状況

財団法人福井県市町村振興協会は、財団法人全国市町村振興協会より4億円の特別融資を受け手持資金5,500万円と合せ総額4億5,500万円の低利資金を市町村に対し、融資することとした。

(a)貸付条件

利 率 年3%

貸付期間 56年1月20日～56年3月20日までの60日間

(b)貸付団体

(単位 百万円)

団 体 名	貸 付 額	団 体 名	貸 付 額
福 井 市	70	和 泉 村	20
武 生 市	40	春 江 町	20
大 野 市	50	今 立 町	20
勝 山 市	50	池 田 町	25
鯖 江 市	40	今 庄 町	20
美 山 町	25	河 野 村	20
松 岡 町	20	宮 崎 村	15
永 平 寺 町	20	計	455

(ハ)市町村に対する福井県市町村振興資金の償還の猶予措置

56豪雪により除排雪経費が多額に達し、市町村財政を極度に圧迫しているため、特に必要と認められた次の8市町村の市町村振興資金の償還を猶予した。

敦 賀 市 鯖 江 市 美 山 町 松 岡 町
丸 岡 町 池 田 町 今 庄 町 宮 崎 村

(a)対象償還金

昭和55年度において市町村が償還すべき元金

(b)猶予期間

1 年

(c)償還猶予金額

158,960千円

(内 訳)

敦 賀 市	39,300	千円
鯖 江 市	7,320	
美 山 町	15,580	
松 岡 町	14,000	
丸 岡 町	31,510	
池 田 町	5,720	
今 庄 町	23,430	
宮 崎 村	22,100	

(ニ)市町村に対する除排雪機械の斡旋状況

56年1月12日第5回豪雪対策本部会議においてブルドーザなどの除排雪機械の民間借上げが極めて困難な市町村に対し、県外から調達配車するよう決定がなされ、これを受け直ちに希望の有無を調査。要請のあった武生市、勝山市および敦賀市に対し、福井県建設業連合会を通じて飛島建設(株)北陸支店(株)熊谷組福井支店に配車方要請をし、次のとおり斡旋した。

(a) 幹旋総台数

ブルドーザー	4台	延べ	26台
ショベルカー	14台	延べ	80台
ダンプカー	35台	延べ	192台

(b) 幹旋状況

月 日	飛 島 建 設 KK 北 陸 支 店				KK熊谷組福井支店	
	武 生 市		勝 山 市		敦 賀 市	
	ブルドーザー	ショベルカー	ショベルカー	ダンプカー	ショベルカー	ダンプカー
1 14	1 台	— 台	— 台	— 台	— 台	— 台
15	3	1	2	6	—	—
16	4	1	3	6	—	—
17	4	1	3	6	7	14
18	3	1	3	6	10	29
19	3	1	3	6	10	29
20	4	1	3	6	10	29
21	3	—	2	3	10	29
22	1	—	—	—	8	23
計	9 日間 のべ 26	6 日間 のべ 6	7 日間 のべ 19	7 日間 のべ 39	6 日間 のべ 55	6 日間 のべ 153

(2) 出 納 部

今回の豪雪に際し、各機関より多額の災害見舞金を受けた。その状況は下記の通りである。

納 入 者	件 数	金 額
内 閣 総 理 大 臣	1	300,000円
地 方 公 共 団 体	7	2,100,000円
（愛知県、石川県、三重県、 静岡県、北海道、香川県、 名古屋市		
県 人 会	7	6,174,255円
（大阪2、名古屋、岐阜2 ブラジル、福寿会		
各 種 団 体	2	10,300,000円
（県労評 中日社会事業団）		
民 間 企 業	12	82,661,000円
（金融2、建設7 その他3		
そ の 他	5	540,050円
計	34	102,075,305円

昭和56年3月20日現在

(3)生活環境部

56豪雪に対して、生活環境部では、生活関連物資の安定確保についての措置をとった。降りつづく豪雪のため、県の重要な動脈である国道8号線・国鉄北陸本線は、何度も各地で寸断され、県民の日常生活にかかせない生活物資の輸送に支障をきたし、生活関連物資の不足が心配される事態となった。これに対応するため、豪雪対策本部では、以下のような対策をとるとともに、市場調査を実施し、供給の安定確保につとめた。

(イ)小売業者に対する生活関連物資の安定供給と便乗値上げ自粛の要請について

小売業関係組合(21団体)および、百貨店・スーパー(9社)に対し、生活関連物資の安定供給方と便乗値上げの自粛について1月7日、豪雪対策本部長名により、文書で要請を行った。

(ロ)生活関連物資の需給および価格動向調査について

生活関連物資のうち特に、重要な物資17品目について県および7市職員による価格調査をあわせて3回(1月10~12日、1月19~21、2月5日)実施した。

生活関連物資小売価格調査結果表（市町村職員調査）

昭和56年2月5日調査

区分	規格	調査 店舗数	最高額	最低額	平均額	1月19日～	1月10日～	55年12月	55年11月	
						21日調査 平均額	12日調査 平均額	平均額	平均額	
野菜	大根	100g	45	円 26	円 5	円 16	円 19	円 16	円 8	円 15
	白菜	100g	45	25	10	14	14	14	9	12
	キャベツ	100g	45	45	15	29	24	19	9	14
	レタス	100g	42	157	69	104	96	83	47	35
	ほうれん草	100g	44	122	33	80	83	83	30	79
	玉ねぎ	100g	45	29	16	23	23	22	19	18
	ねぎ	100g	43	102	35	60	67	74	41	70
水産物	かれい	100g	41	214	35	126	104	146	151	144
	冷凍いか	100g	32	150	45	69	102	91	97	84
食肉	牛肉	中肉100g	39	380	138	295	300	305	376	376
	豚肉	中肉100g	41	220	115	163	157	158	178	179
	鶏肉	ブロイラー 100g	40	130	68	114	117	111	127	127
石油製品	灯油	18ℓ配達	95	1,512	1,350	1,430	1,426	1,421	1,440	1,440
	プロパンガス	5 m ³	98	2,710	2,100	2,514	2,507	2,503	2,504	2,454
日用品	ちり紙	白ちり 700枚	33	288	175	214	203	207	188	188
	トイレット ペーパー	白紙4ケ組 114mm×55m	41	218	98	163	184	174	177	180
	ティッシュ ペーパー	400枚(200組) 197mm×232mm	41	168	98	138	150	143	152	151

(注) 11月分、12月分の平均額は野菜・水産物・食肉については食糧事務所調べ。石油製品については市町村職員調査。日用品については県職員調査。

4) 厚生部

(イ) 災害見舞品受配分状況

番号	月日	品名	数量	提 供 者		配 分 内 訳	
				氏 名	住 所	月 日	配 分 先
1	1. 9	ホッカイロ	4,000ヶ	サンケイ新聞大阪本社	大阪市北区梅田2丁目4	1. 10	第10師団災害派遣隊
2	1. 10	つるし柿	5 箱	石 川 県	金沢市広坂2丁目1-1	1. 10	同 上
3	1. 13	大 根	115kg	マルニシ青果	鳥取市湖山町南1丁目	1. 13	同 上 7箱
4	1. 16	角スコップ	500丁	愛 知 県	名古屋市中区三の丸3丁目1	1. 16	教育委員会(県立高松)350丁 私立高校 60丁 社会福祉施設 90丁
5	1. 19	粉ミルク ベビーフード	24入 10ケース 24入 30ケース	明 治 乳 業 (株) 北陸支店 森 本 公 哉	金沢市比花町6-10	1. 23	社会福祉施設 (乳児院2ヶ所)
6	1. 21	真 珠 漬	80入 50 缶	(株)真珠漬本舗 社 長 丸 田 郡 兵 衛	三重県渡会郡二見町江	1. 23	社会福祉施設 50缶 (老人、保護、身障 精薄、児童施設)
7	1. 26	救急薬品 南天喉飴	26セット ⓧ2ケース ⓧ1ケース	常盤薬品工業(株) 中 井 一 夫	大阪市住吉区我孫子東4丁目23	1. 30	市町村 (豪雪対策本部設置)
8	1. 26	ホッカイロ	40ケース	白元西部販売(株) 秋 山 千 之	大阪市東淀川区相川1丁目4-14	1. 30	警察本部
9	1. 26	ふとん乾燥機	3 台	東京芝浦電気(株) 大阪本社	大阪市東区本町4-29	1. 30	社会福祉施設(乳児院)
10	1. 26	し る こ	20ケース	カネボウ食品大阪 販売(株) 長 瀬 菅 保	大阪市淀川区西宮原1丁目3-5	1. 30	市町村
11	1. 26	タ オ ル	1,000本	大阪タオル工業組合 神 藤 昭	大阪府泉佐野市上町1012	1. 30	市町村
12	1. 26	軍 手	960入 2ケース 216入 1ケース	真 栄 商 事 (株) 那 須 邦 正	大阪市北区梅田2丁目4-17	1. 30	警察本部
13	1. 30	タ オ ル	1,140ケース	脇阪タオル工業(株) 脇 阪 久 和	大阪府貝塚市窪田297	1. 31	豪雪対策本部設置 市町村

(ロ)社会福祉施設の整備

建物の耐雪構造の強化と融雪施設の完備について、新設施設の場合は、現行では、豪雪地域対策特別措置法第2条第2項に基づき指定された特別豪雪地域に対して北海道適用単価を適用することで対応してきたが、今後、長期的対応として、社会福祉施設等施設整備費、国庫補助制度の運用に関し、単価基準区分の変更を要望していく。

また、既設施設の場合は、社会福祉施設等施設整備における大規模な修繕の取扱いに関する局長通知の国庫補助対象事業を現行の対策として行ってきたが、今後は国庫補助制度の規準拡大又は、新制度の設置を要望していく。

い)民間社会福祉施設の除雪費

豪雪地帯対策特別措置法第2条第2項に基づく地域に所在する民間社会福祉施設の場合、毎年2月1日現在における被措置者につき1人当たり3,340円を加算した。(社会福祉施設措置費国庫負担金交付規準)

ロ)生活保護世帯の除雪費についての対策

被保護世帯1世帯当りの除雪費として65,000円(生活保護規準)を支給した。

ハ)老人・身障・母子世帯に対する除雪体制の整備について

市町村ごとに、実態に即した効果的な対策を講じ弱者世帯の除雪に万全を期するよう指示し、報告を求めた。

ニ)伝染病予防対策

伝染病が発生した場合、医薬品が不足することも考えられたので、県内の薬品販売業者15店の在庫数量等を調査し、緊急配備に備えた。また、県内の隔離病舎の管理者に対し、豪雪のため、患者収容に支障を来たさないよう各隔離病舎の屋根及び玄関等の除雪を指示した。

ヒ)急患者の措置

救急医療対策としては、救急医療機関(救急告示病院)として指定を受けた病院、診療所において対処した。特に、福井空港をヘリポートとし、春江病院を収容医療機関として急患者の輸送に対処した。また、孤立地区等における救急医療に対しては、ヘリコプター等により医師を派遣することとした。

ヘ)医薬品等の確保対策

医薬品については、県下15カ所の調達先で、1カ月分を確保し、また、医薬用酸素についても保給業者において、必要量を確保した。また、血液も移動採血車による献血の推進をはかったほか、大阪府赤十字血液センターをはじめ、近県の血液センターからの供給体制を整え、必要量の確保をはかった。なお、近県から供給を受けた血液は、全部で895本であった。

(5)商工労働部

イ)金融制度(雪害対策特別融資)を通じての中小企業の救済措置

中小企業豪雪対策資金融資制度の創設

総枠 90億円

中小企業豪雪対策資金特別保障制度の創設

4億500万円(保障総枠90億円)

中小企業豪雪対策資金融資に対する信用保証料補給

57,840千円

ロ)政府系金融機関等に対する中小企業の豪雪関係資金の金融円滑化についての要請

中小企業金融公庫、国民金融公庫の災害貸付制度のなかに豪雪に関する特例を設け、激甚災害貸付並みの低利率の貸付ならびに融資枠の増額を要請した。

また、中小企業設備近代化資金、高度化資金ならびに設備貸与制度の償還期間の延長措置についても要請を行った。

その他、市中金融機関に対して、貸付枠、融資条件等について特別配慮を要請した。

Ⅰ 緊急物資の調達体制について

緊急物資の要請に即応するため、御売団地、問屋センター等と連携を密にし、必要な物資の調達および供給体制の整備を図った。

Ⅱ 中小企業に対する豪雪対策資金の融資等

今回の豪雪により売上減少、操業低下による生産減および建物、設備に被害等の影響を受けた中小企業の経営安定、応急復旧等に必要な資金の金融円滑化を図るため、次のように緊急融資、特別保証および保証料補給を行なった。

中小企業豪雪対策資金

(a) 融資対象

豪雪の影響により売上が減少（10%以上減少）し、かつ建物、設備の応急復旧が必要と認められる中小企業者（事業協同組合、協業組合および企業組合を含む）

(b) 融資条件

○ 資金使途 { 設備資金（応急復旧費に限る）
 { 運転資金

○ 限度額 { 設 備 2,000万円
 { 運 転 1,000万円

○ 期 間 { 設 備 5年以内（据置き1年以内を含む）
 { 運 転 3年以内（据置き6カ月以内を含む）

○ 利 率 年 7.0%

○ 信用保証 原則として保証協会の保証付とする。ただし、申込額の500万円までは「県中小企業豪雪対策資金特別保証」の対象とする。

○ 保証料 年 0.8%（うち年 0.3%は県が補給する）

○ 担保、連帯保証人 保証協会の定めるところによる。

○ 返済方法 据置後月賦均等返済

(c) 申込方法

最寄りの商工会議所、商工会で売上減少に係る証明を受けて、県中小企業課へ融資申込みをする。

(d) 申込期間 1月17日から3月16日まで

(e) 融資総枠 90億円

福井県中小企業豪雪対策資金受付状況(3月16日現在)

業種	件数	金額(千円)
繊維工業	232件	1,487,900
一般工業	312	2,106,500
商業卸売業	151	1,052,000
商業小売業	279	1,686,400
建設業	220	1,409,700
その他	208	1,197,500
合計	1,402	8,940,000

除雪労務あっ旋状況

昭和56年1月4日から求人受理を始めて、1月29日まであっ旋を行った。（1月30日以降は求人申込みがなかった。）また、市町村に対して安定所に登録されたものの名簿を送付し、母子家庭、一人住いの老人、身障者等からの要請に応えられるようにした。

56. 1. 29現在

安 定 所 名	求 人 数	あ っ 旋 数	登 録 者 数	市・町・村 連 絡 数
	(累 計)	(累 計)	(累 計)	
福 井	1,247	1,216	760	30
武 生	399	312	260	4
朝 日	63	63	33	10
大 野	388	248	211	21
勝 山	76	52	53	4
三 国	27	27	24	2
敦 賀	346	273	161	6
合 計	2,546	2,191	1,502	77

(6)農林水産部

(イ)農 業

1月22日に農林水産部各課及び試験研究機関合同の豪雪対策会議を開催したのをはじめ、各普及所長会議を2月3日・2月27日の2度にわたって開き、また、3月4日には、各普及所次長会議を開いて、対応措置を検討し、1月6日（第一報）、2月6日（第2報）に関係機関へ豪雪対策指導を通知した。

特に今回の豪雪において、被害の大きかった園芸施設、花き、果樹、麦類、稲作についての、その主な内容は次のとおりである。

(a)園芸施設

- (1) 温室、ハウス等の側面の除雪は、できるだけ広く行い屋根からの雪の滑落に支障をきたさないように努める。
- (2) パイプハウスを中心に内部から木、竹柱で補強し降雪や消雪の状況により補強状態を点検し位置、強度等の修正をする。
- (3) 融雪装置をフルに活用し、施設の側面を重点に消雪に努め側圧を防止し滑落を容易ならしめる。
- (4) 流雪溝の備わっている施設は人手を加えて融雪能力の低下を防ぐ。
- (5) 温室、H綱ハウスなど側面に除雪場所がなくなった場合はハウス内へ運び込む。
- (6) 最悪の場合は施設の支骨を中心に保護対策をする。なおビニールなどの破損によって倒壊を防ぐ場合は、2～3人が共同で棟の両側面より行い雪圧の均衡を守りながら行い危険防止に努める。
- (7) 屋根からの滑落が悪い場合は暖房器を活用し雪の滑落を容易にする。

(b)花 き

1. 施設切花

- (1) 「園芸施設の雪害対策」野菜の頃に準じ施設の損傷を最少限に食い止めるようにつとめる。

2. 花木類

- (1) 枝物のサクラ、根物のマツなど高木では、降雪の状況を見て枝上の積雪の払い落しを行ない、枝の折損を少なくする。
- (2) 高木やモミジ、ウメモドキなど中木では、積雪の沈下により、積雪下に埋没した下根の折損や裂開が進行するので、早急に堀上げを行なうとともに枝下の雪の踏圧をする。なお、主枝の先端までの堀上げが困難な場合は途中で剪定し、主幹基部での裂開折損を防止する。

(c) 果 樹

1. 降雪中の対策

- (1) 降雪中は機会をみて園地を見回り、樹冠—とくに主枝分岐部—や棚上に積もった雪を除き踏圧する。ナシ、ブドウは気温の低下とともに、棚線に「筒雪」現象を起こしやすいので棚面の除雪を徹底する。
- (2) 雪にうずまった枝は一刻も早く掘り出し折損防止に努める。この場合、枝の基部から掘り起こすと湾曲部に荷重がかかり折損の危険があるので、枝の先端部から作業を始める。
- (3) 棚の補強対策——ナシ、ブドウの棚線に支柱をたてて補強する。この場合、たてる支柱（タルキ、竹等）は園内均等に設置すること。
幼木～若木ナシ園では余分の枝（とくに亜主枝候補枝）は思いきって剪除し、棚面への積雪量を軽減する。
- (4) 野兎対策——積雪量の増加とともに、とくにナシでは芽や樹皮の被害頻度が高くなるので、キヒテープを1樹当たり1～2本の割合で設置し、野兎の侵入被害を防止する。
- (5) 鳥害対策——ウソによるウメ花芽の被害が懸念されるが、現在のところ有効な防止対策は見当らない。一時的には石灰窒素を空カン等に入れて、園内につり下げておくこと忌避効果がある。

2. 融雪期の対策

- (1) 融雪剤（カーボンブラック）を散布し、消雪期を早める。
- (2) 接地面に空洞ができるために雪中にうずまった枝が落盤現象により、折損、裂開が助長されるから、雪中にうずまった樹の樹冠下の雪は絶えず砕いて空洞発生を防止する。

3. 消雪後の対策

- (1) 折損した枝の傷口は鋭利な刃物でそぎ直し、癒合組織の形成促進及び病原菌の侵入防止のために塗布剤（トップジンMペースト、バッチレート等）を塗布する。
- (2) 主幹部が裂開したサシ、ウメはボルトやカスガイを打ち込み傷口を固定する。回復が困難な場合及びカキ、クリが主幹部で裂開した場合は、思いきって一方を切り落とし、切口には同上塗布剤を塗布し、下部から勢力の強い徒長枝、発育枝を発生させて主枝の更新を行なう。
- (3) 損傷を受けた樹は樹勢回復をはかるため、思いきった結果制限を行なう。
とくに主幹部の裂開した樹は結果制限とあわせて、樹勢の衰弱により、病害虫の多発を招きやすいから薬剤散布を徹底する。
- (4) 植付後、間もない幼木は主幹部の傾斜を修正するとともに支柱のたて直しを行なう。

※ナシ、ブドウ栽培地帯は丹生管内を除き、積雪量は少ないが今後の対策として早急を実施し、棚の倒壊防止に努める必要がある。

(d) 麦 類

本年のように過去の豪雪時に比し早期に根雪となり積雪期間が長くなることが予測される場合は、

今後の融雪の促進と融雪水の排出のため排水溝の整備に努めるとともに適時適切な管理作業などの実施に留意する。

1. 融雪の促進

新雪の少なくなる時期（降雪がほとんどなくなると予想される時期）に融雪促進のため、くん炭、珪酸石灰、ニカブラックなどの資材を全面散布すると融雪効果を示す。

融雪資材

くん炭	30kg/10a
珪酸石灰	100~140kg/10a
ニカブラック	40kg/10a

散布時期

新雪の少なくなる時期 (一応の目安)	}	若狭、坂井	2月末
		高志	3月始
		丹南	3月5日頃
		奥越	3月10日頃

凍結日の朝（積雪表面が凍っている時）は運搬、散布などの作業がしやすい。
また融雪を促進するとともに雪どけ水の排除をすみやかにする。

2. 融雪水の即時排除

融雪時の地表水がすみやかに排除でき、また隣接田の浸透水をも防止できるよう排水溝を整備する。排水溝は圃場周辺と、その内部排水溝を整備し地表水は短期間に排出できるよう排水口を増設する。

3. 融雪直後のN追肥

長期間積雪下にあつて衰弱している麦の回復をはかる意味から融雪後できるだけ早く追肥を施用する。生育程度に応じ加減するが2kg/10a位を基準とする。

4. 野そ駆除

豪雪により行動範囲が狭く、食餌の供給料が少ないため集中的な被害が見込まれるので繁殖活動の始まる（3月）まで又は融雪直後に駆除する。なお水面積防除では一時的に減少するので広域一斉防除を計画することが大切切である。

(e)稲作

稲作については特に豪雪地帯において育苗の遅延も予想されるため適切な育苗対策の実施が望まれる。とくに育苗期間中は気象変動が大きく出芽、苗立、軟弱徒長など苗質低下を招きやすいので基本技術の徹底と気象変動に対応した管理技術の徹底により健苗育成をはかる。

1. 育苗予定地の融雪の促進

2. 育苗資材の準備

1. 床土の確保と乾燥

2. パイプハウスの準備

ハウスの破損ヶ所の補修

ミニハウス育苗の設置

3. 育苗管理技術の徹底

(ロ) 林業

(a) 復旧対策

1. 森林被害

(1) 倒伏……早期復旧を図り健全な林分に仕立てるため資材、労働力の計画を樹立し融雪後、雪起しを実施する。

(2) 折損木…①技術的な解析が急務であり2月28日～3月1日に国立林業試験場の調査団が来福し原因究明を行った。

②折損木の被害程度により柱材として利用出来るか否かを林業試験場で試験引きを実施しており被害木の利用方法を検討する

③樹冠の折具合により被害木を残存するか伐倒するかを検討する

④折損木処理材を積極的に利用するため、木材関係者に協力要請を行う

⑤集团的な折損被害がある林地については改植を実施する

2. 林産施設被害

①林内のしいたけ槽場で折損被害を蒙った場合は折損木処理を行うとともに日覆等を実施する

(b) 予防対策

①耐雪性品種を選び植栽方法を三角植等にする。

②間伐直後は被害に対して弱いため弱度の間伐を繰返し実施する

③枝打により樹冠の偏倚を補正する

④林分管理を行ない適切な密度にする

⑤森林保険の長期加入を促進する

(c) 助成

1. 倒伏の復旧（雪起し）

造林事業実施要領にもとづく激甚災害復旧造林指定を申請し、早期復旧を図る

2. 折損木伐倒・処理

(1) 現行造林事業の中の除間伐事業を弾力的に運用する

(2) (1)事業の対象とならないものについては県単事業「56豪雪対策森林整備事業」の創設を行う

3. 資金対策

(1) 農林漁業金融公庫資金、林業改善資金の活用を図る

(2) 現行の林業近代化資金の中の雪害対策資金等については、56豪雪の被害甚大に鑑み56豪雪被害復旧対策資金を創設する。

4. 森林国営保険の加入

10年生までの幼令林については、保険加入率は高いが、それ以上の壮令林の加入率が低いいため保険契約期間の長期化を指導するとともに、これに要する掛金に対し一部を助成する。

(d) 今後の課題

1. 森林被害については、なだれ等により、奥地調査が困難であり、融雪を待って実態把握を実施し、激甚災害の指定申請を行う。

2. 雪害の技術的説明が重要であり、技術的観点から実態調査を行う。

3. 復旧に対する労働力不足及び被害が甚大であることから森林所有者の意欲減退が考えられるた

めこれらの対応を図る。

4. 折損木処理に対する国の対応

い畜産業

(a)施設等の保安全管理

1. 畜舎、鶏舎、推肥舎等

構造的に他の建物より弱く、軒先も低いスレート、カワラ棒等の屋根のため雪が滑り易くなっていて特に鶏舎では折損被害が多く発生しているため度々見回って端口切りをする

2. サイロ

固定サイロ等は、畜舎に附設され、とりつけ屋根が複雑に重なっているため被害を受け易い。補助サイロはビニール製が多く、屋外では耐雪性に欠け、雪の重み、沈下によって破裂等の被害を受けるので、排雪につとめ困難な場合は、融雪剤（土、灰、ニカブラック等）をサイロと雪の境い目を中心に散布して雪離れを良くする。

サイレージの取りだしでは取りだし口の排雪が充分でないと、作業が粗雑になり再密封が不完全で空気、雨水によって二次発酵を起し品質が低下するので管理を充分にする。

3. 糞尿処理施設

バンクリーナー、スクレッパー施設と堆肥舎との連絡場所が雪や凍結障害を受け易く、特に敷料の不足等で多湿状態が続く場合には無理な運転をすることなく排雪を充分にする。

4. 搾乳処理施設

牛乳の移送が遅れ、バルククーラーでの貯蓄期間が長くなる場合、多回搾乳分を混合することのないようにし、別の容器（輸送罐）を使って冷却保存して出荷体制をとる。

5. 換気、採光窓口の確保

密閉状態が続くと多湿、空気の汚染等、舎内環境の不良化が進むので、全窓確保出来ない場合でも相反する窓を数個確保する。

(b)飼料給与管理

購入飼料等は1週間位余裕をみて、前もって連絡を密にして飼料切れのないようにする。

給与量も個体の能力に合せ、無駄な給与のないようにし、濃厚飼料を制限し、産乳調整(搾乳回数、搾乳期間、仔牛哺乳)等を考える。

豆腐粕等の給与では集配が出来なかったり、遅れて腐敗していたりするので腐敗(酪酸発酵)したものは給与しないようにし、量が確保されない場合は大豆粕等で代替するが、栄養の偏重がないようにする。この場合、乾物が不足し易いので粗飼料(ワラ等)を増し飼いする。

通年サイレージ給与では、サイロの取りだしができない場合、濃厚飼料に偏重することのないよう他の粗飼料(ビール粕、ビート、パルプ、ワラ等)を必ず補給する。

(c)家畜管理

1. 畜舎環境と疾病

雪に埋もれていると家畜能力を著しく阻害され、20ppm(目を刺戟)以上の舎内有毒ガスが10日以内で持続すると疾病等を誘発するので適切な管理が必要である。

(1)搾乳牛

被労等が重なると搾乳作業が粗雑になり、搾乳器具、乳房等の洗滌が充分でなく、汚染が進むと乳質が悪くなるので管理を充分にする

粗飼料の不足と濃厚資料の多給が続くと低脂肪乳症や、鼓脹症の原因となるので粗飼料が不足しないようにする。

(2)肉用牛

導入牛では長時間輸送の被労障害が出易いので導入牛を隔離管理し、まず体温を測定(40℃以上不可)し、予防注射等で疾病が発生伝染しないようにする。

(3)仔牛の哺乳育成

細菌性下痢等の発生が多くなるので保温換気を充分にし、加温哺乳と良質粗飼料を給与する。

(4)敷料の確保

糞尿が多湿状態で堆積されると有害ガスの発生、蹄間腐らん等の発生が多くなるので除糞出来ない場合は乾いた敷料(モミガラ、オガ)を補給する。

製材業の休止、道路悪化によるオガの入手が困難な場合はモミガラの使用量を多くし、農協等と密接な連絡をし協力を得る。

(d)飼料作物

越冬牧草(イタリアン等)では根雪期間が長くなると、雪腐れ等の発生や、生育の遅延等によって収量が減少するので融雪を促進する。

今後の降雪状況にもよるが2月下旬頃からニカブラックを10アール当り50kg位い雪上散布する。散布は小規模の場合、人力(スコップ等)でよいが、大面積の場合は畦畔ダスター、ライムソー、ブロードキャスター等によって午前中凍結している間に均一に散布する。散布後10cm以上の積雪があった場合は10 a 30kg位を再散布する。積雪10cm以内では日射を通すので必要がない。

(e)豪雪時にとった措置・対策等について

1. 飼料の確保

1月6日 ア、県内の飼料卸業者及び経済連等飼料流通業者の在庫量の把握を実施した。

イ、降雪期間における長期体制に備え、在庫量の確保に努めるよう飼料流通業者に要請指導した。

1月9日 美山町皿谷において、肉牛飼育農家が飼料不足により救援を求めてきたため、美山町豪雪対策本部に除雪等を要請するとともに、現地情報の確認のため畜産課職員を美山町に派遣し、情報の収集に努めた。

1月中旬 飼料の不足傾向にある畜産農家について、降雪の小康状態を見計らって飼料の確保に努めるよう、農業改良普及所等関係機関に指導の徹底を依頼した。

2. 畜産物の出荷促進

1月上旬 各地において交通途絶により牛乳及び鶏卵の出荷が不能となっているため、関係市町村の豪雪対策本部に除雪を要請するとともに、現地関係者からも、それぞれの対策本部に要望するよう指示した。(武生市、大野市、勝山市、美山町及び今庄町)

3. 越冬飼料作物の雪害防止

2月上、中旬 積雪期間が長期間となり、越冬飼料作物の雪腐病等の発生が予測されるところから、融雪促進等の技術指導について、関係機関に徹底を図った。

(f)今後の課題

畜産団地は集落から離れ、豪雪時には交通途絶等が発生しやすい場所にあるものが多く、毎日生産される生乳及び鶏卵の搬出については緊急な除雪体制が望まれるが、生活道路優先となるため、畜産

団地等については遅れがちとなる傾向にある。

今後は、生鮮食品の搬出等、その緊急性に鑑み、畜産団地を集落単位に糾合した地域の除雪体制の確立が必要である。

(二)治山・治水

昭和55年度県雪害対策計画書に基づく措置について

治山事業における「なだれ防止林造成事業」は「なだれ防止林」を造成して「なだれ」を防止するのが、終局の目的で、その補助手段として「なだれ防止工法」がとられる。

工法として 発生を阻止する工法—————階段工、柵工、杭打工
被害を直接防禦する工法—————擁壁土留工

がある。

昭和55年度に施行した「なだれ」発生危険区域での全体計画に対する実行率は、全体計画10ヶ所13.10ha計画事業費152,300千円に対し施行実績は10ヶ所3.56ha実績額51,967千円で実行率31%となっている。

一般に「全層なだれ」は比較的速度が遅く発生予測も可能であるが「表層なだれ」通称「あわ」なだれは雪質気象等により発生の時期、規模の予測が困難である。

食糧、物資確保

(a)米穀確保

月/日	対策および対応の状況
12・10	「越冬用米穀および豪雪用備蓄対策」について農林水産部長名による指導通達を各市町村長および米穀販売業者に対し行い、不測の事態に備えるとともに配給米の確保に努めるよう指導した。
12・29	武生、福井市内および越前町方面で卸売業者から小売店への搬送が困難になり一部欠配のおそれが出たため、この方面に重点を置いて搬送するよう指導した。その他の地域についても状況把握につとめた。 この結果、越前町方面については、福井市鮎川経由で輸送を確保するとともに武生、福井市内についても12月31日夜半までに搬送、消費者への配達を完了した。 なお、県米穀経済連の卸売業者は、泊り込み体制で対応した。
1・5	武生地区において、卸売業者の玄米が無くなり、早急に確保する必要が発生。このため、食糧事務所とも協議のうえ、武生市四郎丸町三子保20号倉庫から搬出することとし出庫のため、県雪害対策本部を通じ、武生市雪害対策本部に除雪を依頼し確保した。
1・6	孤立していた和泉村の救援物資輸送に当たり、主食について確認したところ、和泉村へは12月5日および19日に越冬用米穀として4.5㍓約1.5カ月分を輸送しており1月末までの分について確保されていることが判明した。 食糧事務所、米穀卸売業者、経済連とも協議のうえ緊急雪害対策として次の対応策を決定指導した。 1. 非常事態に対応して、当面「希望品目」に特定せず出庫可能倉庫に集中して売却する。 2. 卸売業者等の大型集中精米所に限定せず、積雪量の比較的少ない地域および輸送の可能なとう積業者(施設)を動員してとう積を行う。 3. 搬出可能倉庫について農協の除雪協力を求め玄米の確保を図る。 勝山市市民課長から市内米穀業者の要請を受けて農業倉庫の除雪を行ったが、食糧事務所から指令が到着せず玄米の出庫が出来ない旨連絡があり、急きょ食糧事務所と協議、売渡指令の確認による引渡しについて便宜を図るよう要請、以後緊急の場合、このように運用することで了解を得る。
1・9	卸売業者を通じて各地域の供給状況について把握、ほぼ確保されている。
1・12	和泉村農協は、9日、10日の両日にわたって大野市から1.5㍓を搬送、この補給により、2月上旬ごろまでの分が確保された。しかし平常の時と比べ消費者の購入量が多くなっており、農協は卸業者(経済連)に3.5㍓の注文をした。 農業倉庫からの玄米出庫、小売店への搬送等、供給は順調で滞っているところはない。ただ、市内等では、自動車での配達が可能でない所が多く、このため小売店の消費者への配達に時間を要しており、この結果、店頭精米が出来ず卸からの精米引取りが増えている。このため、卸売業者の精米作業が増加しており連日夜半まで、これに対応している。 また、大雪情報を始め、降雪期間が長くなって来たことにより平常時より消費者の購

月/日	対 策 お よ び 対 応 の 状 況
1・12	<p>入量が増え、一部の消費者では、買溜めをするものがある(特に和泉村に多い)。</p> <p>このため、販売業者に対し、消費者に不安を与えないようにするため県内には十分米の在庫が在ること、主食の配給には特に対策を講じていることなどPRするとともに特定の顧客に偏せず消費者に均等に売渡すよう指導をした。</p> <p>なお、昨年来の降雪以降の売却状況は次のとおりである。</p> <p>本年度(55. 12. 26～56. 1. 12) 2,674^ト</p> <p>前年同期 2,235^ト</p>

(b)生鮮食糧品の確保

1. 卸売市場の入荷状況

- (1) 12月28日卸売市場(福井市中央、武生、敦賀、小浜)に対し入荷の万全を期するよう要請。
- (2) 入荷量は豪雪により影響を受けつつも輸送路(北陸自動車道および主要県道)が確保されていたことにより全体に順調に入荷した。
- (3) 1月14日には北陸自動車道、国道8号線が共に不通になり入荷量はかなり減少となった。なお水産物は道路閉鎖前に入荷がほぼ完了していたため影響はなかった。

入荷量 野菜56^ト(対前日比42.4%)

果実24^ト(" 68.6%)

しかし何れも14日中に回復し、かつ15日は休市であったため、16日の入荷は順調であった。

2. 福井市中央卸売市場の在庫量の確認

	(1月9日)	(1月13日)	(55年1月の1日平均取扱量)
野 菜	301 ^ト	195 ^ト	109 ^ト
果 実	160 ^ト	55 ^ト	105 ^ト
水産物(冷凍品)	905 ^ト	830 ^ト	98 ^ト

3. 和泉村への緊急物資調達(1月6日調達、1月8日空輸)

玉 ネ ギ	500 ^キ	キャベツ	30 ^キ	
はくさい	975 ^キ	冷凍イカ	184 ^キ (600匹)	
ばれいしょ	50 ^キ	赤 魚	160 ^キ	計 約 2 ^ト

(調達先 福井市中央卸売市場)

4. 小売店舗の状況

- (1) 12月29～31日において卸売市場への仕入れのための配車が困難をきたし、店舗での品薄が心配されたが、福井市中央卸売市場が12月31日まで開場(1日延長)するとともに各小売業者の努力により正月用品は確保された。
- (2) 販売価格も異常値上げはみられなかった。反面、消費者が雪のため買出しの足がにぶりに在庫が増える店舗があった。
- (3) 奥越地方(大野市、勝山市)店舗への野菜の配送状況調査の結果、各店舗(くみあいマーケット、ハニーチェーン店)は約2日分の在庫量で配送されていた。

(c)水 産 業

県は56年1月6日付けで、県漁業協同組合連合会が保管中の冷凍411に対し、緊急放出の場合は知事の命に従うよう指示を行った。

また、降雪中の時化により休漁が長期に及び生産額が平年の2分の1以下であった底曳網漁業者に対し経営資金の融通に対する利子補給と資金のあっ旋にあたった。

(a)農林漁業金融公庫資金のあっ旋

資金名	沿岸漁業経営安定資金
融資枠	1億5千万円
対象	総トン数20トン未満の漁船を使用する漁業者で豪雪により被害を受けた者
利率	年4.6パーセント
融資限度額	150万円以内
償還期間	20年以内

(b)利子補給制度の創設

資金名	56豪雪被害漁業者緊急資金
融資枠	6千万円
対象	総トン数20トン以上の漁船を使用する沖合底曳網漁業者で豪雪による時化により出漁日数が平年の2分の1以下であった者
利率	年4.6パーセント
利子補給率	年4.9パーセント
融資限度額	210万円(30万×従事者数)
償還期間	6カ月以内

(7)土木部

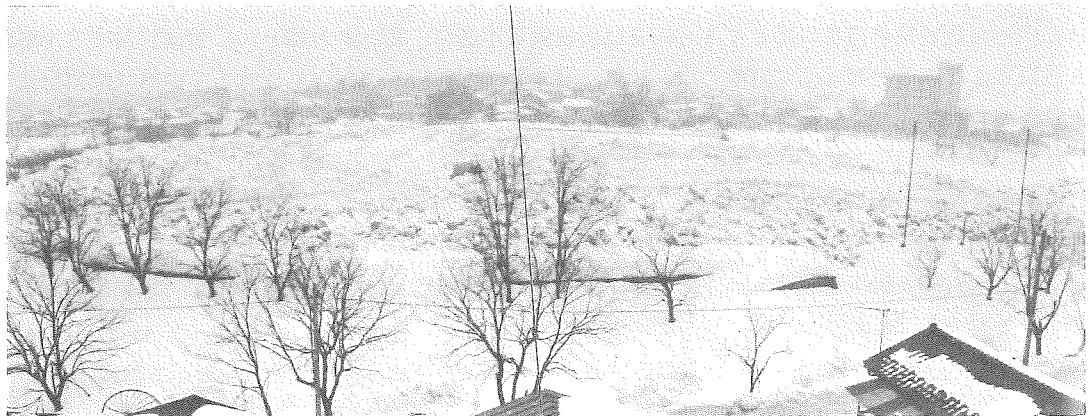
県は道路除雪基本計画に基づいて11月15日に除雪対策本部を設置し、国道206路線、1906.5kmの除雪を担当し交通量によって第1種、第2種、第3種の除雪区分をし積雪10cmに達したら直ちに除雪作業を開始する。平常時には県保有車99台、民間調達車148台、計247台を配備し、緊急時には更に調達車477台を確保する体制をとっていた。第1回の寒波襲来時点の12月29日に県雪害対策本部を設置し全庁体制をとり、第2回目の寒波が襲った1月6日には県豪雪対策本部に切りかえ豪雪対策に当たった。その後対策の進むに応じて2月10日に雪害対策本部に、更に3月23日には雪害対策本部を解散、3月31日には除雪対策本部を解散した。12月29日福井市の積雪が104cmに達すると同時に除雪計画も緊急体制をとり先づ緊急確保路線926.8kmの除排雪に全力をあげ、幹線道路については常時交通確保を計り、その他の県道についても昼夜兼行の除雪の結果、何とか交通を可能ならしめた。その後の第2寒波、第3寒波の襲来時にも前述のように県職員と民間借上車のオペレーターの方々の不眠不休の努力により道路を確保し得た。ピーク時には県保有車と民間借上車を合わせて、901台をフル運転した。しかし生活道路(市町村道)については思うように除排雪がはかどらず自衛隊の協力を要請するなどして除排雪を完了した。



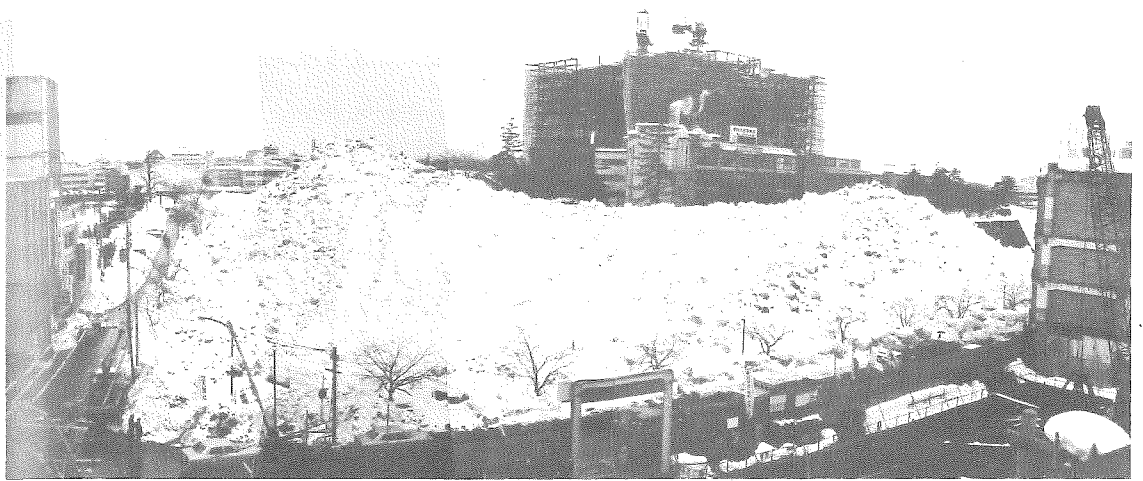
雪捨作業（56. 1. 23福井市）



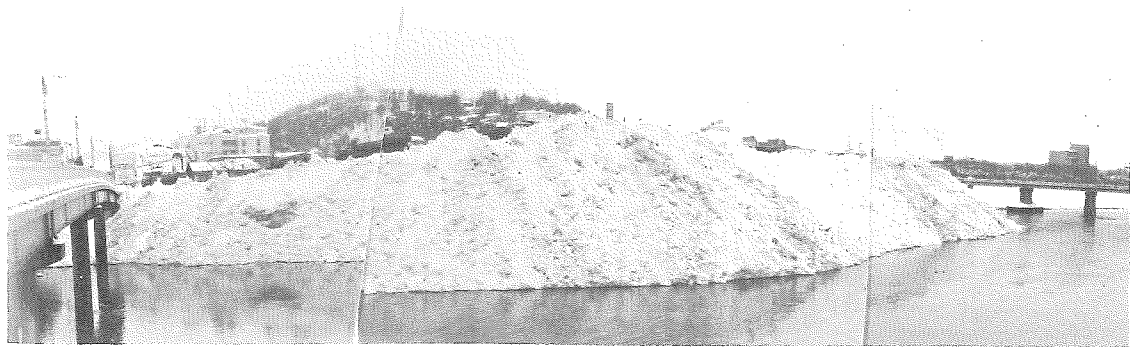
橋の融雪装置により確保された道路(福井市)



排雪場所となった公園（福井市幾久公園）



排雪場所となった県庁お堀（福井市）



足羽河原への排雪（56. 1. 8 福井市）

除雪活動状況

降雪機械稼働調

(12月)

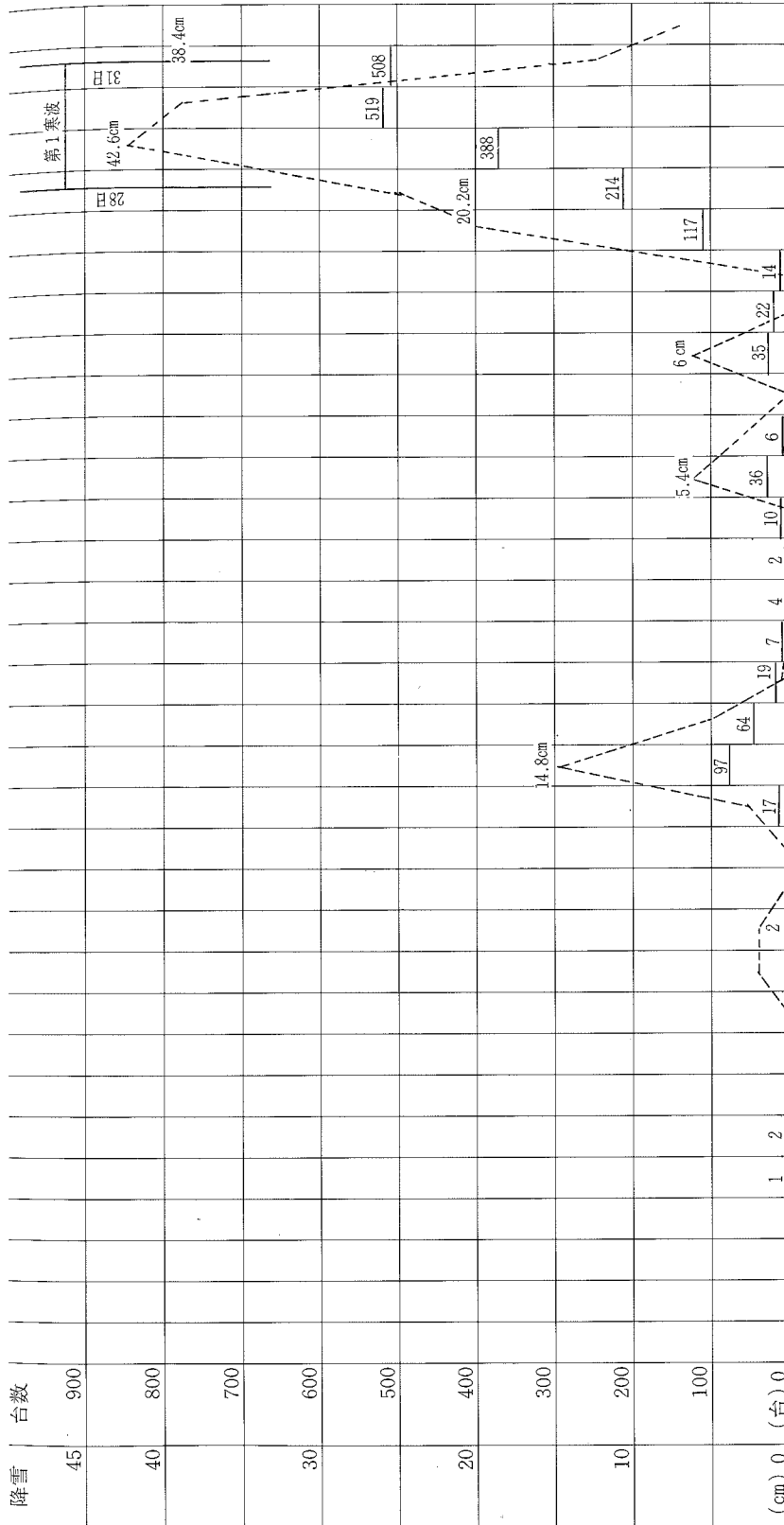
	量					台					量					台							
	ブルドーザー	トラックショベル	グレーダ	ダンブトラック	ロータリー	ブルドーザー	トラックショベル	グレーダ	ダンブトラック	ロータリー	ブルドーザー	トラックショベル	グレーダ	ダンブトラック	ロータリー	ブルドーザー	トラックショベル	グレーダ	ダンブトラック	ロータリー	その他小計	その他小計	
1																							
2																							
3																							
4																						1	1
5																						2	2
6																							
7																							
8																							
9																							
10																						2	2
11																							
12		1																				1	1
13		2	2	4																		2	10
14	3	7	13	24	4																	6	57
15	2	2	6	17	2																	6	35
16		1	3	3																		4	11
17		2	1																			3	5
18		1																				1	1
19																							
20				4																		4	4
21	1	2	2	8	1																	3	17
22			1																			1	2
23		1																				2	1
24		2	4	7	2																	2	16
25			2	9	3																	2	16
26	1	1	2	2																		6	6
27	4	8	11	24	2																	5	54
28	3	10	13	25	3																	6	60
29	4	9	18	25	8																	5	69
30	5	10	17	18	10																	3	63
31	4	11	15	18	8																	3	59
計	27	70	110	188	45																	53	493
																						8	89
																						25	29
																						26	0
																						8	89
																						390	85
																						163	4
																						5	439
																						11	68
																						1	5
																						5	486
																						184	38
																						92	11
																						9	519
																						180	29
																						9	508
																						673	224
																						377	49
																						78	2,086

(1月)

	直				号				調				差				計										
	トランプ シューベル	グレン ダナー トラック	ロー タリー	その他 小計	トランプ シューベル	グレン ダナー トラック	ロー タリー	その他 小計	トランプ シューベル	グレン ダナー トラック	ロー タリー	その他 小計	トランプ シューベル	グレン ダナー トラック	ロー タリー	その他 小計	トランプ シューベル	グレン ダナー トラック	ロー タリー	その他 小計							
1	3	8	8	7	8	3	37	1	1	1	1	3	66	56	1	11	65	10	19	8	6	177					
2	4	6	6	4	6	3	29	2	2	2	2	2	83	93	3	23	87	99	11	27	6	235					
3	4	8	9	13	8	5	47	1	1	1	1	4	84	92	8	69	88	101	18	83	9	310					
4	5	10	15	21	10	6	67	2	3	3	3	11	114	139	15	83	2	6	359	119	151	33	107	12	15	437	
5	5	11	17	19	10	3	65	2	3	4	4	1	9	153	171	19	85	2	9	483	158	184	39	107	12	13	513
6	5	10	15	17	12	3	62	2	3	4	4	1	10	189	201	20	77	2	5	494	194	213	38	98	14	9	565
7	5	10	16	18	9	5	63	2	2	3	3	2	9	207	261	12	173	1	10	664	212	273	30	194	10	17	785
8	3	9	11	14	10	1	48	2	1	2	1	6	213	222	8	177	3	11	634	216	233	20	193	14	12	688	
9	5	7	10	7	9	3	41	2	2	2	2	6	155	190	3	195	2	9	554	160	199	13	204	13	12	611	
10	2	6	4	2	7	5	26	2	2	2	2	1	7	156	174	3	242	1	7	583	158	182	7	246	10	13	616
11	3	10	17	27	8	4	69	2	3	4	1	3	13	161	200	22	218	2	8	611	164	212	42	249	11	15	683
12	4	9	16	21	10	5	65	2	2	4	-2	3	13	186	247	21	204	3	4	665	190	258	39	229	15	12	743
13	2	9	17	21	8	7	64	2	3	5	2	3	15	204	251	17	212	2	8	684	206	262	37	238	12	18	773
14	4	10	15	22	9	7	67	2	3	5	2	3	15	243	305	22	229	3	7	803	247	317	40	256	14	17	801
15	5	8	15	16	9	3	56	2	2	5	2	1	12	221	293	9	275	2	9	809	265	333	26	296	13	13	877
16	5	9	5	6	8	4	37	1	1	3	1	6	188	215	5	248	1	17	674	193	225	11	257	10	21	717	
17	5	8	9	13	12	3	50	1	3	3	1	3	11	193	234	15	288	3	15	728	198	243	27	284	16	21	789
18	4	5	5	3	8	3	28	1	1	2	2	4	155	193	2	226	3	17	596	159	199	8	231	11	20	628	
19	4	8	10	8	12	3	45	1	2	2	2	1	6	165	204	4	251	5	14	643	169	213	16	261	17	18	694
20	3	9	4	8	12	4	40	2	1	2	1	2	8	139	196	3	328	3	10	679	142	207	8	338	16	16	727
21	3	8	7	16	12	4	50	1	2	4	1	3	11	134	173	11	241	2	13	574	137	182	20	261	15	20	655
22	3	8	2	6	15	4	38	1	1	1	1	2	6	116	160	2	180	3	18	479	119	169	5	187	19	24	523
23	4	6	4	7	9	3	33	1	1	1	1	1	4	112	120	2	111	384	116	127	6	145	12	15	421		
24		3	2	1	6	1	13	2	2	1	1	1	5	85	96		107	1	6	295	85	101	2	109	8	8	313
25		3	1		3	1	8	1	1	1	1	4	46	51		65		7	169	46	55	2	66	4	8	181	
26	1	8	2	6	11	2	30	2	2	1	1	2	6	48	64	2	58	1	4	177	49	74	4	65	13	8	213
27	2	8	2	6	13	4	35	2	2	1	1	2	6	52	60	1	49	3	9	174	54	70	3	56	17	15	215
28	2	9		5	15	4	35			2	1	3	41	60	1	54	3	7	166	43	63	1	61	19	11	204	
29	1	10	1	1	12	3	23	2	2		1	3	34	31		79	3	5	152	35	43	1	80	16	8	183	
30	1	9	3	7	10	3	33	1	1	1	1	3	38	39	3	57	2	3	142	39	49	6	65	13	6	178	
31	2	3	1	1	3	2	12						35	28		42	1	2	108	37	31	1	43	4	4	120	
計	99	245	249	323	294	111	1,321	45	41	69	27	39	221	4,016	4,819	234	4,653	62	261	14,855	4,115	5,108	524	5,055	383	411	15,397

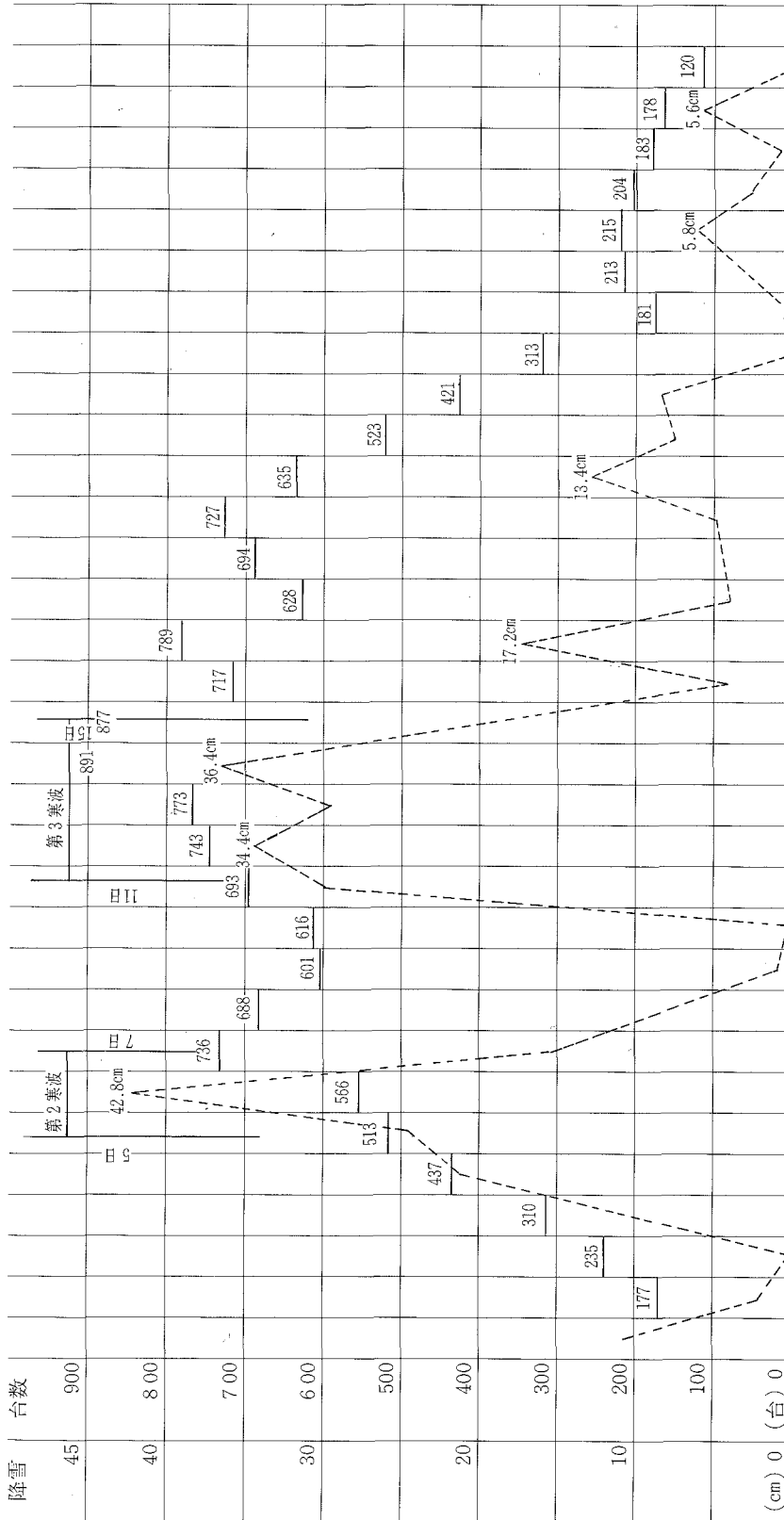
(12月)

降雪深と除雪車(車種別)稼働台数グラフ



除雪車種	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
ブルドーザー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
トラックショベル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
グレーダー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ダンプトラック	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ロータリー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
計	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
月/日	12/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	

(1月)



除雪車	69	87	88	119	158	194	212	216	160	158	164	190	206	247	226	193	198	159	169	142	137	119	116	85	46	49	54	43	35	39	37
出動	65	99	101	151	184	213	273	233	199	182	212	258	262	317	303	225	243	199	213	207	182	169	127	101	55	74	70	69	43	49	31
台数	10	11	18	33	39	38	30	20	13	7	42	39	37	40	26	11	27	8	16	8	20	5	6	2	2	4	3	1	1	6	1
計	19	27	83	107	107	98	194	193	204	246	249	229	238	256	296	257	284	231	261	338	261	187	145	109	66	65	56	61	80	65	43
その他	6	5	11	15	13	9	17	12	13	15	12	14	17	13	21	21	20	18	16	20	24	15	8	8	8	8	15	11	8	6	4
月/日	177	235	310	437	513	566	736	688	601	616	693	743	773	891	877	717	789	628	694	727	635	523	421	313	181	213	215	204	183	178	120
除雪車	1/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31

豪雪時における道路状況（幹線道路）通行不能調

道路種別	道路名	区 間	期 間	備 考
一般国道	157号	勝山市北六呂師～谷峠	55 12/29～56 4/17	降雪、雪崩等
＃	158号	和泉村勝原～油坂	55 12/26～56 4/28	＃
＃	＃	大野市上唯野～勝原	55 12/29～56 1/19	56 1/8～（上唯野～朝日間は 二車線緊急車のみ通行可）
＃	＃	＃	56 3/16～4/28	雪崩等
＃	＃	美山町上新橋～大宮	55 12/30	降雪、雪崩等
＃	＃	福井市前波～大野市花山	55 12/31	＃
＃	＃	大野市元町～東中	56 1/3	＃
＃	＃	美山町境寺～花山	56 1/7～1/8	＃
＃	364号	丸岡町竹田～大内峠	55 12/27～56 4/1	＃
主要地方道	武生米ノ線	武生市広瀬	55 12/28	＃
＃	鯖江～今立	鯖江市中野	55 12/28～12/29	＃
＃	武生～大野	今立町西河内	55 12/29～12/31	＃
＃	＃	池田町白栗～美山町	56 1/2	＃
＃	＃	池田町持越	55 12/30～12/31	＃
＃	＃	美山町東河原～西市布	56 1/12～1/16	＃
＃	福井四ヶ浦	福井市白滝～西別所	55 12/29～56 1/1	＃
＃	福井大森河野	清水町大森～笹川	55 12/29	＃
＃	＃	朝日町野田～笹川	55 12/30～56 1/1	＃
＃	＃	福井市末～上一光	55 12/29～56 2/7	＃
＃	＃	宮崎村小曾原	56 2/10～2/11	＃
＃	四ヶ浦～神明	織田町上戸～境	55 12/29～56 1/1	＃
＃	今庄～池田	今庄町瀬戸～杣木俣	56 1/8～2/22	＃
＃	勝山～丸岡	永平寺町栃原～勝山市板東島	56 1/11～1/13	＃
＃	武生～米ノ	武生市追分～小野	56 1/25～2/22	＃
一般県道	東郷～今立	鯖江市戸ノ口～西大味	55 12/28～56 1/2	＃
＃	＃	＃	56 1/13～2/8	＃
＃	別所～朝日	朝日町野田	55 12/29～12/30	＃
＃	殿下～福井	福井市白滝	55 12/29～56 1/3	＃
＃	厨～鯖江	宮崎村椋津	55 12/29	＃
＃	西河原朝谷	美山町西河原～朝谷	55 12/29～56 1/3	＃
＃	＃	＃	56 1/5～1/7	＃
＃	厨～鯖江	宮崎村江波～憎原	56 1/4～2/5	＃
＃	管生～武生	武生市入谷	56 12/30	＃
＃	＃	武生市入谷～池田町辻	56 1/6～3/7	＃
＃	篠尾～勝山	美山町吉山～皿谷	56 1/13～1/15	＃
＃	三尾野～浅水	福井市花守～冬野	56 1/21～1/26	＃
＃	広野～大門	今庄町大門	56 1/25～1/26	＃
＃	藤巻～下荒井	勝山市遅羽町峰崎～下荒井	56 2/3～2/18	＃

種 別	路 線 数	箇 所 数	備 考
一般国道	3	8	
主要地方道	8	15	
一般県道	10	12	
計	21	35	

注 国…一般国道
主…主要地方道
一…一般県道

土木事務所別運搬排雪と雪捨箇所

土木事務所	種別	運搬排雪箇所	排雪延長	雪捨箇所	備 考
福井土木事務所	国 主 一	158号線 外1路線 福井加賀線 外6路線 福井三国線 外27路線	7.6km 32.03km 58.69km	足羽川他 15カ所	
三国土木事務所	国 主 一	364号線 福井加賀線 外3 森田金津線 外11	0.2km 9.9km 11.9km	竹田川他 12カ所	
大野土木事務所	国 主 一	157号線 外1 — 南六呂師大野 外3	13.19km — 9.2km	真名川他 6カ所	
勝山土木事務所	国 主 一	157号線 福井勝山線 外1 勝山停車場線 外7	1.9km 4.5km 22.5km	九頭竜川他 9カ所	
鯖江土木事務所	国 主 一	— 鯖江藤橋線 外2 武生朝日線 外12	— 6.5km 12.8km	日野川他 20カ所	
武生土木事務所	国 主 一	365号線 武生、大野線 外2 武生鯖江線 外9	4.0km 5.2km 7.6km	日野川他 8カ所	
今立土木事務所	国 主 一	— 鯖江藤橋線 外2 鯖江今立線 外8	— 11.5km 5.0km	足羽川他 12カ所	
朝日土木事務所	国 主 一	— 福井大森河野 外2 福井朝日線 外3	— 4.1km 2.3km	天王川他 6カ所	
敦賀土木事務所	国 主 一	— 今庄敦賀線 外2 敦賀港線 外6	— 2.1km 8.9km	児屋川他 4カ所	
小浜土木事務所	国 主 一	— 舞鶴野原港高浜線 —	— 2.0km —	南川他 1カ所	
計	国 主 一	4路線 22路線 92路線	26.89km 77.83km 138.89km	103カ所	

(8)企業部

56豪雪に伴ない、工業用水事務所においては、雪害による電気機器のトラブル防止及び工水施設の除雪のため職員全員が泊り込みで待機した。また、電気事業事務所においても、1月21日に小原配電線の復旧作業を実施したのをはじめ、電気関係施設の除雪および配電線の巡視、その他施設の維持管理のため職員全員が泊り込みで待機した。各発電所における対策の内容は次の通りである。

○中島発電所

遠隔監視制御機能の強化充実。配電線の絶縁化及びルート変更。発電所建屋及び屋外変電所融雪の強化。

○滝波第一発電所

配電線絶縁化及びルート変更、かさ上げ

○真名川発電所

フェンス他修理

(9)教育部

(イ)気象、積雪等に応じた応急教育措置

昭和56年1月6日～7日に電話により各県立学校長および各市教育委員会、各地教委連絡協議会の駐在指導主事に対し、次のような指示を行った。

1. 気象、積雪等に応じた応急教育措置
2. 児童生徒の危険防止
 - (1)校地内の通学路の除雪
 - (2)通学道路およびその周辺の危険場所の標示
 - (3)適切な指導にもとづく集団登下校の実施
 - (4)交通事故防止の徹底
 - (5)始業時、下校時の変更による安全確保
 - (6)除雪機械器具によって生じる危険の防止
 - (7)事故発生の早期報告

昭和56年1月12日に文書により、各県立学校長および各市町村教育委員会教育長に対し、次の指示を行った。

1. 登下校の安全について
2. 校内の安全点検について

(ロ)施設の保全対策

学校および社会教育などの施設の保全対策として、次のような内容を定めるとともに、文書による指示、ならびに具体的な予防対策を実施した。

校舎などの構造、耐用年数等を考慮し早めに除雪するとともに、融雪装置のある校舎などにあっても時々その点検を行うものとする。なお、特に屋内運動場については、許容積雪量（荷重）を確認、人眼に付き易い箇所に明示し、短期間に集中的な降雪により荷重を超える積雪量に達する恐れのある時は、雪おろしをするまでの間、当該建物の使用禁止の措置をとること。

また、雪害などによる破損ヶ所の補修、老朽建物などの補強をうながし、防火対策（貯水池、貯水

槽、消火器の点検、消防自動車が入りやすいよう施設周辺の道路除雪、火気使用後の点検、夜間巡視など)については特に留意すること。

1. 教育施設の雪害の予防対策(文書による指示)

日 時 昭和55年12月8日

対 象 ○各県立学校長
○各市町村教育委員会教育長
○各教育機関の長

内 容 ○学校施設及び社会教育施設の保全
○文化財の保全
○学校給食材料の調達
○災害発生報告
○除雪等に要する雇用人夫等の事前協議
○気象等に応じた応急措置
○被害発生報告

2. 降雪中の対策について

1月上旬には、木造建物はもちろん鉄筋建物等の除雪についても電話等によりその都度指示し除雪人夫の確保が困難な学校においては教職員、事務職員、父兄および高学年の生徒による除雪を実施した。その他の教育施設についても許容積雪量を超えると判断したため職員を動員し除雪を実施した。



鯖江東小学校体育館除雪作業(鯖江市)

高志高校除雪作業（福井市）



埋蔵文化財整理棟の除雪作業（福井市）



(10) 公安警備部

(イ) 災害警備本部の設置状況

(a) 昭和55年12月29日

警察本部 「雪害警備総合本部」設置

警察署 「雪害警備現地本部」 〃

(b) 昭和56年1月5日

警察本部 「豪雪警備総合本部」改称

警察署 「豪雪警備現地本部」 〃

(c) 昭和56年2月10日

警察本部 「雪害警備総合本部」改称

警察署 「雪害警備現地本部」 〃

(d) 昭和56年3月24日

警察本部 「雪害警備総合本部」解散

警察署 「雪害警備現地本部」 〃

(ロ) 主たる警察活動

(a) 交通の規制及び指導取締り

(b) 雪崩等危険箇所の警備、警戒

(c) 孤立地区（部落）の实地踏査と住民の避難、誘導

(d) 緊急輸送車両物資の先導、警戒

(e) 広報連絡、その他被害等の調査

(ハ) 交通対策と措置状況

(a) 体制の概要

「昭和55年度 福井県警察雪寒対策実施要領」を定め、昭和55年12月16日(火)から昭和56年3月15日(日)までの3ヶ月間を同要領に定める対策実施期間とし、公安委員会による下記表のとおり臨時交通規制を実施するとともに、警察本部に交通部長を本部長とする組織人員125名をもって雪害交通対策本部を設置し、県下15警察隊・署に現地雪寒交通対策本部を設置して、常時宿直体制で情報の収集、広報、交通規制、交通指導取締りを柱として対処した。

規制種別	通行止	一方通行	駐車禁止	踏切の通行止
区間(箇所)	2区間	2区間	154区間	114区間
延長距離	22,400 m	500 m	157,345 m	

(b) 活動状況

1. 情報の収集と広報

期間中、毎日隣接府県および県内各警察隊、署、派出所、駐在所、土木事務所等から定時に、状況によっては随時に道路交通の情報を収集し、1日3回定時のラジオ放送で広報したほか、各報道機関に対して積極的に交通情報を提供した。

また、運転者および住民の交通情報の問い合わせに応じるため、テレガイドや直接電話照会により交通情報を伝達し県民に広報した。

2. 交通規制の状況

高速北陸自動車道、国道、県道等の主要道路の積雪に伴い、路面悪化による交通障害が生じ、これに伴う交通規制等の措置を実施した。

なお豪雪に伴う雪崩の危険のため、国道157号線大野市西勝原～和泉村朝日～油坂峠間は、12月29日以降一旦は開通したものの以後不通となったほか、県道福井大森～河野線の福井市末～一光間、東郷～今立線の福井市西大味、鯖江市上戸ノ口間、菅生～武生線の武生市入谷と今立郡池田町辻間等で長期間除排雪作業を支援するための通行止、一方通行、駐車禁止等の交通規制を実施したほか、う回路の指導、混雑緩和の交通整理に出動した警察官等は、延1,481人に達した。

(c) 交通指導

豪雪期間中における交通指導取締り状況

“56年豪雪”では幹線、準幹線道路、生活道路等に放置された車両が除(排)雪作業に著しく支障をきたすとともに交通渋滞の原因となり、県内各地において円滑な交通流の混乱状態を招く結果となった。

このため、警察としてはこれらを排除するため、昭和55年12月28日から昭和56年1月27日までの1ヶ月間を特別指導取締り期間とし、1日平均568名の警察官を街頭へ動員させ、放置車両等の特別指導取締りと除(排)雪作業現場付近の交通整理活動を行うとともに、路上で、雪のためスリップ等困惑している車両等に対する援助活動等を積極的に実施して正常交通の確保につとめた。

その状況は次表のとおりである。

豪雪に伴う放置車両等の特別指導取締り状況(55.12.28～56.1.27)

(1) 指導取締り体制

項目	人 員	延 人 員	総 延 人 員
特別班による指導取締り状況		9,992名	17,587名 (1日平均586名)
除(排)雪作業現場の交通整理等出動状況		1,481名	
その他の指導取締り状況		3,006名	

(2) 指導取締り結果

項目	件数			
	検挙	532件	警告	22,115件
放置車両等取締り状況				
困惑者に対する援助活動	2,145 件			

56豪雪に伴う交通障害状況の概要と措置

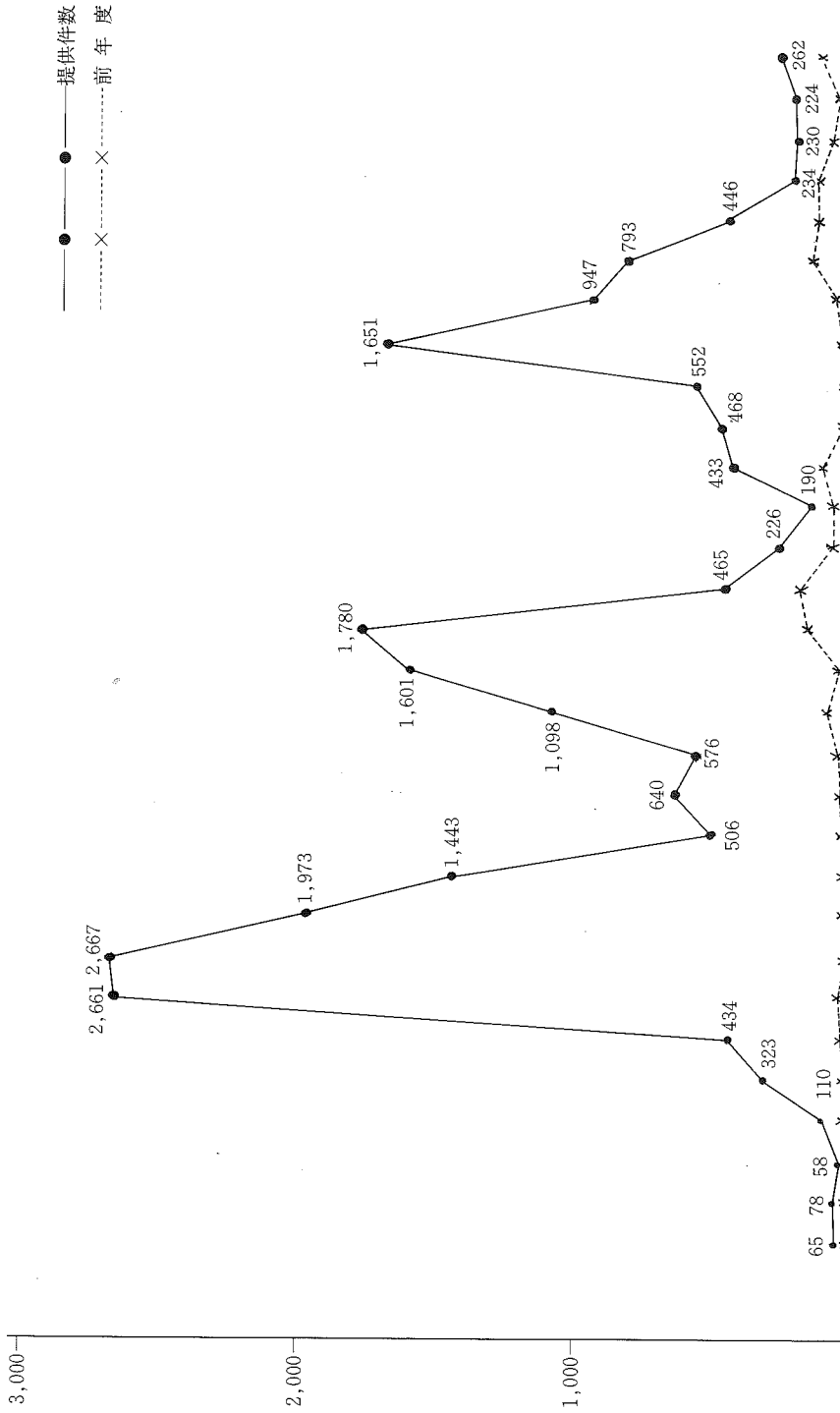
道路種別	実延長	障害延長	障害状況の概要			警察措置の概要	
高速自動車国道 北陸自動車道	88.3km	88.3km	12月29日 13:50~ 武生 I C	敦賀 I C } 武生 I C	圧雪路面悪化により大型自動車のトラブル続出のため通行不能となり、上り線2回、下り線6回にわたり閉鎖(最大閉鎖25時間40分)	○インター閉鎖 ○除雪の要請 ○隣接県への通報と乗り入れ規制要請 ○報道機関、道路情報センターを通じて広報 ○渋滞車両の排除誘導整理	
			1月1日 10:15	全線	全線開通となるも、50km/hチェーン装着規制を実施する。		
			1月13日 23:50	福井 I C } 長浜 I C	国道8号線において、雪崩のため通行止めとなったため車両が停滞し、また取付道の除雪が間にあわず本線車道上まで停滞。よって閉鎖(最大閉鎖17時間15分)		
国 道 指 定 （ 建 設 省 直 轄 ） 道 路	8号線	95.1km	34.0km	12月29日 13:50~	武生市 } 敦賀市	圧雪路面悪化による大型自動車のスリップ事故により通行不能となり通行止めの規制、停滞車両の排除、除雪活動のため約14時間通行止めとなる。	○通行止め ○一方通行規制 ○マスコミ、情報センターを通じた広報 ○除雪の要請 ○交通の誘導整理 ○隣接県への通報と規制広報要請 ○駐車車両の排除 ○う回路の指導
				12月30日 4:35~ 21:45	"	一車線確保され、交互一方通行の規制を実施する。	
				12月30日 0:00~	福井市 } 武生市	福井市~鯖江市~武生市間除排雪のため4回通行止めとなる。	
				1月13日 16:30	敦賀市 } 武生市	なだれのため通行止めとなり、交互一方通行規制を実施する。(28日間)	
	161号線	8.4km	5.0km	12月29日 14:00~	全線	国道8号線の障害により渋滞する。	○タイヤ・チェーン装着規制 ○除雪の要請
	27号線	74.0km	約4.5km	12月29日 17:00 } 12月30日 8:00	金山 } 佐田	関峠における圧雪・路面悪化による渋滞により通行止めとなる。	○タイヤ・チェーン装着規制 ○除雪の要請

道路種別		実延長	障害延長	障害状況の概要		警察措置の概要	
国 道	指定 道 路 外	157号線	70.0km	約20.0km (38.0)	12月28日 19:00～	勝山市内 積雪のため2回除雪、その 間全面通行止めとなる。	○通行止めに伴うう 回路指示 ○交通の整理 ○除雪の要請
		158号線	84.2km	約15.0km (30)	12月29日 17:50～ 12月31日 16:00	美山町 積雪・倒木・なだれ等によ り、2回全面通行止めとな る。	○通行止め
		305号線	85.0km	約2.0km	12月29日 13:50～ 17:00	大野市 除雪後もなだれの危険のた め通行止め。 和泉村	○通行止め
		365号線	31.2km	約2.5km (7)	12月29日 17:00 12月30日 7:00	河野村内 積雪・路面悪化による大型 車の事故のため通行止めと なる。 南条町内 大型車トラブルのため通行 止め。	○通行止め ○う回路指示 ○交通の整理
		その他	83.2km	約15km (20)	12月29日 3月	364号線は丸岡町竹田、永平寺町の一部を除いて通行止め。 162号、303号、367号線については支障なし。	
県 道	主要地方道 28路線	523.8km	—	12月28日 夜半 1月1日 日中 1月5日 夜半 1月8日 日中	山間部に通ずる道路は至る所で積雪と倒木により通行止め。平坦地では一車線確保されたが、至る所で渋滞が発生する。 一部を除き通行止め。平坦地では二車線確保。 積雪のためほとんど一車線通行となり一部では不通となる。 平坦地ではほとんど二車線確保されたが、排雪場付近で渋滞する。	○通行止め ○一方通行規制 ○交通の誘導整理 ○タイヤチェーン着 装指導広報 ○除雪の要請 ○マスコミ・交通情 報センターを通じ ての広報と情報伝 達(マイカーの自粛 ・違法駐車禁止) ○駐車車両の取締り 指導排除	
	一般県道 172路線	1,148.8km	—	12月28日 夜半 12月31日 日中 1月5日 夜半 1月7日 日中	山間部、農村地帯の至る所で不通箇所続出する。 一部を除き、一車線確保される。 積雪のため至る所で不通箇所続出する。 一部を除き、一車線確保される。		

障害延長の()内は、春除雪(冬期閉鎖)区間で外效。

交通情報の提供状況

昭55. 12. 23~56. 1. 21の1ヶ月間



総提供件数	55. 12																															56. 1			一日平均提供件数
	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21					
23,134件	65	78	58	110	323	434	266	1266	1973	1443	506	640	576	1098	1601	1780	465	226	433	468	552	1651	947	793	446	446	230	224	262	771件					
前年同期	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	71件				
2,142件	20	21	48	36	29	36	43	12	25	14	21	53	36	88	47	184	200	63	62	125	45	33	92	92	193	149	151	92	53	135					

4. 調査団等来県状況

年月日	調査先	調査団名	来県者名	備考
昭和56年 1月8日(木)	福井県庁	公明党	衆議院議員 西中清 (京都二区) ほか	現地視察は党独自で行った
1月9日(金)	福井県庁	日本共産党	参議院議員 近藤忠孝 (全国区) ほか	〃
1月9日(金)	福井県庁	自由民主党	衆議院議員 佐藤隆 (新潟二区) (自民党副幹事長) ほか	豪雪災害見舞のため
1月9日(金) 、 1月10日(土)	福井県庁 勝山市 大野市 美山町内 福井市内	政府豪雪対策 本部	団長 国土庁長官 原健三郎 副団長 国土政務次官 大塚雄司 団員 国土庁 官房審議官 柴田啓次 〃 防災企画課長補佐 田畑茂清 建設省 国道二課長 信高裕 運輸省 保安課長 金田幸二郎 自治省 官房参次官 池ノ内裕司 通産省 地域振興室長 飯倉督夫 文部省 指導課長 福岡純一郎 農水省 野菜計画課長 東久雄 郵政省 集配課長 神谷和郎 警察庁 外勤課長 田中和夫 ほか	
1月11日(日)	福井県庁 福井市 鯖江市内	民社党豪雪対策 委員会	衆議院議員 西田八郎 (滋賀) 参議院議員 柄谷道一 (全国区) ほか	

年 月 日	調 査 先	調 査 団 名	来 県 者 名	備 考
1月12日(月) 1月13日(火)	福井県庁 大野市 美山町 福井市	日本社会党 雪害対策本部	団長 衆議院議員 小林 進 (新潟三区) " 鳴崎 譲 (石川一区) 参議院議員 吉田 正夫 (新潟三区) 衆議院議員 木間 章 (富山二区) ほか	
1月16日(金) 1月17日(土)	敦賀市内 武生市 鯖江市 美山町 大野市 勝山市 福井市内 福井県庁	自由民主党異常 豪雪対策本部	団長 参議院議員 坂野 重信 (全国区) " 増岡 康治 (") ほか	
1月20日(火) 1月21日(水)	福井県庁 美山町内 福井市内	衆議院災害対策 特別委員会	団長 衆議院議員 木島 喜兵衛 (新潟四区) " 池端 清一 (北海道四区) " 藪仲 義彦 (静岡一区) " 笹山 登生 (秋田二区) " 林 百郎 (長野三区) " 石原 健太郎 (福島一区) " 牧野 隆守 (福井) " 横手 文雄 (福井) 衆議院参事 松下 英彦 " 小沢 英彦 国土庁 防災企画課長 城野 好樹 " 防災企画課係長 桃枝 伸之 林野庁 治山課長 松本 広治	

年 月 日	調 査 先	調 査 団 名	来 県 者 名	備 考
			中小企業庁 参事官 中 尾 舜 一 建設省 道路局企画課長 萩 原 治 " 河川局総括災害査定官 緒方 武人 自治省 官房参事官 池ノ内 裕 司 国 鉄 文書課 八 木 清 ほか	
2月5日(木)	和 泉 村 美山町内 福井市内 福井県庁	参議院災害対策 特別委員会	団 長 参議院議員 広 田 幸 一 (鳥取) " 鈴 木 和 美 (東京) " 和 泉 照 雄 (東京) " 井 上 孝 (神奈川) " 下 田 京 子 (福島) " 伊 藤 郁 男 (埼玉) " 喜屋武 真 栄 (沖縄) 参議院事務局 田熊 初太郎 " 新 城 浩 国土庁 防災企画課長 城 野 好 樹 " 防災企画課係長 佐 藤 恒 夫 建設省 国道第一課長 田 中 淳七郎 林野庁 造林課長 谷 口 純 平 文部省 教育施設部技術参事官 佐 藤 譲 自治省 財政局財務調査官 緒 方 勇一郎 通産省 中小企業下請企業課長 横堀 恵一 国 鉄 保線課長 神 谷 牧 夫 ほか	和泉村視察はヘリコ プター使用

第4章 各機関の活動概要

第4章 各機関の活動概要

1. 県議会の活動

56豪雪に関する県議会の活動概要および災害復旧等に関する決議について

(イ) 1月9日 正副常任委員長会議

理事者から豪雪に関する現況と対応策について説明を求めたのち、今後の除雪・排雪における対応および農林業者・中小商工業者等豪雪被害者対策に十分配慮するよう要請がなされた。

政府豪雪対策本部現地調査団来県に伴い、議長が陳情を行った。

現地調査には、正副議長・土木常任委員会正副委員長が同行した。

(ロ) 1月14日

自衛隊の豪雪に係る応援に対し、議会を代表して副議長・総務教育常任委員会委員長が平松幕僚長に面会し慰問を行った。

(ハ) 1月16日 全員協議会

理事者から豪雪についてのこれまでの状況とその対策について説明を求めたのち、質疑がなされ、激じん災害法指定、農林業・中小企業被害に対する特別助成措置等国に対する陳情内容、除雪体制、交通機関の運行状況を中心に論議された。

(ニ) 2月9日 東海北陸7県議会議長会議

豪雪に係る関係法令の見直し整備等を内容とする「豪雪に対する恒久対策の推進について」を議決し、国に要望した。

(ホ) 2月12日 近畿2府6県議会議長会議

激じん災害法指定、農林業被害に対する特別助成措置を内容とする「豪雪災害に関する緊急要望」を提案し、議決され、国に要望した。

(ヘ) 2月27日～3月27日 第224回定例県議会

豪雪における林木・園芸施設被害対策、中小企業融資対策、一般家庭に対する税額控除、除雪機械配備体制などについての質問がなされた。

2. 福井地方気象台の活動

注意報・警報等の発表状況

標 題	発表または解除時刻		
	月 日	時 分	
強風(海上・海岸)波浪注意報解除	昭55年 12. 1	05 30	
風 雨 ・ 波 浪 注 意 報	12. 2	14 30	
強風(海上・海岸)波浪注意報	12. 3	09 00	切り替え
同 上 解 除	12. 3	11 20	
強風(海上・海岸)波浪注意報	12. 3	18 00	
強 風 ・ 波 浪 注 意 報	12. 4	03 00	切り替え
波 浪 注 意 報	12. 5	05 55	〃
同 上 解 除	12. 6	10 10	
強風(海上・海岸)波浪注意報	12. 8	07 10	
同 上 解 除	12. 9	10 40	
強 風 ・ 波 浪 注 意 報	12. 9	17 15	
波 浪 注 意 報	12. 10	10 20	切り替え
同 上 解 除	12. 10	21 20	
強 風 ・ 波 浪 注 意 報	12. 11	19 45	
強 風 ・ 波 浪 注 意 報	12. 12	16 30	切り替え
風 雪 ・ 波 浪 注 意 報	12. 12	21 50	〃
波浪警報・風雪注意報	12. 13	07 30	〃
波浪警報・大雪(嶺北)強風注意報	12. 13	18 35	〃
波浪警報・大雪(嶺北)強風注意報	12. 14	17 00	〃
風 雪 ・ 波 浪 注 意 報	12. 15	07 40	〃
波 浪 注 意 報	12. 16	05 40	〃
同 上 解 除	12. 16	22 10	
濃 霧 (嶺 北) 注 意 報	12. 17	07 20	
同 上 解 除	12. 17	10 30	
強 風 ・ 波 浪 注 意 報	12. 18	20 30	
強 風 ・ 波 浪 注 意 報	12. 19	10 30	切り替え
強 風 ・ 波 浪 注 意 報	12. 20	06 00	〃

標 題	発表または解除時刻		
	月 日	時 分	
波 浪 注 意 報	12. 21	08 30	切り替え
同 上 解 除	12. 21	17 20	
濃 霧 (嶺 北) 注 意 報	12. 22	19 50	
同 上 解 除	12. 23	05 50	
強 風 ・ 波 浪 注 意 報	12. 23	11 00	
強 風 ・ 波 浪 注 意 報	12. 24	18 20	切り替え
波 浪 警 報 ・ 強 風 注 意 報	12. 24	19 20	"
波 浪 警 報 ・ 強 風 ・ 大 雨 洪 水 注 意 報	12. 24	21 35	"
強 風 (海 上 ・ 海 岸) 波 浪 注 意 報	12. 25	06 50	"
波 浪 注 意 報	12. 25	10 30	"
強 風 ・ 波 浪 注 意 報	12. 26	08 30	"
風 雪 ・ 波 浪 注 意 報	12. 26	20 50	"
大 雪 ・ 強 風 ・ 波 浪 注 意 報	12. 26	22 50	"
大 雪 ・ 強 風 ・ 波 浪 注 意 報	12. 27	17 40	"
大 雪 ・ 波 浪 警 報 ・ 強 風 注 意 報	12. 27	20 05	"
大 雪 ・ 波 浪 情 報 第 1 号	12. 28	05 30	
大 雪 ・ 強 風 ・ 波 浪 注 意 報	12. 28	08 30	切り替え
大 雪 警 報 ・ 強 風 ・ 波 浪 注 意 報	12. 28	16 40	"
大 雪 情 報 第 2 号	12. 28	21 30	
大 雪 情 報 第 3 号	12. 29	06 30	
大 雪 警 報 ・ 強 風 ・ 波 浪 ・ 雪 崩 注 意 報	12. 29	09 00	切り替え
大 雪 情 報 第 4 号	12. 29	11 30	
大 雪 情 報 第 5 号	12. 29	16 30	
大 雪 ・ 強 風 ・ 波 浪 ・ 雪 崩 注 意 報	12. 30	05 20	切り替え
大 雪 情 報 第 6 号	12. 30	17 00	
大 雪 ・ 雪 崩 ・ 波 浪 注 意 報	12. 30	20 00	切り替え
雪 崩 注 意 報	12. 31	15 15	"
強 風 ・ 波 浪 ・ 雪 崩 注 意 報	昭56年 1. 1	18 20	"
風 雪 ・ 波 浪 ・ 雪 崩 注 意 報	1. 2	17 50	"
大 雪 ・ 強 風 ・ 波 浪 ・ 雪 崩 注 意 報	1. 3	17 50	"

標 題	発表または解除時刻		
	月 日	時 分	
波浪警報・大雪・強風・雪崩注意報	1. 3	22 50	切り替え
風雪・波浪・雪崩注意報	1. 4	11 50	〃
大雪・雪崩注意報	1. 5	05 55	〃
大雪警報・強風(海上・海岸)波浪・雪崩注意報	1. 5	13 30	〃
大雪情報第1号	1. 5	16 00	
大雪情報第2号	1. 5	21 40	
大雪情報第3号	1. 6	07 00	
大雪警報・強風(海上・海岸)波浪・雪崩注意報	1. 6	09 10	切り替え
大雪情報第4号	1. 6	11 30	
大雪情報第5号	1. 6	16 30	
大雪情報第6号	1. 6	20 40	
大雪・強風(海上・海岸)波浪・雪崩注意報	1. 7	05 50	切り替え
波浪・雪崩注意報	1. 8	05 30	〃
雪崩注意報	1. 8	13 10	〃
風雪・波浪・雪崩注意報	1. 10	10 40	〃
大雪・強風・波浪・雪崩注意報	1. 10	17 00	〃
大雪警報・強風・波浪・雪崩着雪注意報	1. 11	09 10	〃
大雪情報第1号	1. 11	11 55	
大雪情報第2号	1. 11	18 10	
大雪情報第3号	1. 11	21 30	
大雪情報第4号	1. 12	06 20	
大雪・強風(海上・海岸)波浪・雪崩注意報	1. 12	11 30	切り替え
大雪・強風(海上・海岸)波浪・雪崩注意報	1. 13	10 50	〃
大雪情報第5号	1. 13	11 30	
大雪警報・強風(海上・海岸)波浪・雪崩注意報	1. 13	18 30	切り替え
大雪情報第6号	1. 13	21 30	
大雪・雪崩・強風(海上・海岸)波浪注意報	1. 14	05 45	切り替え
雪崩注意報	1. 15	05 40	〃
大雪・強風・波浪・雪崩注意報	1. 16	11 35	〃
波浪・雪崩注意報	1. 17	10 10	〃

標 題	発 表 ま た は 解 除 時 刻		
	月 日	時 分	
雪 崩 注 意 報	1 . 17	17 10	切 り 替 え
大雪・強風(海上・海岸)波浪・雪崩注意報	1 . 20	17 20	〃
強風(海上・海岸)波浪・雪崩注意報	1 . 21	06 40	〃
大雪・強風(海上・海岸)波浪・雪崩注意報	1 . 21	18 30	〃
波 浪 ・ 雪 崩 注 意 報	1 . 22	08 50	〃
雪 崩 注 意 報	1 . 23	07 40	〃
強 風 ・ 波 浪 ・ 雪 崩 注 意 報	1 . 25	08 30	〃
風 雪 ・ 波 浪 ・ 雪 崩 注 意 報	1 . 26	11 00	〃
波 浪 ・ 雪 崩 注 意 報	1 . 27	05 40	〃
雪 崩 注 意 報	1 . 27	13 30	〃
風 雪 ・ 波 浪 ・ 雪 崩 注 意 報	2 . 1	19 30	〃
波 浪 ・ 雪 崩 注 意 報	2 . 2	13 50	〃
雪 崩 注 意 報	2 . 2	20 30	〃
風 雪 ・ 波 浪 ・ 雪 崩 注 意 報	2 . 3	16 50	〃
波 浪 ・ 雪 崩 注 意 報	2 . 4	18 20	〃
雪 崩 注 意 報	2 . 5	11 30	〃
風 雪 ・ 波 浪 ・ 雪 崩 注 意 報	2 . 10	13 10	〃
雪 崩 情 報	2 . 11	11 30	
波 浪 ・ 雪 崩 注 意 報	2 . 11	16 00	切 り 替 え
雪 崩 注 意 報	2 . 12	05 50	〃
雪 崩 情 報	2 . 12	11 30	
雪 崩 ・ 濃 霧 注 意 報	2 . 15	04 40	切 り 替 え
雪 崩 注 意 報	2 . 15	09 30	〃
強風(海上・海岸)波浪・雪崩注意報	2 . 17	04 10	〃
雪 崩 注 意 報	2 . 18	05 40	〃
強 風 ・ 波 浪 ・ 雪 崩 注 意 報	2 . 20	18 10	〃
波 浪 ・ 雪 崩 注 意 報	2 . 21	11 30	〃
雪 崩 注 意 報	2 . 21	16 40	〃
強 風 ・ 波 浪 ・ 雪 崩 注 意 報	2 . 24	15 10	〃
大雪・雪崩・強風・波浪注意報	2 . 25	07 10	〃

標 題	発表または解除時刻		
	月 日	時 分	
大雪警報・雪崩・強風・波浪注意報	2 . 26	09 00	切り替え
大雪警報・雪崩・強風・波浪・異常低温注意報	2 . 26	16 40	〃
大 雪 情 報	2 . 26	20 35	
大雪・波浪警報・強風・雪崩・異常低温注意報	2 . 26	23 35	切り替え
大雪・雪崩・強風・波浪・異常低温注意報	2 . 27	06 45	〃
波浪警報・強風・大雪・雪崩注意報	2 . 27	11 00	〃
波 浪 ・ 雪 崩 注 意 報	2 . 27	16 50	〃
雪 崩 注 意 報	2 . 28	09 30	〃
強風(海上・海岸)波浪・雪崩注意報	3 . 6	20 20	〃
雪 崩 注 意 報	3 . 8	08 10	〃
強風(海上・海岸)波浪・雪崩注意報	3 . 9	16 45	〃
雪 崩 注 意 報	3 . 10	16 40	〃
強風・波浪・融雪・洪水・雪崩注意報	3 . 14	18 20	〃
強 風 ・ 波 浪 ・ 雪 崩 注 意 報	3 . 15	21 15	〃
波 浪 ・ 雪 崩 注 意 報	3 . 16	17 00	〃
雪 崩 注 意 報	3 . 17	10 10	〃
強風・波浪・融雪・洪水・雪崩注意報	3 . 24	19 50	〃
強 風 ・ 波 浪 ・ 雪 崩 注 意 報	3 . 26	11 30	〃
波 浪 ・ 雪 崩 注 意 報	3 . 27	05 40	〃
雪 崩 注 意 報	3 . 28	05 40	〃

3. 道路公団福井管理事務所の活動

雪氷対策要領にもとづき、今庄 I.C～加賀 I.C 間 60.1km の道路確保につとめた。その結果、今回の豪雪に対し、一時閉鎖をする事態も生じたが、どうにか道路確保が出来、生活物資等の輸送路としての使命を果たすことができた。

(1) 通行規制状況

(加賀～木ノ本間)

種 別 \ 月	12 月	1 月	2 月	3 月	備 考
50km/H 規 制	44回	9回	21回	43回	
80km/H 規 制	1	4	10	7	
チェーン規 制	19	6	7	1	
閉 鎖	9	7	5	0	

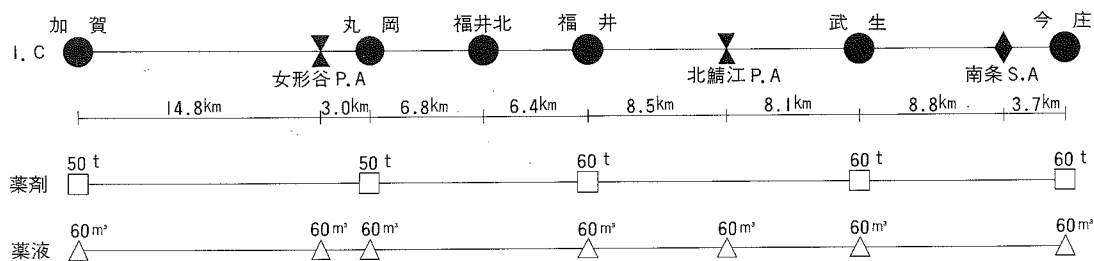
(2) 作業稼働状況

項 目	延 作 業 回 数	作 業 延 長	備 考
薬 液 散 布	980	15,558 ^{km}	原塩を溶解
薬 剤 散 布	116	1,690 ^{km}	塩化マグネシウム
除 雪 作 業	1,670	38,409 ^{km}	
排 雪 作 業		1,987 ^{hr}	

(3) 特別借上げ機械調書

機 械 名	型 式	台 数	借上げ日数	備 考
トラクターショベル	ホイール式 1.4m ³	1台	3日	} 7業者から借上げ
	クローラ式 2.1m ³	1	3	
	ホイール式 2.1m ³	1	7	
	ホイール式 3.1m ³	4	37	
	ホイール式 3.5m ³	2	12	
	ホイール式 4.0m ³	2	28	
	計	11	90	
モーターグレーダー	ブレード巾 2.5m	1	4	} 4業者から借上げ
	ブレード巾 3.1m	1	11	
	ブレード巾 3.7m	2	22	
	計	4	37	
除 雪 車	10tトラック	2	4	} 大阪管理局から応援
	10tトラック	2	30	
	計	4	34	

雪氷施設配置図



(加賀基地)

散水車 10,000ℓ
散布兼除雪車 10tトラック ワンウェイ+散布機
除雪車 10tトラック ワンウェイ+サイド付
除雪車 10tトラック ワンウェイ+グレーダー付
排雪車 2,000t/H ロータリー車
標識車 1台

加賀基地は1月8日9時をもって、丸岡I.Cに移した。

※ 他の借上げ

- モーターグレーダー 4台
- トラクターショベル 11台

(福井基地)

散水車 10,000ℓ
除雪車 10tトラック ワンウェイ+サイド付
除雪車 10tトラック ワンウェイ+サイド付
除雪車 7tダンプトラック ワンウェイ+グレーダー付
除雪車 7tトラック アングリング+グレーダー付
除雪車 ウニモグトラック
排雪車 1,700t/H ロータリー車
排雪車 1.6m³ トラクターショベル
排雪車 トラクターショベル 借上げ
排雪車 ブレード巾4m モーターグレーダー
排雪車 ブレード巾3.7m モーターグレーダー 借上げ
標識車 3台

(武生基地)

散水車 10,000ℓ
散布兼除雪車 10tトラック ワンウェイ+散布機
除雪車 10tトラック ワンウェイ+サイド付
除雪車 10tトラック ワンウェイ
排雪車 2,000t/H ロータリー車
排雪車 ブレード巾3.7m モーターグレーダー 借上げ
排雪車 ブレード巾3.7m モーターグレーダー 借上げ
標識車 1台

4. 電々公社 福井電気通信部の活動

県内の電気通信施設の被害は、総額3億7千万円に達したが、迅速な復旧作業等が効を奏し、県内の電気通信サービスは、ほぼ正常に維持することができた。

また、停電中や交通途絶地区においても、電話による連絡が保たれたので、孤立地域の住民に安心感を与えることができた。

このように、未曾有の豪雪にもかかわらず、安定した電気通信サービスを提供することができたのは、38豪雪の数訓を活かした次の諸施策の推進によるところが大きい。

1. ケーブルのプラスチック化及び地下埋設化
2. 市外伝送路の有線及び無線による2ルート化、多ルート化
3. 加入者引込線等の宅内設備の改善
4. 移動無線及び孤立防止用無線の整備、拡充
5. 移動電源車、雪上車、梯子車等の機動力の充実
6. 災害に備えての防災訓練の強化

(1) 雪害復旧状況

(イ) 雪害対策本部の設置

福井県地方は、12月26日夜から本格的な雪となり、27日も降り続いたため、県内各地で交通は渋滞し、市民生活に影響するとともに、電気通信施設についても被害の発生が予想されるに至った。

このため、福井電気通信部は、「福井電気通信部災害対策措置要領」にもとづき、12月28日正午を期して情報連絡室を設置した。そして県内の全電報電話局との情報連絡を密にするとともに、被害状況の早期把握と迅速な対応に当ることとした。

しかし、雪は降り続き、翌29日には勝山市北谷町で2mを超える豪雪となったのをはじめ、福井市でも70cmを超える積雪となり、県内各地の交通網はまひ状態となった。

また、雪による加入者宅内及びケーブル障害が多発し、拡大が予想されたことから、午後4時には福井電気通信部の情報連絡室を雪害対策本部に切替えるとともに、管内各地の電報電話局も相次いで雪害対策本部を設置し、復旧要員の確保及び復旧資材の手配を行い、電気通信サービスの確保に万全を期した。

しかし、1月中旬には豪雪もようやく小康状態となり、復旧作業も峠を超えたので、福井電気通信部をはじめ各局とも逐次、雪害対策本部を情報連絡室に切替え、1月26日にはこれらもすべて廃止した。

(ロ) 応急復旧作業

(a) 線路宅内部門

被害を受けたケーブル線路及び加入者宅内設備等に対する復旧作業は、関係工事会社の協力を得るとともに、管内の各機関はその総力を結集し復旧に努めた。また交通事情が悪いため、復旧作業のほとんどは徒歩によらざるを得なかった。さらに、積雪が軒先まで達しているため、保安器や公衆電話ボックスの掘り出しに苦勞したほか、ケーブル線を倒壊させた樹木の伐採には多くの危険を伴ったうえ、要員稼動も多数を必要とした。

また、屋根の雪下し作業や除雪作業が活発化するとともに、これらによる加入者引込線等の損傷事故が続発したため、その修理作業は繁忙を極めた。

(b) 機械部門

電話交換機等に対する被害は皆無であったが、山間部等にある無人の電話交換局（総計85局）においては、停電が相次いだため、蓄電池容量の不足による交換機能の停止が予想された。

このため、孤立防止用無線の運用開始を行って万一に備えたほか、移動電源車及び携帯用発動発電機を長期停電局に配備して電気通信サービスの確保に努めた。

(2) 電気通信サービスの状況

(イ) 電報サービス

豪雪にもかかわらず電報サービスは正常に確保されたが、配達員は積雪のためすべて徒歩により、また配達不能の地域には電話託送により配達した。

また、豪雪期間中における着信電報数は、平常日に比し約90%の増加をみたが、これは見舞電報の急増によるものであった。

なお、大野市及び隣接する市町村（勝山市、池田町、美山町、和泉村）については、災害救助法が適用されたため、電報料の減免措置を実施した。(56.1.17～56.1.20)

(ロ) 100番通話及び案内サービス

豪雪期間中における100番通話及び案内サービスの取扱数は、平常日に比し、それぞれ約50%及び30%増加し、12月29日のピーク時には平常日に比し何れも約2倍の取扱数に達したが、これらのサービスは、ほぼ正常に運営された。

また、案内台への問い合わせ先は、交通機関、公共機関や石油・ガス・金物店などが目立っていた。

(ハ) 公衆電話サービス

連日にわたる交通機関の混乱のため、駅構内等における公衆電話の利用度は著しく高くなった。一方、街頭のボックス公衆電話は雪に埋まり、利用困難となったため、連日職員が総出でその掘り出しに当たった。また、町内会等、地域の人々の協力を得たところも多かった。

さらに大野市黒谷地区において、雪崩の危険のため、住民が近くの老人福祉センターに避難したので、無料扱いの公衆電話を設置しその利便を図った。(56.1.17～56.1.21)

(ニ) ダイヤル通話サービス

豪雪期間中における市内及び市外のダイヤル通話は、交通途絶の影響や見舞通話などにより、相当数の増加を見たが、停電の続いた地域も含め、サービスは正常に提供された。屋根の雪下し等による引込線の断線事故などにより、9,941件の故障の申告があったが、交通途絶地域や全面的な交通まひ期間を除いては、ほとんど2日以内で修理し、回復した。

なお、1加入当りの故障発生率は、設備の改善等によって、38豪雪時に比べ約1/5となっており、上記の故障の大部分は福井、鯖江、武生の3地区で占められている。

故障件数（局別）

（期間 12月27日～1月25日）

局別	福井	大野	勝山	丸岡	三国	武生	鯖江	敦賀	小浜	計
故障件数	3,256	765	461	510	190	1,626	2,208	712	212	9,941

故障件数の38豪雪時及び平常時との比較

項目 \ 期別	56 豪 雪	38 豪 雪	平常時(54年度)
故 障 件 数	9,941	7,702	21,670
加 入 数	242,500	37,550	236,721
100加入当り故障件数	4.1	20.5	0.77
上 記 の 対 象 期 間	12月27日～1月25日	1月15日～2月10日	1 年 間

5. 国鉄（金沢鉄道管理局管内）の活動

55年12月27日夜半から降り始めた雪は、福井、富山地区に集中し、とくに28日夜半から29日早朝にかけて降雪が100cmを超え、さらに雪質の湿度が高かったため、電気列車のパンタグラフ降下及び転てつ器の転換不能が多発した。一方、他の交通機関も不通となり除雪協力員の確保に困難をきたし、29日早朝には北陸本線全線にわたり列車が運転不能となった。

これより先、12月28日本局に雪害対策本部を設置し、局員を福井、富山地区に緊急派遣するとともに、ラッセル車、ロータリー車などにより懸命の除雪作業を行った結果、30日12時に約31時間ぶりに北陸本線は全線開通した。

年始はやや小康状態が続いたが、5日には再び福井地区を中心に大寒気団が停滞し、雪は降り続き「38豪雪」以上の積雪を記録し、とくに今庄～福井駅間は完全に雪に埋まり、列車は運転不能となった。

このため、DD14ロータリー車など排雪列車のフル運転と除雪要員4,500名を投入し懸命の除雪作業を行った結果、8日1時26分約45時間ぶりに開通した。

その後、10日夜半から第3波の大寒気団が南下し、17日夜半まで停滞したため、管内全般に豪雪となり、とくに敦賀地区においても「38豪雪」を上回った降雪のため、雪による列車脱線事故や、敦賀第2機関区検修車庫の倒壊、各駅ホーム屋根雪が強度の限界に達するなどの障害が続出したが、除排雪作業の結果、16日1時35分約53時間ぶりに北陸本線全線が開通した。

さらに、2月25日には、北陸地方に今冬最大の寒気団が襲来し、27日まで停滞したため、2月26日には、輪島上空500ミリバールの気温がマイナス45℃となり、敦賀、金沢等ではマイナス5.5℃まで低下し、猛吹雪も伴なって、ポイント転換も思うにまかせず、今庄・敦賀間の506M列車衝突事故も加わり、北陸線のダイヤは混乱した。

一方、支線区においては、越美北線、高山本線、大糸線が不通となったが、2月6日21時、越美北線越前大野～九頭龍湖間の開通を最後に全線開通した。

(1) 除排雪作業の状況

① 排雪列車及び除雪機械の運転

56年冬の特徴として北陸本線、越美北線等にDD14ロータリー車を投入、更に盛岡局から1両借入れし、側雪処理にその能力を発揮したほか、モーターカーラッセル、同ロータリー等機械力を最大限に出動させ除排雪に努めた。

これらの稼動キロは、次のとおりである。

(a) 排雪列車及び除雪機械の運転キロ

年度別	運 転 キ ロ (km)		
	排 雪 列 車	除 雪 機 械	計
37 年 度	49,630	2,960	52,590
51 〃	37,447	22,844	60,291
52 〃	10,392	7,305	17,692
53 〃	1,234	1,974	3,258
54 〃	9,639	13,113	22,752
55 〃	37,975	23,568	61,543

(参 考) 排雪列車………DD14ロータリー、DD15、DE15ラッセル、複・単線ラッセル
除雪機械………MCラッセル、MCロータリー

(b) 主な線区別排雪列車運転本数

線区別	年度別	37年度	51年度	52年度	53年度	54年度	55年度
北陸本線		1,222	321	62	0	56	462
小浜線		42	42	8	0	6	50
越美北線		143	24	14	2	14	10
七尾線		222	82	10	0	32	40
能登線		46	2	0	0	0	0
城端線		70	60	8	0	16	50
高山本線		141	75	36	2	22	80
神岡線		—	50	12	2	20	0
大糸線		96	154	116	60	136	106
その他		186	78	24	0	14	50
計		2,168	888	290	66	316	848

(c) 除排雪列車運転状況(昭和55年度)

線 別	種 別	大 型 車			中小型車	計
		DD14ロータリー	DE15、DD15	その他	MCロータリーなど	
北陸本線	本 数	46本	416	0	967	1,429
	走行キロ	1,634 ^{km}	21,816	0	8,560	32,010
その他支線	本 数	22	244	120	1,207	1,593
	走行キロ	832	9,310	4,383	15,008	29,533
計	本 数	68	660	120	2,174	3,022
	走行キロ	2,466	31,126	4,383	23,568	61,543

(d) 雪捨列車運転箇所及び回数(昭和55年度)

駅	敦 賀	南 福 井	福 井	金 沢	その他8駅	合 計
運 転 回 数	51	150	54	73	176	504
延 べ 両 数	293	1,222	265	365	641	2,786

(参 考) 昭和37年度 運転回数 6,421回、延べ両数 46,873両

(ロ)除雪要員

除雪機械の活用と除雪協力員の動員により、正常運転の確保に努めた。

年度別	項目	職 員	協 力 員	自衛隊その他	計
37年度		147,229人	332,911人	50,074人	530,214人
51	〃	34,450	138,568	0	173,018
52	〃	10,174	36,018	0	46,192
53	〃	1,140	3,323	0	4,463
54	〃	13,166	42,856	0	56,022
55	〃	27,644	116,633	15,150	159,427

(2) 除雪列車運行状況（福井県関係）

月 日	線 名	区 間	回 数	走 行 料
12月27日	北 陸 本 線	敦 賀 ～ 長 浜	2 回	80 km
〃	越 美 北 線	南福井 ～ 九頭竜湖	2	110
28日	北 陸 本 線	南福井 ～ 敦 賀	2	120
29日	〃	〃	7	199
〃	〃	敦 賀 ～ 長 浜	2	48
30日	〃	〃	2	77
〃	〃	南福井 ～ 敦 賀	6	291
〃	〃	金 沢 ～ 南福井	9	451
31日	〃	南福井 ～ 敦 賀	4	240
〃	〃	敦 賀 ～ 長 浜	4	154
〃	小 浜 線	敦 賀 ～ 小 浜	2	99
1月2日	北 陸 本 線	敦 賀 ～ 南福井	2	80
3日	〃	敦 賀 ～ 長 浜	2	47
〃	〃	敦 賀 ～ 南福井	2	107
〃	〃	金 沢 ～ 南福井	4	157
4日	〃	敦 賀 ～ 長 浜	2	77
〃	〃	南福井 ～ 敦 賀	2	105
〃	小 浜 線	敦 賀 ～ 小 浜	4	72
5日	北 陸 本 線	敦 賀 ～ 長 浜	4	133
〃	〃	敦 賀 ～ 南福井	6	315
〃	〃	金 沢 ～ 南福井	6	201
〃	小 浜 線	敦 賀 ～ 小 浜	2	36
6日	北 陸 本 線	敦 賀 ～ 長 浜	4	147
〃	〃	南福井 ～ 敦 賀	3	157
〃	〃	金 沢 ～ 南福井	7	184
〃	小 浜 線	敦 賀 ～ 小 浜	3	106
7日	北 陸 本 線	敦 賀 ～ 長 浜	4	154
〃	〃	南福井 ～ 敦 賀	2	112
〃	〃	金 沢 ～ 南福井	6	250





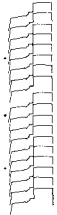



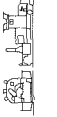
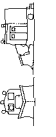
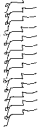
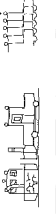

月 日	線 名	区 間	回 数	走 行 料
1月7日	小 浜 線	敦 賀 ~ 小 浜	2 回	99 ^{km}
8日	北 陸 本 線	敦 賀 ~ 南福井	3	198
"	"	金 沢 ~ 南福井	2	105
10日	"	敦 賀 ~ 長 浜	2	77
"	小 浜 線	敦 賀 ~ 小 浜	2	23
11日	北 陸 本 線	敦 賀 ~ 長 浜	6	231
"	"	南福井 ~ 敦 賀	5	210
"	"	金 沢 ~ 南福井	14	539
"	小 浜 線	敦 賀 ~ 小 浜	2	99
"	越 美 北 線	南福井 ~ 九頭竜湖	2	40
12日	北 陸 本 線	敦 賀 ~ 長 浜	6	231
"	"	南福井 ~ 敦 賀	4	236
"	"	金 沢 ~ 南福井	2	93
"	小 浜 線	敦 賀 ~ 小 浜	4	198
13日	北 陸 本 線	敦 賀 ~ 長 浜	8	192
"	"	南福井 ~ 敦 賀	6	190
"	"	金 沢 ~ 南福井	3	125
"	小 浜 線	敦 賀 ~ 小 浜	4	198
14日	北 陸 本 線	敦 賀 ~ 長 浜	4	99
"	"	南福井 ~ 敦 賀	6	235
"	"	金 沢 ~ 南福井	6	250
"	小 浜 線	敦 賀 ~ 小 浜	3	118
15日	北 陸 本 線	敦 賀 ~ 長 浜	6	87
"	"	南福井 ~ 敦 賀	10	563
"	"	金 沢 ~ 南福井	7	302
"	湖 西 線	敦 賀 ~ 米 原	1	3
16日	北 陸 本 線	敦 賀 ~ 長 浜	4	169
"	"	南福井 ~ 敦 賀	2	118
"	"	金 沢 ~ 南福井	6	252
"	小 浜 線	敦 賀 ~ 小 浜	3	149
17日	北 陸 本 線	敦 賀 ~ 長 浜	4	154
"	"	南福井 ~ 敦 賀	4	209
"	"	金 沢 ~ 南福井	4	157
"	小 浜 線	敦 賀 ~ 小 浜	2	99
18日	北 陸 本 線	敦 賀 ~ 長 浜	2	77
"	"	南福井 ~ 敦 賀	2	105
19日	"	敦 賀 ~ 長 浜	4	111
"	"	南福井 ~ 敦 賀	2	105
"	"	金 沢 ~ 南福井	4	157
"	湖 西 線	敦 賀 ~ 米 原	1	3
20日	北 陸 本 線	敦 賀 ~ 長 浜	3	115
"	"	南福井 ~ 敦 賀	4	230

月 日	線 名	区 間	回 数	走 行 料
1月20日	北 陸 本 線	金 沢 ~ 南福井	2 回	64 km
21日	"	敦 賀 ~ 長 浜	3	105
"	"	南福井 ~ 敦 賀	2	105
"	"	金 沢 ~ 南福井	6	250
"	小 浜 線	敦 賀 ~ 小 浜	2	99
22日	北 陸 本 線	敦 賀 ~ 長 浜	4	89
"	"	南福井 ~ 敦 賀	3	157
"	"	金 沢 ~ 南福井	2	93
"	小 浜 線	敦 賀 ~ 小 浜	3	131
"	越 美 北 線	南福井 ~ 九頭竜湖	2	64
23日	北 陸 本 線	敦 賀 ~ 近江塩津	1	14
"	"	金 沢 ~ 南福井	2	93
"	湖 西 線	敦 賀 ~ 米 原	2	36
24日	北 陸 本 線	敦 賀 ~ 新疋田	1	1
25日	敦 賀 港 線	敦 賀 ~ 敦賀港	1	4
26日	北 陸 本 線	敦 賀 ~ 長 浜	2	77
"	"	南福井 ~ 敦 賀	2	105
"	"	金 沢 ~ 南福井	4	157
"	小 浜 線	敦 賀 ~ 小 浜	2	99
"	敦 賀 港 線	敦 賀 ~ 敦賀港	1	3
28日	越 美 北 線	南福井 ~ 美 山	1	44
30日	"	南福井 ~ 越前大野	1	55
"	敦 賀 港 線	敦 賀 ~ 敦賀港	1	1
31日	越 美 北 線	南福井 ~ 越前大野	1	7
2月6日	"	越前大野 ~ 九頭竜湖	1	22
25日	北 陸 本 線	敦 賀 ~ 長 浜	2	77
"	"	南福井 ~ 敦 賀	2	105
"	"	金 沢 ~ 南福井	2	65
"	小 浜 線	敦 賀 ~ 小 浜	2	77
26日	北 陸 本 線	敦 賀 ~ 長 浜	4	124
"	"	南福井 ~ 敦 賀	2	56
"	"	金 沢 ~ 南福井	2	157
"	小 浜 線	敦 賀 ~ 小 浜	2	99
27日	北 陸 本 線	敦 賀 ~ 長 浜	2	77
"	"	南福井 ~ 敦 賀	2	56
"	"	金 沢 ~ 南福井	2	157
"	小 浜 線	敦 賀 ~ 小 浜	2	99

38 豪雪との除雪能力比較

(38年)

(56年)

		計 27 組		計 29 両	
除 雪 車 両	大型車両	ロータリー + マックレー + ジョルダン	  2 組	 2 両	
		単線ラッセル	 17 両	 18 両	
		複線ラッセル	 8 両	 3 両	
			計 8 両	計 64 両	
中 小 型 車 両		M.C.ロータリー	 1 両	 27 両	
		M.C.ラッセル	 2 両	 13 両	
		そ の 他	 5 両	 24 両	
地 上 設 備	ポイントの 消融雪用	電 気 融 雪	計 607 箇所	計 1,755 箇所	
	構内除雪用	流 雪 溝	33,600 m	280 箇所	
	除雪人員	投 入 実 績	53 万人	263 箇所	1,212 箇所
				56,700 m	
					16 万人

(3) 越美北線線路復旧状況

56年冬の豪雪では、特に越美北線での輸送障害が著しく、和泉村の長期間におよぶ孤立状態の大きな一因となった。

月 日	状 況	開通月日
12月28日	美山 ~ 九頭竜湖間 全面運転休止	
1月6日	南福井 ~ 越前東郷間 6 往復運転 全面運転休止	1月3日
1月15日	南福井 ~ 美山間 3 ~ 6 往復運転 全面運転休止	1月10日
	南福井 ~ 越前東郷間 4 往復運転 全線開通	1月21日 2月6日

6. 近畿地建 福井工事事務所の活動

(1) 56豪雪における対策

12月26日から降り始めた雪は、12月31日には一時小康状態になったが、再び1月3日からの寒波は県下全域におよび、特に年末年始の帰省時期とあつて、国鉄、私鉄が運休続出の影響から、車に依存するようになったこと、これに加え、北陸自動車道が一時交通閉鎖となったため、国道8号線への迂廻した車両等によって交通量が増大した。

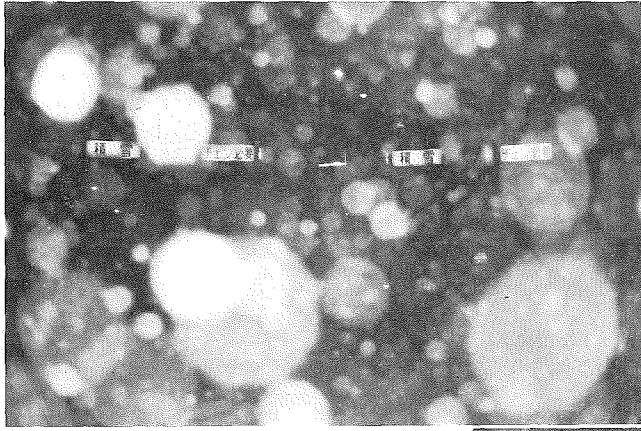
対策部は、現有車両46台、民間借上げ、ピーク時69台をフル稼働させ除雪作業に努めた。しかし、国道から県道、市道への進入が出来ないために渋滞したり、56年冬初めての寒波とあつてタイヤチェーン等の無装備車両が多く、横転事故等により、交通渋滞になお一層の拍車をかけ、除雪作業に困難をきたした。

平野部の特に市街地においては、除雪帯がなく、ショベル、ダンプトラック等による排雪作業が主となった。また、車両の渋滞のほか、故障車や車庫に入庫できずに放置された車両が雪に埋まって、除雪作業に困難をきたした。

山間部においては、消雪設備（約35.7km）が完成しているため、その効果が発揮され、除雪作業が大巾に省力化され、その余力が平野部に集中された。

また、山間部においては雪崩の恐れが発生したため、なお一層のパトロールを図り、特に危険な箇所においては、監視員（職員）を配置する一方、法面及び雪庇の搔落し、防護柵内の排雪等を人力、リフト車、クラムシェル等によって行った。

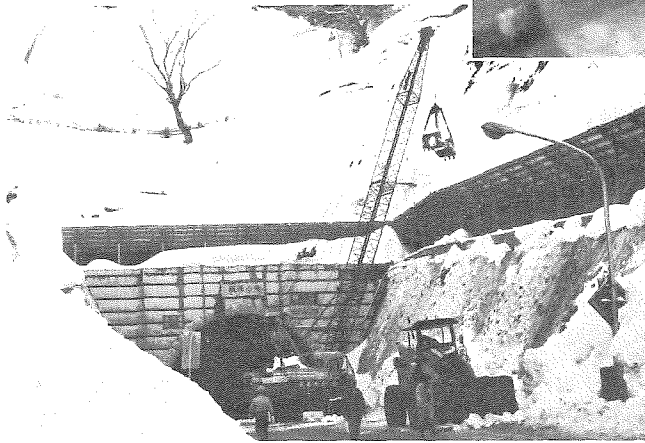
雪崩の発生は、約 2,000m³の大規模なものを始め、10~100 m³程度のものが、方々で10数回発生したが、事前に通行止の処置を取ったため、一般通行車の安全は確保された。



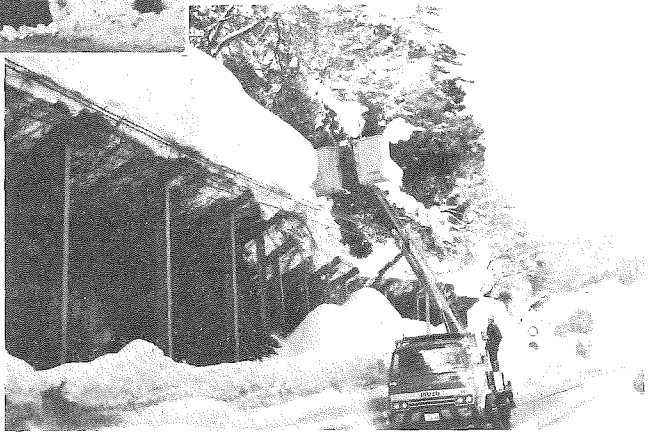
A型情報板(敦賀市疋田)



ロータリー車での拡幅作業



クラムショル作業



リフト車を使っでの雪庇の搔落作業

雪寒態勢人員及び除雪機械稼働台数

日	雪 寒 人 員					除 雪 機 械 稼 働 台 数									
	福井工 事務所	福 井 出張所	敦 賀 出張所	小 浜 出張所	計	福 井			敦 賀			小 浜			合計
						貸付	借上	計	貸付	借上	計	貸付	借上	計	
12月27日	2	4	7	2	15	10	0	10	11	3	14	0	0	0	24
28	2	4	3	2	11	11	3	14	3	1	4	0	0	0	18
29	5	11	6	2	24	12	7	19	12	0	12	2	0	2	33
30	6	11	6	2	25	12	18	30	14	1	15	3	0	3	48
31	6	9	8	2	25	10	16	26	12	4	16	4	0	4	46
1月1日	9	11	5	2	27	11	3	14	5	13	18	0	0	0	32
2	2	3	2	2	9	13	15	28	5	12	17	0	0	0	45
3	4	9	2	2	17	12	15	27	15	12	27	1	0	1	55
4	2	4	5	2	13	15	17	32	19	11	30	2	0	2	64
5	5	9	8	2	24	16	17	33	18	19	37	4	0	4	74
6	5	9	15	2	31	17	31	48	16	36	52	3	0	3	103
7	4	10	17	3	34	15	17	32	14	26	40	2	0	2	74
8	2	3	5	1	11	15	14	29	9	43	52	1	0	1	82
9	2	3	5	1	11	16	20	36	8	27	35	1	1	2	73
10	3	9	5	2	19	17	31	48	14	15	29	1	1	2	79
11	5	8	9	3	25	17	23	40	19	1	20	5	0	5	65
12	4	9	8	2	23	16	29	45	20	15	35	6	1	7	87
13	4	8	16	3	31	15	23	38	20	45	65	6	1	7	110
14	4	9	17	3	33	14	32	46	19	32	51	6	6	12	109
15	4	8	16	3	31	14	33	47	18	32	50	4	5	9	106
16	4	9	14	4	31	15	32	47	18	31	49	4	3	7	103
17	4	9	16	4	33	14	31	45	17	22	39	3	3	6	90
18	4	7	10	3	24	8	19	27	11	28	39	3	8	11	77
19	3	6	13	3	25	12	39	51	9	26	35	5	0	5	91
20	3	6	7	2	18	12	26	38	13	17	30	7	0	7	75
21	3	6	8	2	19	12	36	48	17	19	36	7	0	7	91
22	3	6	7	2	18	14	33	47	14	22	36	5	0	5	88
23	3	6	7	2	18	11	34	45	8	20	28	2	3	5	78
24	3	6	6	2	17	9	28	37	3	17	20	1	0	1	58
25	2	6	6	2	16	10	33	43	10	9	19	2	0	2	64
26	3	6	5	2	16	8	31	39	9	14	23	3	0	3	65
27	2	6	5	2	15	6	31	37	14	15	29	4	3	7	73
28	2	6	3	2	13	6	20	26	7	15	22	1	0	1	49
29	2	3	3	2	10	5	32	37	6	18	24	1	0	1	62
30	2	3	3	2	10	5	16	21	7	24	31	0	0	0	52
31	1	3	1	2	7	4	5	9	8	18	26	0	0	0	35
計	124	245	279	81	729	429	810	1,239	442	663	1,105	99	35	134	2,478

日	雪 寒 人 員					除 雪 機 械 稼 働 台 数									合計
	福井工務 事務所	福 井 出張所	敦 賀 出張所	小 浜 出張所	計	福井出張所			敦賀出張所			小浜出張所			
						貸付	借上	計	貸付	借上	計	貸付	借上	計	
2月1日	1	3	1	1	6	10	7	17	5	1	6	0	0	0	23
2	1	1	1	1	4	0	4	4	4	0	4	0	0	0	8
3	2	3	3	1	9	12	4	16	8	6	14	0	0	0	30
4	2	3	3	2	10	11	2	13	8	1	9	2	0	2	24
5	2	3	1	1	7	9	2	11	6	1	7	0	0	0	18
6	1	1	1	1	4	6	0	6	6	1	7	0	0	0	13
7	1	1	1	1	4	6	0	6	4	0	4	0	0	0	10
8	1	1	1	1	4	6	0	6	1	0	1	0	0	0	7
9	1	1	1	1	4	3	0	3	2	0	2	1	0	1	6
10	2	3	3	2	10	11	0	11	6	1	7	0	0	0	18
11	2	3	3	2	10	10	0	10	8	0	8	4	0	4	22
12	1	1	1	1	4	5	0	5	1	0	1	0	0	0	6
13	1	1	1	1	4	2	0	2	3	2	5	0	0	0	7
14	1	1	1	1	4	2	0	2	4	0	4	0	0	0	6
15	1	1	1	1	4	1	0	1	1	0	1	0	0	0	2
16	1	1	1	1	4	3	0	3	6	0	6	1	0	1	10
17	1	1	1	1	4	4	0	4	3	0	3	0	0	0	7
18	1	1	1	1	4	4	0	4	0	0	0	0	0	0	4
19	1	1	1	1	4	3	0	3	2	0	2	0	0	0	5
20	1	1	1	1	4	2	0	2	1	0	1	0	0	0	3
21	1	1	1	1	4	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2
22	1	1	1	1	4	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1
23	1	1	1	1	4	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2
24	1	1	1	1	4	5	0	5	5	0	5	3	0	3	13
25	3	3	2	2	10	12	1	13	17	0	17	7	0	7	37
26	3	8	5	2	18	14	3	17	17	1	18	7	0	7	42
27	2	3	3	2	10	14	4	18	16	1	17	7	0	7	42
28	1	1	1	1	4	4	2	6	7	0	7	3	0	3	16
3月1日	1	1	1	1	4	4	4	8	1	0	1	1	0	1	10
2	1	1	1	1	4	3	1	4	3	0	3	1	0	1	8
3	1	1	1	1	4	4	2	6	2	0	2	0	0	0	8
4	1	1	1	1	4	4	1	5	—	0	0	0	0	0	5
5	1	1	1	1	4	6	1	7	1	0	1	0	0	0	8
6	1	1	1	1	4	6	1	7	2	0	2	1	0	1	10
7	1	1	1	1	4	5	1	6	—	1	1	0	0	0	7
8	1	1	1	1	4	4	1	5	1	0	1	0	0	0	6
9	1	1	1	1	4	5	0	5	1	0	1	0	0	0	6
10															

7. 北陸電力榑福井支店の活動

降雪期を前にして、例年停電事故などを未然に防止するため、雪害対策計画書にのつとり、保守・点検・整備を実施してきた。

しかし、今回の年末年始にかけての湿つたドカ雪は、今まで経験したことのない異常着雪と未曾有の樹木の折損と倒壊をもたらし、当社設備も電柱折損、高低圧線の断線など雪害としてはかつてない甚大な被害を受けた。

12月26日から発雷も多くなり、徐々に被害が出はじめたため、福井支店内に12月27日雪害対策本部を設置するとともに、各現業機関にも対策支部をそれぞれ設置し、社員はもとより関係業者をも動員し、事故復旧に全力をあげたが道路状況は極端に悪く、機動力は殆んど使用できず、特に事故が多発した山間部では雪崩の発生に注意しながら、雪中ラッセルで倒木を除去しての事故探査、復旧作業など難渋をきわめた。

しかし、日夜をわかつたぬ懸命の復旧作業により、停電を最少限にくいとめることができた。

(12月27日～1月8日 福井支店雪害対策本部設置)
(1月9日～1月12日 警戒体制を敷く)

また、降雪期は配電線等の断線事故が多いので、例年公衆の電気事故防止のためのテレビ・ラジオ・新聞等による広報を行ってきているが、今回の豪雪による停電事故は未曾有のものであり、従来のテレビ・ラジオの提供番組の中ではもちろんのこと、各報道機関に電力設備の被害状況、復旧状況を逐次提供するとともに、特に年末の最降雪期には停電区域が広範囲にわたったので、ラジオを通じ復旧状況、復旧見込、感電防止等を直接訴えた。

停電区域では通常の場合、広報車によりその状況を知らせているが、今回の場合は道路網が寸断され広報車の使用は一部にとどまったため、市町村役場、区長宅を通じその協力を得て広報した。



朝日町上糸生(55. 12. 30)



越前町梅浦地籍(55. 12. 30)

8. 関西電力(株)小浜営業所の活動

関西電力(株)小浜営業所管内は、三方郡が敦賀に準ずる雪量となったほかは、特に例年を上回るものではなかった。配電被害状況は高圧線2件、変圧器以下不点3件、引込線関係38件であり、特に12月30日からの雪は、比重0.315の重いベタ雪のため被害につながった。

雪害は例年になく頻発し、山頂無線中継所等へ重大な被害をもたらしたのが若狭地方の特徴であった。

小浜営業所では、38年、50年等過去の雪害による配電線事故を教訓に、次のような対策を行った。

1. 配電線に接近した樹木の徹底した伐採の実施
2. 既設の山間部経過線路については、計画的に道路沿いに移設改修し雪害防止を計るとともに、復旧時間の短縮を計った。
3. 新設線路は雪による支持物損傷、樹木接触等の危険性のある個所は可能な限り避け、経間についても支持物電線の影響を考慮するとともに難着雪電線、腕金の強度化等を計り雪害による事故の防止を行った。
4. 引込線は屋根の雪づり、樹木等他物要因による被害防止のため最良の引込線取付位置を考慮し施設した。

9. 京福電気鉄道(株)福井支社の活動

今冬の降雪は、一時的に集中したため、京福電鉄(株)福井支社が保有するロータリーラッセル車1台、電気機関車ラッセル2台、モーターカーラッセル車1台では、人力除雪を加えなければ能力発揮が不可能であった。

これにあわせて沿線樹木の折損、民家・工場・倉庫など構築物の屋根雪おろしでの線路閉鎖事故が続出し、除雪活動の大きな障害となった。

(1)除雪人員

昭和55年12月28日から昭和56年2月9日までの除雪延人員数

自衛隊の応援(1/9～1/15)	1,618人
本社からの応援(1/14～2/4)	241人
支社従業員	4,393人
傍系関係19社からの応援	309人
京福OB	47人
地元除雪協力隊	1,524人
請負業者その他	383人

計 8,515人



支社従業員による除雪
(越前竹原～小舟渡間56. 1. 30)



傍系企業の応援隊による除雪
(保田～発坂間 56. 1. 31)



手作業を終了しラッセル車の運転を待つ
発坂切割(発坂～勝山間56. 2. 3)

(2)除雪列車運行状況調

項目 日	電気機関車ラッセル	走行杆	モータ・カーラッセル	走行杆	ロータリー車ラッセル	走行杆	走行杆合計
55 12/28	勝山～東古市～市野々～東古市～勝山～島橋～勝山～福井口～比島	136.8	福井口～西福井～福井口～勝山～福井口	58.2	—————		195.0
29	—————		福井口～芦原～福井口	40.0	—————		40.0
30	福井口～芦原～福井～開発～福井口～西福井～福井～福井口	53.4	福井口～福井～芦原～福井口	43.0	福井口～福井～福井口	3.0	99.4
31	—————		福井口～西福井～福井～福井口	8.6	福井口～新福井～福井口	2.0	10.6
56 1/1	福井口～福井～福井口～福井～福井口	6.0	福井口～松岡～福井口～芦原～福井～福井口	56.8	福井口～松岡～福井口	13.8	76.6
2	—————		福井口～松岡～福井口	13.8	福井口～追分口～福井口	5.8	19.6
3	福井～西長田～福井～福井口～福井～福井口	30.9	福井口～東古市～福井口	18.8	福井口～越前野中	14.2	63.9
4	福井～東古市～福井～福井口～福井	24.8	福井口～東古市～福井口	18.8	福井口～東古市～光明寺	11.2	54.8
5	福井～西長田～福井～西長田～福井～鶯塚針原～福井口～東古市	80.3	—————		東古市～福井口	9.4	89.7
6	東古市～福井口～東古市～志比塚～東古市～志比塚～東古市～福井口～東古市～福井口	53.4	—————		—————		53.4
7	福井口～開発～福井口	1.8	福井口～芦原～福井口	40.0	—————		41.8
8	福井口～観音町～福井口～東古市～福井口	34.0	—————		福井口～新田塚	4.9	38.9
9	福井口～東古市～福井～福井口～福井～東古市～福井～福井口～福井～福井口～福井～西長田～福井	111.8	—————		福井口～福井	1.5	113.3
10	福井～東古市～福井	21.8	—————		福井口～東古市	9.4	31.2
11	福井～本荘～福井～東古市～福井～福井口～福井～芦原～福井～東古市～福井	127.4	—————		東古市～福井口	9.4	136.8
12	福井～東古市～福井口～中角～福井	33.6	—————		福井口～東古市～光明寺	11.2	44.8
13	福井～東古市～福井口～芦原～福井口～西長田～福井～轟	96.4	—————		東古市～越前野中	3.3	99.7
14	轟～福井～轟～福井	42.6	福井口～福井～福井口	3.0	轟～越前野中	1.5	47.1
15	福井～芦原～福井口～志比塚～福井	58.6	—————		轟～山王	3.0	61.6
16	福井～西福井～福井口～松岡～福井	22.4	—————		—————		22.4
17	福井～芦原～福井口～松岡	48.4	—————		—————		48.4
18	松岡～福井	8.4	—————		—————		8.4
19	福井～西長田～福井口～松岡～福井口	38.7	—————		山王～光明寺	4.5	43.2
20	—————		—————		光明寺～東古市～福井口	11.2	11.2
21	福井～芦原～福井口～福井	43.0	—————		—————		43.0
22	福井～山王～福井	34.4	—————		福井口～新田塚～福井口	9.8	44.2
23	—————		—————		福井口～福井～福井口	3.0	3.0
24	—————		—————		福井口～福井～開発	3.9	3.9
25	福井～山王～福井	34.4	福井口～福井～福井口	3.0	福井口～越前新保～福井口	3.8	40.0

項目 日	電気機関車ラッセル	走行軒	モータ・カーラッセル	走行軒	ロータリー車ラッセル	走行軒	走行軒合計
26	福井～山王～福井口	32.9	—————		福井口～山王～福井口	31.4	64.3
27	福井口～福井	1.5	—————		山王～越前竹原	2.1	3.6
28	福井～越前竹原	19.3	—————		越前竹原横内	0	19.3
29	越前竹原～山王～越前竹原～福井	21.4	—————		越前竹原～小舟渡	1.9	23.3
30	福井～越前竹原	19.3	—————		越前竹原～保田	3.8	23.1
31	—————		—————		小舟渡～発坂	3.3	3.3
1	—————		—————		保田～発坂	1.4	1.4
2	越前竹原～発坂～福井口	28.2	—————		小舟渡～比島	5.2	33.4
3	福井口～発坂～福井口	46.0	—————		発坂～比島	1.9	47.9
4	福井口～東古市	9.4	—————		発坂～勝山～福井口	29.6	39.0
5	東古市～諏訪間～東古市	2.0	—————		福井口～市野々	13.5	15.5
6	東古市～京善～東古市	5.8	—————		—————		5.8
7	勝山～東古市～市野々～東古市	25.1	—————		東古市～永平寺	6.2	31.3
8	勝山～松岡～東古市～市野々～東古市～山王～勝山	47.0	—————		東古市～永平寺	6.2	53.2
9	勝山～東古市～勝山 東古市～永平寺～東古市	46.2	—————		東古市～永平寺	6.2	52.4
	12月分走行軒	190.2		149.8		5.0	345.0
	1月分 #	1,047.5		154.2		177.3	1,379.0
	2月分 #	209.7		0		70.2	279.9
	合計	1,447.4		304.0		252.5	2,003.9

10. 福井鉄道株の活動

(1) 鉄道関係

(イ) 鉄道の除雪対策について

(a) 基本方針

列車の運行を確保するため、降雪時の状況に応じ除雪機械の計画的な運行を図るものとし、機械除雪によりがたい箇所の除雪および機械除雪の効果をあげ、またはその不足を補うために鉄道除雪協力会員による人力除雪を併用する。雪害時において最悪の場合でも必要最少限の通勤通学時の列車運転を確保する。

(b) 除雪体制の確立

(a)の基本方針に従い、降雪時の列車の安全運転を確保するため社内除雪会議を開催し、詳細な打合せを行い趣旨の徹底を図った。

(ロ)本年の豪雪について

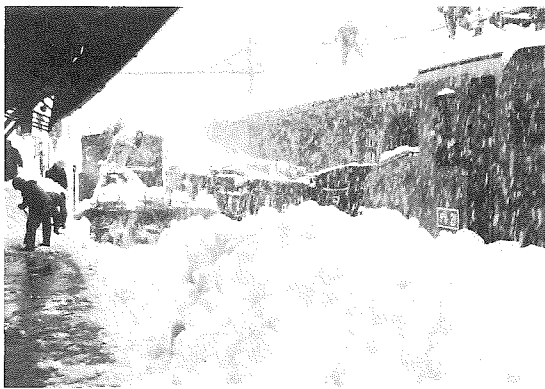
年末から1月中旬にかけて、三波に亘って猛威をふるったいわゆる“56”豪雪は、“38”豪雪を上回るものとなり、予想以上の大きな被害を受けた。

(a)降雪の状況

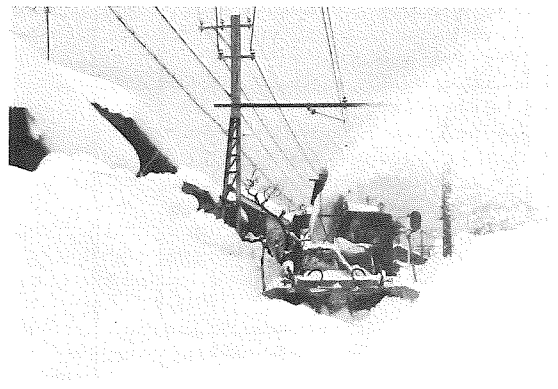
12月27日から降り始めた雪は年内、1月上旬、中旬と三波に亘る大雪となり、1月末までの降雪量の累計は490cmにも及んだ。又、この雪は稀にみる水分の多いものであり、立木や電線着雪となり、倒木が架線にのしかかるもの、線路に倒れるものが続出して、除雪作業を妨害した。

(b)対応の状況

以上の様な気象条件の中で社長を本部長とする豪雪対策本部を本社に設置し、列車運転の確保と被害を最少限におさえるための努力を行った。



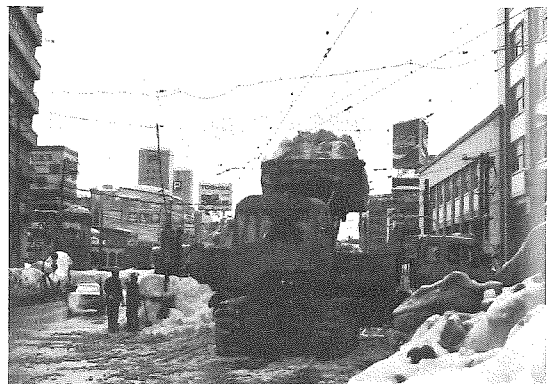
西鯖江駅構内をロータリー車により貨車積し雪捨列車を運転 (56. 1. 17)



民間の屋根雪で一杯の軌間をロータリー車にて除雪 (武生新～西武生駅間56. 1. 18)



自衛隊の協力による段積による除雪作業 (56. 1. 14西鯖江構内転轍器付近)



福井市役所前停留所付近のブルドーザによる排雪作業 (56. 1. 20)

(2)自動車関係

(イ)冬期に於ける運行確保対策の確立

- (1)パトロール要員の配置と任務の決定
 - (2)構内除雪、折返し場所の除雪のための機械の手配及び業者との契約
 - (3)主要地点への連絡方法の確認
 - (4)土木事務所等道路管理者との除雪計画の打合せ
 - (5)運行確保の優先順位の決定
- 等、冬期運行対策を策定、営業所長会議のなかで主旨の徹底図った。

(ロ)今冬期に於ける運行状況と対応

- (1)構内の早期除排雪を行い、いつでも出庫できる体制を確保した。
- (2)早朝パトロールの実施により、安全確認を行うとともに支障箇所を確認し道路管理者へ連絡、除雪を依頼した。
- (3)主要路線に添乗員を乗せツーマンで運行確保に努めた。
- (4)道路管理者による除雪が不具合である箇所については従業員を派遣して人力で手直しを行いバス運行開始した路線もある。
- (5)停留所付近を除雪し、利用者の安全を確保した。

除排雪列車運行状況調 (モーターカーラッセル㊟、モーターカー・ロータリー㊠、ラッセル電車㊡、雪捨列車㊢)

月 日	ラッセル運行区間 (秆)			走行秆
	福 武 線	軌 道 線	南 越 線	
55. 12. 27	武生～福井 ㊟ 40 k	福井新～田原町 ㊡ 13 k	武生～粟田部 ㊡ 18 k	71 k
28	㊟ " 40	㊡ " 13	㊡ " 18	71
29	西武生～水落 ㊟ 14	西武生～水落 ㊠ 14		28
30		武生～神明 ㊠ 28		28
31	武生～鳥羽中 ㊟ 19	武生～鳥羽中 ㊠ 19		38
56. 1. 1	㊟ " 19			19
2	武生～花堂 ㊟ 34	神明～花堂 ㊠ 18	武生～北府 ㊡ 4	56
3	武生～福井 ㊟ 34	神明～福井 ㊠ 8	武生～粟田部 ㊡ 36	78
4	㊟ " 40	福井～木田 ㊠ 2	㊡ " 18	60
5	㊟ " 40	㊠ " 2	㊡ " 57	99
6	武生～神明 ㊟ 18	武生～神明 ㊠ 9		27
7	武生～木田 ㊟ 76	花堂～福井 ㊠ 2	武生～北府 ㊡ 4	82
8	㊟ " 40	福井 ㊠ 2	㊡ " 6	46
9	㊟ " 40	㊠ " 2	㊡ " 6	46
10	㊟40 ㊠2 ㊢56		武生～五分市 ㊡ 24	122
11	武生～福井 ㊟ 40	武生～福井 ㊠ 20	武生～北府 ㊡ 6	66
12	㊟ " 40	㊠ " 18		58
13	神明～木田 ㊟ 20	神明～木田 ㊠ 10		30
14	神明～福井 ㊟20 ㊠10 ㊢56			86
15	㊟20 ㊠10			30
16	鯖江～木田 ㊟26 ㊠10			36
17	武生～木田 ㊟40 ㊠20			60
18	㊟40 ㊠4 ㊢21			65
19	㊟80 ㊠4 ㊢35			119
20	㊟80 ㊠4 ㊢35			119
21	㊟40 ㊠4 ㊢35	福井～田原町 ㊡ 18		97
22	武生～福井 ㊟40 ㊠2	㊡ " 18		60
23	㊟40 "	㊡ " 18	武生 ㊡ 6	64
24	㊟40 "	㊡ " 12	武生～北府 ㊡ 8	60

56. 1 . 25			武生～北村 ㊦30	30
26	武生～福井 ㊦40	福井～田原町 ㊦18	武生～栗田部 ㊦36	94
27	武生 ㊦25		㊦36 "	61
28	" ㊦25			25
29	" ㊦25			25
30	神明 ㊦20 ㊦40			60
2 . 2	西武生 ㊦5			5
7	武生 ㊦5			5
9	" ㊦5			5
10	神明 ㊦20			20
25	武生～福井 ㊦40	福井～田原町 ㊦14	武生～栗田部 ㊦18	72
26	" ㊦40	㊦14 "	㊦18 "	72
27	" ㊦40	㊦21 "	㊦18 "	79
合 計				2,374 k

運休状況

運行状況			全 運 休	1 部 の み 運 行	約 半 数 運 行	ほ ぼ 平 常 運 行 に 回 復 し た 月 日	記 事
区分							
乗 合 バ ス	嶺 北		日	日	日	月日	全運休 12月30日 1月6日
	嶺 南		2	8	19	1. 27	
鉄 軌 道	福 武 線	鉄 道	0	5	15	1. 25	
		軌 道	3	13	16	1. 29	全運休 12月29. 30日 1月 6日
	南 越 線		14	12	7	1. 29	
			23	8	0	1. 29	

鉄・軌道の運行（運休*、運休率）

	鉄 道	軌 道	鉄 軌 道 計	
12月 下 旬	7,279* (31.5%)	1,027* (33.9%)	8,306* (31.8%)	
1月 {	上 旬	13,437 (64.2)	2,719 (98.7)	16,156 (68.2)
	中 旬	15,798 (75.5)	2,687 (97.6)	18,485 (78.1)
	下 旬	8,726 (37.7)	951 (31.3)	9,677 (37.0)
1 月 計	37,961* (58.4%)	6,357* (74.4%)	44,318* (60.3%)	
合 計	45,240*	7,384*	52,624*	

乗合バスの運行（運休*、運休率）

	12 月	1 月				合 計
	下 旬	上 旬	中 旬	下 旬	1月計	
運 休 キ ロ	17,536	69,504	63,872	28,032	161,408	178,944*
(運休率%)	(12.5)	(54.3)	(49.8)	(21.9)	(40.7)	(33.3)%

第5章 資料編

資料


(資料1) 国鉄・私鉄運行状況一覽 (55. 12. 28~56. 2. 10)

凡例・□ 全面運休 ■ 一部運行 ▨ 全面運行

区分	路線名	駅名等	月												日										備考								
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22		23	24	25	26	27	28	29	30
国鉄	北陸本線	上り	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		下り	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	小浜線	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
京	越前本線	福井	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		越前東郷山	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		越前大野	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
福	三国・芦原線	九頭竜湖	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		福井	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		福井口	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
福	永平寺線	松岡	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		東古山	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		越前竹原	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
福	福武線	桑坂	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		勝山	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		福井	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
鉄	南越線	福西	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		三国港	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		東古市	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31

(資料 2) 北陸自動車道交通状況一覧 (12/29~1/15)

上り

 通行不可

I. C (距離)	12/29	12/30	12/31	1/1	1/13	1/14	1/15
木の							
本						4:50	
賀	↑23.2 17:15 ↓19:30		8:30	7:00	23:45		15:30
敦							
今		18:50					
武							
福							
丸	↑13.2 16:34				23:55	15:25	
加	↑17.8						

下り

I. C (距離)	12/29	12/30	12/31	1/1	1/13	1/14	1/15
長							
木							
本							
賀	↑13.8 16:00	5:40	15:00	9:00		0:10	11:45
敦							
今							
武							
福							
丸							
加							

(資料3) 県・市町村本部設置一覧

	雪害対策本部設置	豪雪対策本部へ改組	雪害対策本部へ縮少	本 部 廃 止
福 井 市	昭和55年12月29日 12:00	昭和56年1月6日 12:00	昭和56年2月19日 9:00	昭和56年3月31日 17:00
敦 賀 市	〃 56年1月5日 13:30	〃 〃 1月13日 8:30	〃 〃 2月23日 10:00	〃 〃 3月24日 17:00
武 生 市	〃 55年12月29日 12:00	〃 〃 1月7日 17:00	—————	〃 〃 2月10日 17:00
小 浜 市	—————	—————	—————	—————
大 野 市	〃 〃 12月29日 8:00	〃 〃 1月7日 13:30	〃 〃 2月15日 17:00	〃 〃 3月31日 17:00
勝 山 市	〃 〃 12月29日 9:00	〃 〃 1月17日 8:00	〃 〃 2月14日 8:30	〃 〃 3月24日 12:00
鯖 江 市	〃 〃 12月30日 12:00	〃 〃 1月19日 8:30	〃 〃 2月20日 12:00	〃 〃 3月31日 17:00
美 山 町	〃 〃 12月30日 8:00	〃 〃 1月7日 8:00	〃 〃 2月13日 8:00	〃 〃 2月29日 17:00
松 岡 町	〃 〃 12月29日 13:30	〃 〃 1月7日 11:00	〃 〃 2月7日 8:30	〃 〃 3月24日 8:30
永 平 寺 町	〃 〃 12月30日 8:30	〃 〃 1月6日 8:30	〃 〃 2月10日 9:00	〃 〃 3月31日 17:00
上 志 比 村	〃 〃 12月30日 8:30	〃 〃 1月8日 8:30	〃 〃 2月10日 8:30	〃 〃 3月31日 17:00
和 泉 村	〃 〃 12月29日 10:30	〃 〃 1月5日 12:00	〃 〃 2月28日 8:30	〃 〃 3月31日 17:00
三 国 町	—————	—————	—————	—————
芦 原 町	—————	—————	—————	—————
金 津 町	—————	〃 〃 1月12日 8:30	—————	〃 〃 2月10日 13:00
丸 岡 町	〃 〃 12月31日 12:00	—————	—————	〃 〃 3月25日 17:00
春 江 町	〃 56年1月6日 13:00	—————	—————	〃 〃 3月2日 13:00
坂 井 町	〃 〃 1月6日 13:00	—————	—————	〃 〃 2月28日 17:00
今 立 町	〃 55年12月29日 11:00	〃 〃 1月2日 9:00	—————	〃 〃 2月9日 17:00
池 田 町	〃 〃 12月29日 17:00	〃 〃 1月14日 8:00	—————	〃 〃 4月30日 20:00
南 条 町	〃 56年1月5日 9:00	—————	—————	〃 〃 3月20日 15:00
今 庄 町	〃 55年12月29日 13:00	〃 〃 1月7日 8:30	〃 〃 2月12日 8:30	〃 〃 3月23日 8:30
河 野 村	〃 〃 12月28日 16:00	—————	—————	〃 〃 3月25日 17:00
朝 日 町	〃 〃 12月29日 17:00	—————	—————	〃 〃 3月10日 17:00
宮 崎 村	〃 〃 12月30日 12:00	〃 〃 1月6日 8:30	—————	〃 〃 3月14日 9:00
越 前 町	—————	—————	—————	—————
越 廼 村	—————	—————	—————	—————
織 田 町	〃 〃 12月29日 20:00	〃 〃 1月5日 13:00	—————	〃 〃 3月28日 12:00
清 水 町	〃 〃 12月29日 10:00	〃 〃 1月7日 9:00	〃 〃 2月6日 9:00	〃 〃 2月16日 9:00
三 方 町	〃 56年1月13日 9:00	—————	—————	〃 〃 3月23日 12:00
美 浜 町	—————	〃 〃 1月13日 6:00	〃 〃 2月9日 10:00	〃 〃 3月20日 16:00
上 中 町	〃 〃 1月14日 9:00	—————	—————	〃 〃 3月9日 9:00
名 田 庄 村	—————	—————	—————	—————
高 浜 町	—————	—————	—————	—————
大 飯 町	—————	—————	—————	—————
県	昭和55年12月29日 12:30	昭和56年1月6日 11:30	昭和56年2月10日 8:30	昭和56年3月23日 17:00

(資料4) 市町村別除雪状況一覧

区分 市町村	除雪車保有台数		除雪車出動延台数		除雪車 出動日数	除雪すべ き距離(km)	除雪した 延距離(km)	除雪従事 者延数
	所有分	借上分	所有分	借上分				
福井市	9	111	211	10,595	71	1,177	4,328.4	9,540
敦賀市	14	254	384	2,030	53	271	3,970	4,978
武生市	5	112	170	1,687	35	250	3,625	1,394
小浜市	6	3	129	3	30	112.5	2,542	266
大野市	6	79	285	2,860	105	158	3,870	11,896
勝山市	7	60	567	3,315	80	143.8	9,800	9,300
鯖江市	5	97	212	3,155	78	312	4,680	12,816
美山町	9	52	284	705	56	49.7	370	1,800
松岡町	3	39	108	487	45	57	364	2,700
永平寺町	3	28	176	210	70	35	280	1,900
上志比村	4	13	210	143	59	29.1	1,140	637
和泉村	6	24	375	233	94	31	1,295	2,009
三国町	3	14	40	69	17	142	678.3	176
芦原町	2	31	54	160	30	101	757.5	32
金津町	3	41	126	176	42	136.5	2,800	1,920
丸岡町	4	80	110	1,026	28	156.4	2,512	7,701
春江町	3	6	108	138	36	67.5	2,070	1,851
坂井町	2	20	72	217	36	83.7	754	1,913
今立町	4	19	149	168	52	54.0	1,320	306
池田町	4	50	184	1,280	46	47.9	2,203	2,806
南条町	2	37	130	332	44	32.3	1,421.2	651
今庄町	7	17	291	152	83	49.6	4,100	1,186
河野村	0	7	0	95	31	6.6	204.6	110
朝日町	2	22	106	248	65	59.4	1,188	1,378
宮崎村	7	28	191	508	39	40.4	1,024	1,532
越前町	0	15	0	95	45	81	320	35
越廼村	1	4	2	34	18	7.2	60	282
織田町	5	11	183	455	62	70	3,038	2,600
清水町	5	33	345	1,980	69	53.6	3,216	2,795
三方町	3	13	61	120	26	710	445	1,578
美浜町	4	54	88	329	27	41	1,107	1,319
上中町	4	19	116	191	29	80.1	4,645.8	6,000
名田庄村	3	14	42	336	45	40	2,695	747
高浜町	0	21	0	49	10	19.3	93.5	183
大飯町	0	17	0	17	15	22	470	71
県計	145	1,445	5,509	33,598				

※除雪従事者延数には消防団等民間関係も含む

(資料5) 市町村別孤立集落一覧

市町村名	孤立集落名	孤立期間 (発生～開通まで)	戸数	人口	孤立時の連絡方法	被災事例	患者発生の有無 答体措置	救援物資	その他
福井市	上光	1/5～1/13	21	89	電話	なし	なし	なし	
	下光	1/5～1/8	23	83	"	"	"	"	
	五太子	1/5～1/8	20	71	"	"	"	"	
	別畑	1/5～1/6	12	44	"	"	"	"	
	白滝	1/5～1/6	9	28	"	"	"	"	
	尾ヶ谷	1/5～1/6	42	130	"	"	"	"	
敦賀市	池河内	1/6～2/23	12	45	"	"	"	"	1/24 慰問物資をもった慰問隊を派遣 2/23 10時開通にあたり慰問物資を贈る
	宝蔵寺	12/28～2/4	4	11	"	"	"	"	
大野市	下打波	12/28～2/4	8	8	"	"	"	"	
	西勝原	12/28～1/1	20	80	"	"	"	"	
	東勝原	12/28～1/1	8	17	"	"	"	"	
	阪谷地区の全集落 富田地区の一部集落 計20集落	12/29～12/31	625	2,691	"	"	"	"	
	上打波	冬期間居住者無いため孤立集落の取り扱いをしない			"	冬期間無住地区であるが家屋の屋根雪降しに 行き、落ちてきた屋根雪の下敷きになり被災する。	右足骨折で重傷、自衛隊に救援要請、自衛隊のヘリコプターで県立病院へ搬送		
	横倉	12/30～3/15	2	4	"	養殖魚の大量死 家屋の破損等	なし	"	
勝山市	谷	12/30～1/10	38	107	"	家屋の破損等	"	"	
	小原	12/30～2/2	25	63	"	"	"	"	
	杉山	2/3～1/6、1/7～1/10	11	45	"	"	"	"	
	芳野ヶ原	12/30～1/31	3	9	"	"	"	"	
	上芳野	12/30～3/15	1	3	"	特になし	"	"	
	小矢ヶ谷	1/8～1/10	11	22	"	"	"	"	
池ヶ原	1/8～1/22	1	2	"	家屋の破損等	"	"		

市町村名	孤立集落名	孤立期間 (発生～開通まで)	戸数	人口	孤立時の連絡方法	被災事例	患者発生の有無 答体、措置	救援物資	その他
美山町	赤谷	12/30～1/5 1/7～1/20	6	20	電話	なし	なし	なし	人力による搬送
	上味見地区 (中手、神戸部、河内、南野津又、小当見、西市布)	12/30～1/13	195	751	"	"	S56. 1. 3 西市布患者発生消防署の急救車出動福井市内の病院へ	"	ブルドーザー、ジープ、人力による搬送
和泉村	芦見地区 (皿谷、所谷、西中、大谷、鷺谷、吉山河内、神当部)	1/14～1/17	146	580	"	"	なし	"	ブルドーザー、ジープ及び人力による搬送
	全	12/28～1/1 1/3 1/5～1/9 1/12～1/18日 1/2～1/29 1/2～1/29 1/12～1/17	5 5 5 42	8 8 10 150	" " " " " "	" " " " " "	1月15日中竜地区においてプロパン爆発事故があり1名火傷重症のため、作業中の北電へりて大野市に搬送	" " " " " "	" " " " " "
声原町	番堂	2/26～2/28 2/26～2/28	18 4	77 10	電話、徒歩 "	" "	なし "	" "	" "
	金見谷	12/27～12/31 1/2～1/8	12	40	"	"	"	"	"
池田町	土合皿尾	12/27～12/30 1/2～1/5	17	74	"	"	"	"	"
	志津原	12/27～12/30 1/2～1/5	21	72	"	"	"	"	"
大魚	大本	12/27～12/31 1/2～1/4	29	96	"	"	"	"	"
	魚見	12/27～12/30 1/2～1/5	65	250	"	"	"	"	"

市町村名	孤立集落名	孤立期間 (発生～開通まで)	戸数	人口	孤立時の連絡方法	被災事例	患者発生の有無 答体措置	救援物資	その他
河野村	杉山	12/28～1/11	5	8	電話	なし	なし	カン生タソ果菓 ン野バソ果菓 ゾバソ果菓 子	
高崎村	広野、蚊谷、増	12/29～12/31 1/8～1/9	29 7	152 36	" "	" "	" "	なし "	
織田町	松	12/28～1/7	25	79	"	"	"	"	
名田庄村	永谷	1/27～1/28	4	11	"	"	"	"	

(資料6) 市町村別雪崩発生箇所一覧

市町村名	なだれ発生時刻	場所	交通施設被災	家屋被災	避難の勤告等	復旧措置	安全措置	その他
福井市	1/8 9:20	白滝町	県道通行止	なし	なし	県土木にて復旧		
	1/10	岸水町	県道通行障害	"	"	"		
	1/20	西新町	県道通行止	"	"	"		
	2/10 21:00	足羽5丁目	なし	1棟	"	地元町内会	市の指導で地元町内会	
	" 22:00	足羽1丁目	市道不通	なし	"	市で復旧		
	2/11 9:40	花堂北2丁目	なし	2棟	"	市・消防団	急傾斜地崩壊防止工事	56年度施工
2/14 22:00	西谷町	"	なし	"				
1/13 16:40	金ヶ崎トンネル北口	"	"	"			片側通行をさせながら建設省が措置	
武生市	1/15	武生市広瀬町地係 通称 中一里	当日交通不能	なし	付近に民家なし	ブルドーザーによる押雪		
	1/25	武生市広瀬町地係 通称 中一里(2箇所)	2月23日まで県道武生・米ノ線交通不能	"	なし	人工なだれをおこし、付近の雪を除いた		
	1/25 5:00	小浜市加尾地係	ガードロープ 30m	"	"	直営降雪午前11時開通	なだれ標識等の警告	

市町村名	なだれ発生時刻	場所	交通施設被災	家屋被災	避難の勧告等	復旧措置	安全措置	その他
大野市	1/13 5:00 (2ヶ所)	大野市上黒谷地係 (発生した山は下黒谷地係)	林道埋没	なし	同地域に住宅を直撃する恐れのある表層雪崩の発生箇所が他に2〜3箇所あるため災害対策基本法第60条の規定に基づき、上黒谷、下黒谷両地区住民45世帯215名に対し避難の指示及び立退き先を指示する(14日午後2時45分)併せて災害救助法の発動要請(14日午後6時発動)を行う。	河川に流入した流木については除去済。田畑約3haに流入した流木約3,000本の除去については雪どけを待って措置する。	雪崩発生を根本的に防止するため、今後安全措置について検討する	
	2/12 20:30	大野市城町地係 (亀山南側)	落石防止用フェンス損壊、市道埋没	なし	2世帯9人に対し、自主避難の勧告(12日午後5時30分)自主避難完了(午後7時30分)	応急防護工事施行	法止工事、防護柵工事を検討	
勝山市	3/15 16:00	大野市尾永見地係	なし	床下浸水1世帯5名	なし	崩壊した雪、土砂が河川に流入したため、これらの除去を行う。		
	2/15 17:40	村岡町暮見17-14 山滝清兵衛氏宅裏山 (通称なか山)	なし	木造、重鉛板屋根平屋建 半壊	37.5坪	地元区民で被災家屋の解体を行う。	消防署、消防団で危険箇所の除去。	急傾斜地崩壊危険区域の指定申請を行う。 (56.3.19)
	1/18	荒土町西ヶ原地係 同上	"	なし	"			
	1/22 1月下旬	北谷町木根橋地係 (R 157号線沿)	ガードレール路肩等損壊	"	"			
	2月上旬	北谷町杉山地係 (市道4-1号線沿)	なし	"	"			
	2/8	北谷町小原地係 (市道4-17号線沿)	"	"	"			
	2月上旬 2月上旬	北谷町小原地係 運羽町ほうき地係 (県道藤巻下荒井線沿)	"	"	"			
12/29	北郷町坂東島地係	"	"	"		ユーンボ等を用いて復旧	危険箇所の除去	

市町村名	なだれ発生時刻	場所	交通施設被災	家屋被災	避難の勧告等	復旧措置	安全措置	その他
美山町	1/14 4:00	美山町蔵作トンネル入口付近	県道池田線交通止			美山町除雪車にて排除	ナグレ発生地の標識立てる。	
	1/20 15:00	美山町薬師地籍国道158号線上	国道158号一時交通止、1時間後一方通行 午後5時復旧			美山町除雪車にて排除	交通指導員による誘導	
永平寺町	2/13 10:30	永平寺町志比	ガードレール(20m)	事務所兼店舗 木・亜・平 270㎡	同日 午前10時35分 現場から退避するよう 勧告	町有除雪車にて復旧作業 (同日正午復旧)	建設省福井工事事務所と協議 洗面保護(モルタル吹き付け) ガードレール20m取り付け要する。	
和泉村	1/13 1:30	和泉村下山地係	なし	なし	なし			
	1/14 2:00	和泉村上大納地係	"	"	"			
	1/15 10:00	和泉村下大納地係	"	"	"			
丸岡町	1/20 早朝	丸岡町川上(県道丸岡川西線)	道路一時不通 (午前中)			道路上の雪を除く	立看板等を設置	
今庄町	1/7 18:00	今庄町瀬戸	なし	なし	なし	排除(排雪)	全面通行止 (5回併除雪)	
	1/8 16:00	"	なし	なし	なし	"	注意	
	1/24 8:00	今庄町荒井	なし	なし	なし	"	"	
	1/26 8:00	今庄町八飯	なし	なし	なし	"	"	
清水町	2/19 23:00	清水町笹谷29-1		全壊 1	危険なため一時期部落内の空家へ避難を命ず	全壊のため取こわす		

(資料 7) ゴミ・し尿処理の停滞例一覧

福井市 集収の方法を変更して実施したので大きな支障はなかったが、不燃物については1月中は収集不能であった。

武生市 12月29日～1月7日までは全面的に停滞した。その後、除雪が済んだ幹線に入り付近の収集にあたった。

小浜市 宮川・内外海・根来地係において、積雪によるゴミ収集が不能となった。

大野市 1. ゴミ収集

12月28日、29日の両日を年末特別収集日として収集計画にあたったが車両交通不能のため中止。

1月は5日より収集業務を開始するが、市街地のみとし週1回(夏期2回)を目標にする。ステーションについては1区当り1～2ヶ所各区長と協議し設定、収集の際にはオルゴール及びハンドマイクにより広報する。

9日より道路の除排雪作業による交通規制あるいは一般車両の交通渋滞を避けるため夜間収集(PM6:00～)を実施。

16日より道路事情も好転してきたので昼間収集とする。

21日より平常の朝からの収集に戻す(なおも週1回収集)。

1月中の収集量(可燃物)は 318 t (1日当13.8 t) 昨年同期の81%の収集量であった(昨年 394 t、1日当17.9 t)。

以降収集業務を段階的に進め平常に戻す。

1月28日より村部の学校関係の可燃物収集開始

2月9日より市街地の不燃物収集開始

2月24日より村部の " "

3月2日より市街地の週2回収集(可燃物)実施

2月中の収集量(可燃物)は 345 t (1日当 1.5 t)

昨年 は 328 t (1日当13.7 t)

(可燃物)は87 t

昨年 は49 t

国道 157号線より施設までの通路及び周辺の除雪は職員で除雪班を編成し、施設所有のブルドーザー及びタイヤショベルの2台で交替で早朝より作業にあたり交通を確保した

2. し尿処理

常に搬入されるし尿を受入れられるよう搬入路及び施設内の除雪をじん荼焼却場の職員とタイヤショベルの応援を得て行った。

例年、搬入は12月に集中し1月、2月は量的に少なく56年1月622kl 2月568klであった(55年1月770kl 2月535kl)。

豪雪時に際しては収集業者に対しいつでも市民の要請に答えられるよう車両(バキューム車)の出勤体勢を整える(車庫前の除雪等)よう指示した。

勝山市 1. ゴミ収集

可燃物については、1月8日に一部幹線道路沿いのみ収集を開始した。1月22日からは一部路線を残して全面収集できた。不燃物については当初から1月、2月は収集しない計画であった。

2. し尿処理

1月4日から収集を開始したが、ほぼ円滑に収集を行えたのは1月中旬過ぎとなった。

鯖江市

1. ゴミ収集

12月28日～1月23日は収集不可能であった。

1月24日～2月20日は8日に一度収集した。

2月23日以降は正常収集が可能になった。

2. し尿処理

12月29日～1月7日は収集不可能であった。

1月8日～1月21日は1日5台の車で少々の収集。

1月22日以降は正常に戻った。

美山町

積雪多量により、町の処理業務は12月28日～2月28日の間停止した。その間、各家庭のゴミは集落毎に一時的に処理するよう指導した。

松岡町

1月4日～1月8日の間は、雪のため収集業務ができなかった。1月9日～1月24日の間は各町内の通行可能な道路脇まで家庭よりゴミを出してもらい収集業務を行った。

永平寺町

1月当初より2月中旬頃迄業務は停滞した。この期間内は県道沿いのみ収集することとした。

上志比村

ごみの収納囲が雪に埋没し、また道路の除雪が思うように進まず、ごみの回収が遅れた。

和泉村

12月28日から1月21日まではゴミの収集が不可能であった。また、12月28日から2月4日までの間は、し尿の汲取ができなかった。

三国町

1月から2月にかけてゴミ、危険物の収集の能率低下がみられた。

金津町

1. ゴミ収集

55年12月29、30日、56年1月5、6日の4日間は1,300世帯で停滞した。

2. し尿処理

55年12月29、30日の2日間中川区及び下金屋の一部で業務が停滞した。

春江町

ゴミ、し尿処理の両方について停滞、収集不能となった。

今立町

ゴミの収集作業は、各家庭より県道まで出してもらい収集した。

池田町

ゴミ収集業務は、昭和55年12月27日から56年1月23日までの間は停滞した。

南条町

ゴミ処理業務は、大雪期間中は国道365号線沿いのみ集積場を設置し処理したが、これは今年度特に変わった処置ではない。又、し尿処理についても例年の通りであり、特別な停滞例はみられなかった。

今庄町

一般ゴミは、昭和55年12月27日より昭和56年2月28日の間停滞し、危険物については昭和55年12月27日より昭和56年2月28日の間停滞した。また、し尿処理についても昭和55年12月27日より昭和56年3月20日の間停滞がみられた。

朝日町

ゴミは、昭和55年12月27日～昭和56年2月4日まで収集不可能であった。また、し尿処理については昭和55年12月27日～昭和56年1月20日まで収集不可能であった。

宮崎村

ゴミについては、20日間程度、し尿については10日間程度の停滞がみられた。

越前町

昭和55年12月27日～昭和56年1月9日の間停滞がみられた。

越廼村 一週間ぐらいの間停滞がみられた。

織田町 ゴミ処理については、12月29日から1月8日までは、回収が全くできなかった。し尿処理についても12月末から1月15日までは、全く不可能であった。

清水町 除雪が進まない中で、ゴミ処理については一時は、各戸に雪の中にゴミ袋を埋めさせ除雪ができた時点で町内会ごとにゴミ置場を臨時に指定しながら、2月末まで回収に努めた。3月以降は正規の業務にもどった。

上中町 不燃物収集は、1月、2月の2ヶ月間不能であった。可燃物収集については、集落によって収集場所を変更し業務を行った。し尿処理については、影響はなかった。

(資料 8) 救急活動の阻害例一覧

1. 福井地区消防本部における所要時間等の前年度との比較

55年1月

救急隊名	救急出動件数	搬送人員	平均所要時間距離						医師要請		警戒出動	演習出動	出場延台数	出場延人員	
			出動現場		現場	現場病院		病院	出動帰署						現場処置
南署救急隊	53	42	53件		49件	40件		41件	53件		1回			52	159
			6分	3.62km	10.28分	6.52分	3.55km	13.41分	38.28km		1人				
清水救急隊	10	8	10		8	8		8	10					10	20
			7.6	4	4.75	13.37	8.93	10	47.1						
美山救急隊	11	11	11		11	11		11	11					11	22
			7.1	4.8	4.8	17.36	13.65	5.45	64.7						
越廼救急隊	2	2	2		2	2		2	2				1	3	5
			7.5	2.75	3.5	32.5	27.7	10	115.5						
足羽救急隊	4	10	4		4	4		4	4					4	8
			6	4.5	4	11.5	7	6.2	45						

56年1月

救急隊名	救急出動件数	搬送人員	平均所要時間距離						医師要請		警戒出動	演習出動	出場延台数	出場延人員	
			出動現場		現場	現場病院		病院	出動帰署						現場処置
南署救急隊	90	80	87件		88件	78件		77件	90件		回			90	310
			10.5分	6.5km	10.2分	10.6分	2.89km	11.8	57.5分		人				
清水救急隊	6	4	6		6	4		4	6		1			6	14
			10	4.0	11.8	20.2	9.07	15.5	64.6		1				
美山救急隊	10	7	10		10	7		7	10		1			10	20
			13.3	5.3	14.6	31.1	22.5	5.5	92.6		1				
越廼救急隊	8	14	8		8	7		7	8				1	8	16
			5.5	3.0	5.5	35.7	23.7	14.1	44.7						
足羽救急隊	19	17	17		17	16		16	19		1			19	38
			9.7	2.9	10.5	16.8	6.3	6.25	59.8		1				

2. 各市町村における阻害例

- 大野市 積雪による救急車両の通行不能や路上駐車による救急活動の障害等がみられた。
- 勝山市 幹線・支線道路共に、積雪や屋根からの落雪などにより通行不能や交通渋滞が生じ、救急車・消防車の出動には大変な支障をきたした。
- 鯖江市 救急車が目的地まで到着できないところもあり、通常に比べて3～10倍の時間を要した。
- 美山町 道路上に倒木が多く、救急活動に大きな障害となった。
- 松岡町 雪おろし作業中の転落事故により出動したが、主要道路しか除雪されていないため、近くまで救急車で行き約500m程タンカに乗せ徒歩で運び出した。
- 和泉村 なだれ等の危険のため救急車1台での出動ができず、ジープの先導を要した。また、2月5日除雪作業中ブルドーザーに接触して両足骨折した患者は、緊急を要したため、通常の方法では間に合ないので自衛隊のヘリコプターを要請し、搬送した。
- 春江町 狭幅路が除雪されていないため現場への到着が遅れたり、自動車の渋滞のため病院への搬入が遅れた。
- 今立町 屋根からの落雪のため、救急車が通行できず、ソリを利用して搬送するなどの支障がみられた。
- 今庄町 12月29日は、患者を武生市まで搬送したが、国道365号線は降り続いた雪のため一般車両はもとより、救急車ものろのろ運転でその上大型車がスリップして道路を遮断し、平常時なら往復1時間のところ5時間も要した。また、1月9日、11日の両日には屋根から転落した人の救急に出動したが、国道365号線より町内への道路は、下ろした屋根雪のため進

入できず、担架で搬送、救急活動を大きく阻害した。

(資料 9) 雪おろしの状況例(人夫雇用の難易・賃金相場)一覧

敦賀市	人夫の雇用は非常に困難であり、また賃金相場も10,000～15,000円と高騰した。
武生市	1月中旬頃までは依頼しても2・3日しないと人夫がこない状態で、賃金相場も15,000円程度と高くなった。
大野市	12月28日～1月16日の短期間に3～4回の屋根雪下しを実施する必要があったため、人夫も、自宅の屋根雪下しにおわれ、人員が不足し、雇用は非常に困難で、賃金相場も大野市雪害対策計画で協定した1日(8時間労働)8,200円の協定賃金を大幅に上回る約13,000～17,000円と高騰した。
勝山市	12月29～1月10日頃の間は、人夫がほとんどみつからない状態で賃金相場は、13,000～15,000円であった。
美山町	自己家屋の雪下しが精いっぱい人夫不足が生じ一部破損する建物も多く発生した。また人夫の賃金は、男10,000円、女7,000円であった。
上志比村	例年に比べて、人夫雇用は、困難であり、賃金相場も1日10,000円程度であった。
和泉村	断続的な降雪のため連日除雪作業が続き、人夫の確保が困難であった。このため、公共施設は役場職員が除雪にあたるという状態であった。なお、人夫賃金は、男8,200円、女6,600円であった。
今庄町	年末より1月20日頃までは、先づ我家を守らねばならない状況下であり小康状態になるまでは人夫は無しに等しい状況であった。また賃金相場は12,000円と高かった。
朝日町	人夫の確保は、できたが賃金は12,000円～20,000円と高かった。
宮崎村	公共施設については、役場職員やPTAに、また保育所は父母の会に雪下しを依頼し、独居老人宅については人夫の確保困難なため、消防団員に依頼したため支障はあまりみられなかった。また賃金相場は8時間10,000円程度であった。
清水町	降雪の中、人夫を区長に依頼しても確保ができず、各学校ともPTAや教職員の協力を得て排雪を行った。

(資料10) 消防職団員の出動状況一覧

	職 員	団 員	計
勝 山 市	741	504	1,245
三 国 町	155	120	275
芦 原 町	120	60	180
丸 岡 町	415	547	962
福井地区消防組合	7,156	4,223	11,379
大野地区消防組合	397	1,205	1,602
吉田地区消防組合	489	441	930
嶺北消防組合	735	681	1,416
鯖江丹生消防組合	1,396	1,980	3,376
宮 崎 村	—	484	484
南越消防組合	1,181	1,341	2,522
敦賀美方消防組合	1,328	2,744	4,072
若狭消防組合	401	1,730	2,131
合 計	14,514	16,060	30,574

※雪害による火災・救急・除雪等の出動人員である。(12/15～3/31)

(資料11) 38豪雪の被害状況一覧

人的損害

死者 31人 (高波による死者6人を含む)

行方不明 ー

重傷者 16人

軽傷者 28人

罹災世帯 16,409世帯 68,387人

全壊 73世帯 ー

半壊 125世帯 ー

一部破損 13,384世帯 ー

床上浸水 304世帯 ー

床下浸水 2,523世帯 ー

非住家 10,244棟 ー

全壊 476棟 ー

半壊 9,768棟 ー

物的損害 総額 17,383,000千円

1 家屋等 26,653件 836,000千円

2 農林業関係 4,821,000千円

直接被害 3,229,000千円

果樹、そ菜関係 844,000千円

果樹 590 h a

そ菜 297 h a

麦、なたね、れんげ関係 200,000千円

3,043 h a

畜産施設関係 53,000千円

鶏舎 21棟

物棚 6,600 m

水産施設関係 132,000千円

漁港 13

漁船 17

漁具 3

共同利用施設 3

養殖施設 30

林産物施設関係 1,726,000千円

林道 488ヶ所

治山 106 "

立木折損 89,500 m³

炭 窯	1,980基	
開拓施設関係		34,000千円
住宅施設	100ヶ所	
農畜産物	300 h a	
農地、農業用施設関係		240,000千円
農 地	107ヶ所	
施 設	173 "	
間 接 被 害		1,592,000千円
農業関係		1,432,000
水産関係		160,000
3 商工業関係		8,352,000千円
直 接 被 害		328,000千円
間 接 被 害		8,024,000千円
繊維工業関係		4,028,000千円
直接被害		50,000
間接被害		3,978,000
一般工業関係(鉄鋼機械)		3,065,000千円
直接被害		118,000
間接被害		2,947,000
商 業 関 係		869,000千円
直接被害		100,000
間接被害		769,000
観 光 関 係		390,000千円
直接被害		60,000
間接被害		330,000
4 厚生施設関係		137,000千円
直 接 被 害		42,000
間 接 被 害		95,000
5 教育施設関係		443,000千円
公立学校施設		428,000
社会教育施設		15,000
6 土木施設関係		2,209,000千円
施 設 災 害		371,000
除 雪 関 係		600,000
融雪時の施設災害及び路面補修等		1,234,000
そ の 他		4,000
7 交通関係(国鉄を除く)		481,000千円
直 接 被 害		114,000
間 接 被 害		367,000

8 電力及び通信施設	104,000千円
直接被害	65,000
間接被害	39,000

(昭和38年3月5日現在 福井県豪雪非常災害対策本部発表)

56 豪雪の記録

編集 福井県総務部消防防災課

発行 福 井 県
福井市大手3丁目17番1号

印刷 若越印刷株式会社
敦賀市元町17番15号

